

横手市地域公共交通計画 -資料編-

令和6年3月
横手市

-目次-

1. 市民アンケート調査	1
1-1 調査の概要.....	1
1-2 調査結果	12
2. バス乗降調査及び利用者アンケート調査	60
1-1 調査の概要.....	60
1-2 調査結果(利用者アンケート調査)	61
1-3 調査結果(乗降調査:利用区間分析、全調査日、全便の合計値).....	66
3. 鉄道利用者ヒアリング調査	89
1-1 調査の概要.....	89
1-2 調査結果	91
4. 横手デマンド交通利用者アンケート調査	105
1-1 調査の概要.....	105
1-2 調査結果	107
5. 廃止代替乗合タクシー利用者アンケート調査	120
1-1 調査の概要.....	120
1-2 調査結果	122
6. コミュニティバス利用者アンケート調査	127
1-1 調査の概要.....	127
1-2 調査結果	129
7. 自家用有償旅客運送利用者アンケート調査	132
1-1 調査の概要.....	132
1-2 調査結果(回答数が少なかったことから、回答ごとに記載)	135
8. 高速バス利用者アンケート調査	141
1-1 調査の概要.....	141
1-2 調査結果	144
9. 地域別意見交換会	149
1-1 調査の概要.....	149
1-2 意見交換会の記録	149
10. 事業所アンケート調査	172
1-1 調査の概要.....	172
1-2 調査結果	176

1. 市民アンケート調査

1-1 調査の概要

調査対象	15歳以上の横手市民 3,000人（無作為抽出）
調査期間	8月上旬～8月25日
調査方法	①郵送による配布回収 ②調査票掲載のQRコードからアクセス可能なweb回答
回収数	942票（回収率31.5%） ※令和5年9月末日時点

使用した調査票（見本）

「横手市地域公共交通」に関する市民アンケート調査のお願い

日頃より横手市の市政運営にご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、鉄道・路線バス・タクシーなどの公共交通を、今後も継続的に運行し、皆様に利用していただくため、本市の実情にあわせ、将来にわたり持続可能な公共交通システムの構築を目指すべく「横手市地域公共交通計画」を策定することとなりました。つきましては、地域公共交通の利用状況等をお聞かせいただき、公共交通施策の基礎資料とするため、アンケート調査を実施いたします。

今回の調査では、市内に居住する満15歳以上3,000人を無作為で選ばせていただき、調査票をお送りしています。

アンケートの集計・分析については、「ランドブレイン株式会社」に委託しておりますので、御理解をお願いいたします。なお、調査の結果は、統計的に処理し、本アンケートの目的以外には一切使用しません。お忙しいところ恐縮に存じますが、趣旨を御理解いただき、調査に御協力いただきますようお願い申し上げます。

令和5年8月 横手市地域公共交通活性化協議会

インターネットでも
回答できます！

【ご回答にあたってのお願い】

以下の①または②のどちらかの方法でご回答ください。

①郵送

本アンケート調査票にご記入いただき、同封の返信用封筒に入れて、ポストにご投函ください。（切手は不要です。）

【①郵送での回答に当たっての注意事項】

○回答は、調査票の番号に○印を付けてください。
（設問によって、“複数選択可”や、“1つ選択”などの指定があります。）

○また、回答欄の（ ）内には具体的な内容を御記入ください。

○記入後の調査票は、令和5年8月25日（金）までに同封の返信用封筒に入れて、郵便ポストに投函してください。（切手は必要ありません。）

②インターネット

右記のQRコードが、下記のURLからアクセスの上、ご回答ください。

URL:<https://forms.gle/4rPBQQpcHT9hp8Vi6>

【②インターネットでの回答に当たっての注意事項】

○回答は設問によって“複数回答”や“1つ選択”などがあります。

○回答は、お一人様一回限りとさせていただきます。

○回答は、令和5年8月25日（金）23:59までです。

【QRコード】



※お一人様一回限り

<本アンケート調査に関する問い合わせ先>

○横手市地域公共交通活性化協議会事務局（横手市 総務企画部 経営企画課内）
電話番号：0182-35-2164

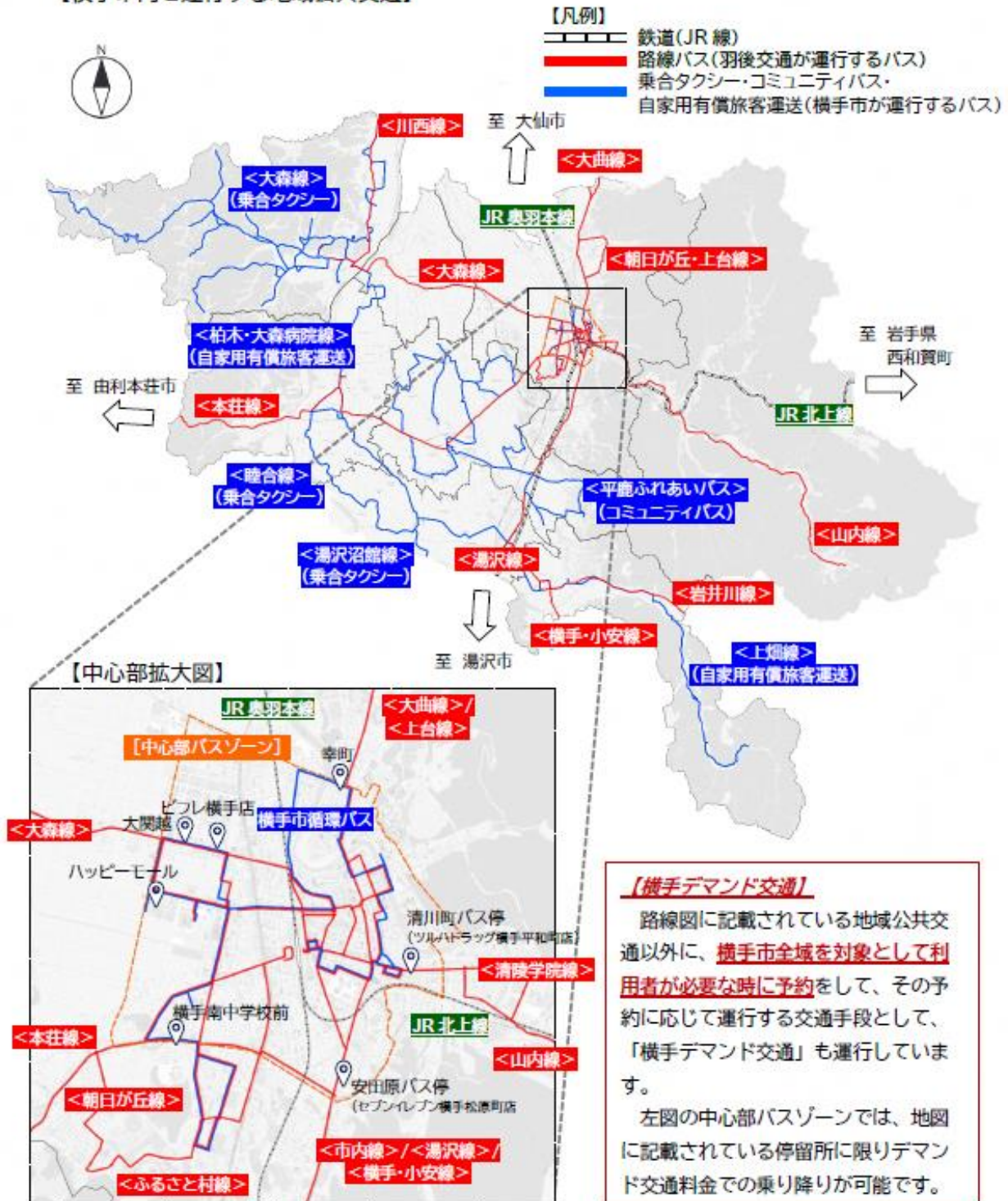
○委託業者：ランドブレイン株式会社 秋田事務所
秋田県秋田市山王 5-11-9 電話番号：018-895-8022

→裏面からアンケート調査が始まります（次ページへ）

■アンケートを回答するにあたっての留意事項

アンケートをご回答していただくにあたって、横手市内を運行する地域公共交通について、下記の図を参考にしてください。

【横手市内を運行する地域公共交通】



(2) あと何年、車の運転を続けたいと思いますか。(1つに○印)

1. 1年 2. 3年 3. 5年 4. 10年 5. 15年以上

(3) 今後、自動車に頼らない生活をしたいと思いますか。(1つに○印)

1. そう思う 2. できる限りしたいと思う 3. 思わない 4. どちらでもない

(4) 運転免許の返納について、将来的にどのようにお考えかお答えください。(1つに○印)

1. 免許を返納してもよい 2. 免許を返納するつもりはない

→「2. 免許を返納するつもりはない」と回答された方は(5)へ

「1. 免許返納してもよい」と回答された方は問3へ

(5) 免許を返納する意思がない人にお尋ねします。どのような条件があれば、返納を検討しますか。(あてはまるものすべてに○印)

1. 公共交通の運行本数の増便や運行時間帯の拡大などの利便性向上
2. 既存の公共交通が割引料金で利用できる特典
3. 食料品・生活必需品の移動販売が家の近くに来る
4. 公共交通の使い方、乗り方を詳しく教えてもらえるセミナーの開催
5. その他 ()
6. どのような条件があっても返納はしない

■冬期間以外(夏場等)の日常の外出について、お伺いします。

問3 あなたの日常の外出目的に応じた移動についてお聞きします。

設問の回答にあたっては、最も多い状況を想定して、お答えください。

※設問の回答にあたっては、本アンケート調査票の2ページ目に記載している「横手市内を運行する地域公共交通」を参考にしてください。

※各設問の最も多い交通手段については、下記の選択肢の番号を記載してください。

(3) 最も多い交通手段の選択肢

1. 鉄道(JR線)
2. 路線バス(羽後交通が運行するバス)
3. タクシー
4. 横手市循環バス
5. 横手デマンド交通
6. 乗合タクシー・コミュニティバス・自家用有償旅客運送(横手市が運行するバス)
7. 家族の送迎
8. 自分で車を運転
9. バイク・原付
10. 自転車
11. 徒歩
12. その他(各設問の回答欄の()内に具体的な交通手段を記入)

①通勤・通学時の移動についてお答えください。

(1)行先	1. 市内 2. 市外(市町村名: _____ 市・町・村) 3. 通勤・通学していない→「3.」を選択した方は、「②買い物時の移動」へ							
(2)頻度	1. 週に5日以上 2. 週に3~4日 3. 週に1~2日 4. 月に2~3日 5. 月に1回程度 6. 年に数回程度 7. その他(_____)							
(3)最も多い交通手段	※上記の選択肢を参照 ※複数利用している場合は、全て記入してください。 回答番号:(_____) → 「12. その他」の方は記入(_____)							
(4)曜日	通勤・通学する曜日すべてに○をつけてください。 最も頻度が多い勤務体系を想定し、お書きください。 <table border="1"><tr><td>1. 日曜日</td><td>2. 月曜日</td><td>3. 火曜日</td><td>4. 水曜日</td><td>5. 木曜日</td><td>6. 金曜日</td><td>7. 土曜日</td></tr></table>	1. 日曜日	2. 月曜日	3. 火曜日	4. 水曜日	5. 木曜日	6. 金曜日	7. 土曜日
1. 日曜日	2. 月曜日	3. 火曜日	4. 水曜日	5. 木曜日	6. 金曜日	7. 土曜日		

(5)時刻	自宅	午前 ()	帰宅時刻:	午前 ()
	出発時刻:	午後 時頃		午後 時頃

②買い物時の移動についてお答えください。

(1)最もよく行く買物先	※居住地域とは、問 1 で回答したお住まいの地域を指します。居住地域内と居住地域外、それぞれ1つ具体的な買物施設名称をご記入ください。 ①居住地域内 (具体的な施設名称 (1つまで): _____) ②居住地域外 (具体的な施設名称 (1つまで): _____)			
(2)頻度	1. 週に5日以上 2. 週に3~4日 3. 週に1~2日 4. 月に2~3日 5. 月に1回程度 6. 年に数回程度 7. その他 ()			
(3)最も多い交通手段	※4 ページ目の選択肢を参照 ※複数利用している場合は、全て記入してください。 回答番号: () ⇒ 「12. その他」の方は記入 ()			
(4)曜日	1. 平日 2. 土日祝日 3. 毎日			
(5)時刻	自宅	午前 ()	帰宅時刻:	午前 ()
	出発時刻:	午後 時頃		午後 時頃

③通院時の移動についてお答えください。

(1)最もよく行く先	1. 平鹿総合病院 2. 市立横手病院 3. 市立大森病院 4. 上記「1.」~「3.」以外のお住まいの地域内の病院・クリニック 5. 上記「1.」~「3.」以外のお住まいの地域外の病院・クリニック <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> ⇒ 5. を選択した方は、具体的な地域名を下記から選択してください。 横手市外の場合は、具体的な市町村名を記入してください。 1. 横手地域 2. 増田地域 3. 平鹿地域 4. 雄物川地域 5. 大森地域 6. 十文字地域 7. 山内地域 8. 大雄地域 9. 横手市外 (具体的な市町村名: _____) </div>						
	6. その他 ()						
(2)頻度	1. 週に5日以上 2. 週に3~4日 3. 週に1~2日 4. 月に2~3日 5. 月に1回程度 6. 年に数回程度 7. その他 ()						
(3)最も多い交通手段	※4 ページ目の選択肢を参照 ※複数利用している場合は、全て記入してください。 回答番号: () ⇒ 「12. その他」の方は記入 ()						
(4)曜日	通院することが多い曜日すべてに○をつけてください。						
	1. 日曜日	2. 月曜日	3. 火曜日	4. 水曜日	5. 木曜日	6. 金曜日	7. 土曜日
(5)時刻	自宅	午前 ()	帰宅時刻:	午前 ()			
	出発時刻:	午後 時頃		午後 時頃			

→裏面に続きます。(次ページへ)

(3) 最も多い交通手段は冬期間以外(夏場等)と比べて(1. 変化する 2. 変化しない)

⇒「1. 変化する」と回答した方は、具体的な変化の内容を教えてください。

※4ページ目の選択肢を参照し、下の()内に番号を記入

冬期間の交通手段：回答番号：() ⇒「1 2. その他」の方は記入()

(4) 曜日は冬期間以外(夏場等)と比べて(1. 変化する 2. 変化しない)

⇒「1. 変化する」と回答した方は、具体的な変化の内容を教えてください。

冬期間に、買い物することが多い曜日全てに○を記入。

1.日曜日	2.月曜日	3.火曜日	4.水曜日	5.木曜日	6.金曜日	7.土曜日
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

(5) 時刻は冬期間以外(夏場等)と比べて(1. 変化する 2. 変化しない)

⇒「1. 変化する」と回答した方は、具体的な変化の内容を教えてください。

自宅出発時刻、帰宅時刻のそれぞれの具体的な変化を記入し、「早くなる」か「遅くなる」かを選んでください。

【自宅出発時刻】 ↓どちらかに○印 【帰宅時刻】 ↓どちらかに○印
()分程度、(早くなる/遅くなる) ()分程度、(早くなる/遅くなる)

③冬期間の通院の移動について(「1.」か「2.」のどちらかに○印)

(1) 最もよく行く通院先は冬期間以外(夏場等)と比べて(1. 変化する 2. 変化しない)

⇒「1. 変化する」と回答した方は、具体的な変化の内容を教えてください。

1. 行き先が自宅近くの病院から、遠くの病院になる
2. 行き先が遠くの病院から、自宅近くの病院になる

(2) 頻度は冬期間以外(夏場等)と比べて(1. 変化する 2. 変化しない)

⇒「1. 変化する」と回答した方は、具体的な変化の内容を教えてください。

1. 通院する頻度が増える
2. 通院する頻度が減る

(3) 最も多い交通手段は冬期間以外(夏場等)と比べて(1. 変化する 2. 変化しない)

⇒「1. 変化する」と回答した方は、具体的な変化の内容を教えてください。

※4ページ目の選択肢を参照し、下の()内に番号を記入

冬期間の交通手段：回答番号：() ⇒「1 2. その他」の方は記入()

(4) 曜日は冬期間以外(夏場等)と比べて(1. 変化する 2. 変化しない)

⇒「1. 変化する」と回答した方は、具体的な変化の内容を教えてください。

冬期間に、通院することが多い曜日全てに○を記入。

1.日曜日	2.月曜日	3.火曜日	4.水曜日	5.木曜日	6.金曜日	7.土曜日
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

(5) 時刻は冬期間以外(夏場等)と比べて(1. 変化する 2. 変化しない)

⇒「1. 変化する」と回答した方は、具体的な変化の内容を教えてください。

自宅出発時刻、帰宅時刻のそれぞれの具体的な変化を記入し、「早くなる」か「遅くなる」かを選んでください。

【自宅出発時刻】 ↓どちらかに○印 【帰宅時刻】 ↓どちらかに○印
()分程度、(早くなる/遅くなる) ()分程度、(早くなる/遅くなる)

→裏面に続きます。(次ページへ)

■横手市の公共交通に関することについて、お伺いします。

問5 本アンケート回答日までの1か月の間に、横手市内を運行する「公共交通：JR 奥羽本線、JR 北上線、路線バス（羽後交通が運行するバス）、タクシー、横手市循環バス、横手デマンド交通、乗合タクシー・コミュニティバス・自家用有償旅客運送（横手市が運行するバス）」を利用しましたか。（どちらかに○印）

1. 利用した 2. 利用していない

問6 ご自宅から最寄りの「鉄道駅」と「バス停」について教えてください。（1つに○印）

最寄りの 鉄道駅	駅名	1. 横手駅	2. 柳田駅	3. 醍醐駅	4. 十文字駅
		5. 後三年駅	6. 相野々駅	7. 小松川駅	8. 黒沢駅
		9. 分からない 10. その他()			
最寄りの バス停	バス停の名称	1. 名称()		2. 分からない	
	バス停までの 所要時間(徒歩)	1. 5分以内	2. 10分以内	3. 15分以内	
		4. 20分以内	5. 30分以上	6. 分からない	

問7 横手市では、「横手デマンド交通」「横手市循環バス」のパンフレットを作成していますが、ご覧になったことはありますか。（1つに○印）

1. 見たことがあり、
わかりやすいと感じた
2. 見たことがあり、
分かりにくいと感じた
3. 知ってはいるが、
見たことがない
4. 作成されていることを
知らない

【横手デマンド交通リーフレット】



【横手市循環バス】



■問5で公共交通を「1. 利用した」と回答した方のみ、お伺いします。

⇒ 「2. 利用していない」方は、問9へお進みください。

問8 公共交通について、各項目の満足度を教えてください。
（利用していない公共交通機関については、記入しなくても結構です。）

（1）鉄道について（各項目の番号1つに○印）					
項目	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満
①運行時間帯	5	4	3	2	1
②駅までの公共交通機関等の利便性	5	4	3	2	1
③待合空間	5	4	3	2	1
④バリアフリー	5	4	3	2	1
⑤運行情報の案内	5	4	3	2	1

(2) 路線バスについて (各項目の番号1つに○印)

項目	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満
①運行時間帯	5	4	3	2	1
②運行ルート	5	4	3	2	1
③運賃	5	4	3	2	1
④目的地までの所要時間	5	4	3	2	1
⑤使用車両の使いやすさ	5	4	3	2	1
⑥バス停留所の待合空間	5	4	3	2	1
⑦バス停までの所要時間 (徒歩)	5	4	3	2	1
⑧他交通機関との乗り継ぎ	5	4	3	2	1
⑨運行情報の案内	5	4	3	2	1

(3) デマンド交通について (各項目の番号1つに○印)

項目	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満
①運行日時	5	4	3	2	1
②利用方法・予約方法	5	4	3	2	1
③利用料金 (運賃)	5	4	3	2	1
④運行情報の案内	5	4	3	2	1
⑤中心部バスゾーンの乗り換え場所	5	4	3	2	1
⑥他交通機関への乗り継ぎ利便性	5	4	3	2	1

■ 1か月以内に公共交通を利用していない方へ、お伺いします。

⇒利用している方は、問11へお進みください。

問9 公共交通を利用していない理由を教えてください。(3つまで○印)

1. 利用する必要が特にないから
2. 使いたい時間や生活時間に鉄道やバスが運行していないから
3. 運賃が高いから
4. 自宅から駅やバス停まで遠いから
5. 乗車時間が長いから
6. 到着時間が正確ではないから
7. 待ち合い空間に屋根やベンチがなく、待っている時間が苦痛だから
8. 目的地に行くバスがないから
9. 公共交通機関同士の乗り継ぎがしづらいから
10. 運行時間や運行ルートが分からないから
11. 利用方法が分からないから
12. その他 ()

問10 上記の「問9」でお答えいただいた理由を解消することができれば、公共交通を利用する可能性はありますか。(どちらかに○印)

1. 利用する可能性がある
2. 利用する可能性はない

■問 1 以降は、全員にお伺いします。

■今後の公共交通について

横手市は公共交通の維持確保を図るため、利用者の運賃収入だけでは採算が取れず、市の予算で公共交通の運行費用に補助しております。

自家用車の保有と使用が定着している現状では、公共交通の利用者減少に伴う運賃収入の減少や車両の老朽化等により、運行費用がさらに増加することが予想されます。その一方で高齢化により、将来公共交通を必要とする市民は増えることが予想されるため、今後も市の財政負担は増加していく可能性が高いものと考えられます。

このような状況を踏まえ、以下の質問にお答えください。

問 1 1 路線バスやデマンド交通などの公共交通について、今後どのようにしていくべきと思いますか。(1つに○印)

1. 財政負担(税金投入)を大幅に増やし、もっと公共交通を充実させるべき
2. 財政負担(税金投入)をある程度は増やし、もう少し公共交通を充実させるべき
3. 今の財政負担(税金投入)程度の中で、今の公共交通の見直しを行うべき
4. 今の財政負担(税金投入)程度の中で、今の公共交通をそのまま維持すべき
5. 財政負担(税金投入)を減らし、利用者負担を増やすことで今の公共交通を維持すべき
6. 財政負担(税金投入)を減らし、今の公共交通を縮小すべき
7. その他()

問 1 2 あなたが、普段から路線バスを利用しているとして、お答えください。路線バスが利用者の減少により、運行を見直すことになった場合、以下の見直しのうち行っても良いと思うもの、反対に行ってほしくないと思うものを、それぞれ1つあげてください。

1. 1人あたりの運賃は高くなるが、乗り継ぎをせずに直接目的地へ行ける。
2. 1人あたりの運賃は安くなるが、拠点となる施設等で乗り継ぎをすることで目的地へ行ける。
3. 利用者の少ない路線は、1日の運行回数は変わらないが、運行日数が減少する。
(具体例：今まで通り1日5本の運行は行すが、毎日運行していたが週3日の運行になる。)
4. 利用者の少ない路線は、1日の運行回数が減少するが、運行日数は変わらない。
(具体例：今までは1日5本運行していたものが1日3本に減るが、運行日数は変わらない。)
5. 利用者の少ない路線は予約がないと運行しないが、予約をすれば利用することができる。
6. 早く目的地に到着する(乗車時間を短くする)ために、利用者数の少ないバス停を減らす。
7. 目的地の到着までの時間は要する(乗車時間が長くなる)が、今よりもバス停を増やす。



行っても良いと思うもの(1つ)	_____番	記入例 1番
行ってほしくないと思うもの(1つ)	_____番	記入例 2番

問13 日々の生活において、地域公共交通が使いやすくなるために、或いは市民の暮らしに必要な移動手段を確保していくためには、どのような取組みが効果的だと思いますか。下記に記載されている選択項目から、**優先順位の高い項目を3つ選んで**、番号を優先順位の高い順に記入してください。

優先順位	番号	記入例
1番目に高い選択項目	番	1番
2番目に高い選択項目	番	2番
3番目に高い選択項目	番	3番

【分類】	【選択項目】
運賃	1. 鉄道や路線バスなど、横手市内を運行する公共交通機関で使用できる1日乗り放題の共通乗車券などの定額制料金の導入 2. 鉄道や路線バスなど、横手市内を運行する公共交通機関で使用できる共通年間パスポートや共通通勤・通学定期券などの導入 3. 1回の乗車運賃が100円単位で区切られている等分かりやすい運賃の設定
情報発信	4. 鉄道や路線バスの時刻表や停留所の位置、運行時間などがわかる総合時刻表の作成 5. バスロケーションシステム（パソコンやスマートフォンから現在のバスの位置情報が確認できるサービス）の導入
利用環境	6. 路線バス等におけるフリー乗降区間制度の導入 7. 横手市内全域における鉄道、路線バス等公共交通機関同士の乗継ぎのしやすさ 8. バス停への屋根・ベンチ設置 9. 駅やバス停近くで待ち時間に勉強やおしゃべりをして過ごせる空間の充実
地域での取組	10. 各地域の住民が運転する自動車に地域住民を乗せて、目的地等へ連れていく仕組み 11. 公共交通に関する意識向上を育むための地域懇談会や地区勉強会の開催 12. 各地域でバスの試乗会やお試しツアー等の開催 13. その他（ ）

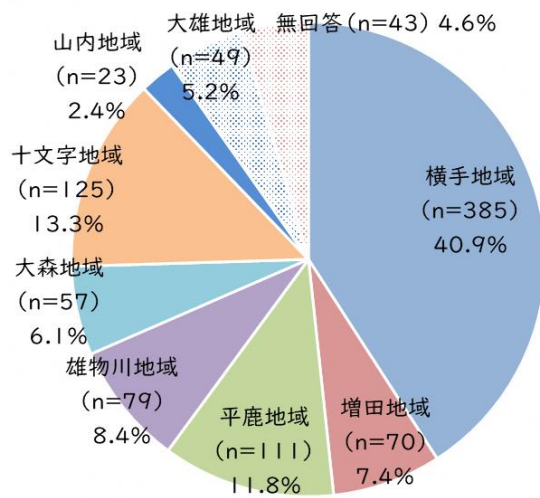
問14 市内の公共交通に関することや日々の移動に関する困りごとについて、ご意見がありましたらご自由にお書きください。

(自由記述欄)

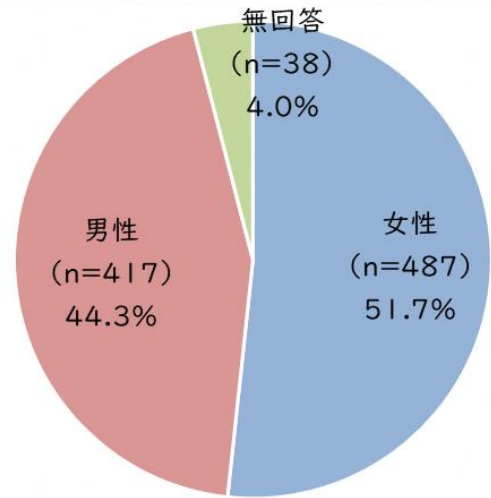
質問は以上となります。お忙しい中、アンケートにご協力くださり誠にありがとうございました。同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストに投函してください。

1-2 調査結果

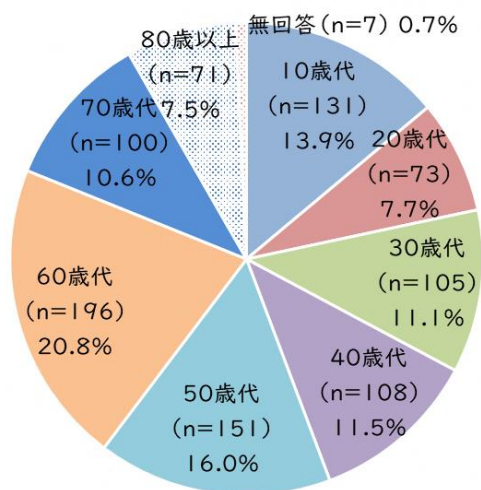
問 1-1 居住地域



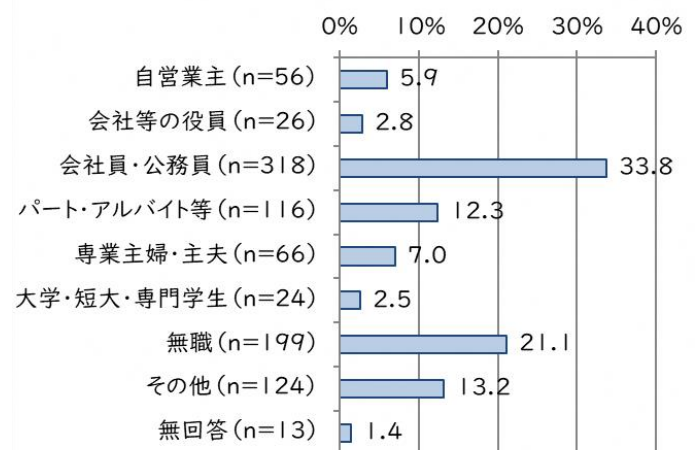
問 1-2 性別



問 1-3 年齢

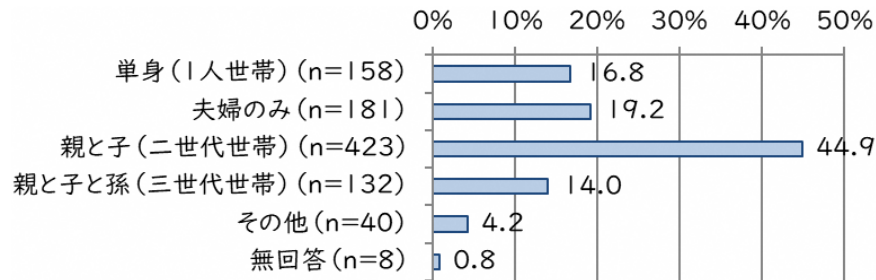


問 1-4 職業



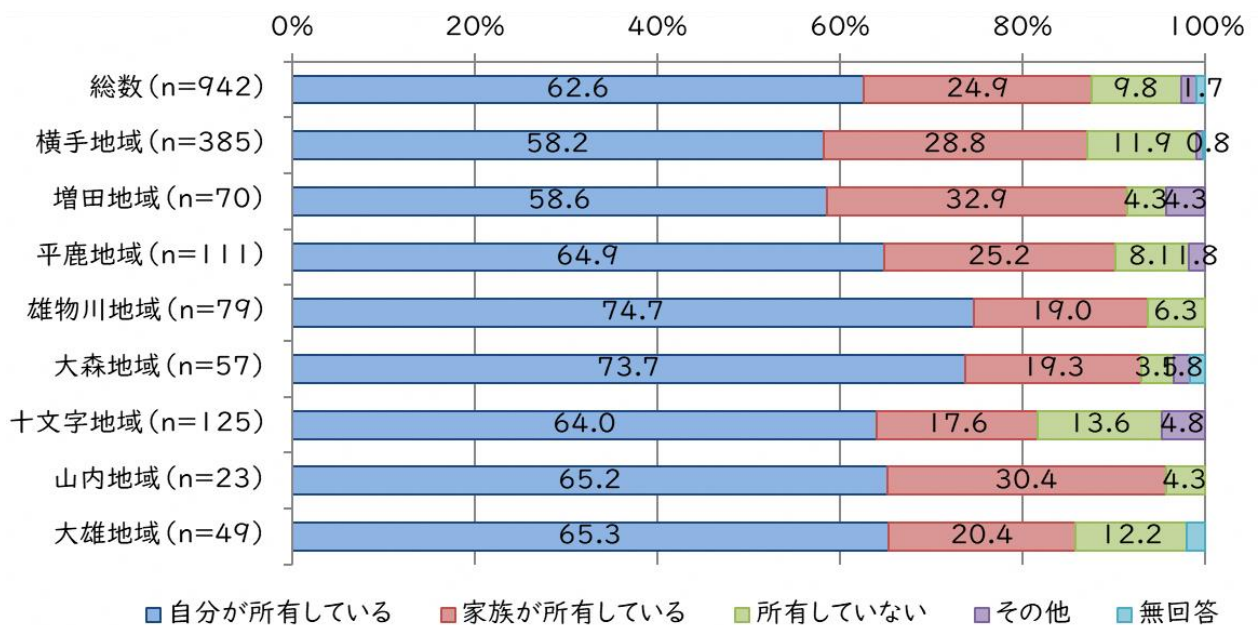
問 1-5 世帯の構成

世帯構成は、「親と子(二世帯世帯)」が44.9%で最も多くなっており、次いで「夫婦のみ」が19.2%となっている。



問 1-6 自動車の保有状況

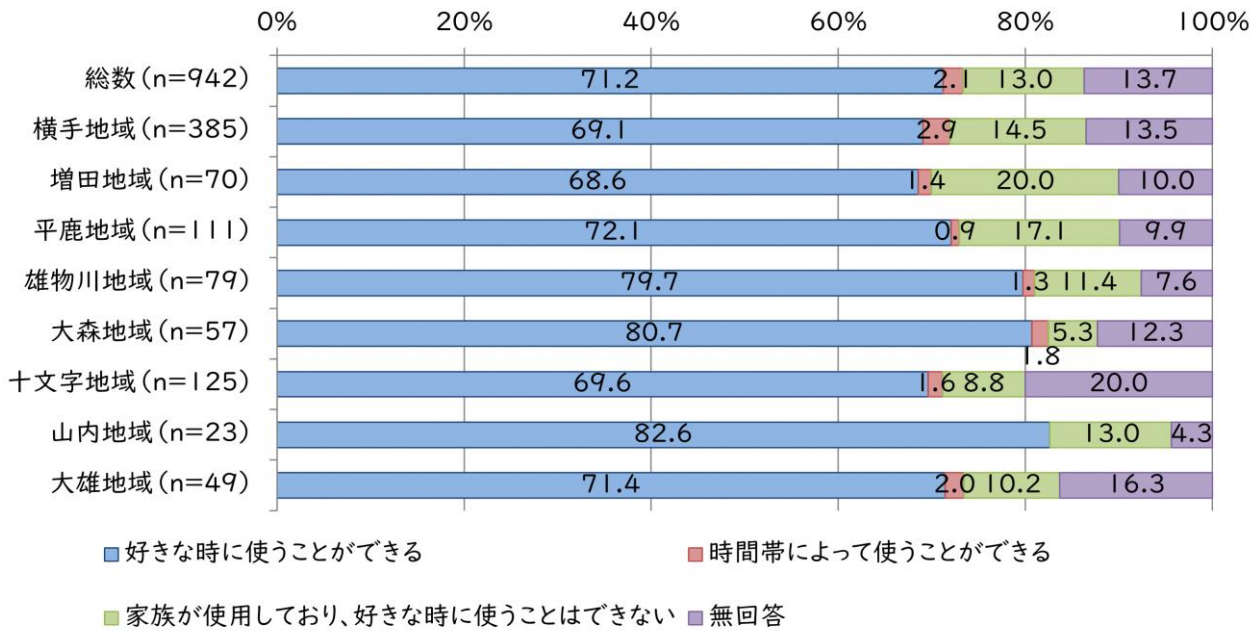
自動車の保有状況は、「自分が所有している」が62.6%で最も多くなっており、次いで「家族が所有している」が24.9%となっている。約90%の世帯には自動車があると言える。



問 1-7 自動車の使用状況

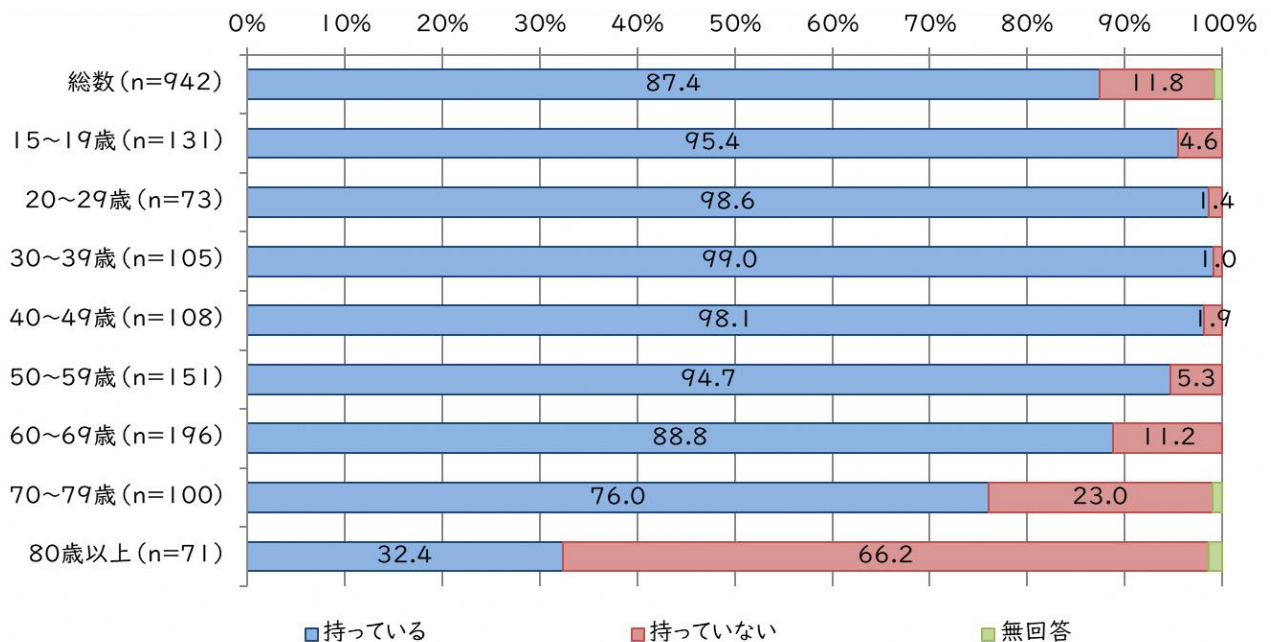
自動車の使用状況は、「好きな時に使うことができる」が71.2%と最も多くなっており、次いで「家族が使用しており、好きな時に使うことができない」が13%となっている。

時間帯によって、移動の足の確保が必要な層が約15%存在していると言える。



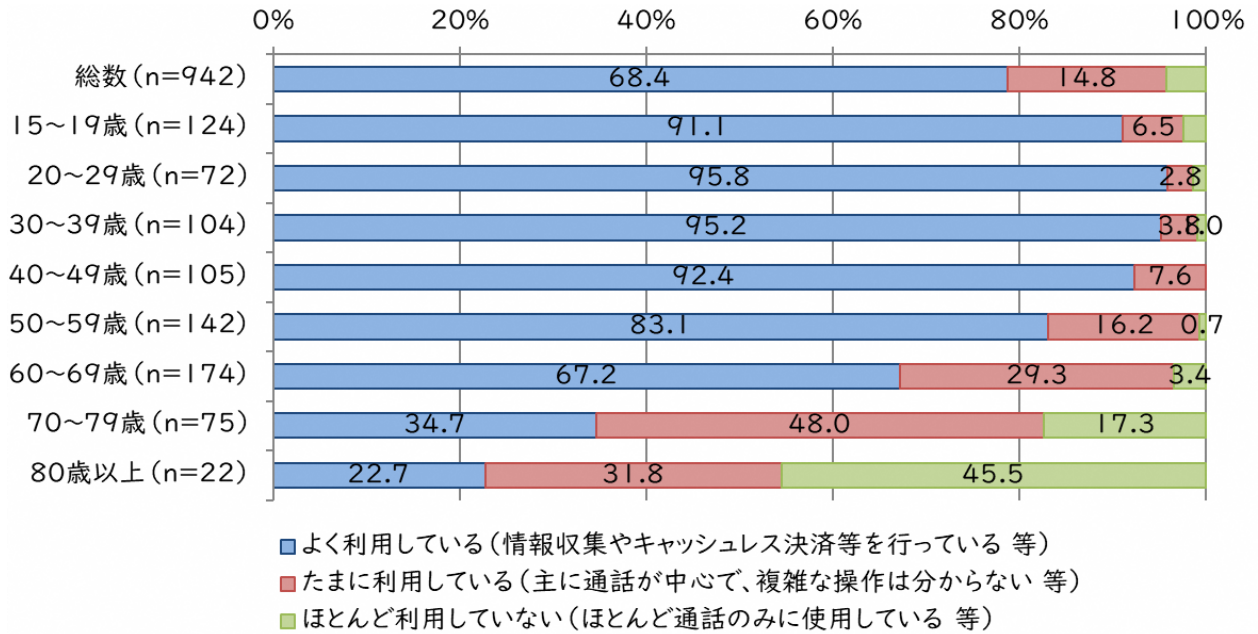
問 1-8 スマートフォンの保有状況

スマートフォンの保有状況は、約87%の市民が保有しているが、年齢が高くなるにつれて、保有率が低くなる傾向にある。



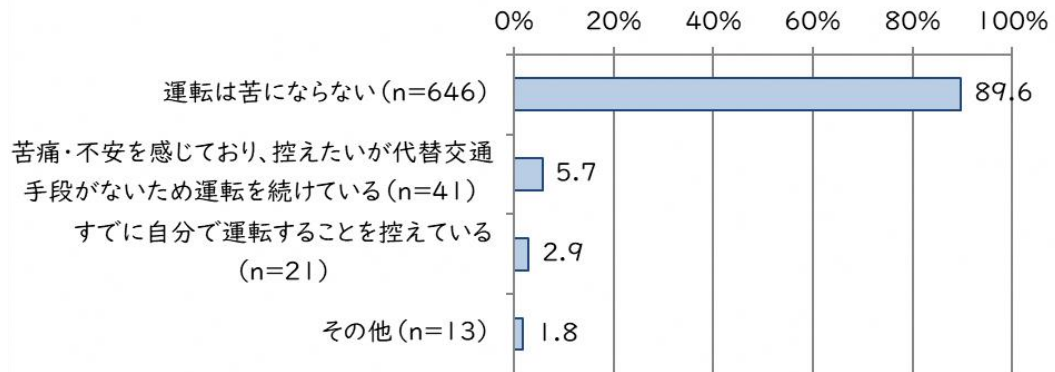
問 1-9 スマートフォンの使用状況

スマートフォンの使用状況は、約68%の市民は情報収集やキャッシュレス決済など、多様な使い方をしていることがわかる。年齢が高くなるにつれて、複雑な操作ができない(行っていない)傾向にある。



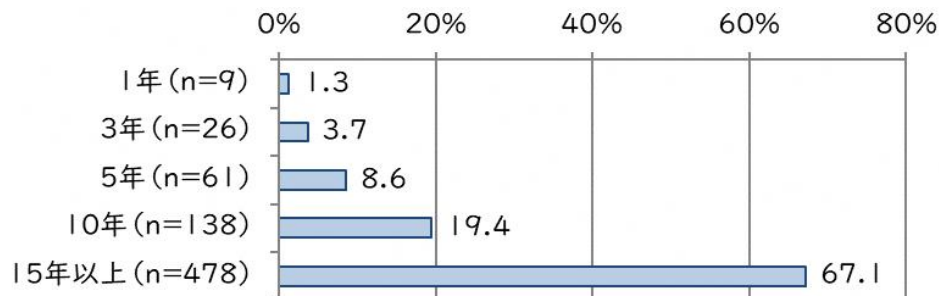
問2-1 運転について

「運転は苦にならない」が89.6%で最も多くなっているが、「代替手段がないため運転している」が5.7%、「すでに控えている」が2.9%となっており、約9%が自分で運転することに消極的、あるいはすでに運転をしていないことが分かる。



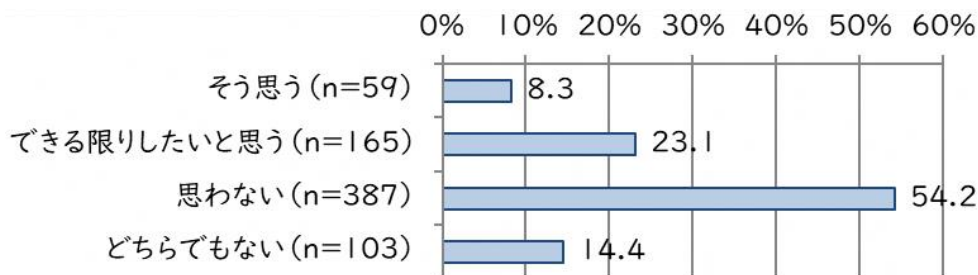
問2-2 あと何年運転を続けたいか

運転の継続意志は、「15年以上」が67.1%と最も多くなっているが、5年以内に辞めたいという層も13.6%いる。



問2-3 自動車に頼らない生活をしたいか

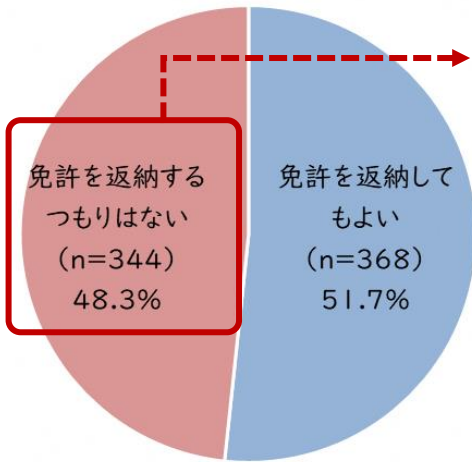
自動車に頼らない生活は、「思わない」が54.2%と最も多くなっているが、「できる限りしたいと思う」が23.1%、「そう思う」が8.3%と約30%の市民は自動車に頼らない生活を望んでいる。



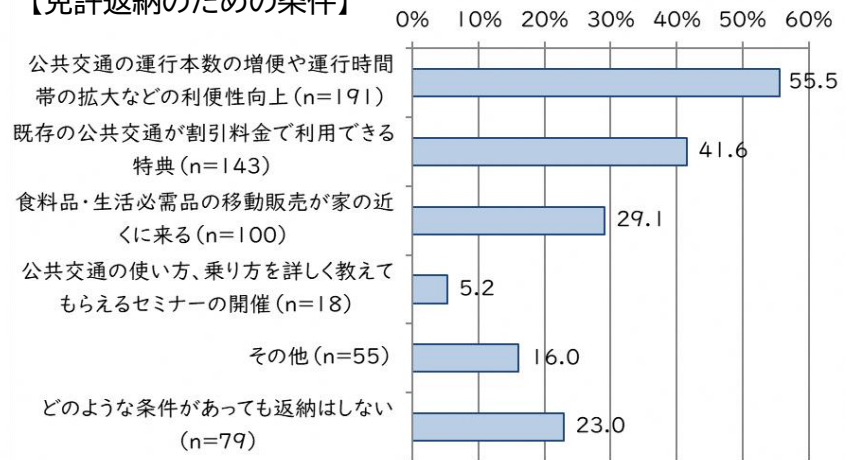
問2-4 免許返納について／問2-5 免許返納の条件

「免許を返納するつもりはない」が48.3%となっており、運転免許返納の条件は、「公共交通機関の利便性向上」が55.5%で最も多くなっている。

【免許返納の意志】

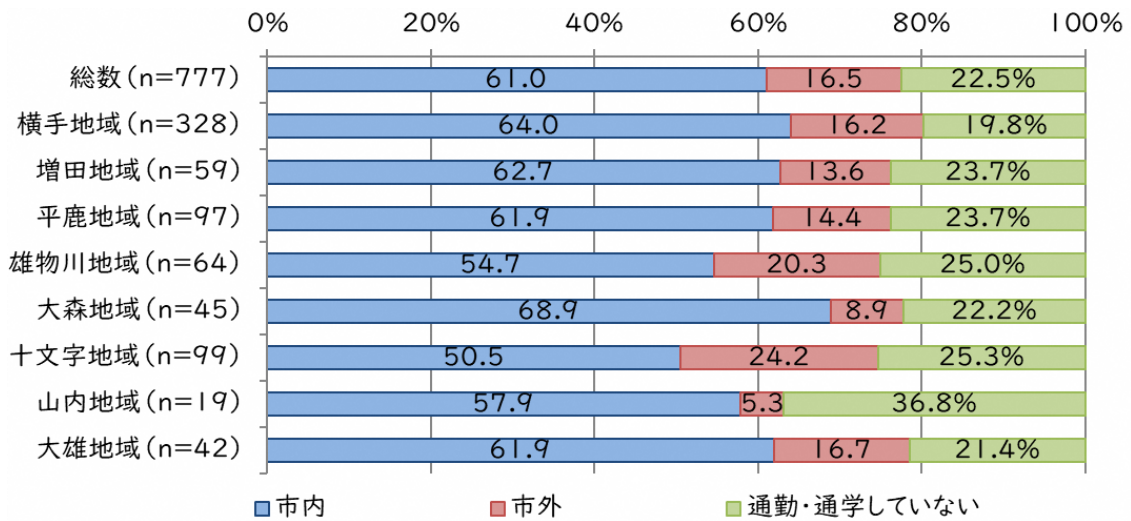


【免許返納のための条件】



問3-1-1 通勤通学の行き先

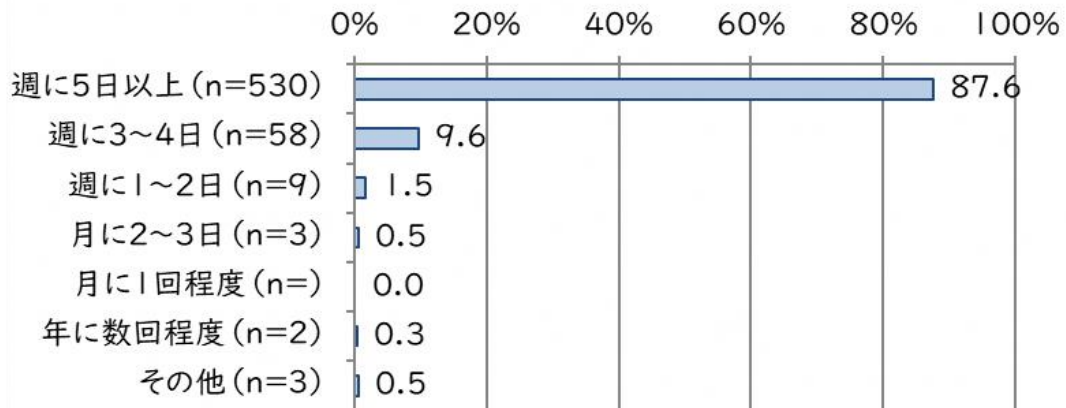
通勤通学の行き先は、「市内」が61%と多く、次いで「市外」が16.5%となっている。「市外」の主な行き先については、多い順に湯沢市(42件)、大仙市(23件)、秋田市(22件)、由利本荘市(4件)、東成瀬村(1件)等となっている。



⇒市外の主な行き先：湯沢市 42 件、大仙市 23 件、秋田市 22 件、由利本荘市 4 件、東成瀬村 1 件等

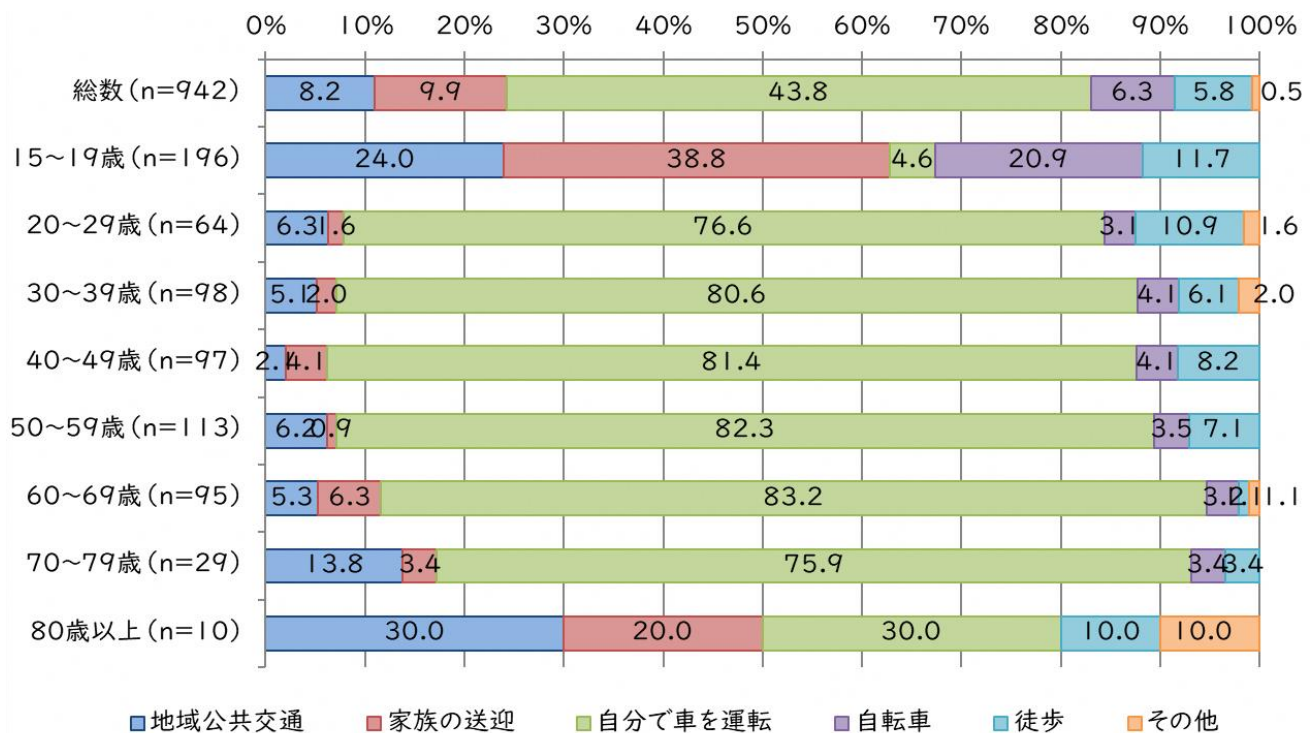
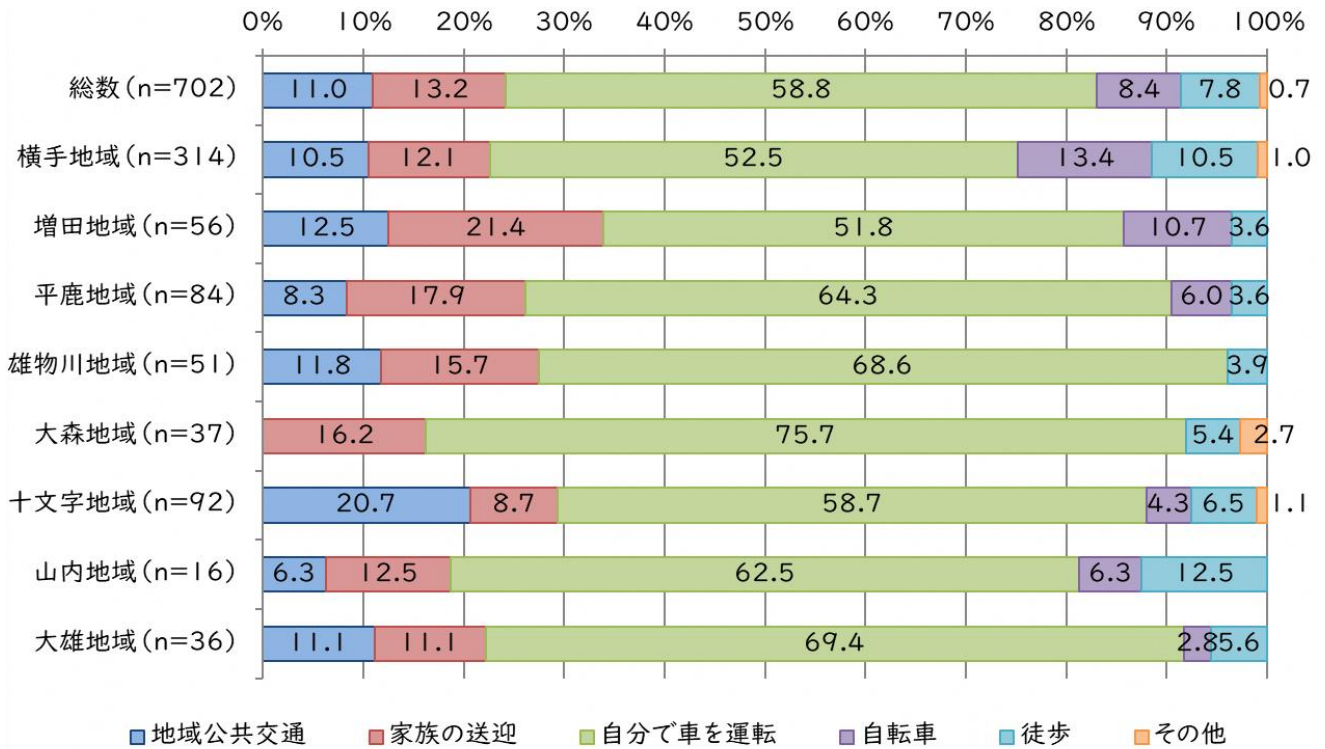
問3-1-2 通勤通学の頻度

通勤通学の頻度は、「週に5日以上」が87.6%と最も多くなっており、次いで「週に3~4日」が9.6%となっている。



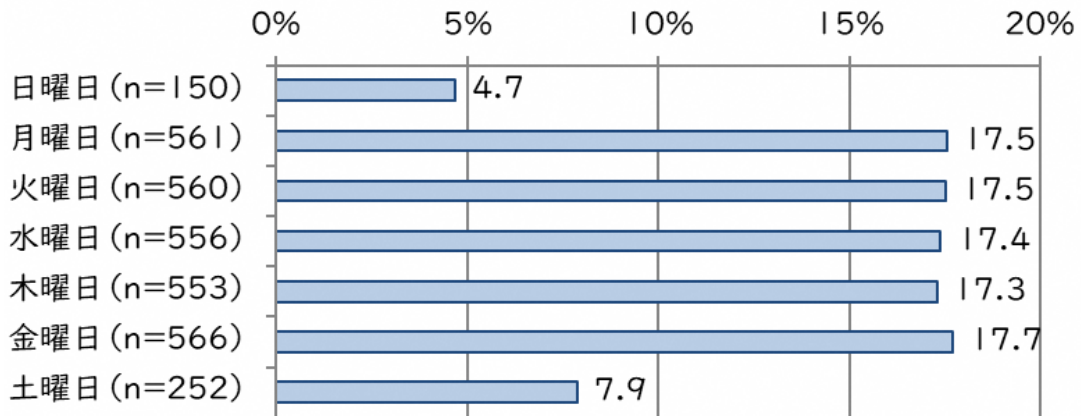
問3-1-3 通勤通学時の交通手段

通勤通学時の交通手段では、「自分で車を運転」が58.8%と最も多くなっており、次いで「家族の送迎」が13.2%となっている。「地域公共交通」は、地域別では十文字地域、年代別では「15～19歳」、「80歳以上」が多くなっている。



問3-1-4 通勤通学する曜日

通勤通学する曜日は、平日が多くなっているが、土曜日が7.9%、日曜日が4.7%と休日に通勤する市民も一定数いる。



問3-1-5 通勤通学の時間帯

通勤通学の時間帯は、朝6時台～8時台に自宅を出発し、17時台～19時以降の帰宅が多くなっている。

出発/帰宅	～6時	6時台	7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台	19時～
～6時	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3	2	0	2	4
6時台	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	6	12	14	25
7時台	6	3	4	1	3	1	0	2	6	3	4	12	58	120	92
8時台	1	0	0	0	1	0	2	2	1	4	7	14	33	49	26
9時台	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	5	2	3	6
10時台	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0	1	2	1	3
11時台	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
12時台	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
13時台	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3
14時台	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
15時台	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
16時台	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
17時台	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
18時台	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19時～	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

問3-2-1 買い物の行先

居住地域ごとの買い物の行先をランキング形式で整理しており、居住地域内は身近なスーパーが多いが、居住地域外では、横手地域のイオンやイオンモール大曲など、大型商業施設に行く傾向がある。

横手地域

順位	居住地域内	居住地域外
1	よねやハッピーモール店(27票)	イオンモール大曲店(63票)
2	ビフレ横手店(26票)	スーパーモールラッキー(11票)
3	グラン마트横手店(24票)	道の駅 十文字(7票)
4	イオン横手店(18票)	イオンモール秋田店(5票)
5	よねや南店(14票)	スーパーオセン(4票)

※店名が判別できない場合は、無効票扱いとしている。

増田地域

順位	居住地域内	居住地域外
1	マルシメ(9票)	スーパーモールラッキー(11票)
2	薬王堂(6票)	イオン(6票)
3		マックスバリュ(3票)

※店名が判別できない場合は、無効票扱いとしている。

※1票しかない店名については、割愛

平鹿地域

順位	居住地域内	居住地域外
1	マックスバリュ平鹿店(33票)	イオンモール大曲店(8票)
2	薬王堂(10票)	スーパーモールラッキー(7票)
3	ツルハドラッグ(4票)	バザール、 スーパーセンタートラスト(6票)

※店名が判別できない場合は、無効票扱いとしている。

※1票しかない店名については、割愛

雄物川地域

順位	居住地域内	居住地域外
1	スーパーセンタートラスト(33票)	イオン(8票)
2	マックスバリュ(21票)	バザール(7票)
3		よねや(4票)

※店名が判別できない場合は、無効票扱いとしている。

※1票しかない店名については、割愛

大森地域

順位	居住地域内	居住地域外
1	うえたストア(20票)	イオンモール大曲店(7票)
2	ツルハドラッグ(6票)	イオン横手店(7票)
3		バザール(2票)

※店名が判別できない場合は、無効票扱いとしている。

※1票しかない店名については、割愛

十文字地域

順位	居住地域内	居住地域外
1	グランマート十文字店(21票)	イオン横手店(11票)
2	スーパーモールラッキー(19票)	イオンモール大曲店(8票)
3	マックスバリュ十文字南店(7票)	MEGAドン・キホーテ横手店(5票)

※店名が判別できない場合は、無効票扱いとしている。

※1票しかない店名については、割愛

山内地域

順位	居住地域内	居住地域外
1	ローソン横手山内店(3票)	イオン横手店(3票)
2		よねや南店(2票)
3		バザール(2票)

※店名が判別できない場合は、無効票扱いとしている。

※1票しかない店名については、割愛

大雄地域

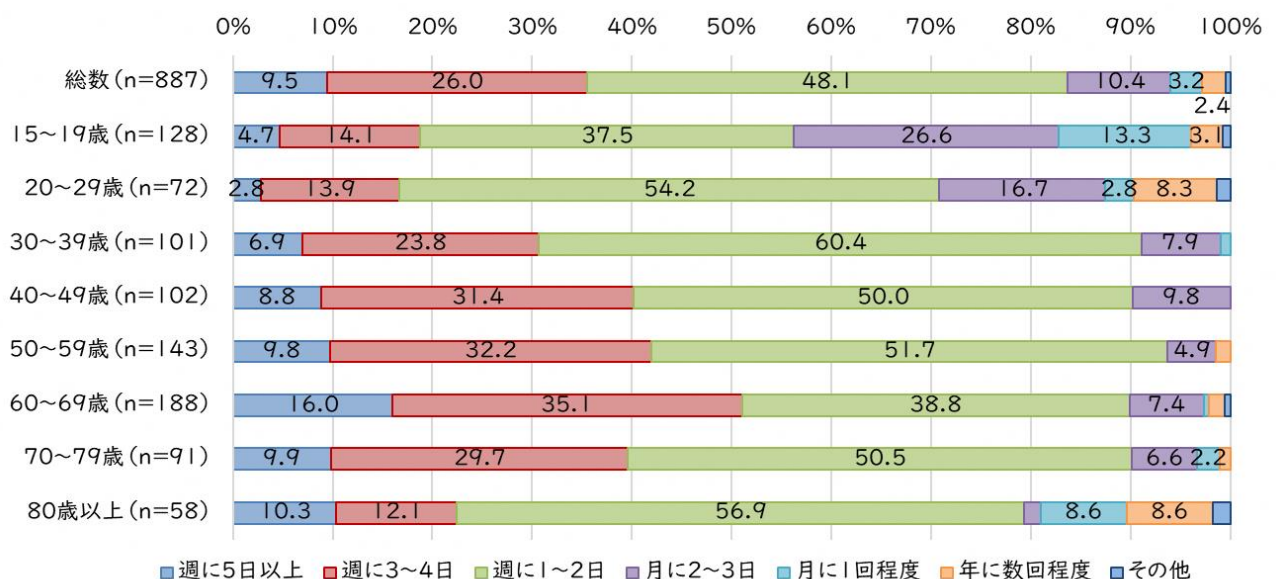
順位	居住地域内	居住地域外
1	薬王堂(10票)	イオンモール大曲店、 ビフレ横手店(4票)
2	バザール(3票)	うえたストア(2票)

※店名が判別できない場合は、無効票扱いとしている。

※1票しかない店名については、割愛

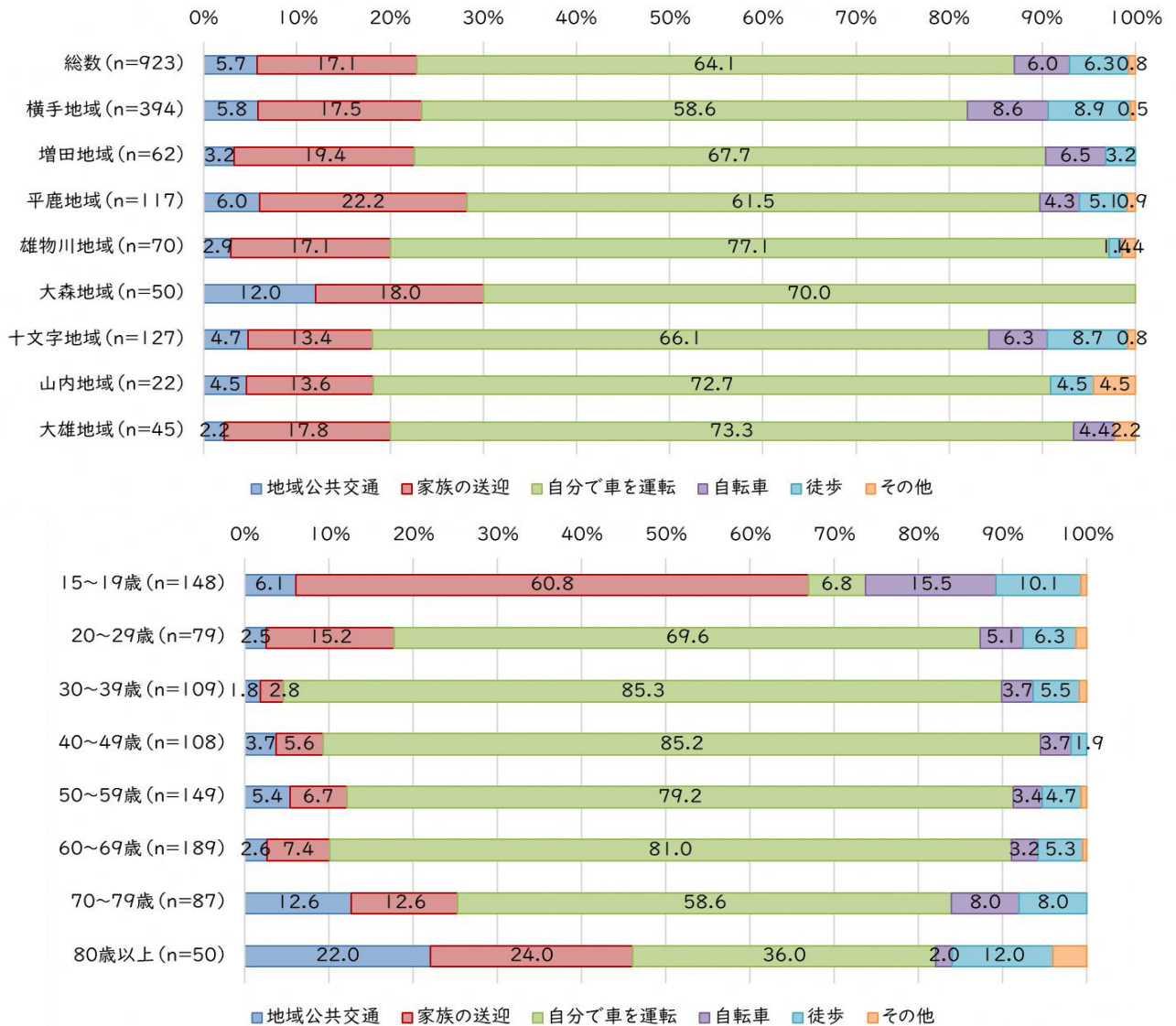
問 3-2-2 買い物の頻度

買い物の頻度は、80%以上の市民は「週に1～2日」以上の頻度で買い物をしており、「60～69歳」までは、年齢層が高いほど頻度が高くなる傾向にあるが、「70～79歳」や「80歳以上」では、頻度が低くなっている。



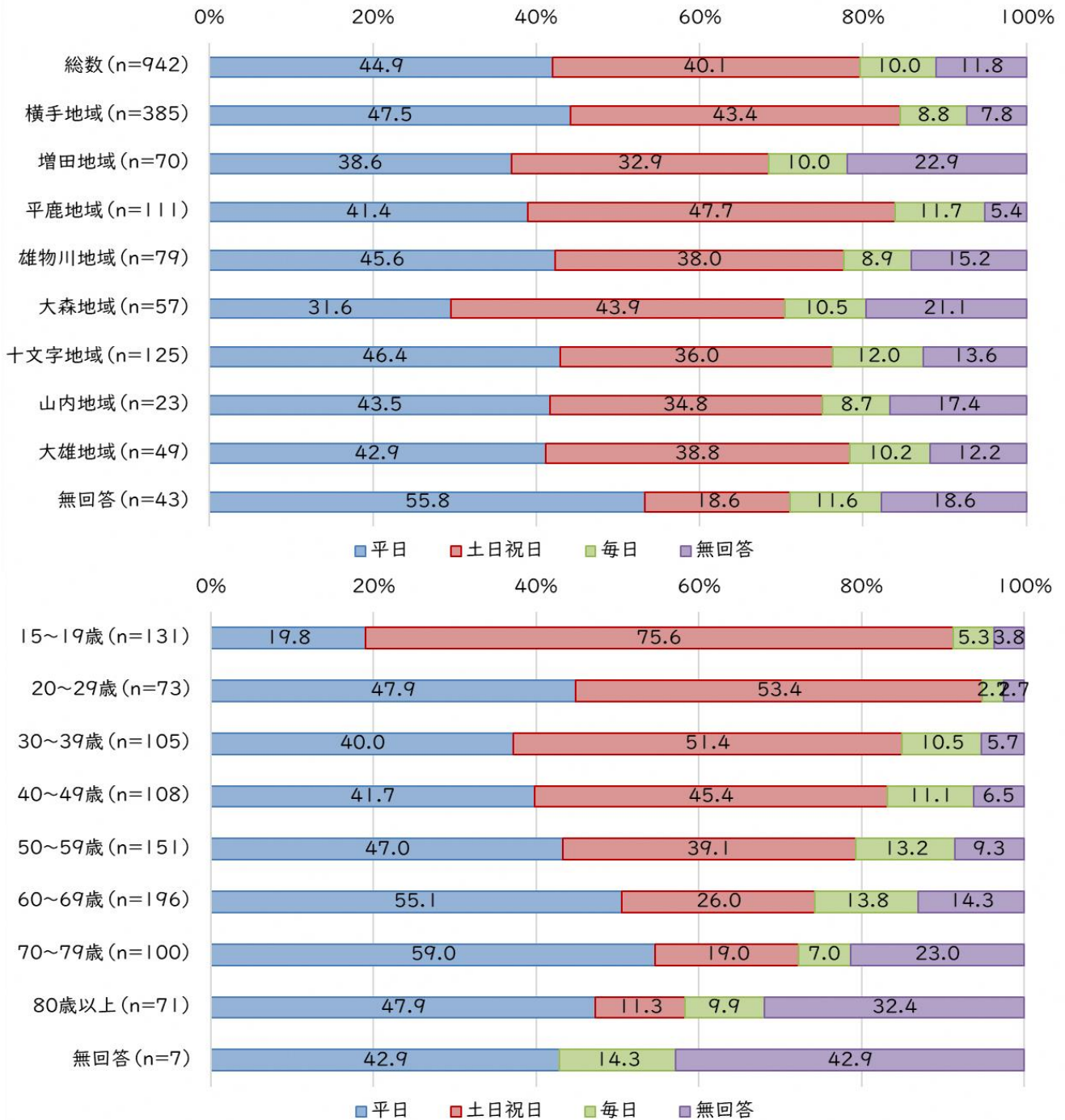
問3-2-3 買い物時の交通手段

買い物時の交通手段は、「自分で車を運転」が64.1%と最も多くなっている。「地域公共交通」の利用は、地域別では「大森地域」、年代別では「80歳以上」で多くなっている。



問 3-2-4 買い物をする曜日

買い物をする曜日は、「平日」が最も多くなっているが、「平鹿地域」「大森地域」では「土日祝日」がやや多くなっている。年代別では、年代が高くなるにつれて、「土日祝日」の買い物を控える傾向にある。



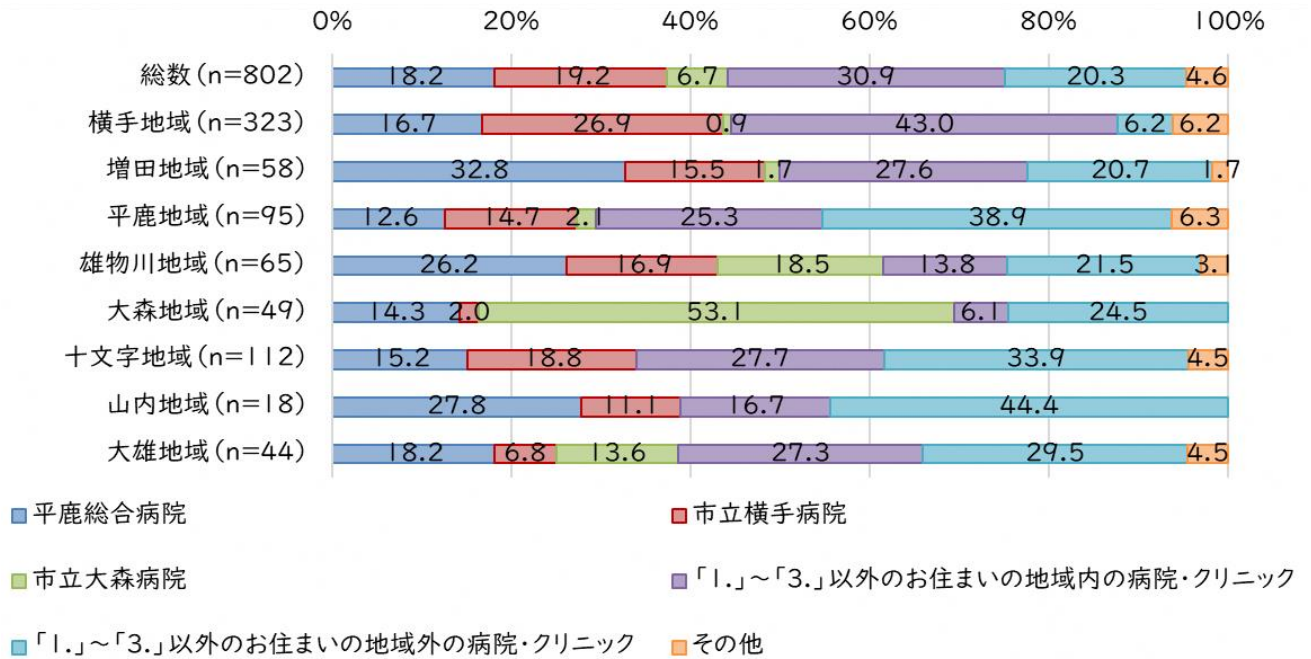
問 3-2-5 買い物をする時間帯

買い物をする時間帯は、午前中の9時台～10時台に出発し、11時台～12時台に帰宅するという午前に行動する市民と、14時台～17時台に出発し、18時台～19時台に帰宅するという午後に行動する市民に分かれている傾向にある。

出発／帰宅	6時台	7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台	19時台	20時台	21時台	22時台
6時台	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0
7時台	0	1	0	1	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	2	0	0
8時台	0	0	1	1	1	1	0	1	2	0	0	0	1	2	0	1	0
9時台	0	0	0	2	16	28	11	2	1	1	1	2	4	0	0	0	0
10時台	0	0	0	0	3	67	48	12	8	9	7	8	3	1	0	1	0
11時台	0	0	0	0	0	3	17	11	11	5	3	1	0	0	1	0	0
12時台	0	0	0	0	0	0	1	6	2	0	2	1	1	0	1	0	0
13時台	0	0	0	0	0	0	0	0	6	8	6	8	2	0	1	0	0
14時台	0	0	0	0	0	0	0	0	1	10	19	6	0	0	0	0	0
15時台	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	15	20	4	1	0	1	0
16時台	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	25	7	1	0	0	0
17時台	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	19	7	0	0	0
18時台	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	21	4	2	0
19時台	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	8	3	0
20時台	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	2	1
21時台	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2

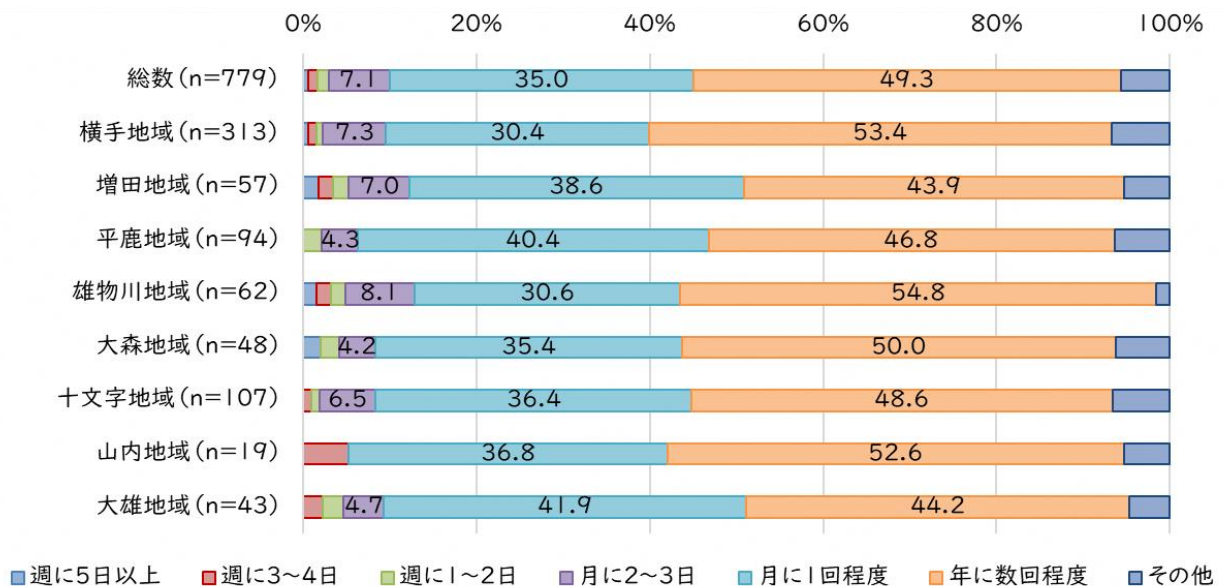
問 3-3-1 通院の行き先

通院の行き先は、「居住地域内の病院・クリニック」が30.9%と最も多くなっており、次いで「居住地域外の病院・クリニック」が20.3%となっている。



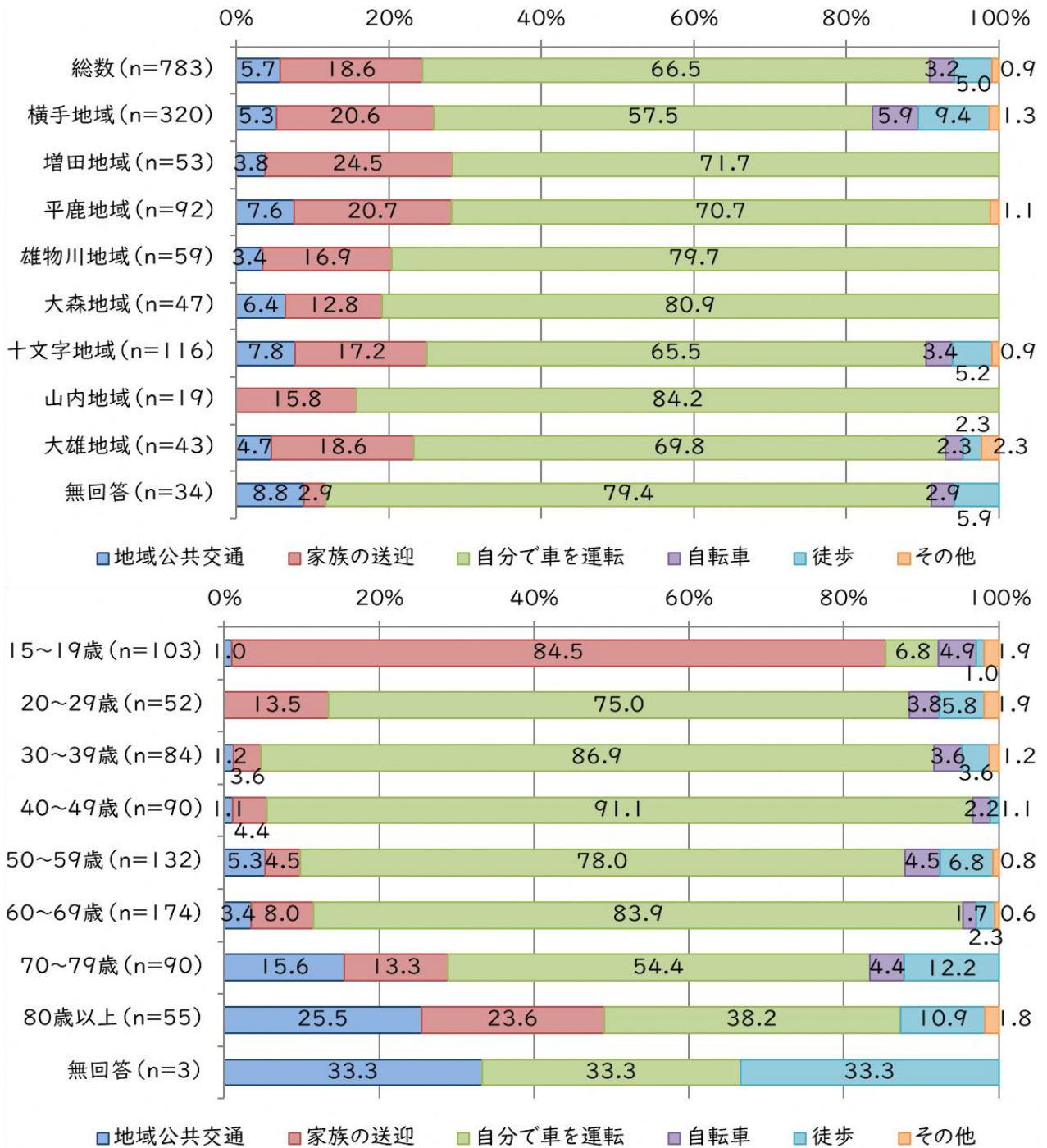
問 3-3-2 通院の頻度

通院の頻度は、「年に数回程度」が49.3%と最も多くなっており、次いで「月に1回程度」が35.0%と多くなっている。



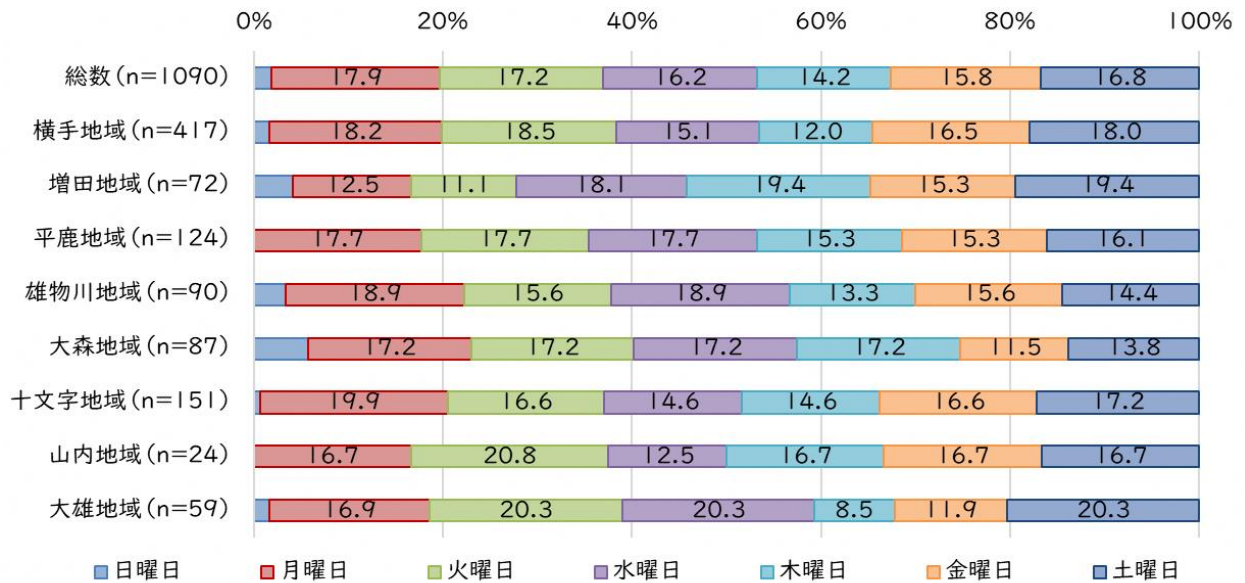
問 3-3-3 通院時の交通手段

通院時の交通手段は、「自分で車を運転」が66.5%と最も多くなっており、「地域公共交通」の利用は、地域別では山内地域、年代別では20歳代が少ない状況にある。



問 3-3-4 通院する曜日

通院する曜日は、平日では大きな偏りは見られないが、比較的「月曜日」に多く、「木曜日」が少ない傾向にある。地域別では、「増田地域」で「水曜日」と「木曜日」が多くなっており、その他の地域と異なる傾向にある。



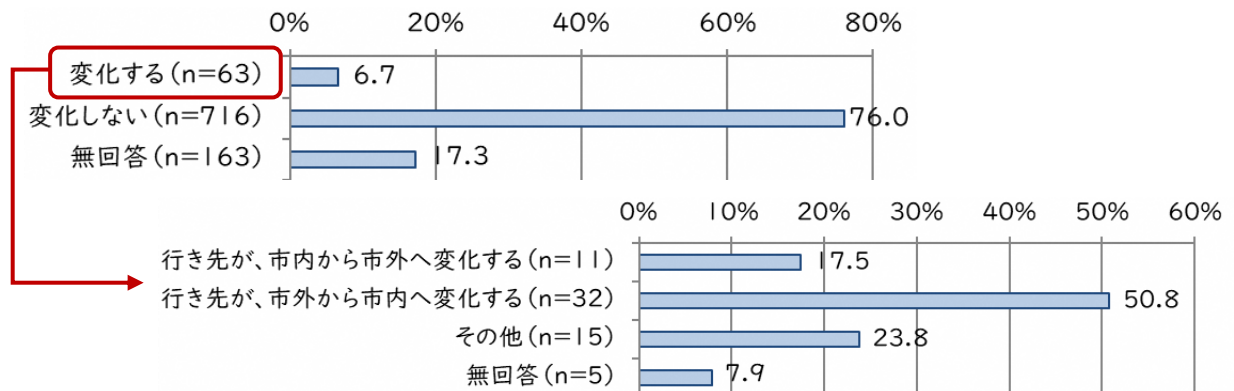
問 3-3-5 通院の時間帯

通院時の行動時間帯は、8時台～9時台に出発し、概ね13時台まで帰宅するという市民が多く、9時台に自宅を出発し11時台に帰宅するという行動パターンが最も多い。

出発／帰宅	6時台	7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台	19時台	20時台	21時台	22時台	23時台
6時台	0	0	0	1	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
7時台	0	0	1	5	4	9	4	5	2	2	0	0	1	0	0	0	0	0
8時台	0	0	0	9	35	49	41	18	4	4	1	3	0	1	0	1	0	0
9時台	0	0	0	0	22	73	44	17	6	2	2	1	0	0	0	0	0	1
10時台	0	0	0	0	0	30	33	10	6	2	0	1	0	0	0	0	0	1
11時台	0	0	0	0	0	0	9	4	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0
12時台	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	1	0	1	0	0	0
13時台	0	0	0	0	0	0	0	0	4	5	6	0	0	0	0	0	0	0
14時台	0	0	0	0	0	0	0	0	1	9	4	3	0	0	1	0	0	0
15時台	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	10	1	0	0	0	0	0
16時台	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	11	10	0	0	0	0	0
17時台	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	2	1	0	0	0
18時台	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0

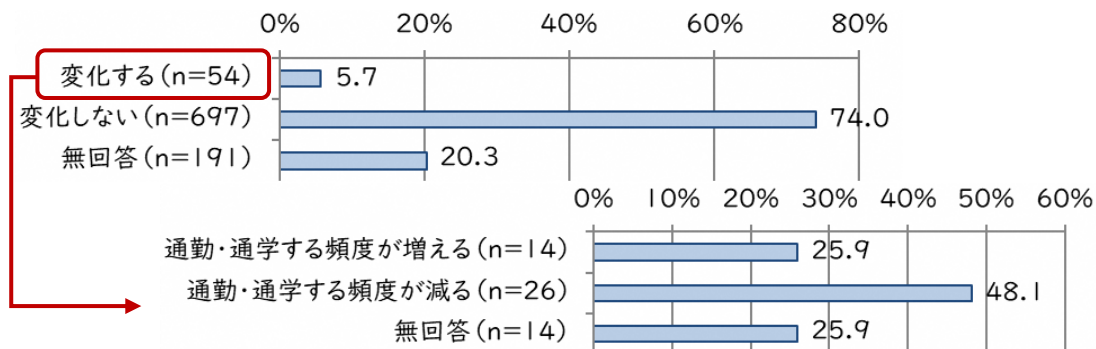
問4-1-1 【通勤・通学の行き先】冬期間と冬期間以外(夏場等)で変化する項目

冬期間の通勤・通学の行き先は、冬期間以外(夏場等)と比べて変化する割合は 6.7%であり、変化の状況は「行き先が市外から市内へ変化する」が50.8%と最も多くなっている。



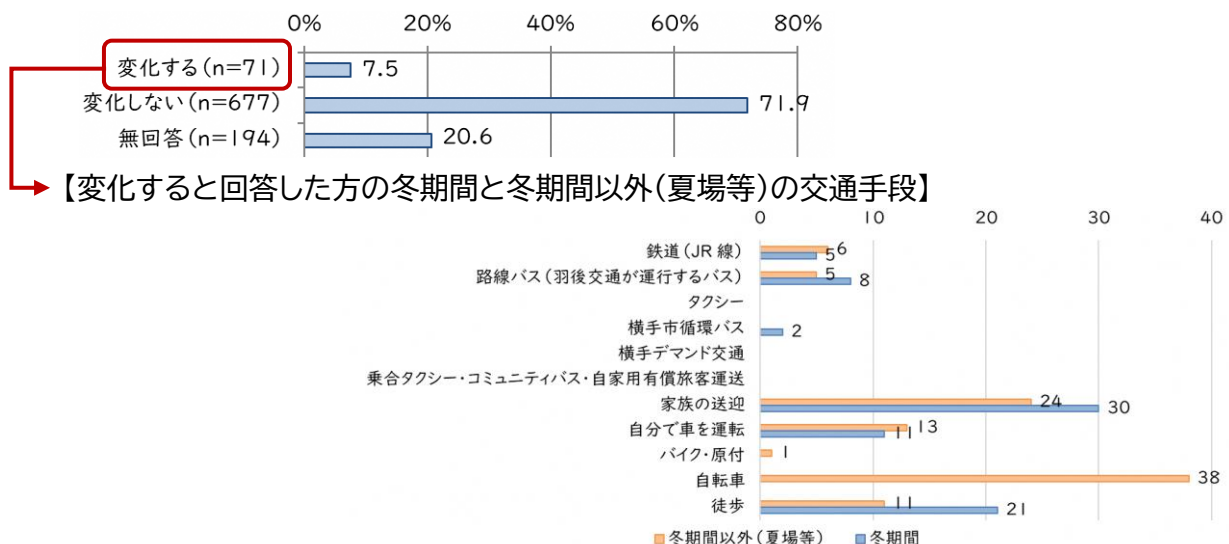
問4-1-2 【通勤・通学の頻度】冬期間と冬期間以外(夏場等)で変化する項目

冬期間の通勤・通学の頻度は、冬期間以外(夏場等)と比べて変化する割合は5.7%であり、変化の状況は「通勤・通学の頻度が減る」が48.1%と最も多くなっている。



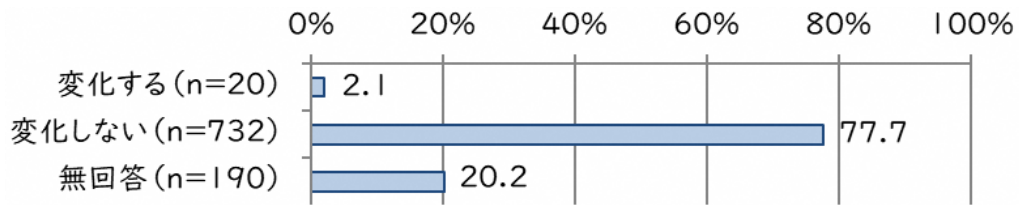
問4-1-3 【通勤・通学の交通手段】冬期間と冬期間以外(夏場等)で変化する項目

冬期間の通勤通学の交通手段は、冬期間以外(夏場等)と比べて変化する割合は7.5%となっている。冬期間以外(夏場等)は「自転車」が最も多くなっていたが、冬期間では「路線バス」や「家族の送迎」、「徒歩」が多くなっていることから、「自転車」の代替手段となっている。また、冬期間は冬期間以外(夏場等)よりも選択している交通手段の数が減少していることから、限られた交通手段で移動していることが推測される。



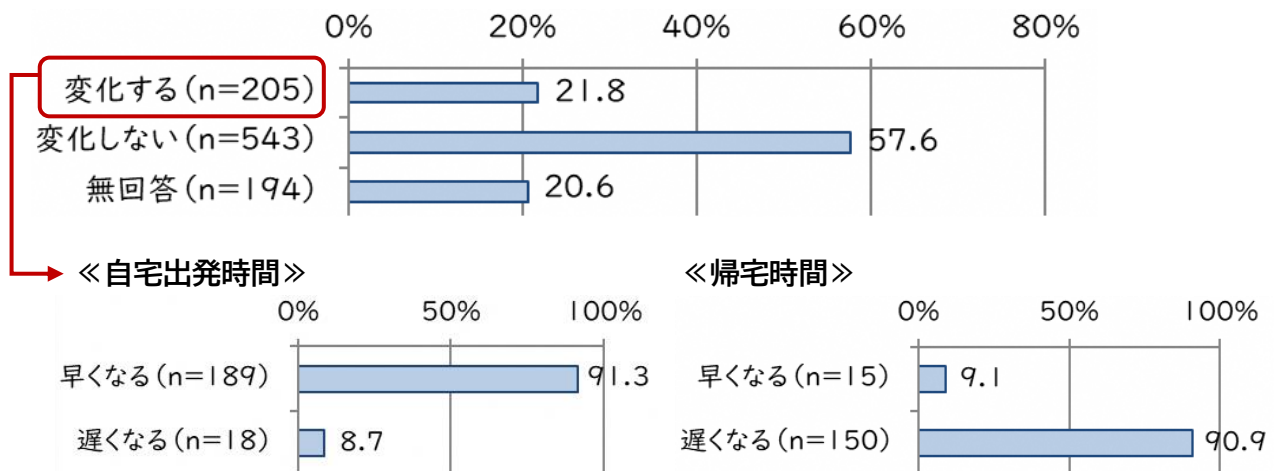
問4-1-4 【通勤・通学の曜日】冬期間と冬期間以外(夏場等)で変化する項目

冬期間の通勤通学の曜日は、冬期間以外(夏場等)と比べて変化する割合は2.1%となっている。



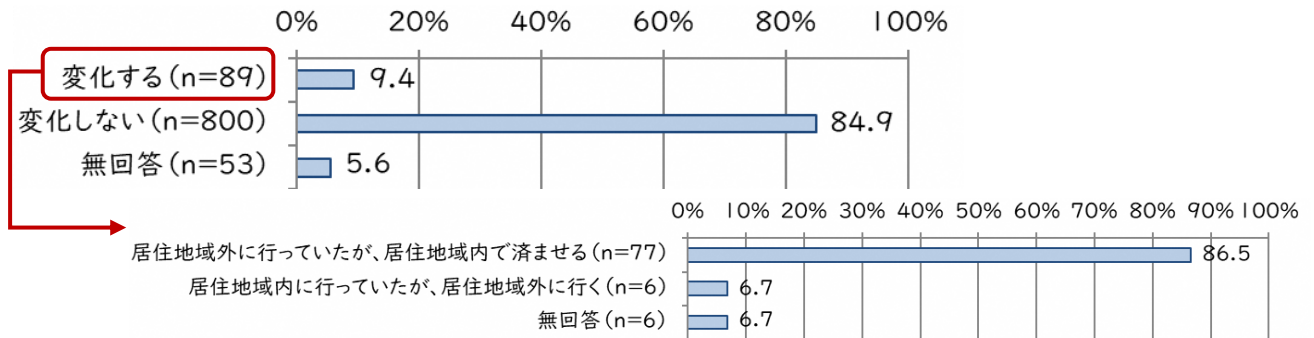
問4-1-5 【通勤・通学の時間】冬期間と冬期間以外(夏場等)で変化する項目

冬期間の通勤通学の時間は、冬期間以外(夏場等)と比べて変化する割合は21.8%であり、他の項目よりも多くなっている。変化の状況は自宅出発時間が早くなり、帰宅時間が遅くなる傾向にある。



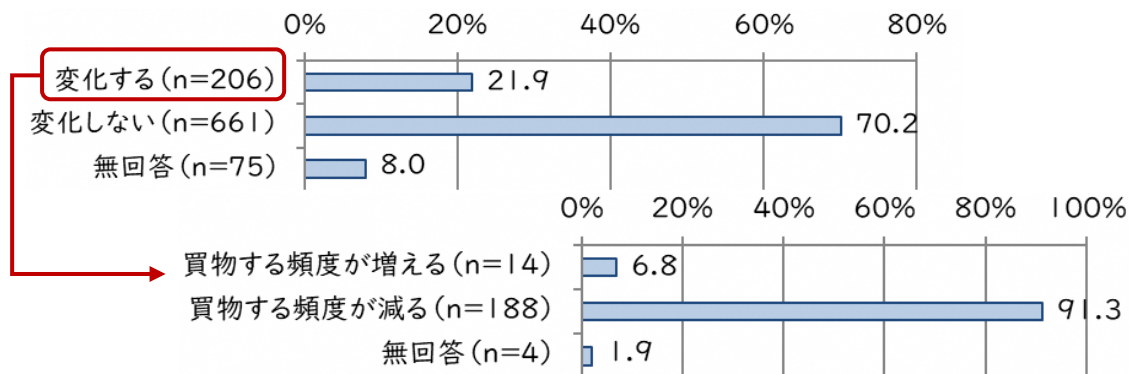
問4-2-1 【買い物の行き先】冬期間と冬期間以外(夏場等)で変化する項目

冬期間の買い物の行き先は、冬期間以外(夏場等)と比べて変化する割合は9.4%であり、変化の状況は「居住地域外に行っていたが、居住地域内で済ませる」が86.5%と最も多くなっている。



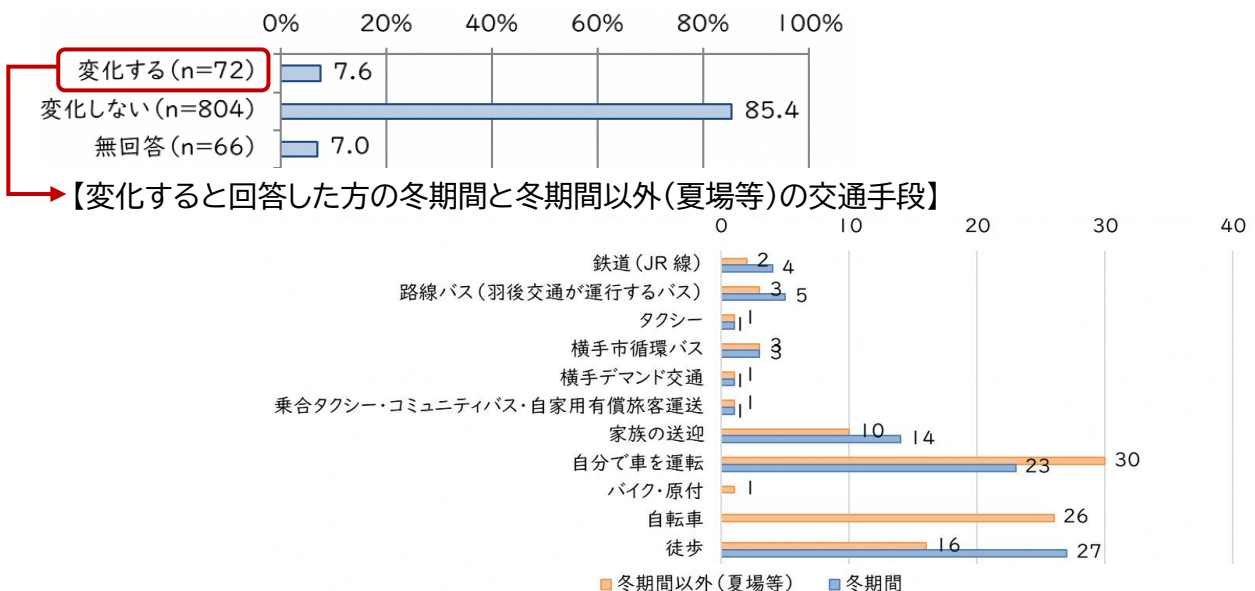
問4-2-2 【買い物の頻度】冬期間と冬期間以外(夏場等)で変化する項目

冬期間の買い物の頻度は、冬期間以外(夏場等)と比べて変化する割合は21.9%であり、変化の状況は「買い物する頻度が減る」が91.3%と最も多くなっている。



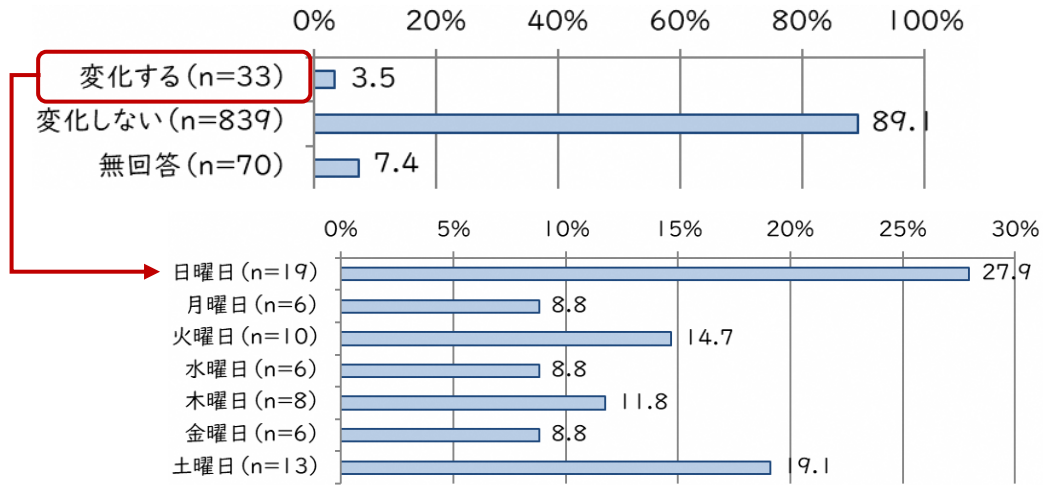
問4-2-3 【買い物時の交通手段】冬期間と冬期間以外(夏場等)で変化する項目

冬期間の買い物時の交通手段は、冬期間以外(夏場等)と比べて変化する割合は7.6%であり、冬期間以外(夏場)では、「自分で車を運転」や「自転車」が多くなっているが、冬期間では「家族の送迎」や「徒歩」が増える傾向にある。また、「自分で車を運転」していた人が冬期間では減少しており、雪道など危険が多い時期の運転を控えている傾向にある。



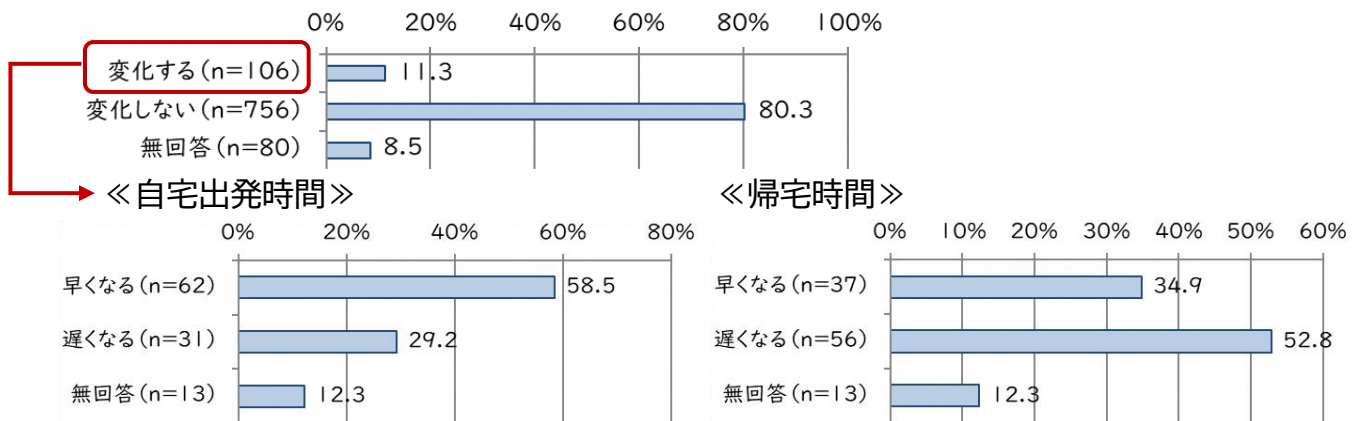
問4-2-4 【買い物をする曜日】冬期間と冬期間以外(夏場等)で変化する項目

冬期間の買い物をする曜日は、冬期間以外(夏場等)と比べて変化する割合は3.5%であり、変化の状況は土曜日・日曜日の買い物が増える傾向にある。



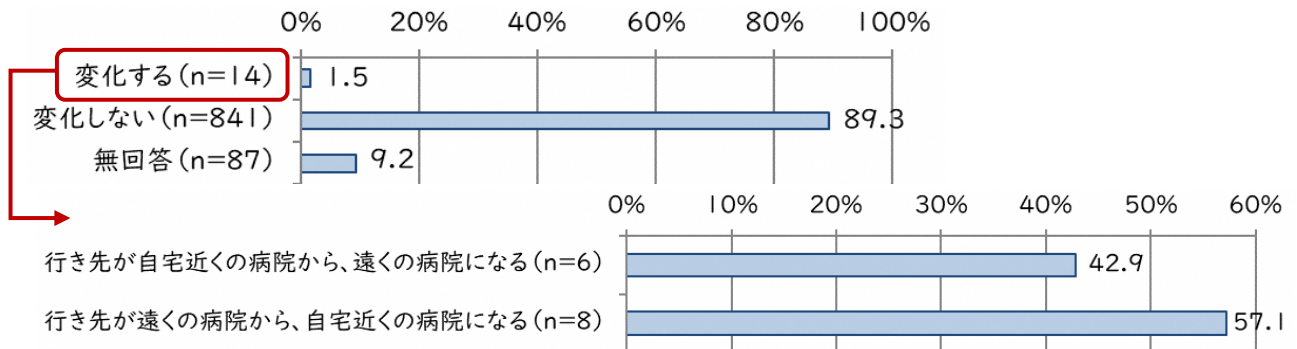
問4-2-5 【買い物時の時間】冬期間と冬期間以外(夏場等)で変化する項目

冬期間の買い物の時間は、冬期間以外(夏場等)と比べて変化する割合は11.3%であり、変化の状況は自宅出発時間が早くなり、帰宅時間が遅くなる傾向にある。



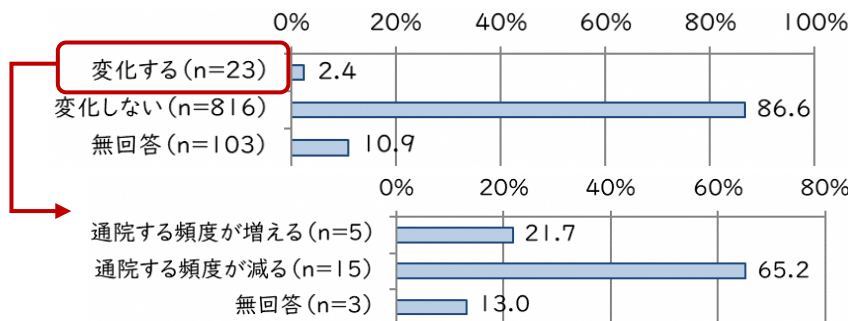
問4-3-1 【通院の行き先】冬期間と冬期間以外(夏場等)で変化する項目

冬期間の通院の行き先は、冬期間以外(夏場等)と比べて変化する割合は1.5%であり、ほとんど変化していない。また、変化の状況は「行き先が遠くの病院から、自宅近くの病院になる」が比較的多くなっている。



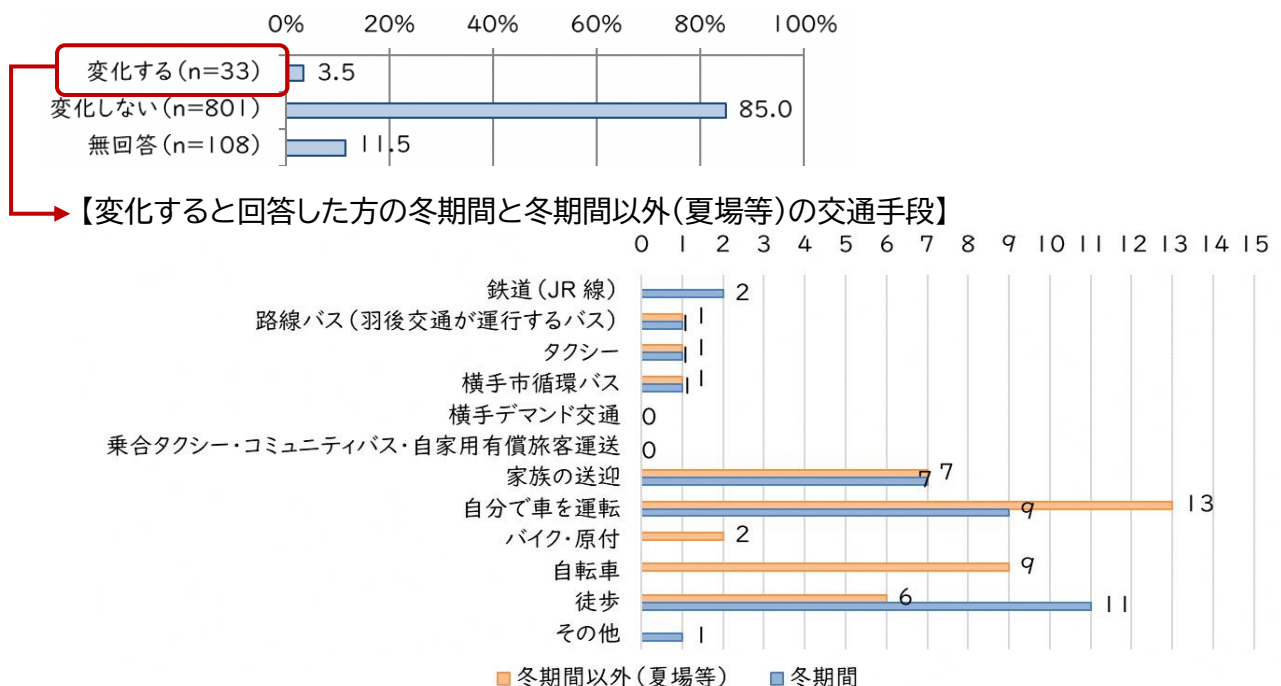
問4-3-2 【通院の頻度】冬期間と冬期間以外(夏場等)で変化する項目

冬期間の通院の頻度は、冬期間以外(夏場等)と比べて変化する割合は2.4%であり、変化の状況は「通院する頻度が減る」が65.2%と最も多くなっている。



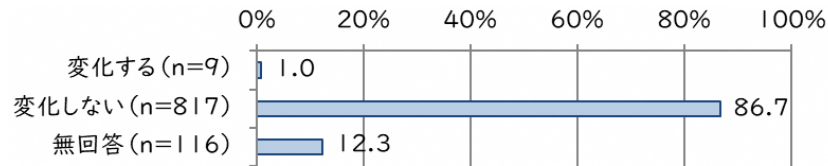
問4-3-3 【通院時の交通手段】冬期間と冬期間以外(夏場等)で変化する項目

冬期間の通院時の交通手段は、冬期間以外(夏場等)と比べて変化する割合は3.5%であり、冬期間以外(夏場)では、「自分で車を運転」や「自転車」が多くなっているが、冬期間では「徒歩」が増える傾向にある。また、冬期間は冬期間以外(夏場等)より選択している交通手段の数が減少していることから、限られた交通手段で移動していることが推測される。



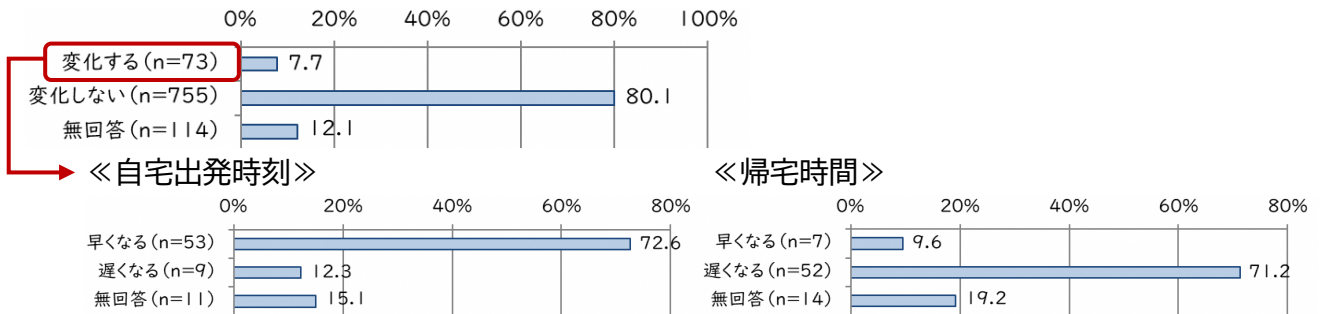
問4-3-4 【通院する曜日】冬期間と冬期間以外(夏場等)で変化する項目

冬期間の通院する曜日は、冬期間以外(夏場等)と比べて変化する割合は1.0%であり、ほとんど変化している状況はないと考えられる。



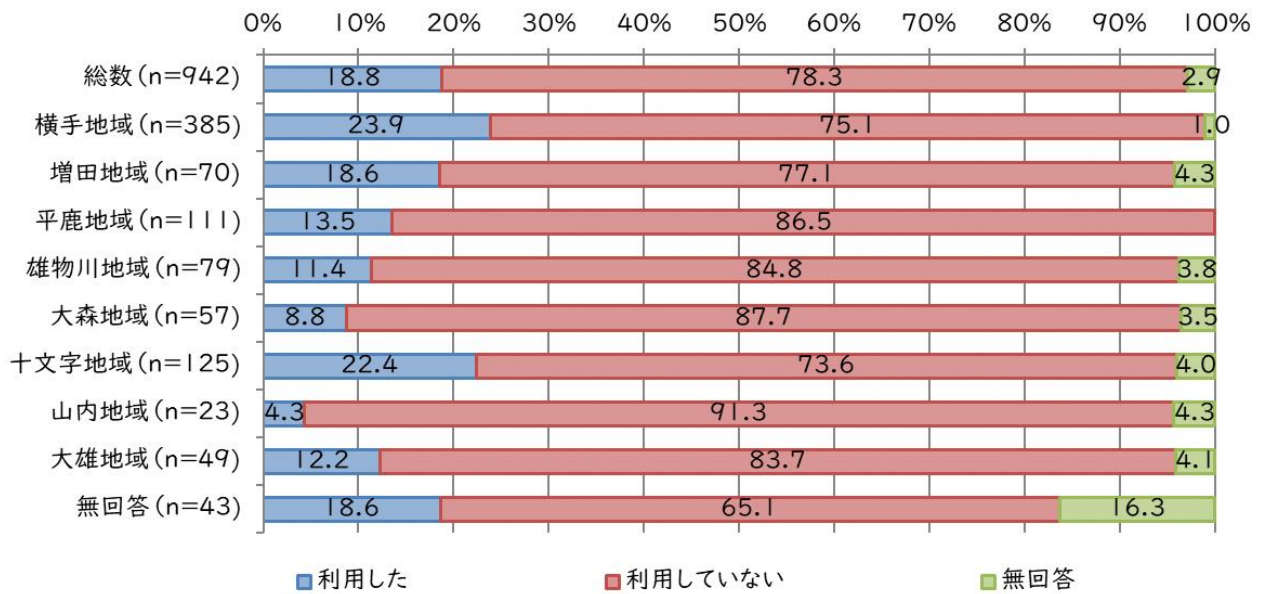
問4-3-5 【通院する時間帯】冬期間と冬期間以外(夏場等)で変化する項目

冬期間の通院する時間帯は、冬期間以外(夏場等)と比べて変化する割合は7.7%であり、変化の状況は、自宅出発時間が早くなり、帰宅時間が遅くなる傾向にある。



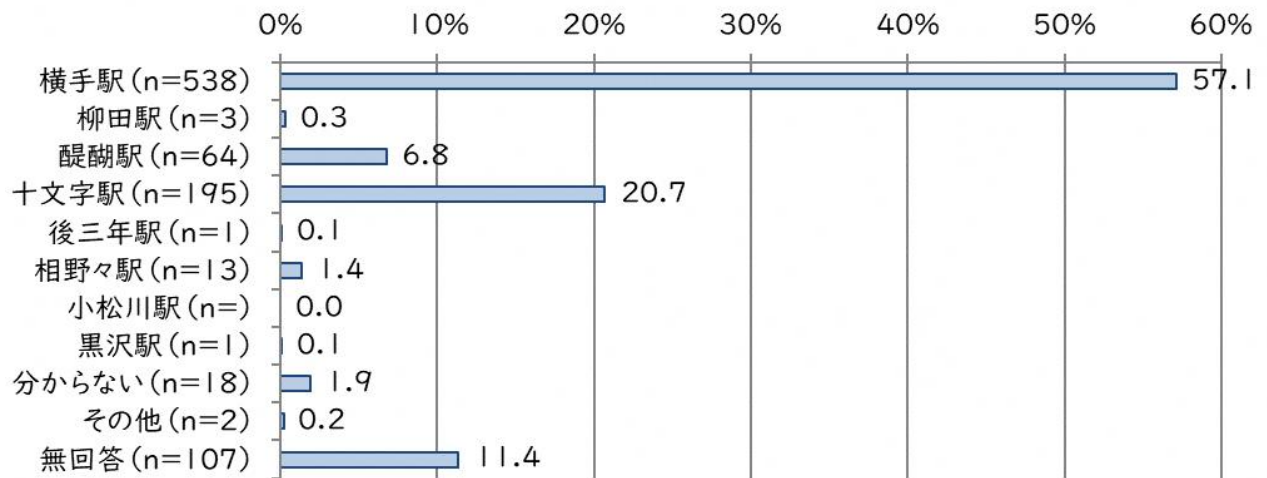
問5 地域公共交通の1か月以内の利用の有無

地域公共交通の1ヶ月以内の利用については、「利用していない」が78.3%と最も多くなっており、地域別では山内地域が91.3%と最も多い。



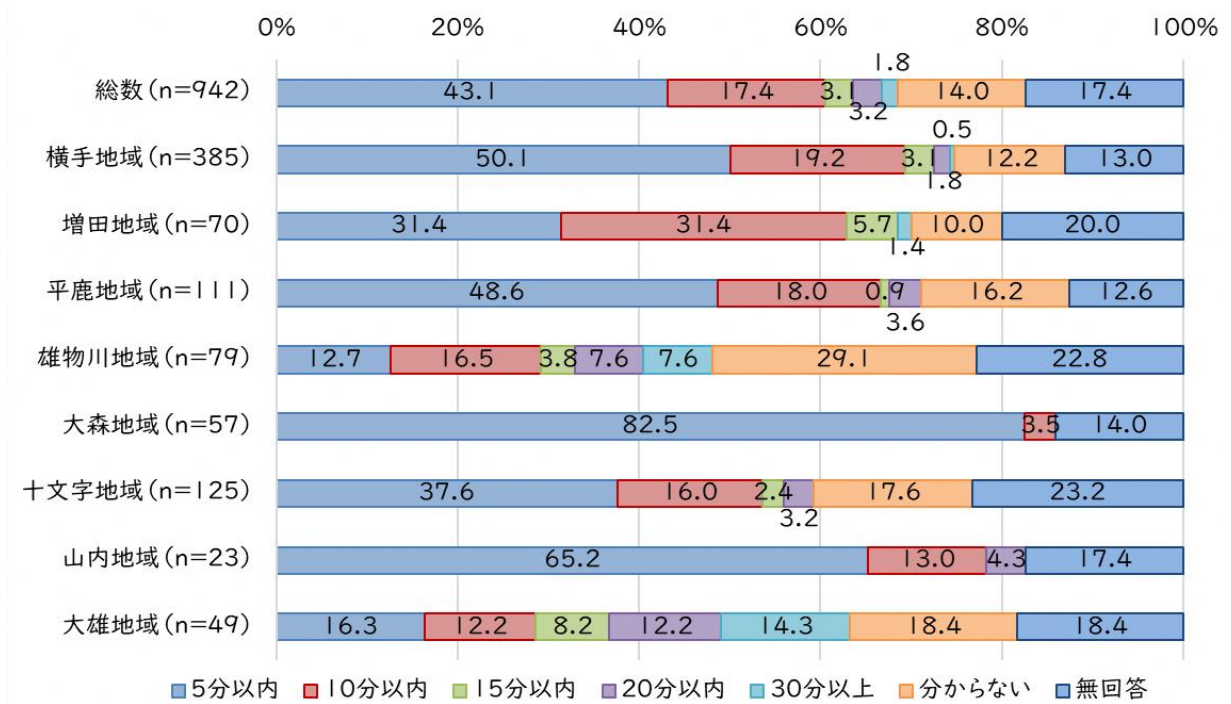
問6-1 最寄りの鉄道駅

最寄りの鉄道駅は、横手駅が57.1%と最も多くなっている。



問6-2 最寄りバス停までの徒歩での所要時間

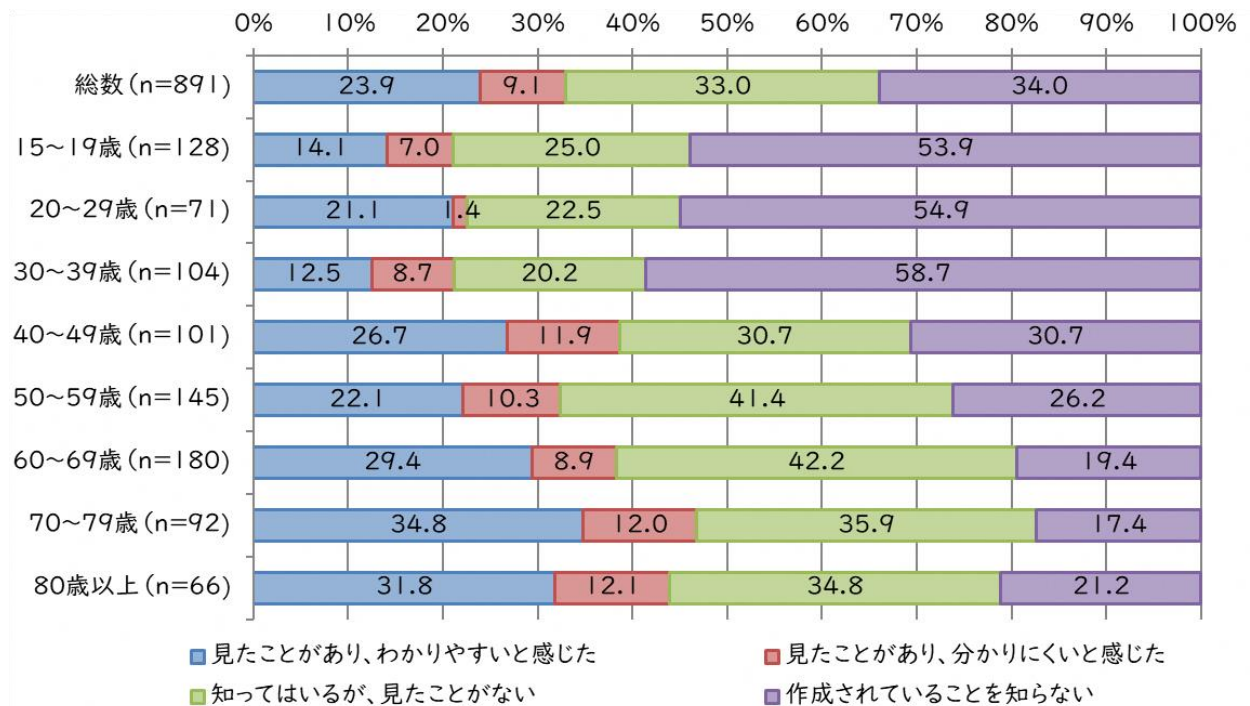
最寄りバス停までの所要時間は、雄物川地域と大雄地域で、他の地域より所要時間が長い傾向にある。



問7 横手デマンド交通・循環バスパンフレットの認知度

各パンフレットの認知度は、「作成されていることを知らない」が34%で最も多くなっており、次いで「知ってはいるが、見たことがない」が33%と多くなっている。

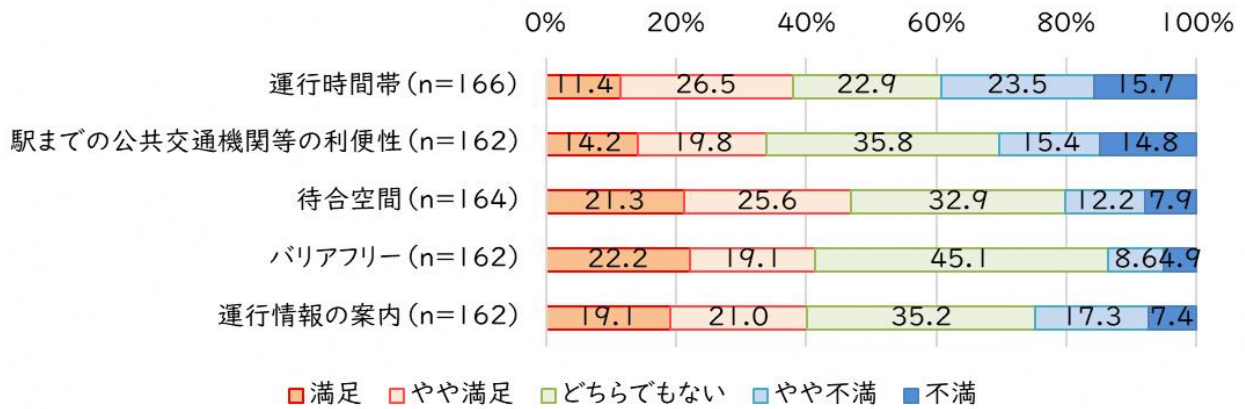
年代別では、年代が低いほど認知されていない傾向にある。



問8-1 公共交通機関の満足度【鉄道】

鉄道の満足度(満足とやや満足の合計値)は、「待合空間」が46.9%と最も高く、次いで「バリアフリー」が41.3%と高くなっている。

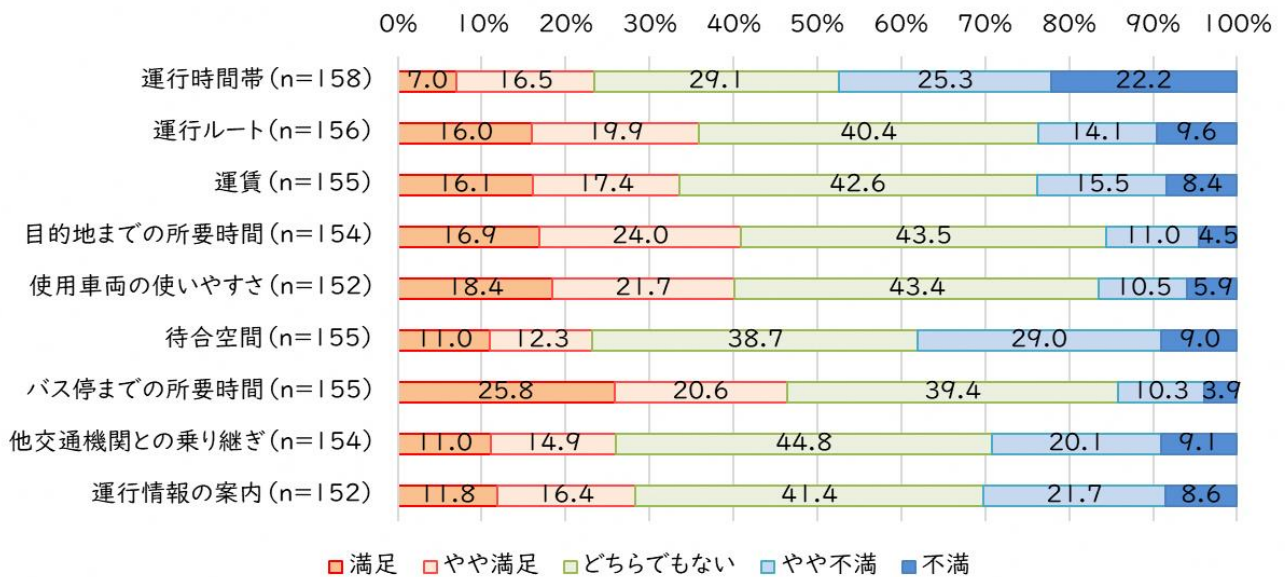
一方で、不満度(不満とやや不満の合計値)は、「運行時間帯」が39.2%と最も高く、次いで「駅までの公共交通機関の利便性」が30.2%と高くなっている。



問8-2 公共交通機関の満足度【路線バス】

路線バスの満足度(満足とやや満足の合計値)は、「バス停までの所要時間」の満足度が46.4%と最も高く、次いで「目的地までの所要時間」が40.9%と高くなっている。

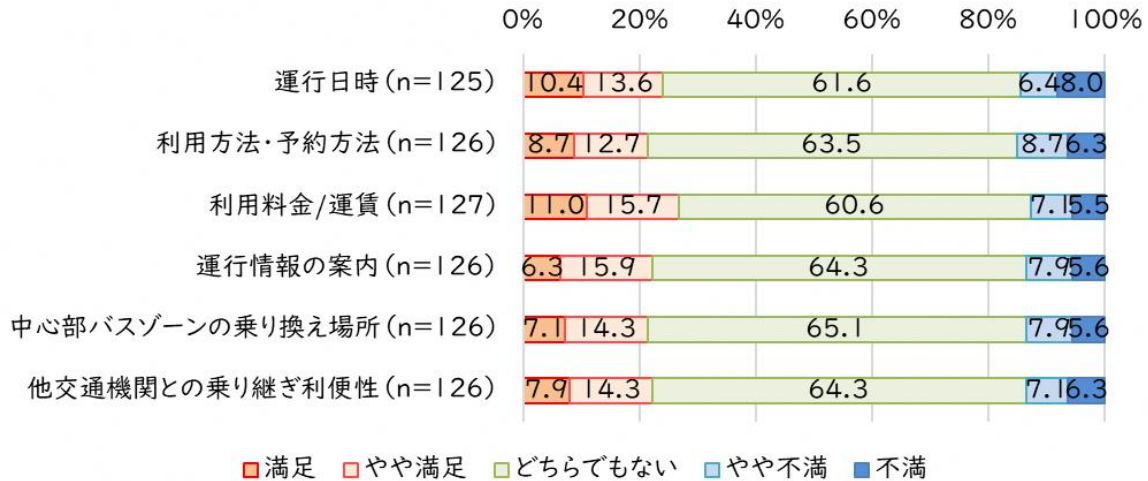
一方で、不満度(不満とやや不満の合計値)は、「運行時間帯」が47.5%と最も高く、次いで「待合空間」が38%と高くなっている。



問8-3 公共交通機関の満足度【横手デマンド交通】

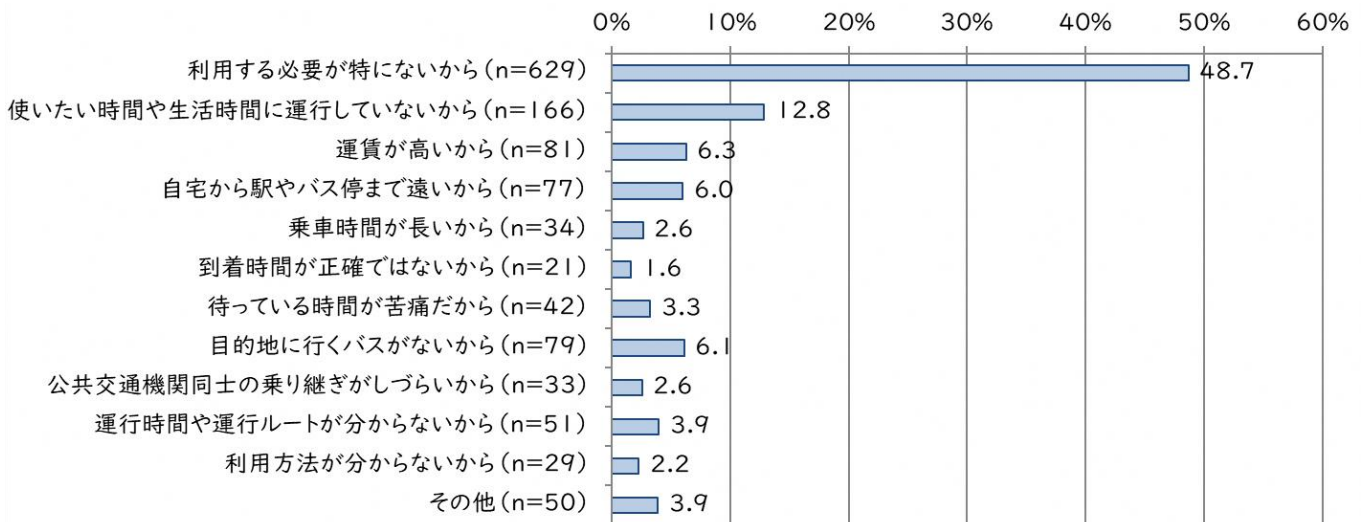
横手デマンド交通の満足度(満足とやや満足の合計値)は、「利用料金/運賃」の満足度が26.7%と最も高く、次いで「運行日時」が24%と高くなっている。

一方で、不満度(不満とやや不満の合計値)は、「利用方法・予約方法」が15%と最も高く、次いで「運行日時」が14.4%と高くなっているが、どちらでもないと回答した割合が60%以上と、他の公共交通機関に対して、多くなっている点に留意したい。

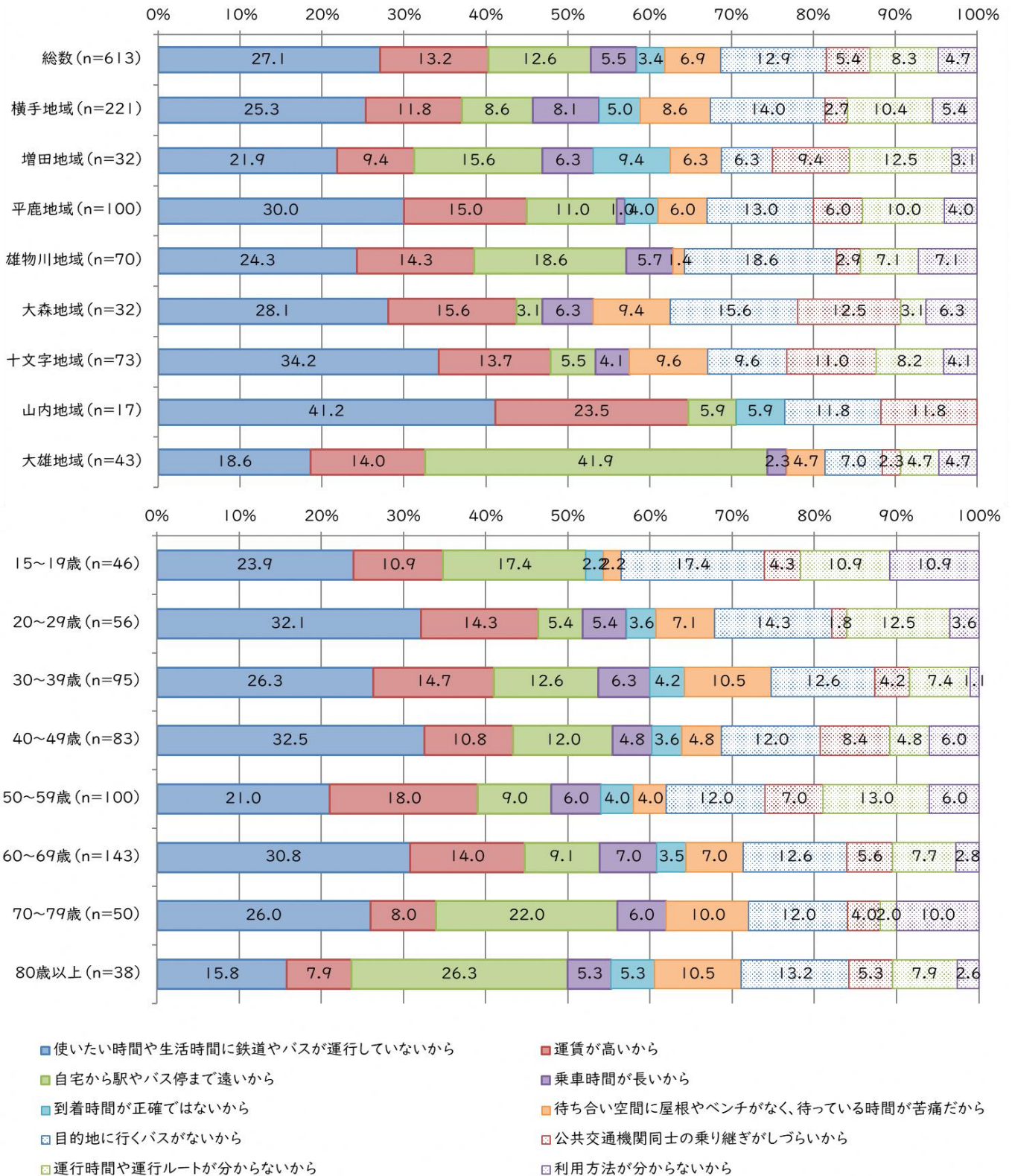


問9 公共交通機関を利用していない理由

公共交通機関を利用していない理由は、「利用する必要が特にないから」が48.7%と最も多くなっており、次いで「使いたい時間や生活時間に運行していないから」が12.8%となっている。

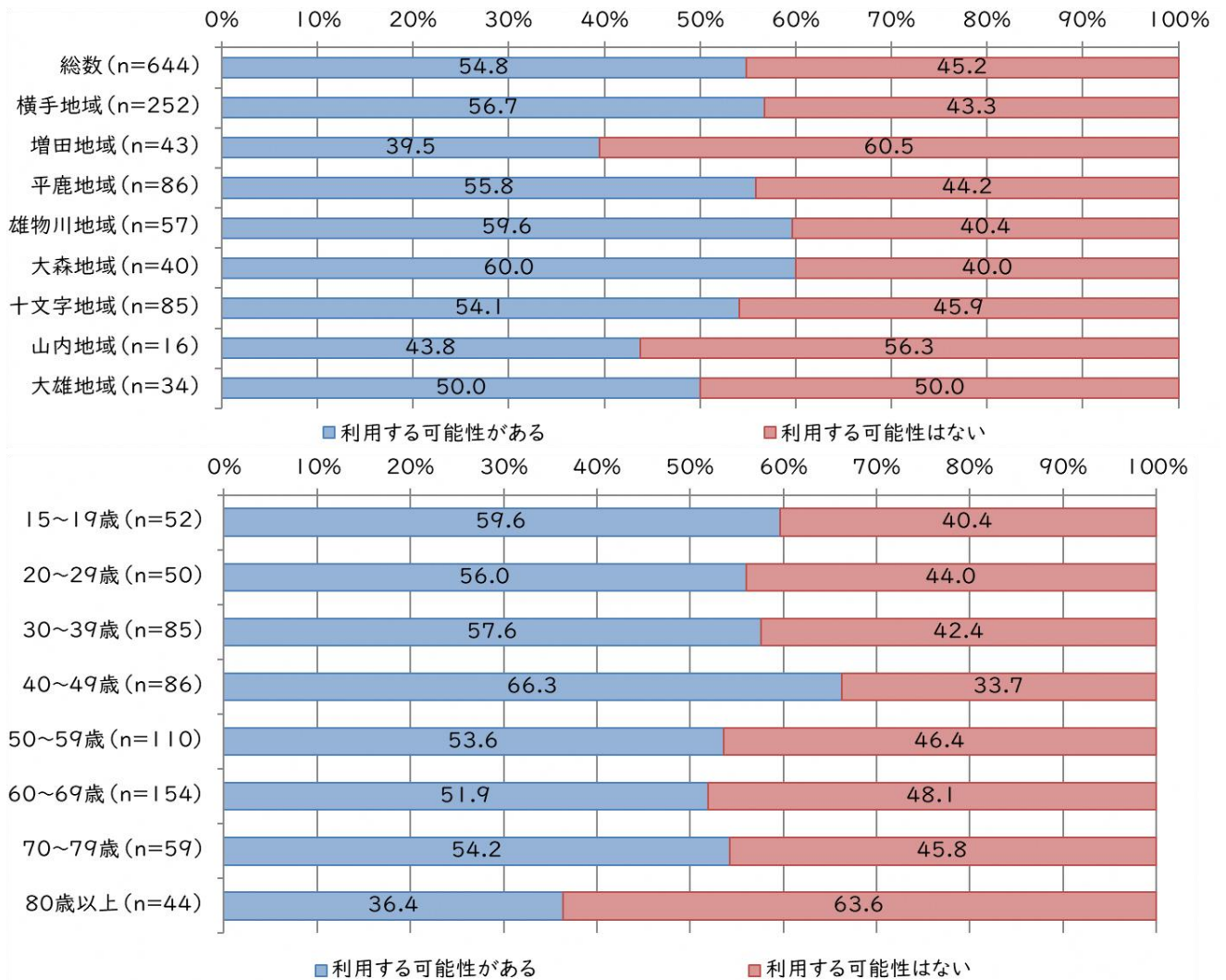


「利用する必要が特にないから」「その他」を除いた地域別・年代別回答



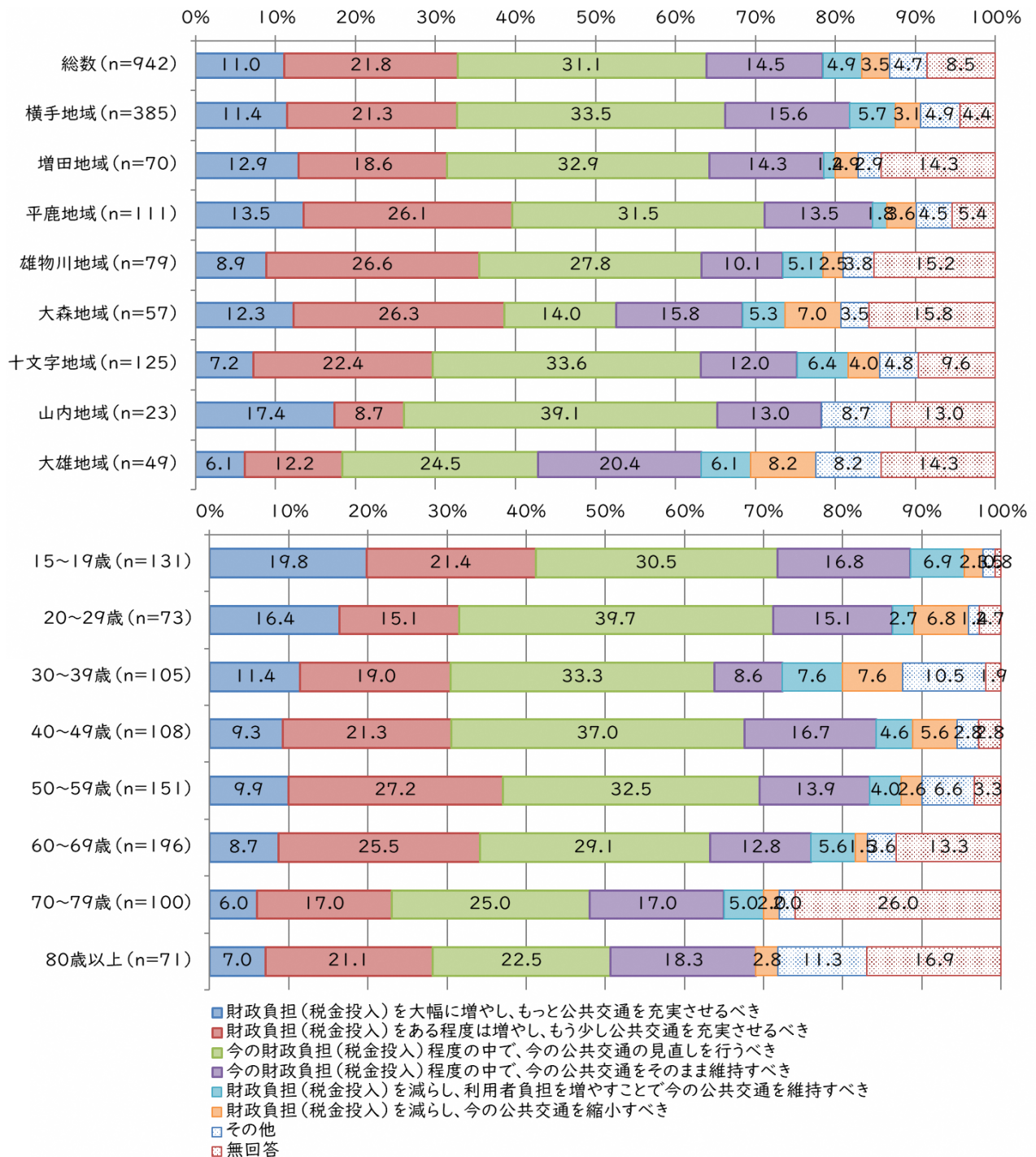
問10 公共交通機関を利用していない理由が解消された場合の利用転換の可能性

公共交通への利用転換の可能性は、「利用する可能性がある」が54.8%となっており、地域別では「大森地域」や「雄物川地域」、年代別では「40～49歳」が多くなっている。



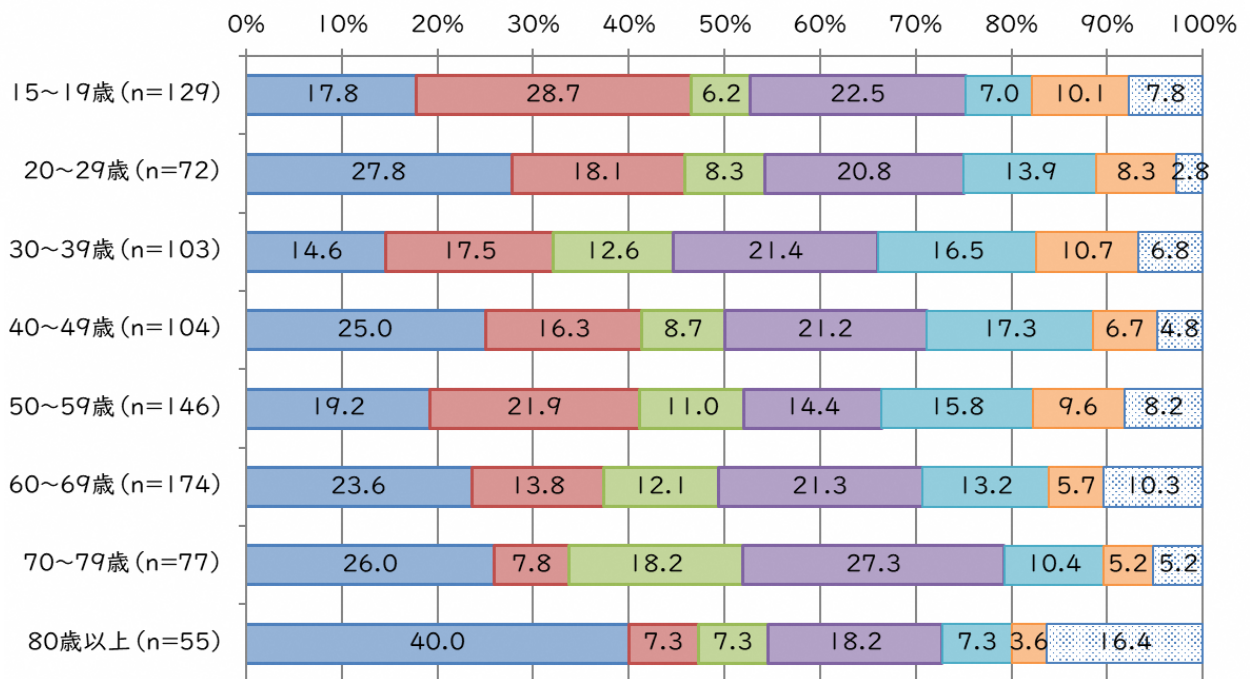
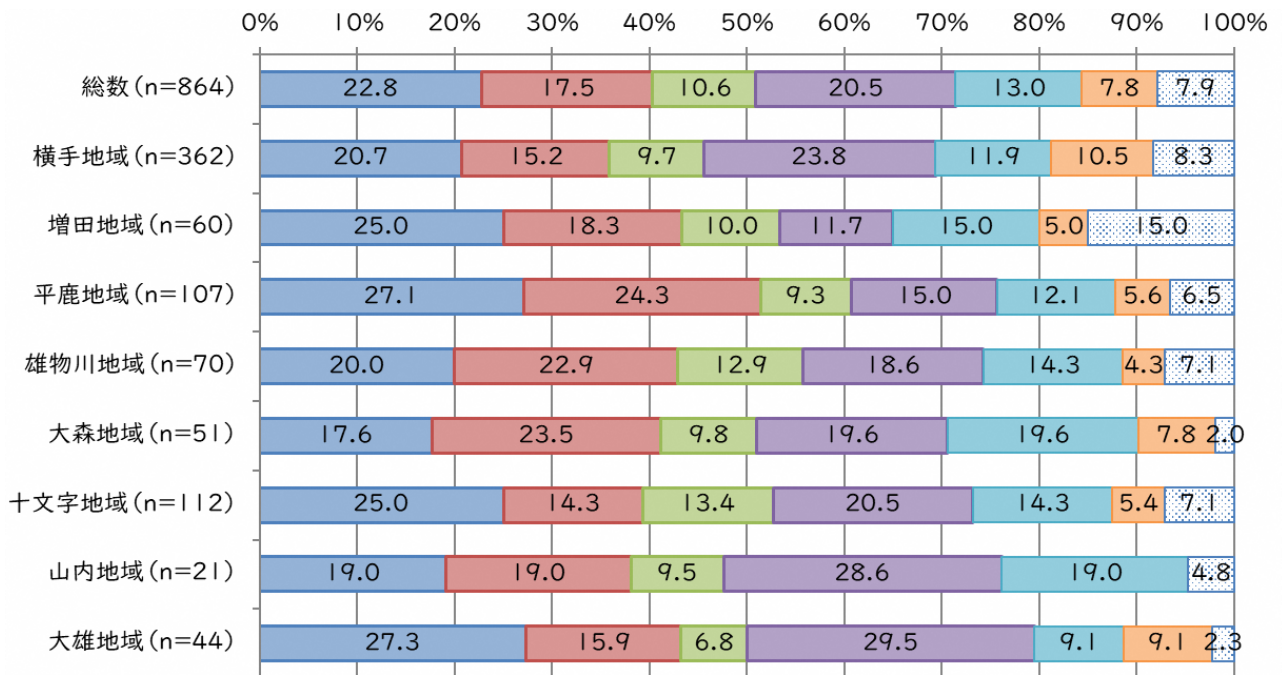
問11 今後の公共交通のあり方について

今後の公共交通のあり方は、「今の財政負担(税金投入)程度の中で、今の公共交通の見直しを行うべき」が31.1%と最も多く、次いで「財政負担(税金投入)をある程度は増やし、もう少し公共交通を充実させるべき」が21.8%となっており、現在の財政負担の維持あるいは増額を行いながら、見直しや充実を図るべきという市民の意向がある。



問12-1 行って良い見直し

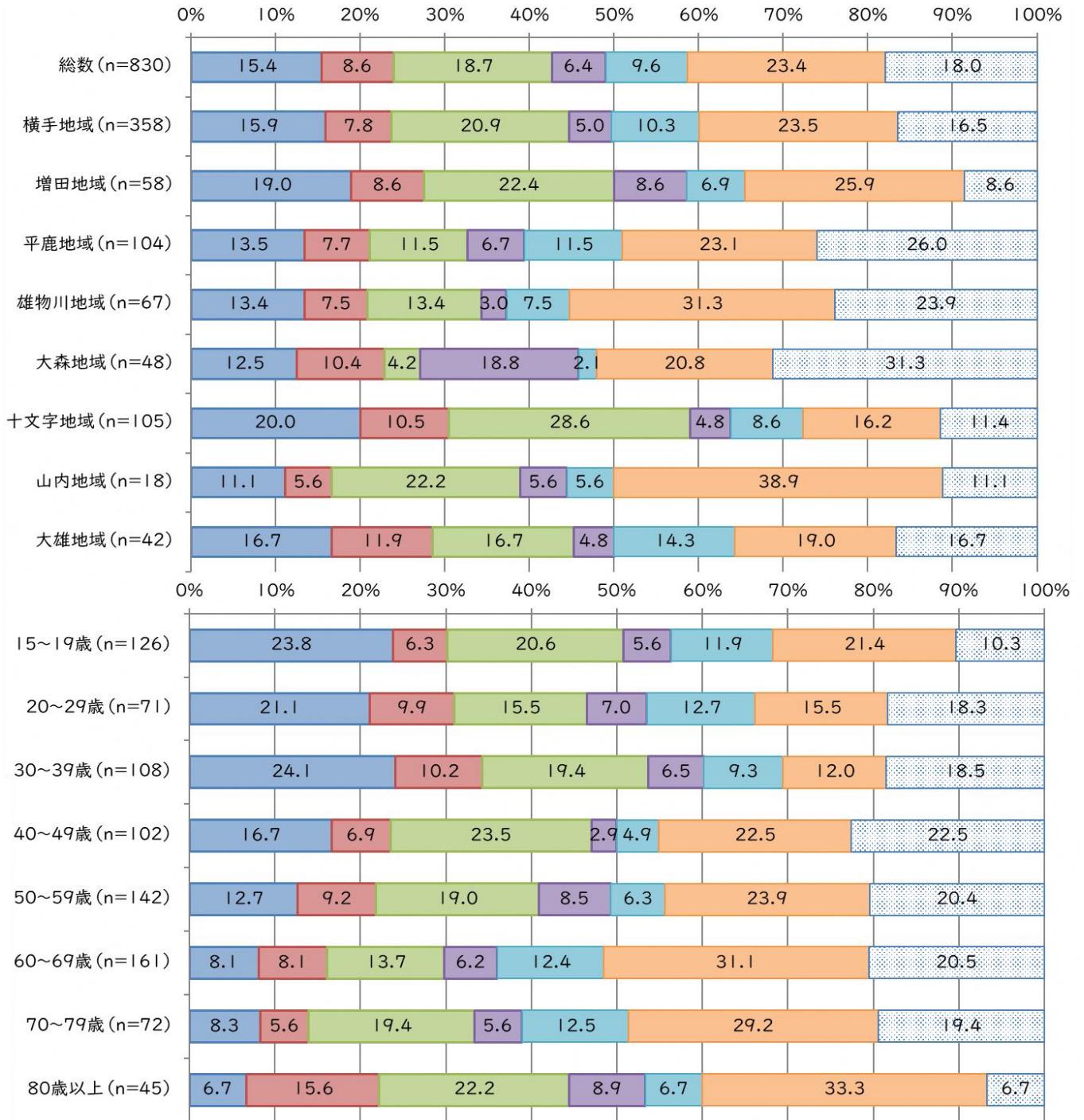
行って良い見直しは、「運賃が高くて直接目的地に行ける」が22.8%と最も多くなっており、次いで「運行回数は減少するが、運行日数は変わらない」が20.5%と多くなっている。



- 1人あたりの運賃は高くなるが、乗り継ぎをせずに直接目的地へ行ける。
- 1人あたりの運賃は安くなるが、拠点となる施設等で乗り継ぎをすることで目的地へ行ける。
- 利用者の少ない路線は、1日の運行回数は変わらないが、運行日数が減少する。
- 利用者の少ない路線は、1日の運行回数が減少するが、運行日数は変わらない。
- 利用者の少ない路線は予約がないと運行しないが、予約をすれば利用することができる。
- 早く目的地に到着する(乗車時間を短くする)ために、利用者数の少ないバス停を減らす。
- 目的地の到着までの時間は要する(乗車時間が長くなる)が、今よりもバス停を増やす。

問12-2 行ってほしくない見直し

行ってほしくない見直しは、「利用者の少ないバス停を少なくする」が23.4%と最も多くなっており、次いで「運行回数は変わらないが、運行日数が減少する」が18.7%と多くなっている。
問12-1の結果も踏まえると、運行日数を減らすことは望まれていないことが分かる。



- 1人あたりの運賃は高くなるが、乗り継ぎをせずに直接目的地へ行ける。
- 1人あたりの運賃は安くなるが、拠点となる施設等で乗り継ぎをすることで目的地へ行ける。
- 利用者の少ない路線は、1日の運行回数は変わらないが、運行日数が減少する。
- 利用者の少ない路線は、1日の運行回数が減少するが、運行日数は変わらない。
- 利用者の少ない路線は予約がないと運行しないが、予約をすれば利用することができる。
- 早く目的地に到着する(乗車時間を短くする)ために、利用者数の少ないバス停を減らす。
- 目的地の到着までの時間は要する(乗車時間が長くなる)が、今よりもバス停を増やす。

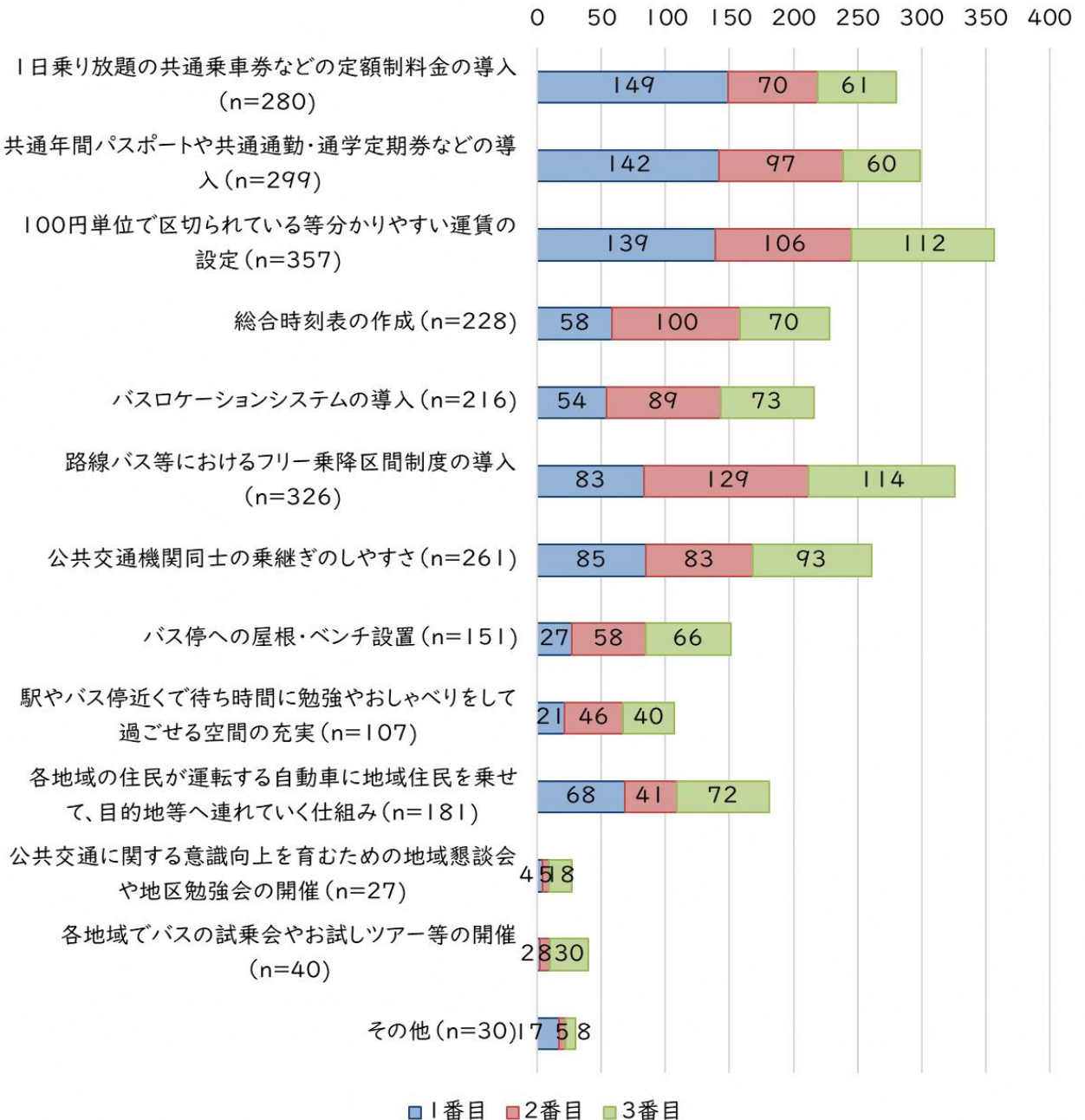
問13 今後の取り組みについて

効果的だと思う取り組みについては、「分かりやすい運賃の設定」、「フリー乗降区間の導入」、「共通パスポートや共通定期券の導入」の順で多くなっている。

優先順位別では、1番目に優先度が高い取り組みは「定額制料金の導入」、「共通パスポートや共通定期券の導入」、「分かりやすい運賃の設定」となっている。

2番目に優先度が高い取り組みは「フリー乗降区間の導入」、「分かりやすい運賃の設定」、「総合時刻表の作成」となっている。

3番目に優先度が高い取り組みは「フリー乗降区間の導入」、「分かりやすい運賃の設定」、「公共交通機関同士の乗り継ぎのしやすさ」となっている。



問14 自由記述(原文)

【路線バスに関すること】

鉄道、路線バスによる通勤をしたことがあります。1時間当たりの本数が少ない事、特に冬期間の出発時間や到着時間の遅れにより、就業時間に影響が出たことが度々ありました。雪国の場合、やむを得ない事ではありますが。

公共交通を利用する事はないが、“運賃が高い”というイメージを強く持っている。高齢化が進み、自分もいずれ運転できなくなると考えると、駅やバス停の利用よりは“door to door”の形での移動が望ましいと思う。

横手に引っ越してきて3年ほど経ちましたが、高齢者(特に男性)の危険運転が目立ちます。子供の幼稚園の送り迎えだけで、赤信号無視の車など何度も見ました。全国的に高齢者の交通事故が問題となっている中で、いつまで彼らに運転させるのか?自治体として決めるべきだと思います。しかし高齢者も移動手段が必要でしょうから、タクシーを格安で利用出来る様にするか、バスを今より格段に充実させるしかないと思います。そこに税金を投入するしかないのではないのでしょうか。若い人もバスが充実すれば、車を買わなくて済むので、お金が浮いて喜ぶと思います。あと、個人的には子供とえがおの丘に行くバスが欲しいです。

バスを小さくして本数を増やす方がいいと思う。※利用者が少ない路線。土日祝に運行していないバス停があるが、土日こそ運行すべきと思う。循環バスは駅の西側と東側で区切って運賃100円、本数を増やす方がいいと思う。

今は車があり運転しているが、将来どうなるのか・・・と心配になることがあります。1日市内は循環バスがあり便利と思いますが、他地域はとても不便。実家の方は最寄りバス停まで歩いて15分以上かかり、年寄りにはバス利用は困難だと思います。デマンドのタクシーはとても良いと思いますが、例えば、病院の帰りetc時間が読めない時の利用が出来ないという声も聞きます。30分前の予約で、1h前の予約より少し高くするとか、段階があっても良いのではと思います。高齢者の免許返納に対しても、もう少し補助があってもよいのでは?

旧郡部に住んでいるため、循環バスの利用は皆無です。運転免許証を返上してからの事を考えると、ワンステップバスの導入がないと、利用できないかな?と思います。いずれ、5年後、10年後を考えると、移動手段が整備されないと孤立状態になると思います。

バスは10名以下の乗員で小型車にすべき。コースの周り方や時間帯を考えるべき。

市内のバス料金は無料にした方がいい。

屋根のないバス停で待っている年配の方を見かけると体調が心配になるので、夏・冬共に屋根やベンチがあれば良いと思います。車社会のため、バスを充実させる場合は、バスの停留スペースも整備して欲しい。

内町地区に居住していますが、もっと近くにバス停があった方がいいと思います。将来は、バスを利用する事になると思うので・・・

横手清陵学院に通学しているのだが、夕方のバスの運行は充実しているが、昼間の運行がとても少ない。テスト期間でお昼に終了するとなると、バスが少なく、帰るのにとても不便。横手で遊ぶところが少なすぎるためPRにもならない。

年配の方々を見ていると、デマンド交通が一番便利に使われているように思います。バスの乗り降りの難しさ(バスは足が悪いと乗りにくい)、時間の少なさ(使いたい時に動いて

<p>いない)、バス停が少ない(歩くの困難)。前もって予約しなくてはならないことにもだいぶ慣れてきているように思います。使いたい時に、ちょっと頼んで乗せてくれる、それが出来ればいいのでしょうか、そのような利用ばかりでは、タクシーさんの利益にならないと思うので、市の運営でそれに近い事が出来ればいいのでは？※タクシーさんの態度が悪いと聞いた事あります。</p>
<p>日中空いているが、各地域局のバス、運転手さんの台数、人数によって違うと思う。また、冬期はスクールバスが多い為、家の除雪をしないで勤務する人もいるかと思う。十文字小・中は3時頃除雪して、5時半頃に運転手さんを見かける(大変な事である)。なので、日中予算措置をし、日中の運転手さんを確保する必要がある。と考えている。</p>
<p>ほとんど乗客のないバスを見て、もったいないと感じる事があります。ただ、日々の買い物を見ると、かさばり重い物のある時は自家用車が便利です。よほどの事がなければ、バス利用は考えません。バスを降りてから自宅まで距離があれば、尚更です。体力が落ちればさらに。</p>
<p>高齢者人口が多く、日常生活で車の需要も高くなると思うので、コミュニティバスの充実等、運転出来ない人や免許を返納した人が気軽に利用できる体制を増やす事が大事だと思います。</p>
<p>循環バスについて、時間を夜間帯でも数本あれば良い。路線の導線の工夫、不便なバス停を廃止し、バス運行の本数を増やしてはどうか。1時間に1本、駅に行くまでに時間を要し過ぎる。頑張ってください。</p>
<p>雪が降ると車での移動が難しく、徒歩になったり出歩ける範囲・頻度が小さくなる。車を自分で運転出来なくなる日を思うと怖い。バス停を見ても目的地まで行くのか否かわからない。どう乗り継ぎしたらいいかもわからず、困る事がありました。ジョルダンの様な乗り継ぎ案内があれば・・・と思うも、歳を取ったり使えない人もいます。</p>
<p>路線バスは使いやすいが、乗り降りする際の段差が老人にはきつい様で、うちの家族はタクシーを使用します。しかし運賃が高い為、年金生活では大変な出費になる為、通院の際は家族が有給を使い対応しています。対応してくれる家族がいる人は交通の不便を感じないと思いますが、一人暮らしの高齢者の方は移動も大変ではないかと思えます。皆さんに良い方法はないものか考えても思いつきません。良いアイデアが生まれる事を願っております。</p>
<p>各地域単位で循環バスがあると良いかと思えます。(公共施設、スーパー等のバス停)高齢者にとっても、安心感があるのでは・・・</p>
<p>1.バス停の発車時刻がA地点から次のB地点で同一時刻等のいい加減さ。2.冬期のバス停からは雪で乗車する事が出来ない。3.運転手のマナーの悪さ。乗車させてやっているという態度。4.バス利用者は、高齢者や身障者が多いので、もっと思いやる運転をして欲しい。※運転手職員が少ないせいか会社側が遠慮しているように思う。</p>
<p>困っている人が居れば、より安く、より早く運行して欲しいです。私の場合は、平日休みの孫もいるので、未だバスは必要ないと感じています。</p>
<p>JR線が1時間に1本運行というのが他県から移住してきた人にとって不便さを感じます。外出するのに帰りの列車時間を気にしながらでは、生活にも支障が出る事があります。バスも本数が少ないかなと感じます。</p>
<p>・将来的に公共交通を利用したいと考えております。・土日のバス運行が減少しており、免許返納した時、タクシーだけになる可能性があると感じています。</p>

バス広告の料金が低い。停留所の●収において
高齢者や移動手段のない人々のために、道の駅やショッピングセンターを利用出来る様、無償でバス運行をお願いします。
バス停の地図がわかりづらい。乗る時間はわかるが、どこに行くかがわからない。
今年、横手市に引っ越してきましたが、車を持っていない為、循環バスを利用させていただいています。とても助かっています。歩行者が歩きやすい様、冬場の道路整備を行っていただければと思います。よろしくお願いいたします。
2年前、運転免許証を返納しました。前は、自宅前にバス停があり安心しましたが、いつ無くなったのか分かりません。利用すると思っていましたので、困っています。
車椅子の方や、足の悪い高齢者が乗り降りしやすいバスや、出来れば介護技術のある乗り降り時に補助してくれる方がいれば、もっと高齢者や障害のある方も利用しやすくなると思います。
現状では、自家用車で不便はありませんが、高齢になった場合には、タクシーの活用がし易くなった方が良くと思います。大型のバスや電車への乗り降りや乗り場への移動には抵抗があります。他人への気づかいや乗り降り時のケガ発生などがリスクとなりますね。
横手市内は循環バス等があり便利だと思うが、横手市内まで行ける公共交通が無い為、自家用車を使わざるを得ない。駐車場も無い。公共交通を使用したいと思うが、使えるものが無いというのが現実だと思う。
冬期間、雪の影響により電車やバスが運行しなかった際の運行情報がわかりやすく発信されていけばいいなと思います。平和町のバス停など屋根のないバス停で冬場、雪の影響で到着が遅れると不安になるため、バスロケーションシステムの導入はいいと思いました。
住居の前が市道で横手⇒湯沢のバスが通りますが、朝から夕方まで、とにかく乗客が少ないです。一人か二人いればいい方で、これでは廃止の方向へ進むのも仕方ないと思えます。旧横手市内ならばまだ良い方だと思いますが、旧町村では、バスやデマンドタクシーよりも、乗り合いタクシーのように、3~4人単位で予約をした上で、利用した方が利用しやすいし、効率的ではと思います。
今は自家用車があるので不便はないが、この先免許返納となれば、病院、買い物に行くのにも遠く、バスも無く、今後の不安は大きくある。
今は利用していませんが、近々利用すると思っています。病院直通(行きバス)やデマンドに力を入れて下さい。
現在は、車を保有、運転出来るので利用はないが、いずれ免許証を返納した時、公共交通手段の選択肢を利用しなければ移動できないと思うので、1回100~200円程度の循環バス(横手市街地内だけでなく横手市内全体)など、なるべく安く利用できる様、検討していただきたいと思います。
テスト期間など多くの方が乗る時にバスが少なく、乗りたくても乗れないことが多いので、出来たら増やして欲しいです。
十字駅でも「Suica」が使える様になったらもっと便利になるかと！あと、バス利用者も考えたら「PASMO」もありがたいですね。
一度だけ循環バスに乗った事があって、横手イオンから駅まで行くのに結構時間がかかったのを覚えています。本荘行きに乗りたかったのですが、乗り継ぎがよくわからなく駅まで行ってしまいました。デマンドとか便利なものがあったのですね。

<p>先日、長期入院後、退院した母(77歳)を何度も病院まで送迎することになりました。私にも仕事があり母の希望通りの送迎が厳しく、バス等を利用させたく考えましたが、本数が少なすぎるので利用は叶いませんでした。ならば、タクシーと思いましたが、料金が高すぎて何度もは厳しく、結局会社に無理を言って休ませてもらい給与の額に影響しました。結局、税金の納付も去年より下がります。都会が交通機関が充実しているのは、それを利用した方がメリットがあるからです。自家用車を持つよりも、公共交通の方が、楽で得に過ごせる仕組みにして下さい。</p>
<p>横手高校前を通る下校時間帯の路線バスの本数が減ったことで、次の様な事が起きています。 ・バス停で待っていたのに、1台のバスに乗り切れない人が増えている。 ・定期券を買っているのに使えない。 ・電車等の乗り継ぎに間に合わず、帰宅時間が1時間から2時間遅れる。 ・バスに乗るために部活動や学校の活動を早く切り上げなければならない人が多い。 夕方バスの運行本数を増やして欲しいです。困っている学生がたくさんいます。</p>
<p>バスを低床車体にするには雪国では無理でしょうが、乗降ステップを工夫すれば利用者も増えるのではないのでしょうか。</p>
<p>・駅から学校が遠い。 ・バスの本数が少ない。(通学の為のバスの本数を増やして欲しい。)</p>
<p>現在は自分で車の運転が出来るが、近い将来、公共交通に頼らなければならなくなった時に、タクシーのように使える(バス料金並み)と良いのですが…</p>
<p>小生の様な歩行困難な者にとっては、自家用車は必須なものです。出来れば安全なバス等を利用したいことはやまやま、今の循環バスをもっと小型(今は乗客が多くて4~5名?)にし、循環区域を拡大してもらえればと思っています。尚、デマンドバスや問13-6の制度も大いに活用すべきだと思います。</p>
<p>いずれ、自動車を運転出来なくなった時、通院、買い物に行けるかどうか不安です。近くにバス停もなく、どれだけ不便になるのだろうかと思っています。わかりやすく利用出来る(安く)バスなどがあるといいと思います。</p>
<p>病院へ行く時だけバスを利用させていただいていますが、時間の工夫がちょっと足りないなあとと思っています。</p>
<p>現在、平成高校へ羽後交通のバスを利用し通学しています。テスト等で早く帰宅する日がありますが、11:00~13:00までの間に乗れるバスがなくて、とても不便です。平日に通学している人は、それなりの人が利用しているので、他にも困っている人もいます。テスト期間、早く終わる日だけでも学校と連携して乗れる日があるととても助かります。宜しくお願いします。</p>
<p>本当に車社会で日々びっくりしています。もっと歩いた方がいいと思います。冬期間の雪が多い時、横断歩道の両脇に除雪した雪が山になり歩行者が見えにくく、左折車で何度も危ない目に遭いました。横手市循環バスの南小学校のバス停は雪で埋まっていて降りてから車道を歩かなければならず、危ないです。歩く人の事も考えて欲しいです。</p>
<p>羽後交通バスの運転が荒い。運転手の接遇がなっていない、不親切。</p>
<p>子供と一緒にバスや電車に乗って体験出来るようなクーポンがあれば使ってみたいです。</p>
<p>通学と通院時間が重なり、バスの中が混雑するので、本数を増やすか通学専用バスなどわけてほしい。</p>
<p>バスの中でうるさくする高校生がいます。</p>
<p>通学にバスを利用していますが、本数が少ない為に、毎朝混雑しており、毎日立ったままで、とても疲れる様です。又、土日は運行しないバスもあり、部活動に行く時や、帰りが不</p>

便で仕方ありません。定期を買っても十分に利用出来ていない状況です。自家用車での送迎に頼りがちになってしまいます。
夕方以降の路線バスの運行がほぼない事、中心部から郊外のスーパーへの乗り継ぎが不便なことが改善されるといいと思います。ペイペイ導入はありがたいのですが、交通系電子マネーなど、タッチで済む支払方法があれば便利だと思います(ペイペイなどは金額入力しないといけない為)。
デマンドバスと AI で公共交通を守る(南三陸町)この取り組みをニュースでやっていたが、良い方法だと思った。検討してみてください。
今は 40 歳代で車が使っていますが、いずれ 30~40 年もしないうちに免許返納する時が来るかと思うと、買い物や通院がとても不便になり、公共交通機関に頼らざるを得ない。現在は、バス停の近くに住んでいるが、今年、住む場所が変わる可能性があり、今より不便な所に行くとなると、移動手段に対しては気が重いと感じます。いずれ住所を変えるなら、歳を取っても交通や雪に悩まされない県外に出るのも一つの手かと思っています。
冬場になると、バス利用する機会が増えてくるが、バスを乗り継ぎ横手駅まで行き、そこから JR で他地区に移動する場合、時間的に乗り継ぎが出来ない。(JR 利用⇒バスも同様)車を運転できず、家族の送迎に頼れない場合は、利用したいのだが、こういった需要があるのでは?ガソリン代も高くなり、バス⇒JR、JR⇒バスの乗り継ぎがジャストに利用できれば、利用を検討する人も増えるのでは?
路線バスの本数は削られ、循環バスで移動しております。毎日運行して欲しいです。循環バスも毎日動かなくなったらデマンドしかなく、高額の為、生活が苦しくなります。気軽に利用して楽しく生活できればと思います。
実際に、真っ暗な屋根も無いバス停に女子高生が待っている所を目にしています。防犯上も良くないと思います。バス停をもっと明るくして安心して待てる場所にする事は早急にやらなければならない事と思います。
60 代後半に亡き夫に死別され、親戚の医者のある横手病院に通院(私胃弱)駅から歩きで現在に至る。88 歳、最近体調も少々悪くなりだし、紹介状をもらい町内に移る事を考えて始めている。不安だらけ。そのためバス路線のアンケートに回答、不十分なり。申し訳ないです。
・バスの運転手の運転マナーが悪い(スピードの出し過ぎ。着席しないうちに発車する。バス停に止まらないうちに扉を開ける。言葉遣いが悪い。など)・バス停や電車の本数が少なすぎて出かける気にならない。(特に夜間)・公共交通が不便だと、高齢になった時は、都市部への引っ越しも考えざるを得ない。
利用するのは高齢者が多いと思うので、山形の鶴岡のようにバスをワゴン車にして増便したり、バス停をもう少し短い間隔にして増やしてみたらどうでしょうか。
土日祝日にバスが運休している事
循環バスの大きさが丁度いいのでは?大きいバスはガラガラ、冬は通行出来ないなどデメリットが多い気がする。バス停に屋根が無いのは冬場、真夏はバスを待てない。使いたくても使えない状況。高齢者や学生、一般的に車を使用出来ない状況にある人等はバスは必要。今後も継続、存続して欲しい。
鉄道に乗り遅れて次の時間まで長くない様に路線バスにすぐ乗れる時間があれば交通機関を。時に冬期間変化しやすいので。
タクシーでの病院行き料金はバス賃なみになる様にしたら喜ぶ人が多いと思う。

バスの利用者が少ないのはバス会社では大変でしょうが継続して欲しいです。
現在、通学で週に 2～3 日程度、公共交通を利用しているが利用したい時間帯にバスがない為、自家用車になっている。
鉄道、バスを利用しようとしても 1 時間に 1 本でなかなか利用しにくい。
高齢のため横手市内のバス利用は考えていない。自分が歩行不能となったらとの設問については考えていない。現行のバスについては横手市では現在全く不便で利用について積雪時も考慮して無い。設問がくどくてわかりにくい。
バス停限定・厳守ではなくフリー的心の広さで。出来れば発想のやさしさ、応変さ。
重い買い物カートを車中に運んでくれる運転手さんもいらして助かります。最近、脚が弱くなり循環バスをよく利用するのですが乗るのに難儀しています。踏み台があれば助かります。よろしくお願い致します。
バスの利用者を増やしたいのであれば各町内にあったバス停を復活させるべき。それが出来ないのであればバス停に駐車場を設置(無料)するかバス停までのタクシー料金を割安にするなどの施策が必要。当然行政だけでなく市内交通機関との連携が必要である
高校生のバス利用が不便となり受験する高校に影響が出ていると感じる
定期バスの運賃が高い。フリー乗車区間を増やして欲しい。定額バス増量、100 円バス市内だけでなく
朝に学校に行く為の路線バスの時間帯をもう少し充実して欲しい(8:00 登校でも 9:00 ~部活でも結局 7:00 のバスに乗らないと間に合わない)半日で学校が終わっても 14 時台や 15 時台じゃないと乗れないのは不便です
自宅からバス停が遠いため不安
循環バスに関してですが午前中だけでも 30 分毎に運行して欲しいです
バス利用者の情報や地域の意識調査等、ビッグデータを分析活用して利用者ニーズを捉える必要性があると思います
公共交通維持のため自動車の税金を増やす。免許返納にした高齢者等への公共交通期間の割引(半額にする等、障害者手帳(割引パス)の様な)+市内(路線バス)でのフリー乗降区間(片側 2 車線区間とか一般車追越し車線ににまわれるので)の導入。民間(バス・電車)のローケーションシステムの活用/パスもなど交通カード支払い。災害時(2011 東日本大震災)本荘～横手間バス運行があつて助かりました(タクシー 3 万円位バス 1800 円位)だったかと
通学にバスを利用したいが本数が少なく 1 つの車両に乗る人数も多いので利用しづらい
雄物川町は昔のようにバス運行がたくさんあるなら良いが今や 1 日数本あつても不便で雪の事も考えると人の住む所に有らず。引っ越して来ても大部分の人が住居を売って都会に帰ってしまう。横手市内のみで考えてももはや横手は消滅をまつのみである。あきたこまち型の新幹線ではなく本来の新幹線を横手に作らない限り廃墟の町になる。他の(雄物川町以外)も同様である
今は自分で運転が出来るのでバスなど利用する事を考えた事がないが運転出来なくなった時の事を考えると不安。予約すると来てくれる乗合タクシーが有ると聞いたのでそういのが続いてくれると良いなと思います
これから高齢化が更に進み人口も減少し高齢者だけの家庭が増える中、各地域(横手地域外)のバス停を増やして欲しい。例えば各地域内を巡行してから横手へ向かう路線

<p>車の免許を返納した方がバス、タクシーに乗る時どのルートで行くのか料金の支払いはどうするのか教えて欲しいので「バスタクシー」の自動運転システムの開発を急いで欲しい。各地域の住民の運転する車に地域住民を乗せる助け合あいのシステムを続けて助け合いの精神続けて欲しい。他に料金の負担もお願いしながら国縣市の方で補助金を出して支援をお願いしたい(募金、クラウドファンディングも教えて欲しい)</p>
<p>一度利用しようとしたのですが荷物を持って 10 分歩くととなると大変な事でタクシーを頼みました。主人と 80 才又は足腰が弱くなって来ているので反応は考えています。その時にならないとわかりませんがお金の事もあって近所の方と同乗して買い物、病院出来れば良いのですが。大通りにバス停があれば良いのですが。</p>
<p>通勤通学以外の時間帯ではバスの小型化をすべきかと思えます</p>
<p>旧市内だけコミュニティバスが走り優遇されているが他の地域は何のメリットもない。他の地域もお願いします。</p>
<p>自分自身は通勤する為利用していないが子供が通学のために JR を利用していた。また中学校までも遠いので通学時間帯にちょうど良いバス、部活後の帰宅時にちょうど良いバスがあれば良いのと思う。特に南中には送迎のための駐車場が無いので冬場はバスを利用したかった</p>
<p>大型バス無人(客)で走っているバスを良く目にする。小型に出来ないか</p>
<p>朝の通学時間のバス、ほとんどが学生だと思えます。夕方はバラバラもしくは家族の迎えがあると思うが朝の時間帯だけでも学校単位での送車があれば一般の方達も通院用に利用しやすいのではないかと考えてしまいます。あくまで理想です</p>
<p>バス停までの徒歩が難しいから車がない時はと考えると難しい</p>
<p>新幹線が着いた後、乗るバスが少ないのか運休なのかで同級会に参加出来なかった人がいる。もちろん迎えに行ける人も居ないのでそれが残念だと言っていた人も居た</p>
<p>バスが来るのか？行ってしまったのか？時間になっても来ないと不安です。停留所の位置、通過したらランプがつくとかして待っているバス停でお知らせランプがついていると「今来るんだな！」って思う。安心になると思う</p>
<p>各高校へ直接行けるバスを増やして欲しい</p>
<p>公共交通機関を利用する対象を高齢者に限って考えると①運転等は出来ないが自分で歩いて移動する事が出来る高齢者と②運転等は出来ず自ら移動するのも困難な高齢者に分類出来る。対象①は主に横手市内中心部へ通院買い物、活動への参加などに公共交通を利用するから中心部から距離に関わらず定額制チケットが望ましい(地域によって距離によって価格負担が異なるのは不公平)対象②は医療買い物等サービスが出張してくることで対応するシステムをどんな状況でどんな所に住んで居ても公平なサービスを受けられる事が「公共」だと思ふ。現在バス会社は民営だが”公共”とするために官民の枠をこえて市民の幸福のために手を組むことが良いと思えます</p>
<p>高齢の方が多い地域なので車の運転負担が減る様にお買い物バスなどもっとわりやすいサービス政策を充実させるべき</p>
<p>羽後交通が運行するバスについてなのですが人が全然乗らない昼間のバスは通常通りに運行するのに学生がたくさん使う 17 時頃のバスを減らした事について結構頭にきてます。さらに経営者の態度も悪くバスが信号待ちでバッテリー落ちたりそもそも基本的な指導や整備から出来ていないので、そういうところから直してみてもいいと思いました。ただし</p>

ごく良い運転手さん(梨の木公園前に 7 時 10 分位に着くバスを運転している声の高い方)もいるので大切にしたいです
幸い今は公共交通に頼らず過ごしているが将来的にお世話になる可能性は大きいと思います。なるべく駅やバス停が近くだといいなと思います
最寄り駅までの距離がそもそも長かったり、そこまで行く為の交通手段が自家用車のみのので不便です。往復を考えるとバス運賃が高く利用しづらいです
雄物川地域は駅が無いのでバスが頼りですが横手駅周辺に行く為のバスが土日運休時間帯が多いので問 12 の選択肢 5 の様な予約したら利用出来る様な仕組みがあればいいと思った
高齢者の為にバスの運営は維持して欲しいと思う。巡回バスが増えて自家用車の無い高齢者や若者(学生)がたくさん乗りバスに活気が戻ると良いと思う。バスの情報を目にする事が無いので市報に入れたりスーパーなどにポスターなどあれば良いと思う
以前、横手市循環バスを利用したのですが時刻表より 10~15 分ぐらい遅れてバスが来たので残念でした。暑い中待っていたのでとても大変でした。時刻表どおりに来るのは難しいとは思いますが頑張ってもらいたいと思います
路線バスの乗車人数が少なく運転手さんに申し訳なくなります(利用者ではありませんが)せめて車を小さくしたら見栄えも良いかも…と思います。たまに運転の荒い方もいらっしゃる様です

【鉄道に関すること】

現状では、自家用車で不便はありませんが、高齢になった場合には、タクシーの活用がし易くなった方が良くと思います。大型のバスや電車への乗り降りや乗り場への移動には抵抗があります。他人への気づかいや乗り降り時のケガ発生などがリスクとなりますね。
冬期間、雪の影響により電車やバスが運行しなかった際の運行情報がわかりやすく発信されていればいいなあとと思います。平和町のバス停など屋根のないバス停で冬場、雪の影響で到着が遅れると不安になるため、バスロケーションシステムの導入はいいと思いました。
電車もあまり乗る事は無いですが、運行回数は、この後益々少なくなると思いますが、後世に残っていただきたいですね。
横手高校前を通る下校時間帯の路線バスの本数が減ったことで、次の様な事が起きています。 ・バス停で待っていたのに、1 台のバスに乗り切れない人が増えている。 ・定期券を買っているのに使えない。 ・電車等の乗り継ぎに間に合わず、帰宅時間が 1 時間から 2 時間遅れる。 ・バスに乗るために部活動や学校の活動を早く切り上げなければならない人が多い。 夕方バスの運行本数を増やして欲しいです。困っている学生がたくさんいます。
子供と一緒にバスや電車に乗って体験出来るようなクーポンがあれば使ってみたいです。 ・バスの運転手の運転マナーが悪い(スピードの出し過ぎ。着席しないうちに発車する。バス停に止まらないうちに扉を開ける。言葉遣いが悪い。など) ・バス停や電車の本数が少なすぎて出かける気にならない。(特に夜間) ・公共交通が不便だと、高齢になった時は、都市部への引っ越しも考えざるを得ない。
電車の 1 時間の中の本数を減らしても良いので 1 時間毎に 1 本は欲しいと感じる
公共交通維持のため自動車の税金を増やす。免許返納にした高齢者等への公共交通期間の割引(半額にする等、障害者手帳(割引パス)の様な)+市内(路線バス)でのフリー乗降区間(片側 2 車線区間とか一般車追越し車線にまわれるので)の導入。民間(バス・電車)

のローケーションシステムの活用/パスもなど交通カード支払い。災害時(2011 東日本大震災)本荘～横手間バス運行があつて助かりました(タクシー3 万円位バス 1800 円位)だったかと
鉄道、路線バスによる通勤をしたことがあります。1 時間当たりの本数が少ない事、特に冬期間の出発時間や到着時間の遅れにより、就業時間に影響が出たことが度々ありました。雪国の場合、やむを得ない事ではあります。
鉄道に乗り遅れて次の時間まで長くない様に路線バスにすぐ乗れる時間があれば交通機関を。時に冬期間変化しやすいので。
鉄道、バスを利用しようとしても 1 時間に 1 本でなかなか利用しにくい。
十文字駅の券売機の復活と、Suica 導入を希望します。
Suica の導入希望します！！
JR の運行本数を増やして欲しい。

【デマンドに関すること】

今は車があり運転しているが、将来どうなるのか・・・と心配になることがあります。1 日市内は循環バスがあり便利と思いますが、他地域はとても不便。実家の方は最寄りバス停まで歩いて 15 分以上かかり、年寄りにはバス利用は困難だと思います。デマンドのタクシーはとても良いと思いますが、例えば、病院の帰り etc 時間が読めない時の利用が出来ないという声も聞きます。30 分前の予約で、1h 前の予約より少し高くするとか、段階があつても良いのではと思います。高齢者の免許返納に対しても、もう少し補助があつてもよいのでは？
年配の方々を見ていると、デマンド交通が一番便利に使われているように思います。バスの乗り降りの難しさ(バスは足が悪いと乗りにくい)、時間の少なさ(使いたい時に動いていない)、バス停が少ない(歩くの困難)。前もって予約しなくてはならないことにもだいぶ慣れてきているように思います。使いたい時に、ちょっと頼んで乗せてくれる、それが出来ればいいのでしょうか、そのような利用ばかりでは、タクシーさんの利益にならないと思うので、市の運営でそれに近い事が出来ればいいのでは？※タクシーさんの態度が悪いと聞いた事あります。
高齢化しており、車の免許を返納した時、大きな病院より医院に受診する手立てがタクシーになる様に思う。医院周りの乗り合いタクシーを運行して欲しい。デマンド交通の利用方法や乗り合いタクシーの使い方が全く分からない。説明書を作成し配布して欲しい。
住居の前が市道で横手⇒湯沢のバスが通りますが、朝から夕方まで、とにかく乗客が少ないです。一人か二人いればいい方で、これでは廃止の方向へ進むのも仕方がないと思えます。旧横手市内ならばまだ良い方だと思いますが、旧町村では、バスやデマンドタクシーよりも、乗り合いタクシーのように、3～4 人単位で予約をした上で、利用した方が利用しやすいし、効率的ではと思います。
今は利用していませんが、近々利用すると思っています。病院直通(行きのバス)やデマンドに力を入れて下さい。
一度だけ循環バスに乗った事があつて、横手イオンから駅まで行くのに結構時間がかつたのを覚えています。本荘行きに乗りたかったのですが、乗り継ぎがよくわからなく駅まで行ってしまいました。デマンドとか便利なものがあつたのですね。

デマンド交通について、出発の時は使えますが、帰りには時間がなく使えません。帰りも 30 分前に連絡すれば使える様に出来ればと思います。
小生の様な歩行困難な者にとっては、自家用車は必須なものですが、出来れば安全なバス等を利用したいことはやまやま、今の循環バスをもっと小型(今は乗客が多くて 4~5 名?)にし、循環区域を拡大してもらえればと思っています。尚、デマンドバスや問 13-6 の制度も大いに活用すべきではと思います。
デマンドバスと AI で公共交通を守る(南三陸町)この取り組みをニュースでやっていたが、良い方法だと思った。検討してみてください。
横手デマンド交通を母が利用させてもらっています。この制度を続けてもらいたいです。
路線バスの本数は削られ、循環バスで移動しております。毎日運行して欲しいです。循環バスも毎日動かなくなったらデマンドしかなく、高額の為、生活が苦しくなります。気軽に利用して楽しく生活できればと思います。
使用頻度の多い路線はもっと本数を増やしさらに使用しやすくして欲しい。少ない路線はオンデマンドが良いと思う。地方都市の地下鉄のイメージで主要路線のみ強化でも良い
デマンド交通を利用したいが時間帯が限定される。24 時間利用可能とする事は出来ないか
金沢地区などタクシー会社が近くに無い地域ではデマンドタクシーで通院が難しい。各地域で気軽に近くまでの送迎が白タクにならないように出来れば理想的かと思います

【その他の意見】

高齢者(1 番必要だと思う人)は、インターネットや携帯などを使って予約する事が出来ない。わからない、やれない。うちのおばあちゃんは出来ない。そういう一人暮らしの人がたくさんいると思う。そういう人たちが、気軽に使うシステムを作って欲しいです。
根岸八幡線の工事が進んでいますが、横手幼稚園の向いに、一軒残りでしたが、どういう条件で可能だったのですか。土地を買収された方は疑問に思っています。
障害者手帳はないけれど、てんかんの持病による発作が怖くて運転をしていない。そういう人が受けられる割引等を設けてほしい。それが情報を知らないだけだろうか？意識を失う持病のある人が生活しやすい社会にしてほしい。
宇都宮市のような LRT の導入は夢です。病院、市役所、企業(Honda のような大きい工場)集積地と集落を結ぶ環境に優しい交通機関が 100 年後、現れる事を希望します。
障害者は市内～無料にしてほしい(介助者も)
公共交通を利用する為に、何十分も歩かなければいけないし、歩道がない所もある。
キャッシュレスの時代になりつつあり小銭の準備が無くなっている。従って、カード、スマホのキャッシュレス化を是非進めてほしい。
自分が住む地域には、徒歩圏内にスーパーがあります。もし今後近くに買い物ができる場所が無くなったらと思うと心配です。生活するのに最低限必要な、通院・買い物(スーパー)用の路線があると、老後安心かなあと思います。
今は車で移動できるが、もっと高齢になり運転できなくなった場合など、どうなるのか心配になる。その頃には、通院も増えると思うし、もっと公共の乗り物が手軽に利用出来る様に考えてほしいです。良くなっていく事をお願いします。
質問が理解しにくい様に思われます。選択の仕方が難しい。

私自身は現在は自分で車を運転しているので公共交通は利用していませんが、将来的に利用する立場になったとすると、病院と買い物する時だと思しますので、乗り継ぎしないで各病院(特に)に行ける交通手段がもっと充実されればいいと思います。
自分はまだ自身で車を利用して移動することが可能ですが、高齢者の方々(すでに運転しなくなった方々)にとっては、公共交通は大変ありがたいものだと思います。また、息子世代の通学でも欠かせないものだと思いますので、どうかこの先も効果的・効率的な運行を工夫していただき、維持していただきたいと思います。よろしくお願い致します。
休日運休路線が最寄りなので、横手の街中へ酒を飲みに行けません！
県民性と思いますが、「他人の人を助けるため人に手を差し出す！事無く、足を引っ張る」私教わってる！なんにも知らないのに、教わっているふりをする！
免許を返上しても、通勤・買い物・通院が出来れば、何とかかなと思うので、重点を絞って整備すればいいのではないかな。
知らない事が多く記入しにくい。(現在まだ自分で運転しているので現実感が遠い)
今のところ、2人で車を所有し、お互い個々に移動しているので困っていない。
自家用車があっても、80歳以降は運転技術の低下が見られる。事故防止のため、早く免許の返納が進むように、75歳以上の市民には共通年間パスポートを依頼で購入出来るようにしてほしい。(5000円)
雪の除雪をしっかりとしてほしい。冬場の買い物に行くのに道路が狭く、高齢者が歩けない。小学生も危険となることが考えられる。流雪溝の整備をして欲しい。
車椅子の利用が出来ると嬉しい。
現在自分で車を運転し移動しているので、公共交通での移動はあまり考えません。免許返納後の移動手段等の勉強会の取り組みが必要と思われます。
車椅子利用者も乗車できるシステムがあれば良いと思う。(時間帯等を決めて)
高齢等で運転に不安な人も、車がないとどこへも行けない現状があり、もっと買い物が身近に出来る様、移動販売を充実させてはどうか？
公共交通の問題が我が身の事と思うのは退職後と思われます。その時、利用しやすい体制となっていたら幸いです。
今現在は自分で運転して外出出来るが、将来どうなるかわからない。職場でよく耳にする、買い物弱者への対策を早急に進めて欲しい。
生保なのですが、足が悪くて歩けず、どこか行くにもタクシーなので、交通費が足りないからどこへも行けない。外に出るのは、ディサービスだけだから、送迎車で行くだけ。
公共交通を利用する人は、ほとんど年金暮らしの人達なので、お得になるように！！と、安い金額の方がいいと思います。
このアンケートでは、旧横手市街地中心であり、交通形態を考える上ではあまりに小さすぎます。横手市長さんに申します。もっと勉強して下さい。この様なやり方、考え方では益々横手のみならず、県全体が弱小化します。なお一層、ご努力して下さいませ。同地域の者として残念です。
将来の公共交通システムについて、アンケート調査していただくこと…ありがたく思います。宜しくお願いします。
・高齢化社会が益々増える事に、先々どのように老人たちをスムーズに目的地へ移動出来るかを考えた方が良い。・買い物難民も近いうちにやって来るはず。・例えば他県のやり方とか参考にしてみれば？

自動車免許を取得して 50 年近く、公共交通は殆ど利用したことがなく、問 11 以降の設問は全く分かりません。
アンケートの内容が的外れで答えにくい。もっと公共交通の運行回数を増やして欲しい。お言葉ですが、このままだと若者はこの市に残りたいとは思いません。
公共交通は、車のない人にとっては、水道や電気と同じライフラインです。税金投入は仕方ないと思います。毎日運行しなければ、益々利用者は減ると思います(日曜日以外)。車必須の地域へは、車がなくても生活出来た人は移住しないと思います(お金がかかるので)。便利にしないと人も増えません。
通学する学生の利便性はキープしつつ利用者の少ない時間帯などの運行本数の見直し。午前中の早い時間帯や午後の最終運行はキープしつつ、利用者が運行時間(利用時間)を早めにして、少しでも赤字運行を減らす。
私の居住地は、旧市内と言っても、かつては 50 数軒だった世帯数が 25 軒程になり、うち半分が高齢者のみの世帯です。その上、町内が坂の上であり、特に冬期間は大変不便です。今は、運転していますが、近い将来免許証を返納した場合の冬期間は本当に不安です。
車での移動が多く質問が難しかったです。
自分で運転出来る状態がいつまで続くか心配。今の公共交通を利用するには、不便でなかなか免許を返上するまでにはいきません。
今現在はありますが、いつまでも親の運転する車に頼る訳にもいかないので、公共交通を学習し、利用する様になりたいです。
公共交通がしっかり整っていない＝お年寄りが生活しにくい。田舎ほど車がないと生活しにくいというのは安心して永く住むという理想があるとすれば、それを得られないということ。歳を重ねる程に雪道の移動、生活が苦としか感じない。行きたい所(生活の為の)に行きづらい交通状態は決していいものでなく、むしろ人が離れていく要素でしかない。
観光客の視点
高齢者の免許返納は重要だが、車がないと生活できない為、危険な高齢運転者を目にする。同居家族が居ても、就労している事が多く、自分で何とかしないといけない人が多い。早急に公共交通の充実を図り、安心して暮らせる市にしてほしい。
一人暮らしの買い物難民に寄り添った対策をお願いしたい。冬期の天候次第では運転も怖いので実家に行くのも控えてしまう。親はネットショッピング等も出来ないのでは。
今は、自分の車で自由に移動できる年齢なので特に困っていません。
歩けるうちは問題なし。
勝手に申し上げましたが、担当者のご配慮よろしくお願い致します。
1.運転できない方々は大変だと思う。2.免許なしの電動スクーターは横手では無理。3.2 だが、冬でも可能な車の開発、いずれ難しい問題。
自転車で走る時、場所によって路面の凸凹があり、怖かったりするので、直していただければ嬉しいです。
駅をきれいにして欲しい
もう少し歳を重ねたら免許返納をしようと考えています。その為にも利用しやすい公共交通運営を強く希望します。宜しくお願いします。

旧横手市内はある程度充実しているが、旧市外については年々不便になって行く様に感じる。路線維持について利用促進などしっかりと行くべきであると感じる。便利になる事で利用者も増加すると考えるし自分も公共交通を少しでも使う様になると考えている。
病院等では公共交通は難しいと思います。ましてや身体障害の人は
現在の市政は必要な物(プール、温泉、スキー場など●●の教育、福祉、文化に必要な物)を削り不要な物(既にある体育館や市民会館を改修せず多額の税金を投入している物を作る)既に税金を用いることから信用していない。ゆえに交通の足も乗る気になれないし信頼出来るか不明である。そもそもハード面よりもソフト面こそが大切な時代では無いか。市長以下市の職員が市民の為に常日頃考えていればこういったアンケートは不要だし、まずは税金を使うのではなくどうすれば良いか法を使ってはいかがか。
このアンケートは何のイミがあるんでしょうか？
今は自分で運転するので公共交通には興味は不足だがいずれ運転出来なくなった時の事を考えると、今取り組みをしっかりとしてもらいたいと思う
ふだん自家用車で動いていますが自宅近くのスーパーが無くなり、とすて迄買い物をするに行かなければならなくなり、近所の高齢の方は自分で買い物に行く事が出来ず大変な思いをしていると思います。交通や販売車などの面を充実してもらえればと考えています。また、病院も大きな病院から個人のクリニックは紹介となりますます交通が不便になり高齢者が大変になってきているので、もう少し医療の面で考えてもらえればと思います。
アンケート発行も良いですが市役所の方にはもっと市民のためになる様な言動を希望します。公共交通の件よりもやるべき事が沢山あるのでは無いでしょうか？横手市は税金が他の市より高いです。どうしてでしょうか？生活保護の方が多からですか？困っている市民は沢山います。もっと考えて欲しいです。
目的地への交通機関があるか時刻がわからない
交通機関を利用する事がただ単に移動手段としてだけでなく、人との交流が生まれる様な機能を併せ持つ様な物になって欲しい
高齢化にともない買い物に不便を感じる
免許証返納に伴いタクシーを気楽に使える制度を作って欲しい。料金高く気軽に使えない
冬期間の猛吹雪の日、道の除雪にもう少し頻度多くしてもらいたい。区間のパトロールもキチンとやってもらいたい。普通の天気の日は無問題無いです。感謝しております。
人が減る。乗客が減る。運賃が減る廃止のスパイラルは正直止めれるとは思えない。コンパクトシティを目指して老害をなんとかするのが田舎の課題だと思う
隣の市(大仙、由利本荘、湯沢)へのアクセスが悪い
高齢者が安全に利用出来る乗合タクシーが運行してくれて安心した生活を送れるやさしいサービス提供して欲しいです
今現在の時点で自家用車で自分や家族の移動手段は大丈夫だが、年を増すごとに公共交通を身近に生活の中に取り入れなければならない必要性が生じてくると思う。もっと大事に考えていく必要があると思う。
車の維持費が高い(保険、整備等)
県外に(大学に)行っており解答難しく無記入ですみません
自家用車が使えなくなったらいづれ使用したいと思っています

土曜が休み(運行)となり家族の送迎が必要となっている。1日の本数を減らしても良いので月～土まで運行して欲しい
問13で記入の通り春から十文字駅に居る職員さんの態度が悪くて通勤に利用している大人は呆れております。あれでは無人駅にした方が良い位です
市民の収入を増やす事がすべての問題の解決策だと思います。ライドシェア(相乗り)出来る環境作りをして欲しい。今後人口減少で財政難になり公共交通の維持が出来なくなる。人口減少を無くすため市民の収入を増やす取り組みをしなければならない。収入増→人口増と考えます。うまく文章をまとめられませんでした。すみません
車のウーバーアプリを導入しても年齢制限をかけてやれば使う方もやる方もウィンウィン。車の宅配アプリ。アプリを作りをする
乗車案内のアプリの様に今いる所から目的地へと入れると、どう動けばいいか教えてくれるアプリがあると便利かも。市内限定(市内とは旧横手市ではなく全体)
日々、不自由さを感じる事が無いので無責任かもしれませんがアンケートに答えられたかわかりません
今後、工業団地に大手企業が来る。住居エリアと職場への行来の利便性。どうしていくか気になります。多分13号と抜け道はかなり混むのではと。事故とか。公共交通期間をたくさんの人に使ってもらいたいか高齢者に優しい街にしたいのか子供や子育て世代をフォローするようにしたいか取り組みがフワフワしてて芯が無い感じで結局今のままいきそう。個人的には子供に優しい街の為に動いてほしい
急を用する時はタクシーですので必要な時いつでも来てくれたらいい
60代のせいはまだ公共交通についてまだ考えてこないのではっきりした考えが思い浮かびませんでした。これを機会に将来の事を考えなければと思い参考になりました
今のところ自分で自家用車を運転して自由に移動出来ますが将来それが不可能になった場合の事を考えると不安が大きいです。高齢者に優しい交通規制の整備、宜しく願います
勤務が早番遅番があり自家用車でないとどこにも行けない。まして大雄だと車がないとどこにも行けない。アンケート無駄
柳田駅を利用する人から階段があり知用しづらいと聞いた事があります
公共交通を利用しない為わからない
今後10年は自家用車で移動出来ると思っているがその後はまだ考えていない。日々の移動に関する困りごとは特に無し
全ての質問事項が横手市内で住んで居る地域によってはあてはめる事が出来ない
本数を増やし待ち時間を少なくし利用しやすくして欲しい
現在30代で自家用車で買い物や通院が出来ていますが年を重ねる事に公共交通期間が減る(廃線)となると不便になって大変になってしまうと思います。現在祖母などを居住地外のクリニックに私の自家用車にて通院(付き添いも私です)してありますが特に冬場は祖母が高齢ではありますが自分で歩けますが足元が雪なのでヒヤヒヤします。状況によっては通院時はタクシーを使用していた方が安心ですがタクシー代もかかり祖母がタクシー代を払うのかと(祖母本人)渋るので困る時があります。祖母医療費1割負担。過去に月に4回通院があったのですが自家用車で通院だと公共交通と違い料金を払うわけでもないので医療費は1割負担だから医者には何回行ってもお金はかからないと言われた時がありました。私自身の時間とガソリン代はかかっているので当時は公共交通の値段(運賃)が

たかかったりすると家族の人の負担が増えて大変だと思いました。秋田県は少子化高齢化率が高いので考えさせられます。(長文失礼しました)
今の所、マイカー運転で不自由はありませんが将来的に高齢となり車が運転出来なくなったら代替の移動手段で希望に合う物があるか不安を感じます
税を高くしても個人が特段の目的のないまま無駄に自転車を走らせる事を止めるべき。雪国は除雪が必要となるため、そのための金、石油を大量に消費している。かつてソリで移動又は運河など現在の法律や常識を超えた仕組みづくりが(SD'S、人口減の観点から)必要と考える
IC で払えれば楽、早急に導入すべき
横手市職員が多すぎる。職員を減らし財政に余裕をもたせ公共交通などに投入すべき
地域的格差有無
Suica が使えない
人口減少や運行ルートの不便さなど現状では公共交通機関の課題が多く自家用車の利用は欠かせない。多くある課題に対しどんな取り組み、改善が行われるのか注目したい
乗合タクシーのような物が増えると利用者も便利だと思う(地域ごとに分けたりドライバー確保は大変かと思うがUber 的な仕組みがあればいいかも?目的を限定した運行を試みる→医者、買い物、その他など)他自治体の成功事例をマネてみる
車を運転出来るうちは公共交通の不便さは感じにくいのですが高齢になった時に主治医が横手市内だと通うのが大変になる。かといって主治医を変えるのも大きい決断になるなと思う事があります。買い物など生活全般に交通機関へ大きな環境が出ると思います。高齢になっても住みやすい横手市でいて欲しいです
年齢や立場が変ればも求める事も変わる。自宅一目的地の公共交通の方法、利用出来る制度をもっと導入して欲しい
住み易い街づくり期待しています
県道 36 号線、横手市大森町板井田上三ツ屋付近の交差点右折の車があると進まず、朝渋滞が起きて非常に困ります。特に通勤時間です。時差式信号にしてもらえるとスムーズに見んな通勤できると思います。どうか宜しくお願いします
もう 10 年位して免許の返納を考える頃でなければ心から考えてアンケートに答えられません
利用者は年配の方が多く感じるので、その方々が今よりも外出しやすくなれば良いと思います。

2. バス乗降調査及び利用者アンケート調査

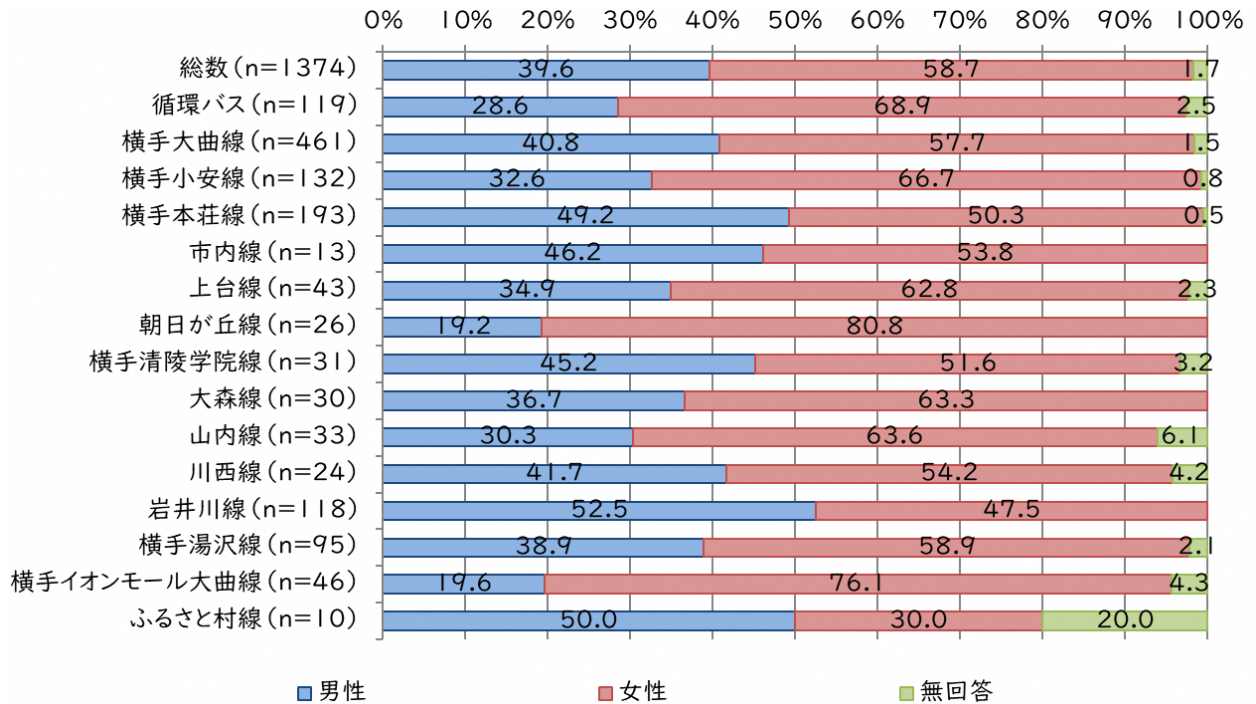
1-1 調査の概要

調査対象	調査期間中に、下記対象路線を利用した乗客 <調査対象路線> 【平日・休日の両日実施した路線】 横手本荘線、横手湯沢線、横手小安線、岩井川線 【平日のみ実施した路線】 横手市内線、朝日が丘上台線、大森線、横手清陵学院線、山内線、 横手大曲線、川西線、横手市循環バス 【休日のみ実施した路線】 ふるさと村線、横手イオンモール大曲線																																																																																			
調査期間	7月13日(木)、15日(土)、16日(日)																																																																																			
調査方法	乗車している調査員による直接配布・回収																																																																																			
回収数	1,374票 (平日：1,201票、休日：173票)																																																																																			
使用した調査票 (見本)																																																																																				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3" style="text-align: center;">【バス調査カード】(案) ↓裏面</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">↓表面</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;"> 横手市路線バス調査カード 以下の質問について、あてはまる答えを1つずつ選んで 折り曲げ、降りるときに調査員にお渡しください </td> <td colspan="2" style="text-align: center;"> 横手市路線バス調査カード No.【 】 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">男性</td> <td style="text-align: center;">性別</td> <td style="text-align: center;">女性</td> <td colspan="2" rowspan="10" style="vertical-align: top; padding: 5px;"> 毎度ご乗車いただき、ありがとうございます。本日は路線バスの利用実態調査を行っております。 裏面の質問について、あてはまる答えを1つずつ選んで折り曲げ、降りるときに調査員にお渡しください。ご協力をお願いいたします。 実施：横手市地域公共交通活性化協議会 (横手市 総務企画部 経営企画課) TEL：0182-35-2164 (直通) ※本調査は、ランドブレイン株式会社に委託しています。 委託者：ランドブレイン株式会社 秋田事務所 TEL：018-895-8022 住所：秋田県秋田市山ま5-11-9 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">~18歳</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">年齢</td> <td style="text-align: center;">60~74歳</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">19~39歳</td> <td style="text-align: center;">75歳以上</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">40~59歳</td> <td style="text-align: center;">大森地区</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">横手地区</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">お住まい</td> <td style="text-align: center;">十文字地区</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">増田地区</td> <td style="text-align: center;">山内地区</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">平鹿地区</td> <td style="text-align: center;">大雄地区</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">雄物川地区</td> <td style="text-align: center;">横手市外</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">通勤・通学</td> <td style="text-align: center;">本日のご利用の目的</td> <td style="text-align: center;">公共施設利用</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">買い物</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">(帰宅の場合は外出目的を選択)</td> <td style="text-align: center;">観光</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">通院</td> <td style="text-align: center;">その他</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">片道のみ利用</td> <td style="text-align: center;">ご利用のしかた</td> <td style="text-align: center;">往復利用 (往復同じ路線)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">週に3日以上</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">バスの利用頻度</td> <td style="text-align: center;">月に2~3日</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">週に1~2日</td> <td style="text-align: center;">年に数回</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">満足</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">運行サービスの満足度</td> <td style="text-align: center;">やや不満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">やや満足</td> <td style="text-align: center;">不満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">待ち時間が少ない 乗り継ぐと運賃が安い</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">乗り継ぎ利用で重視する項目</td> <td style="text-align: center;">運行本数</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">運行本数</td> <td style="text-align: center;">待合環境</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">運行時間帯</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">改善してほしいサービス (上位2つまで)</td> <td style="text-align: center;">鉄道との乗り継ぎ</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">運行ルート</td> <td style="text-align: center;">待合環境</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">運賃</td> <td></td> <td style="text-align: center;">運行情報の提供</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">運行時刻の正確さ</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td colspan="2" style="text-align: center;">(調査員記入欄)</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td colspan="2"> 乗車/バス停 <input type="checkbox"/> 降車/バス停 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 手帳 <input type="checkbox"/> 未就学 <input type="checkbox"/> 免許返納者 <input type="checkbox"/> </td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td colspan="2"> 調査路線 () 調査便【上り・下り】(便目) </td> </tr> </tbody> </table>		【バス調査カード】(案) ↓裏面			↓表面		横手市路線バス調査カード 以下の質問について、あてはまる答えを1つずつ選んで 折り曲げ、降りるときに調査員にお渡しください			横手市路線バス調査カード No.【 】		男性	性別	女性	毎度ご乗車いただき、ありがとうございます。本日は路線バスの利用実態調査を行っております。 裏面の質問について、あてはまる答えを1つずつ選んで折り曲げ、降りるときに調査員にお渡しください。ご協力をお願いいたします。 実施：横手市地域公共交通活性化協議会 (横手市 総務企画部 経営企画課) TEL：0182-35-2164 (直通) ※本調査は、ランドブレイン株式会社に委託しています。 委託者：ランドブレイン株式会社 秋田事務所 TEL：018-895-8022 住所：秋田県秋田市山ま5-11-9		~18歳	年齢	60~74歳	19~39歳	75歳以上	40~59歳	大森地区	横手地区	お住まい	十文字地区	増田地区	山内地区	平鹿地区	大雄地区	雄物川地区	横手市外	通勤・通学	本日のご利用の目的	公共施設利用	買い物	(帰宅の場合は外出目的を選択)	観光	通院	その他	片道のみ利用	ご利用のしかた	往復利用 (往復同じ路線)	週に3日以上	バスの利用頻度	月に2~3日	週に1~2日	年に数回	満足	運行サービスの満足度	やや不満	やや満足	不満	待ち時間が少ない 乗り継ぐと運賃が安い	乗り継ぎ利用で重視する項目	運行本数	運行本数	待合環境	運行時間帯	改善してほしいサービス (上位2つまで)	鉄道との乗り継ぎ	運行ルート	待合環境	運賃		運行情報の提供			運行時刻の正確さ				(調査員記入欄)					乗車/バス停 <input type="checkbox"/> 降車/バス停 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 手帳 <input type="checkbox"/> 未就学 <input type="checkbox"/> 免許返納者 <input type="checkbox"/>					調査路線 () 調査便【上り・下り】(便目)	
【バス調査カード】(案) ↓裏面			↓表面																																																																																	
横手市路線バス調査カード 以下の質問について、あてはまる答えを1つずつ選んで 折り曲げ、降りるときに調査員にお渡しください			横手市路線バス調査カード No.【 】																																																																																	
男性	性別	女性	毎度ご乗車いただき、ありがとうございます。本日は路線バスの利用実態調査を行っております。 裏面の質問について、あてはまる答えを1つずつ選んで折り曲げ、降りるときに調査員にお渡しください。ご協力をお願いいたします。 実施：横手市地域公共交通活性化協議会 (横手市 総務企画部 経営企画課) TEL：0182-35-2164 (直通) ※本調査は、ランドブレイン株式会社に委託しています。 委託者：ランドブレイン株式会社 秋田事務所 TEL：018-895-8022 住所：秋田県秋田市山ま5-11-9																																																																																	
~18歳	年齢	60~74歳																																																																																		
19~39歳		75歳以上																																																																																		
40~59歳		大森地区																																																																																		
横手地区	お住まい	十文字地区																																																																																		
増田地区		山内地区																																																																																		
平鹿地区		大雄地区																																																																																		
雄物川地区		横手市外																																																																																		
通勤・通学	本日のご利用の目的	公共施設利用																																																																																		
買い物	(帰宅の場合は外出目的を選択)	観光																																																																																		
通院		その他																																																																																		
片道のみ利用	ご利用のしかた	往復利用 (往復同じ路線)																																																																																		
週に3日以上	バスの利用頻度	月に2~3日																																																																																		
週に1~2日		年に数回																																																																																		
満足	運行サービスの満足度	やや不満																																																																																		
やや満足		不満																																																																																		
待ち時間が少ない 乗り継ぐと運賃が安い	乗り継ぎ利用で重視する項目	運行本数																																																																																		
運行本数		待合環境																																																																																		
運行時間帯	改善してほしいサービス (上位2つまで)	鉄道との乗り継ぎ																																																																																		
運行ルート		待合環境																																																																																		
運賃		運行情報の提供																																																																																		
		運行時刻の正確さ																																																																																		
			(調査員記入欄)																																																																																	
			乗車/バス停 <input type="checkbox"/> 降車/バス停 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 手帳 <input type="checkbox"/> 未就学 <input type="checkbox"/> 免許返納者 <input type="checkbox"/>																																																																																	
			調査路線 () 調査便【上り・下り】(便目)																																																																																	

1-2 調査結果（利用者アンケート調査）

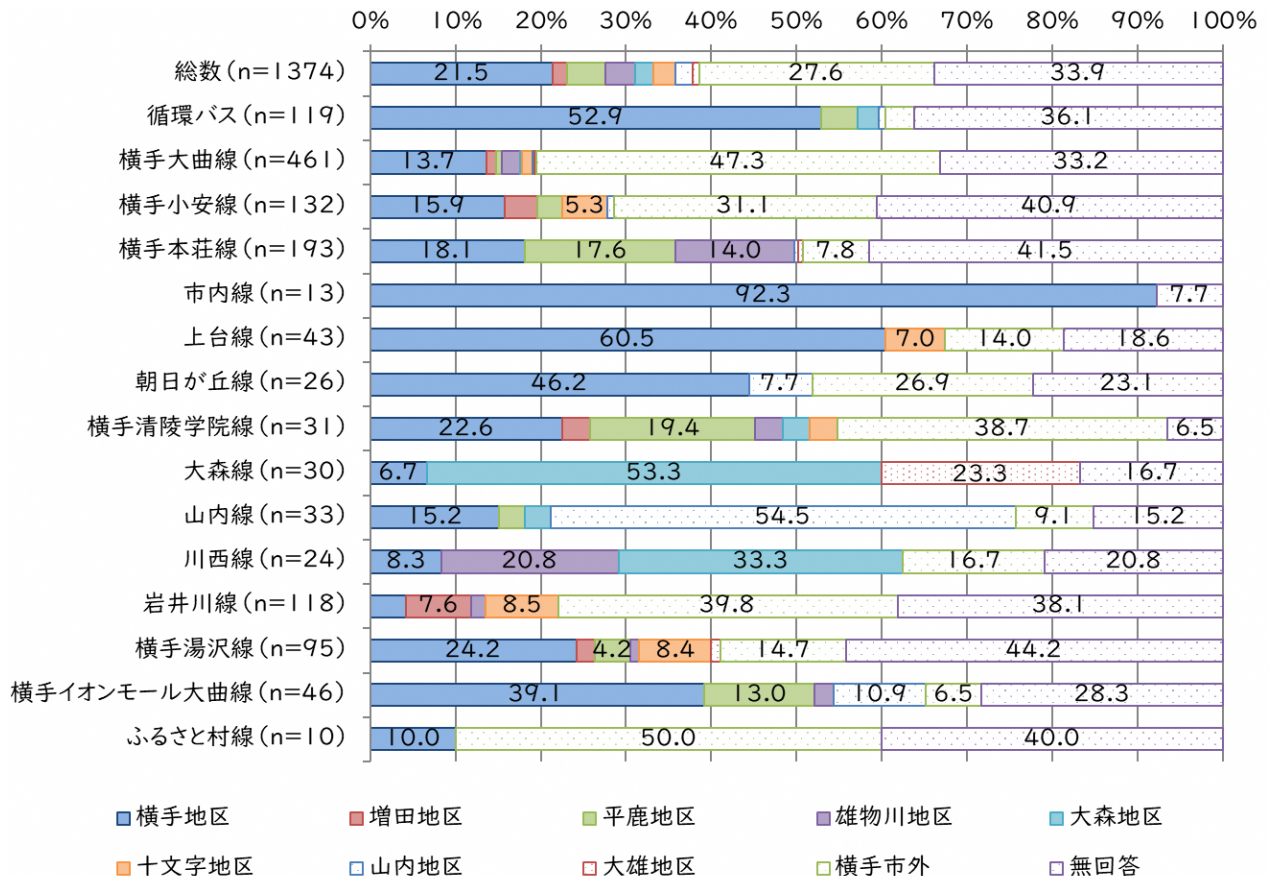
問1 性別

全体では、男性より女性の利用が多く、本市の男女比率は概ね半分ずつであることから、路線バスの利用者は女性の利用が比較的顕著であるといえる。横手本荘線、横手イオンモール大曲線、岩井川線、ふるさと村線など、他自治体を跨ぐ路線や観光要素が強い路線は、男女比率がほぼ同数になる傾向にある。



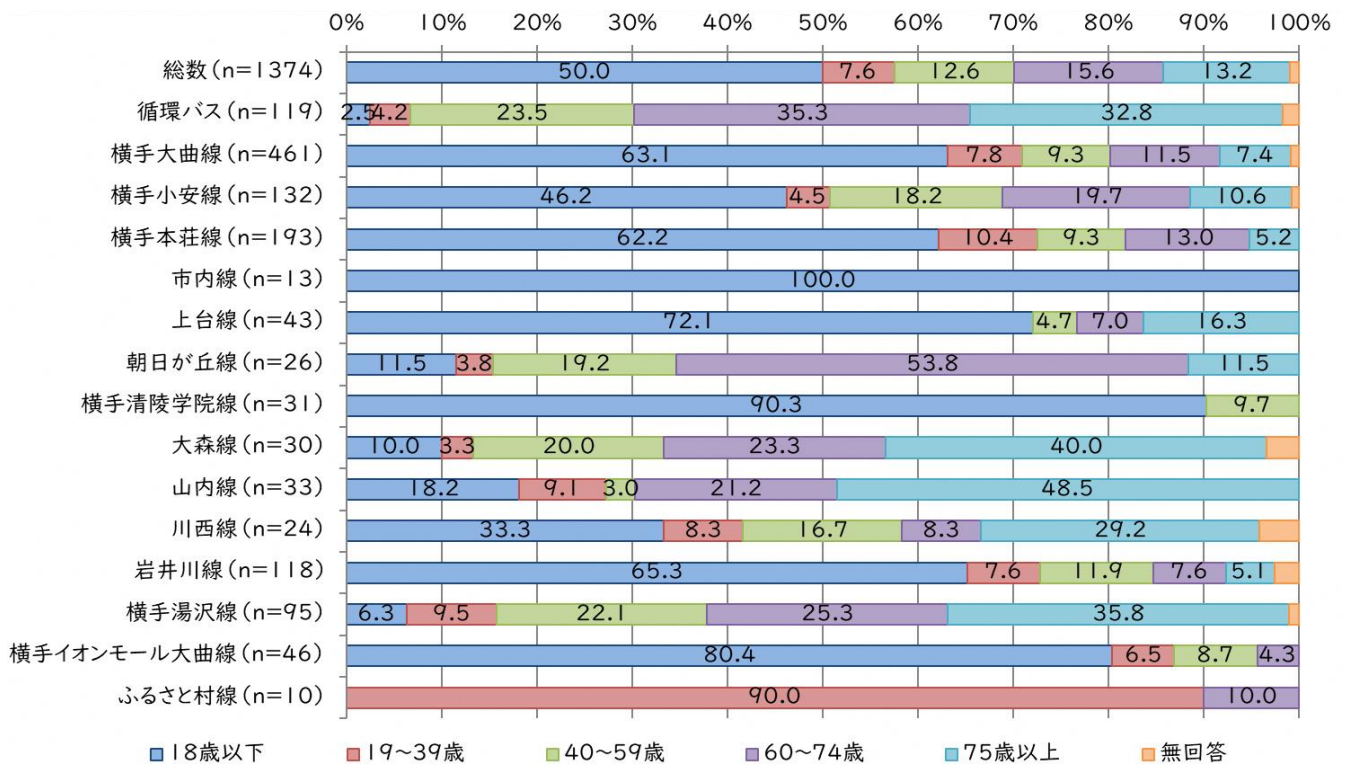
問2 居住地域

居住地域は、各路線が運行している地域の居住者が多くなっている。



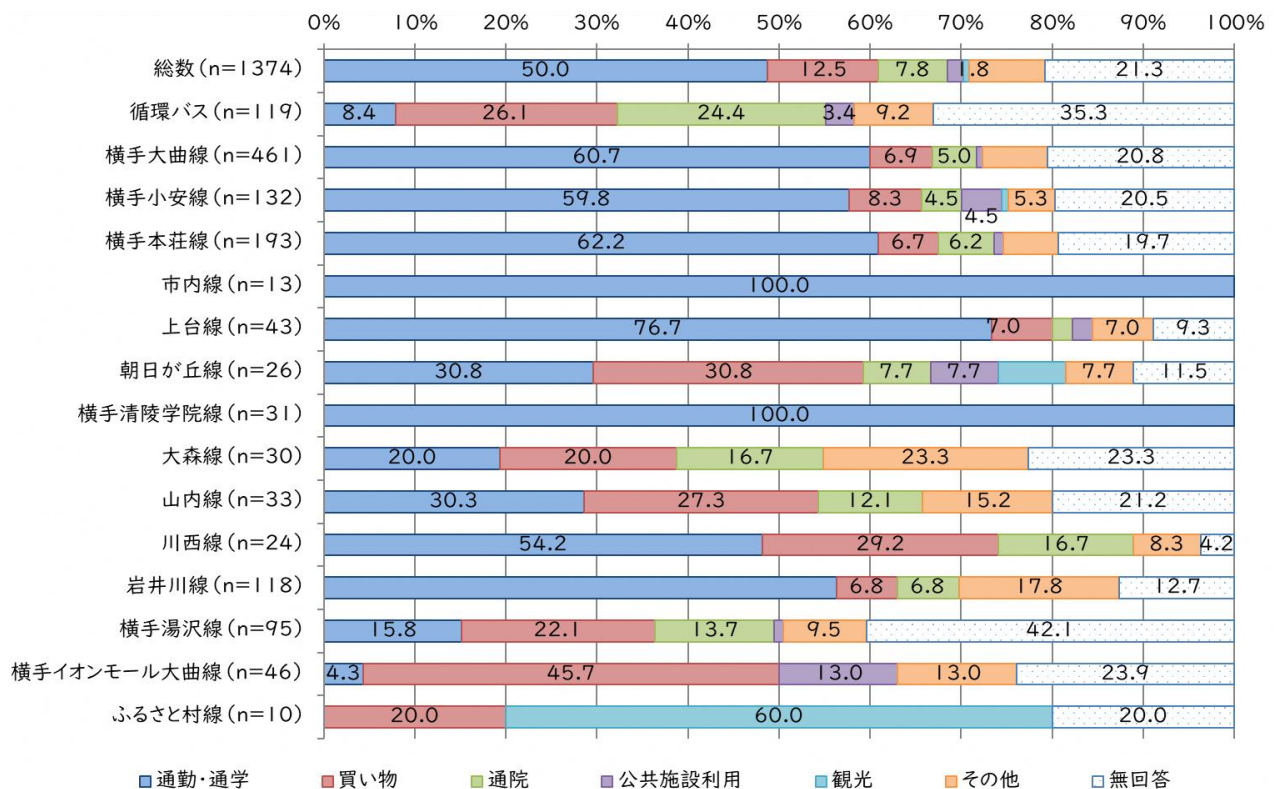
問3 年齢

利用者の年齢は、18歳以下が多くなっており、通学利用と推測できる。一方で、循環バスや朝日が丘線、大森線、山内線、横手湯沢線は、比較的用户の年齢層が高い傾向にある。



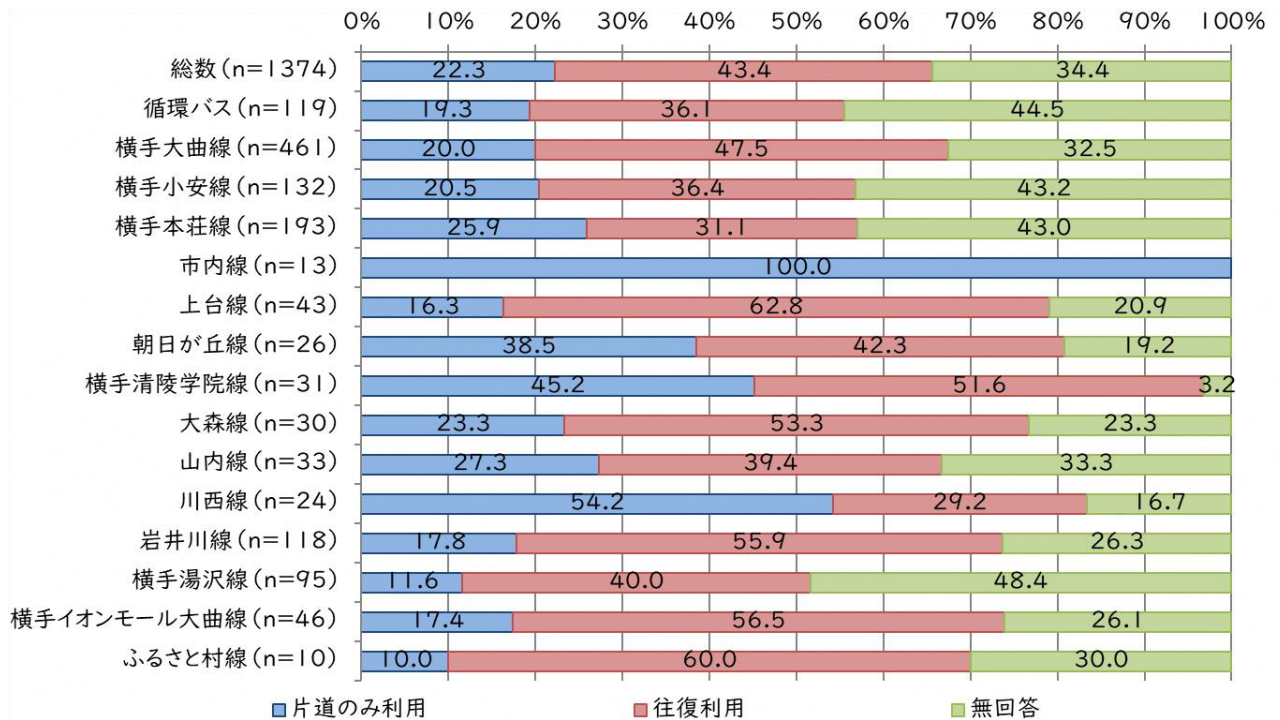
問4 利用目的

利用目的は、通勤・通学が多くなっているが、循環バスや朝日が丘線、大森線、山内線、横手湯沢線等は、買い物利用が多くなっている。



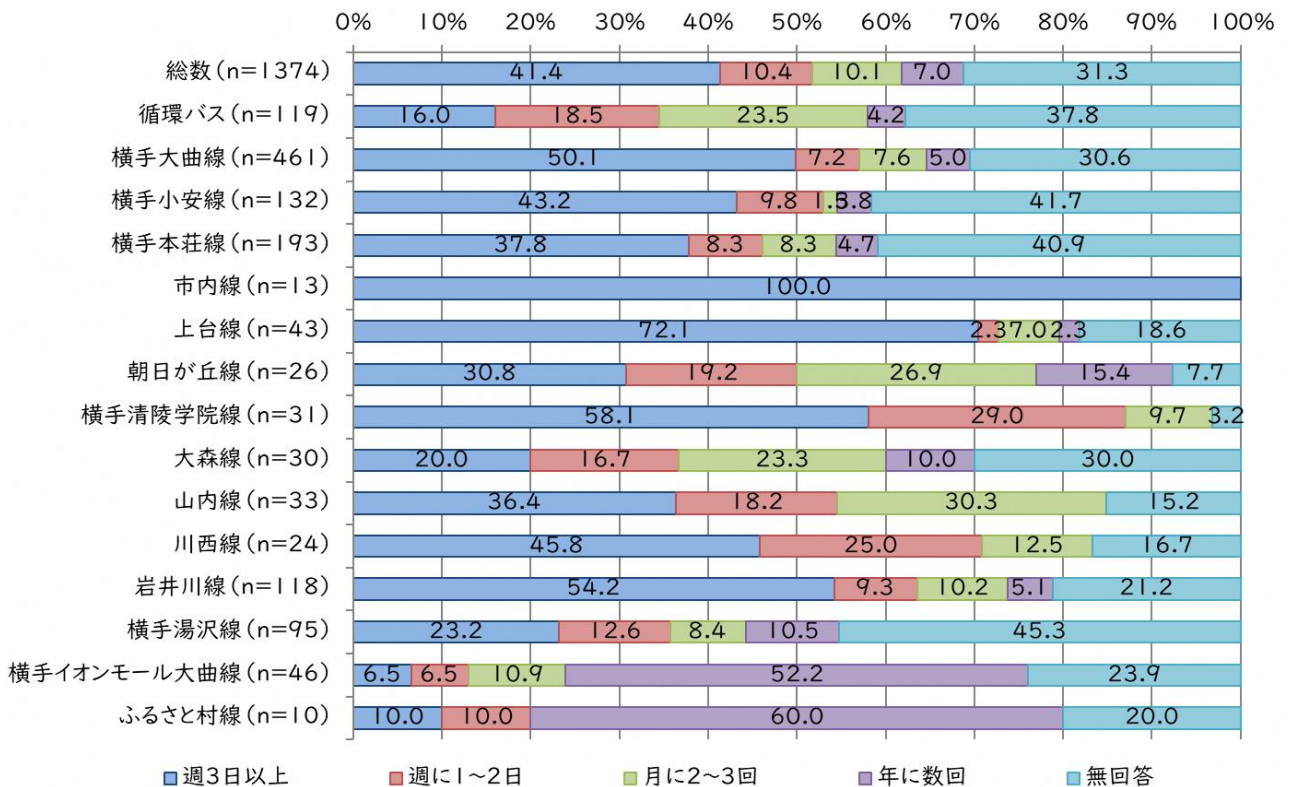
問5 利用方法

利用方法は、同じ路線を往復利用している傾向にあるが、朝日が丘線や横手清陵学院線、川西線は片道のみ利用も一定割合いることから、行きと帰りで別の交通手段を利用していると推測できる。



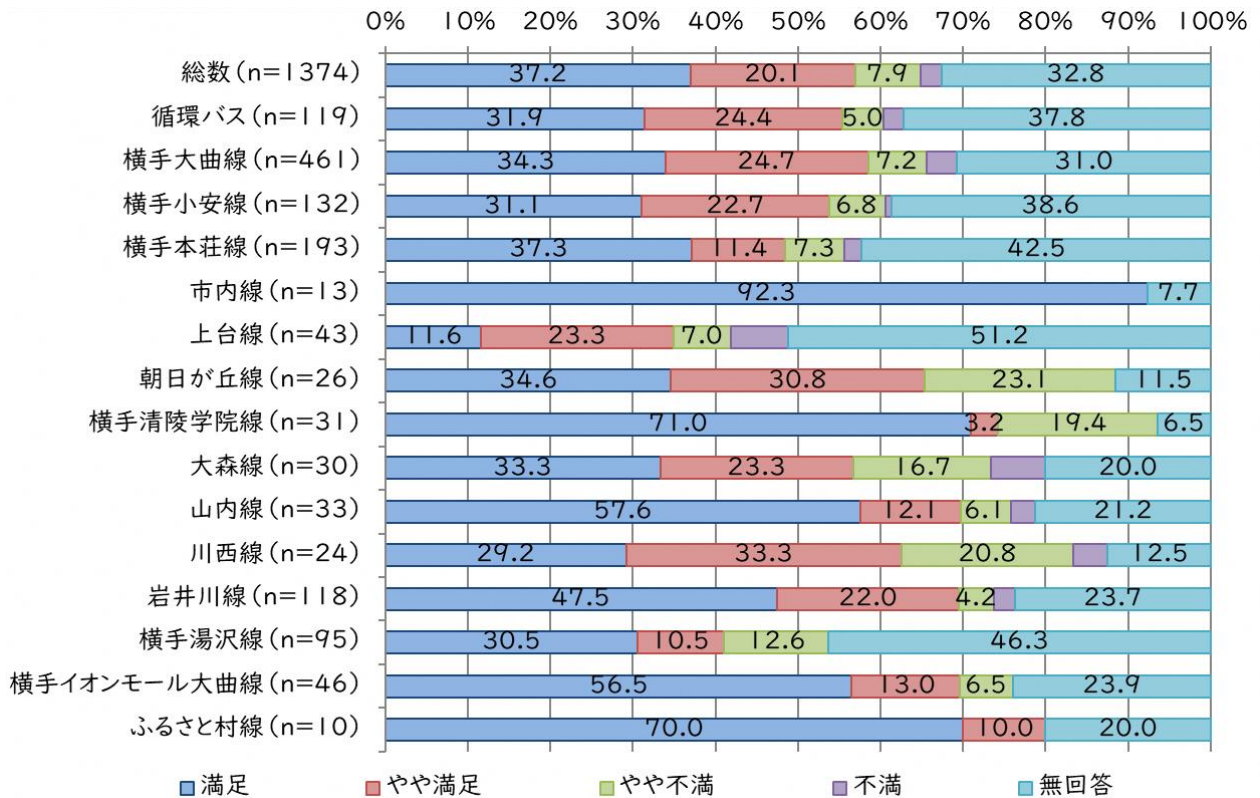
問6 利用頻度

利用頻度は、週3日以上という定期的な利用が多くなっており、路線別にみると利用頻度に偏りが見られる。



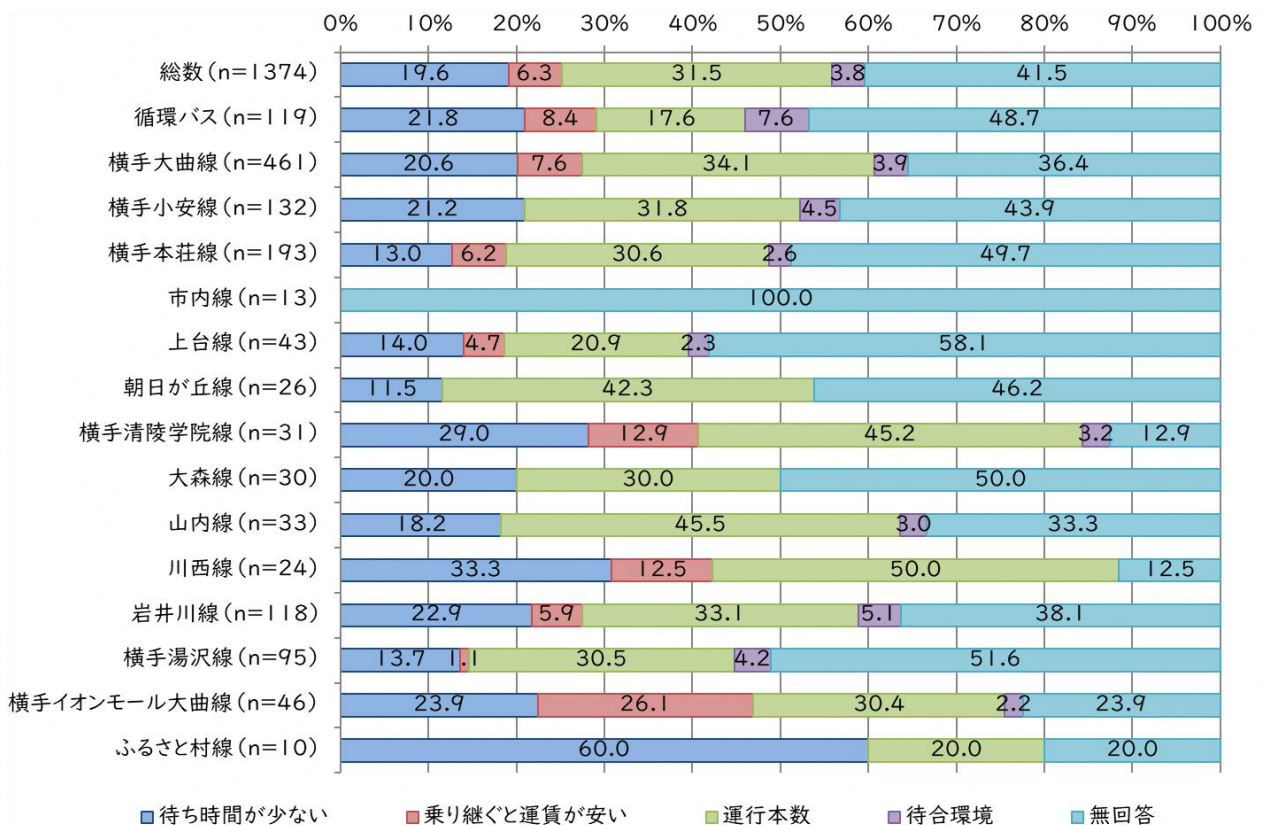
問7 運行サービスの満足度

運行サービスの満足度は、概ねどの路線でも高い傾向にある。



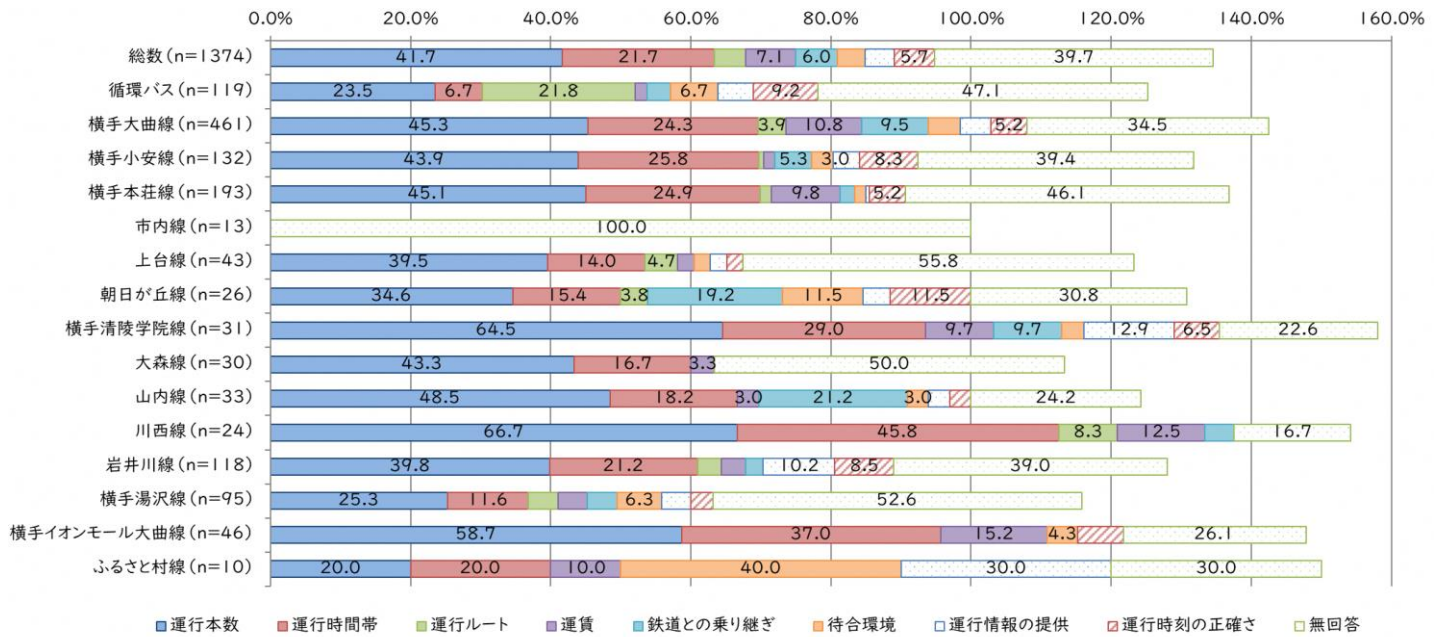
問8 乗り継ぎ利用で重視する項目

乗り継ぎ利用については、多くの路線で待ち時間が少ないことより、運行本数が多くなることを望んでいる。



問9 改善してほしいサービス(複数回答有り)

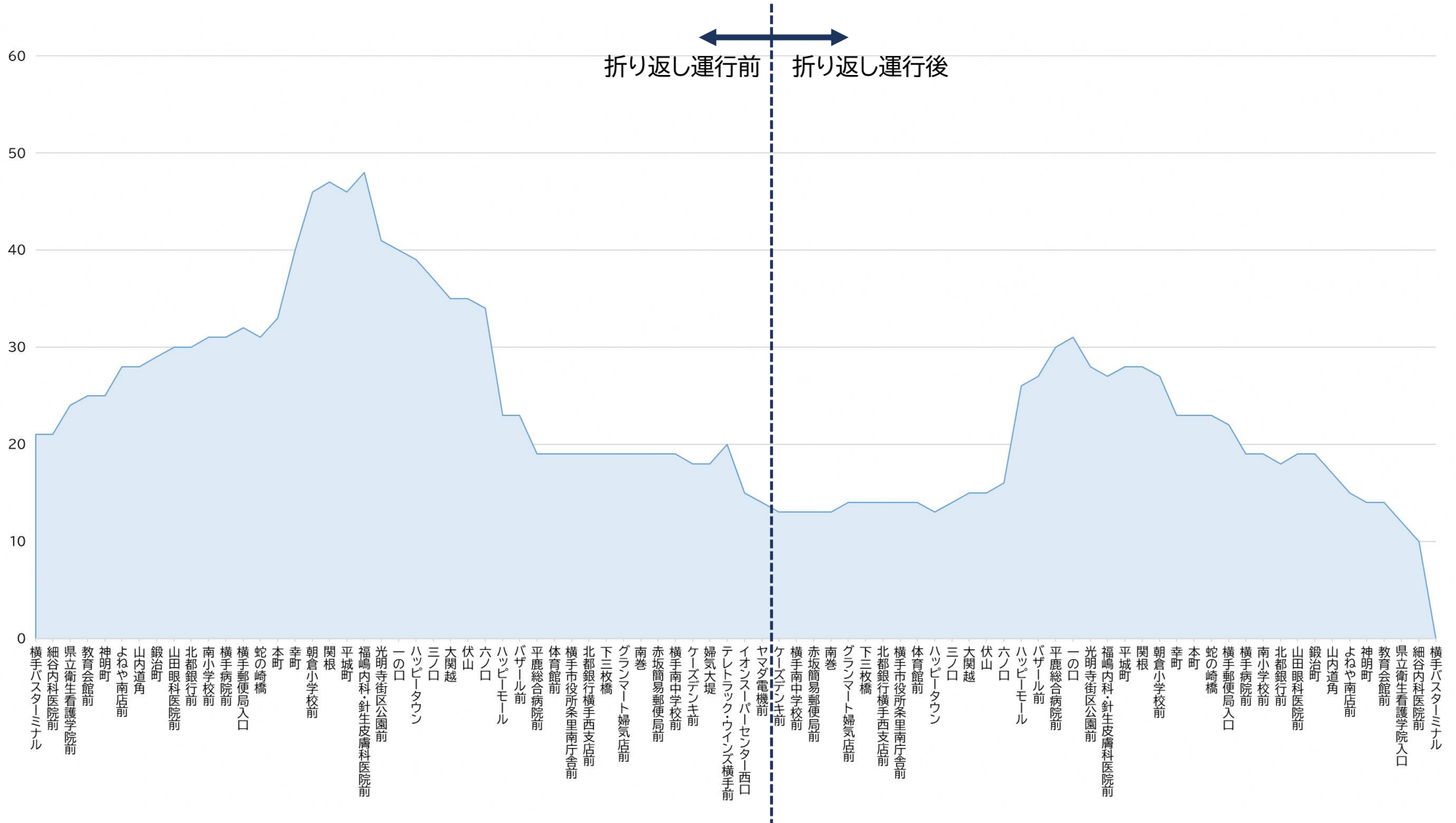
改善してほしいサービスは、運行本数が多くなっているが、運行時間帯や運行ルート、待合環境などの回答が多い路線も見られる。



1-3 調査結果（乗降調査：利用区間分析、全調査日、全便の合計値）

路線名：横手市循環バス

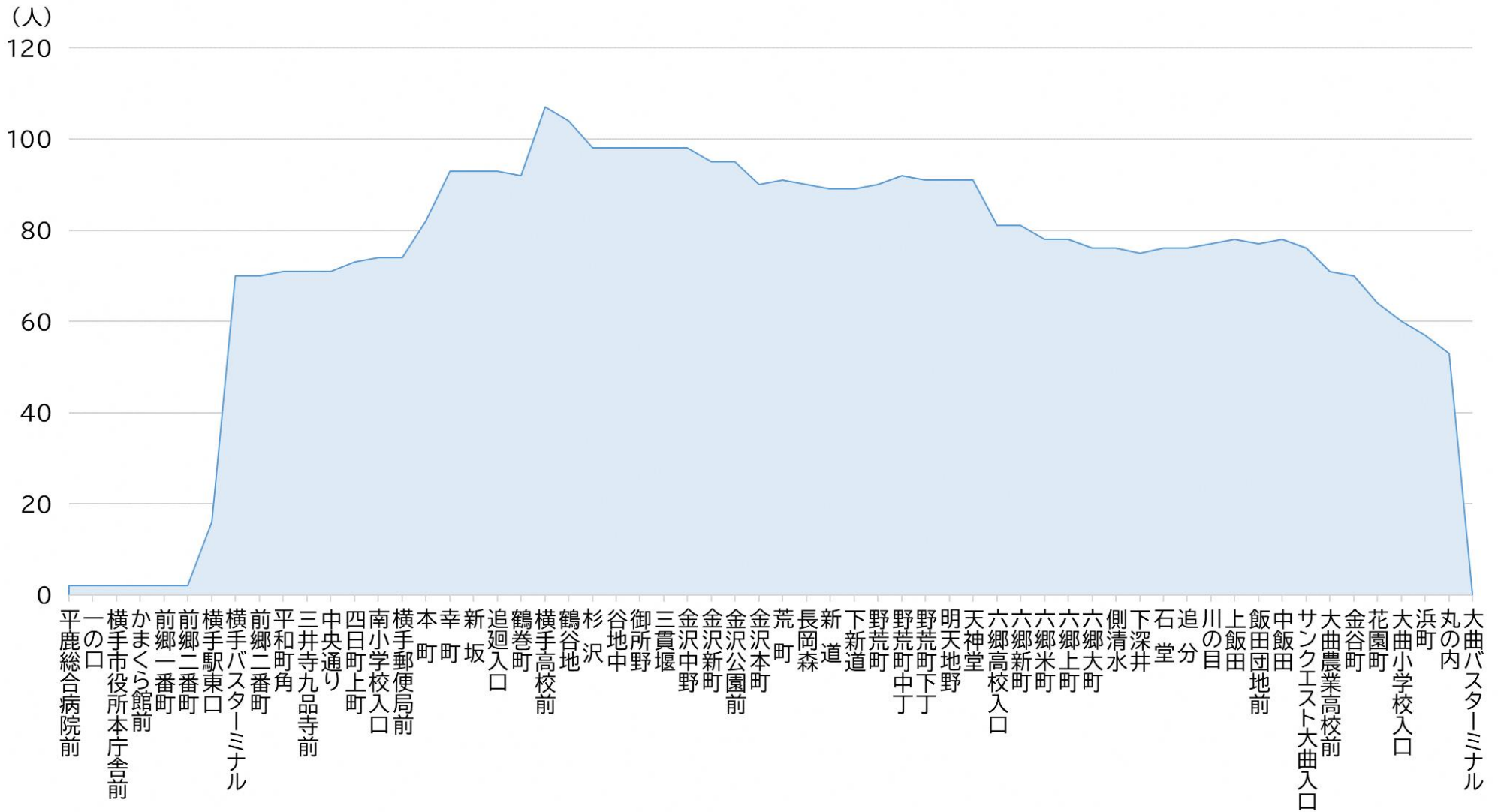
循環バスの利用状況は、横手郵便局周辺から六ノ口周辺までの利用が多く、折り返し後はハッピーモールから横手病院前までの利用が多くなっている。



路線名:横手大曲線

横手大曲線の大曲方面行の利用状況については、横手駅東口周辺から丸の内周辺まで、利用の多い状態が続いている。

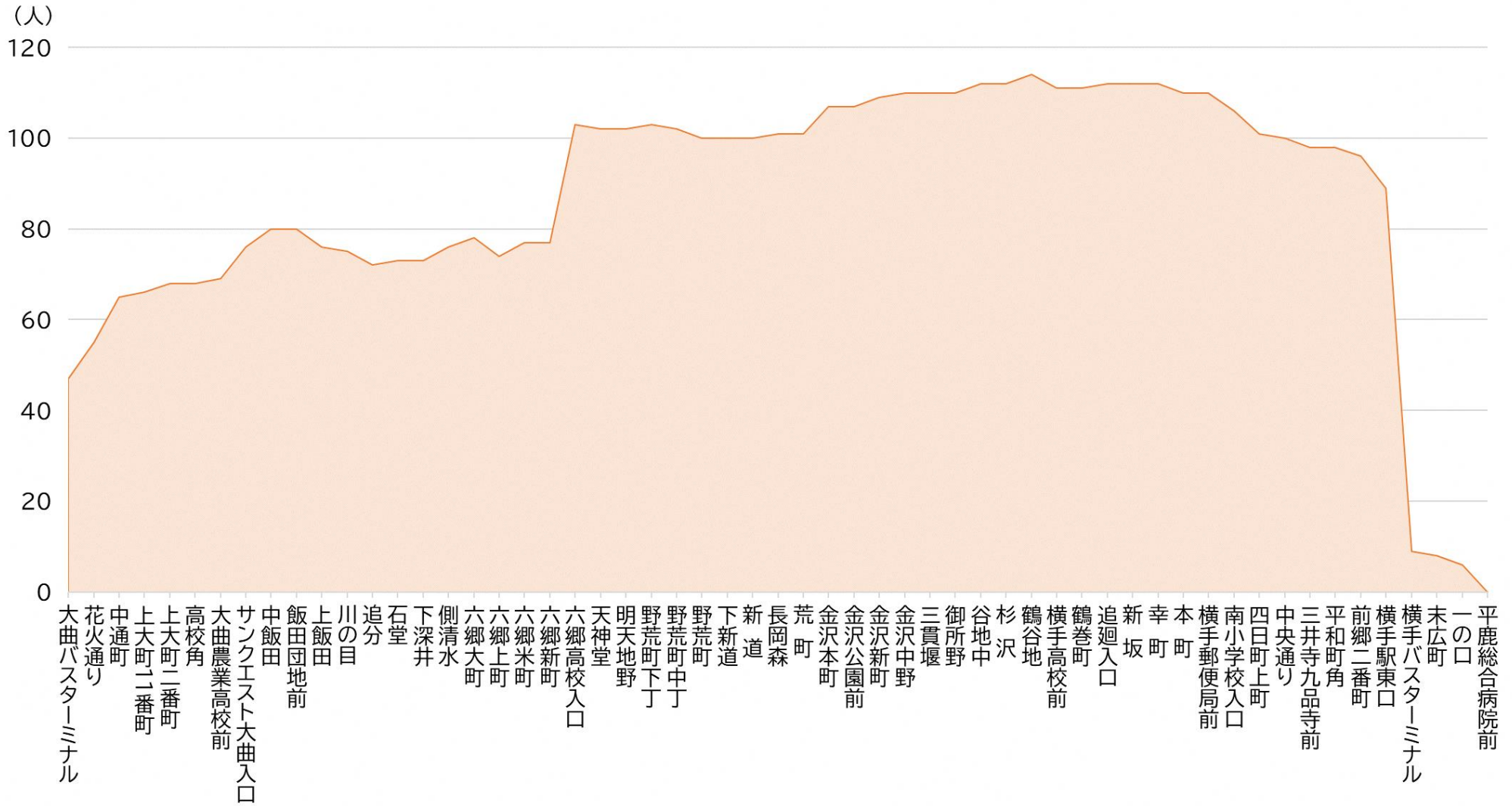
【横手市⇒大曲方面行き】



路線名:横手大曲線

横手大曲線横手市行きは、六郷高校入口周辺から横手バスターミナル周辺まで、利用の多い状態が続いている。

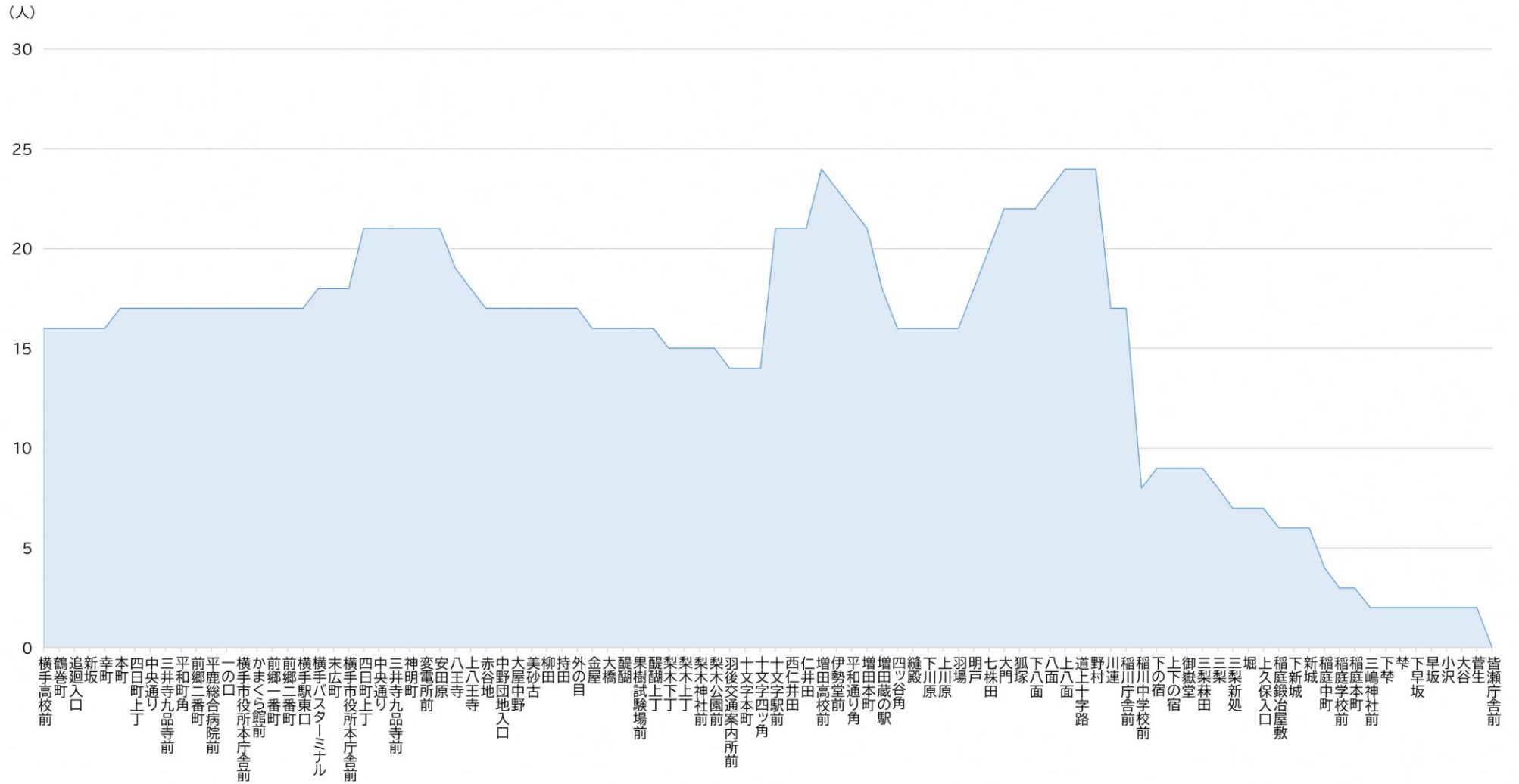
【大曲方面⇒横手市行き】



路線名:横手小安線

横手小安線の利用状況は、横手市役所本庁舎周辺から安田原周辺、十文字四ッ角から増田蔵の駅周辺、羽場周辺から稲川庁舎前周辺の利用が多い。

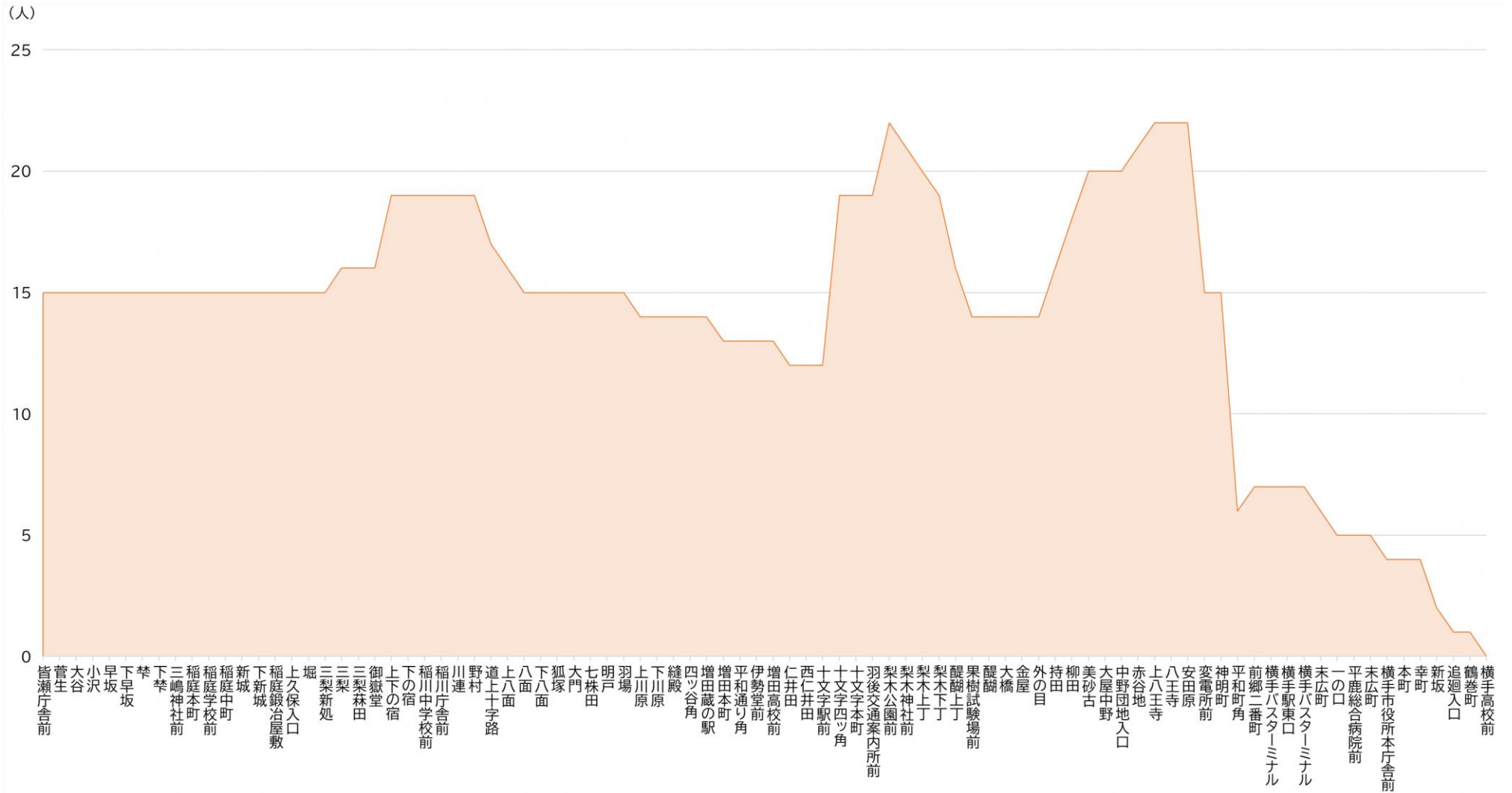
【横手市⇒小安方面行き】



路線名:横手小安線

横手小安線横手市行きの利用状況は、御獄堂周辺から道上十字路口周辺、十文字四ツ角から醍醐上丁周辺、持田周辺から変電所前周辺の利用が多い。

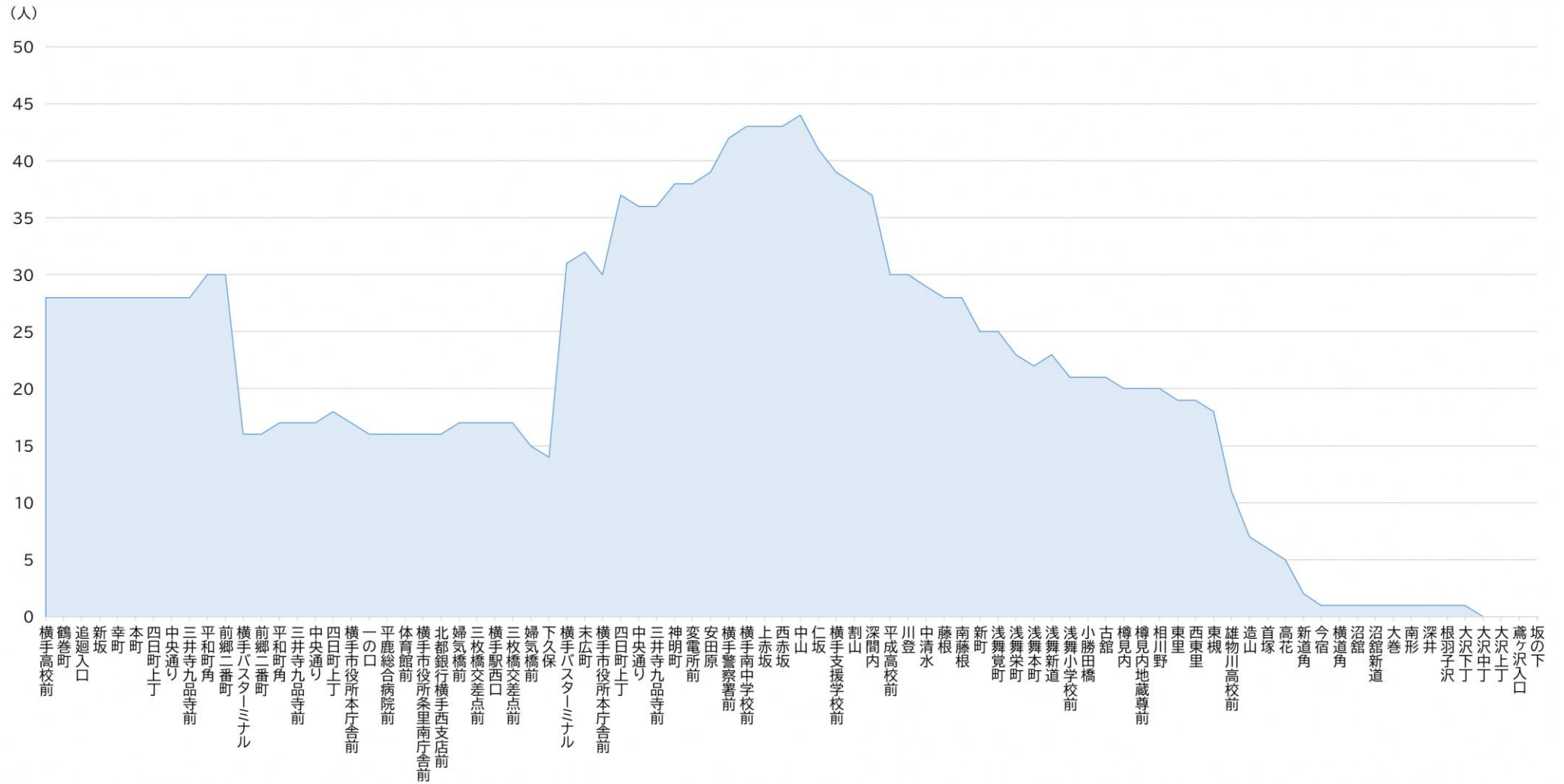
【小安方面→横手市行き】



路線名:横手本荘線

横手本荘線本荘方面行きの利用状況は、横手市役所本庁舎周辺から平成高校前周辺までの利用が多い。

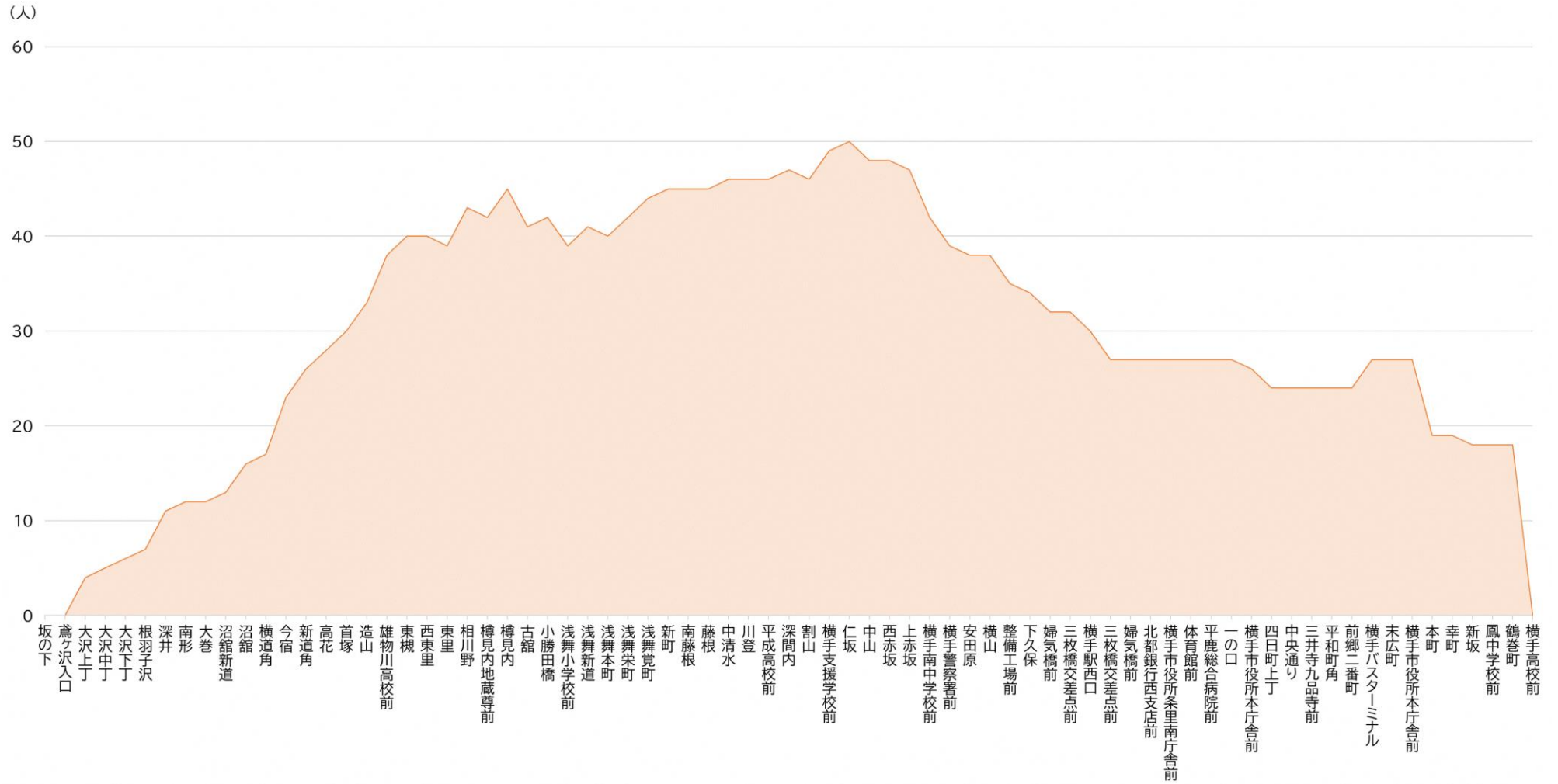
【横手市→本荘方面行き】



路線名:横手本荘線

横手本荘線横手市行きの利用状況は、雄物川高校周辺から横手警察署前周辺までの利用が多い。

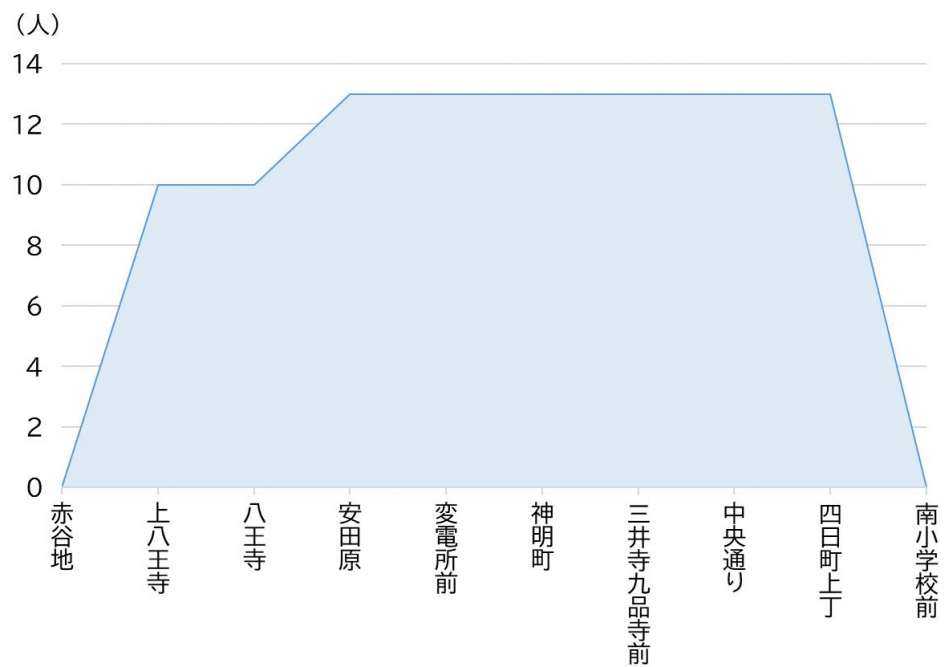
【本荘方面→横手市行き】



路線名:市内線

市内線の利用状況は、八王寺周辺から四日町上丁周辺までの利用が多い。

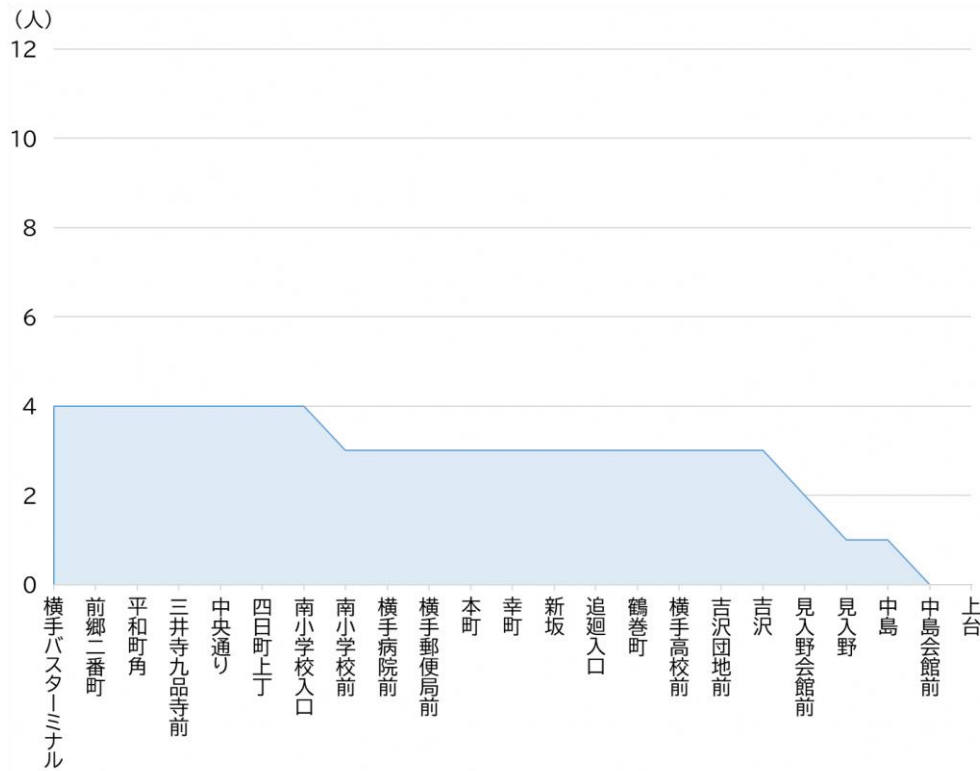
【横手市⇒南小学校行き】



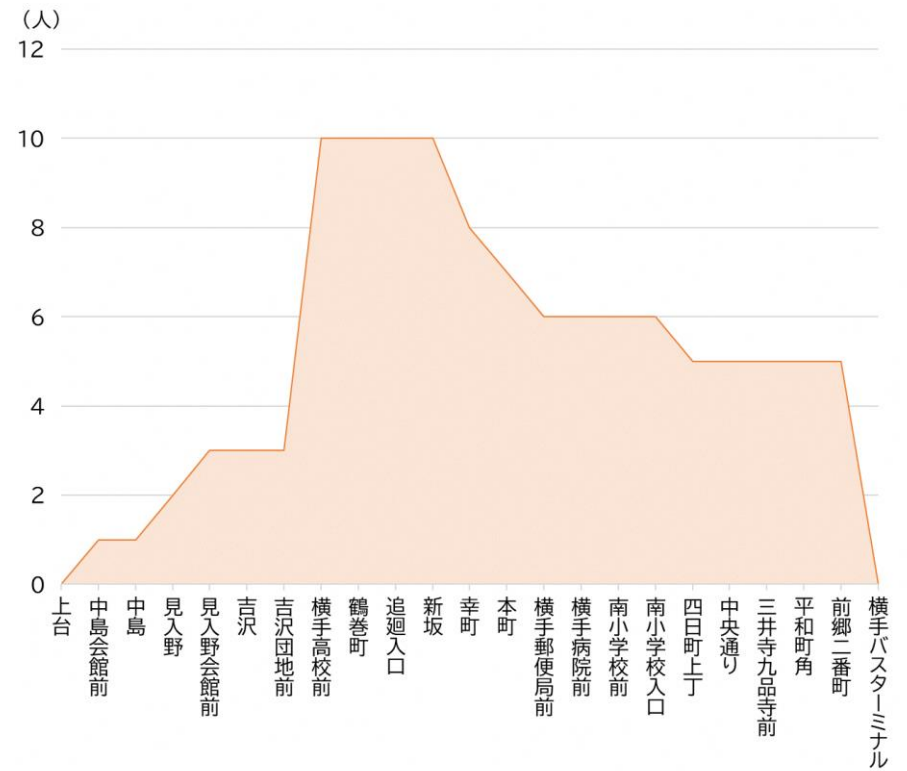
路線名:上台線

上台線の上台方面行きの利用状況は、横手バスターミナルから南小学校入口までの利用が多い。横手バスターミナル方面行きについては、吉沢団地前から横手郵便局前周辺の利用が特に多くなっている。

【横手バスターミナル⇒上台方面行き】



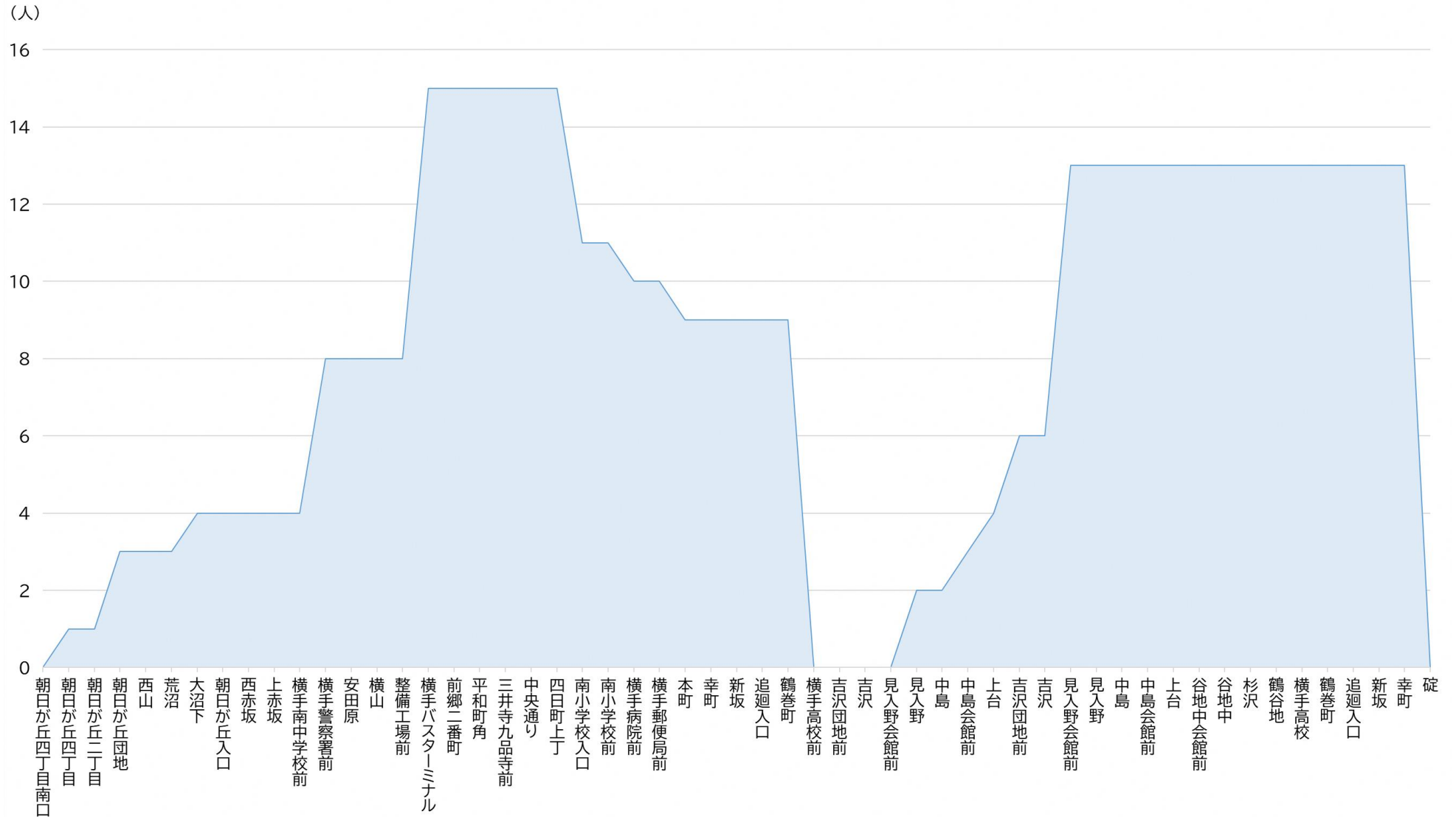
【上台⇒横手バスターミナル方面行き】



路線名:上台線(ロング:朝日が丘方面を含む運行)

上台線碓方面行きの利用状況は、整備工場前周辺から南小学校入口周辺、吉沢周辺から幸町周辺までの利用が多くなっている。

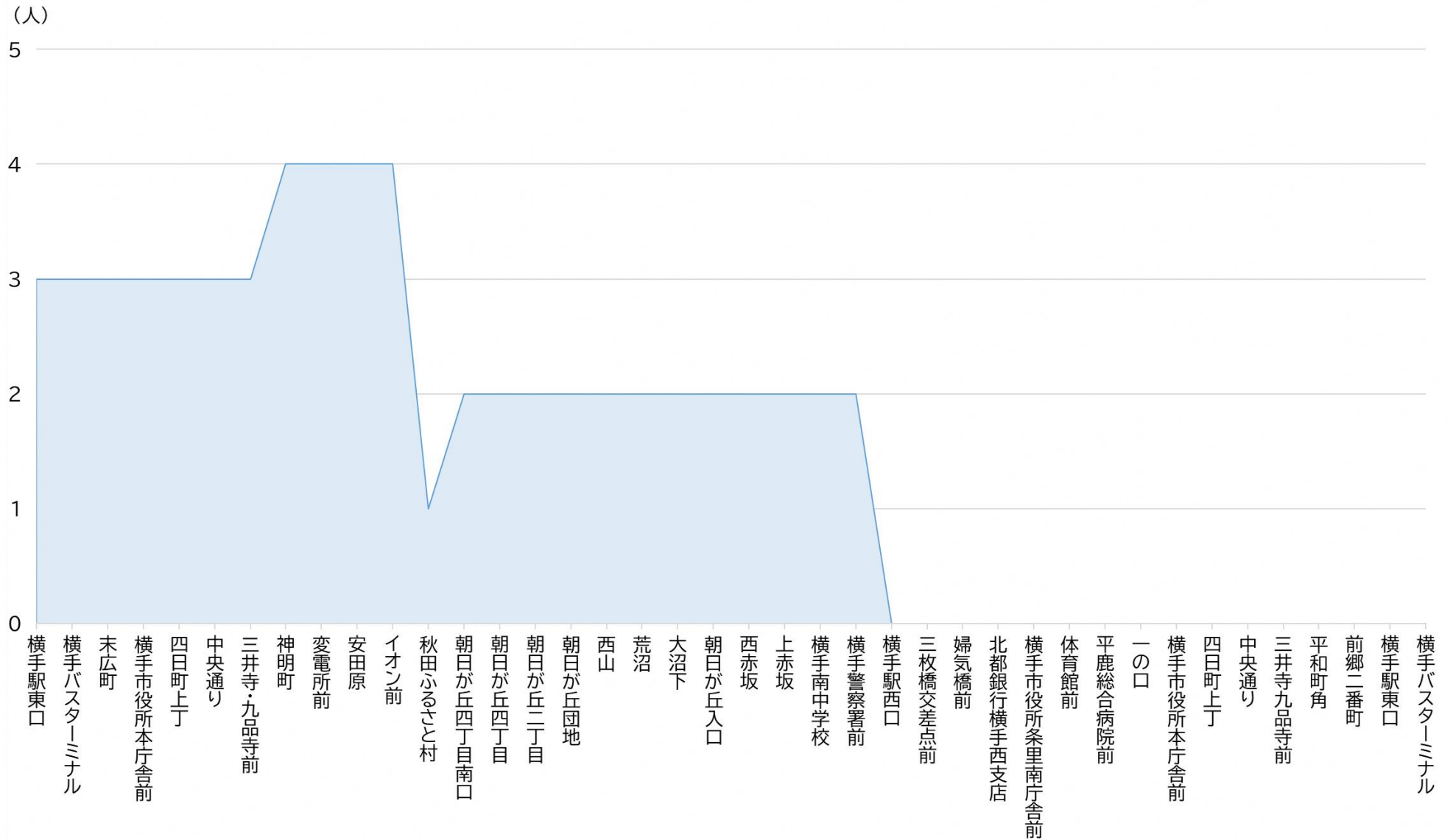
【横手市⇒碓方面行き】



路線名:朝日が丘線

朝日が丘線の利用状況は、三井寺・九品寺前周辺からイオン前までの利用が多い。

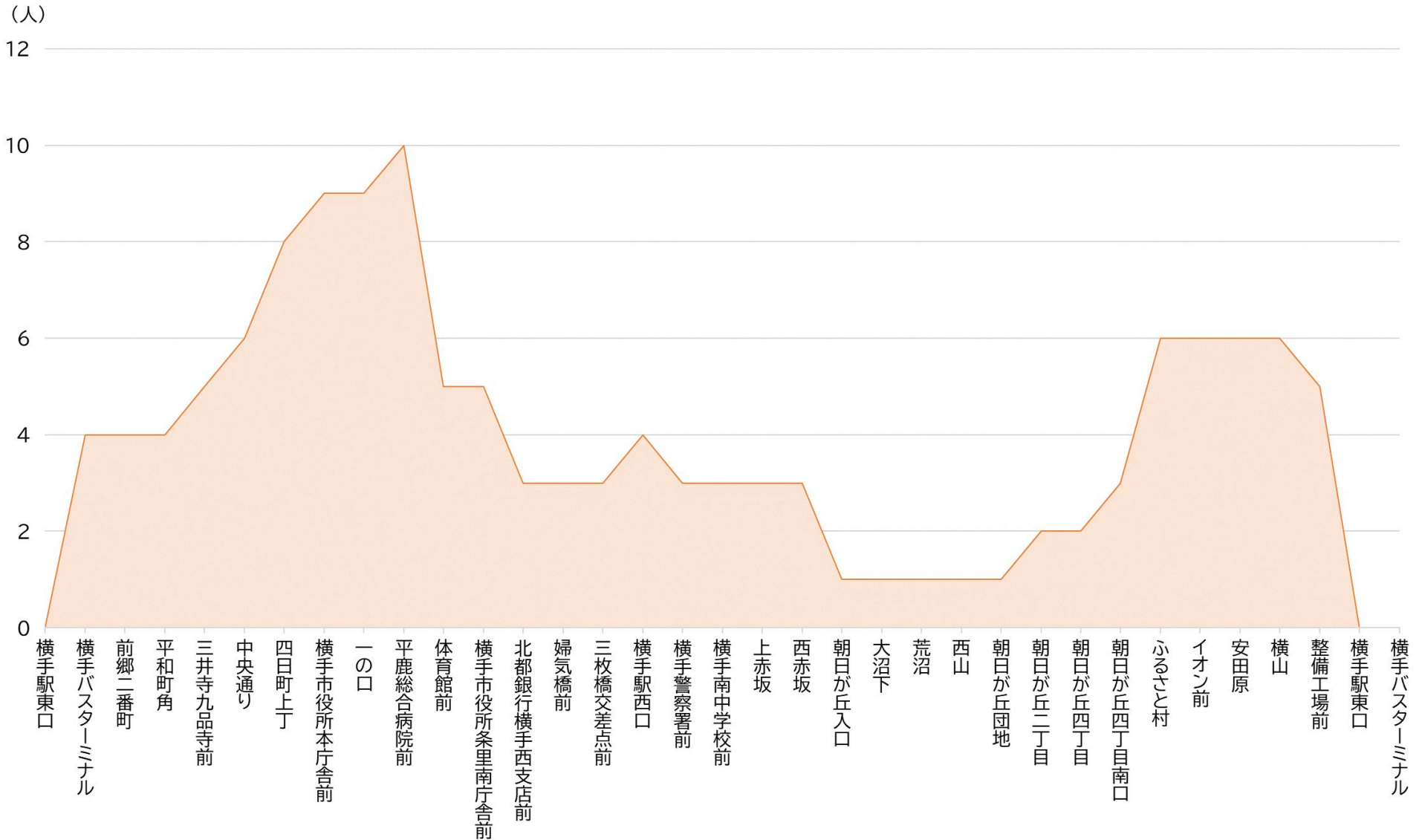
【横手駅東口⇒横手バスターミナル】



路線名:朝日が丘線

朝日が丘線の利用状況は、三井寺・九品寺前周辺からイオン前周辺までの利用が多い。また、朝日が丘四丁目南口周辺から横手駅東口周辺も比較的利用が多くなっている。

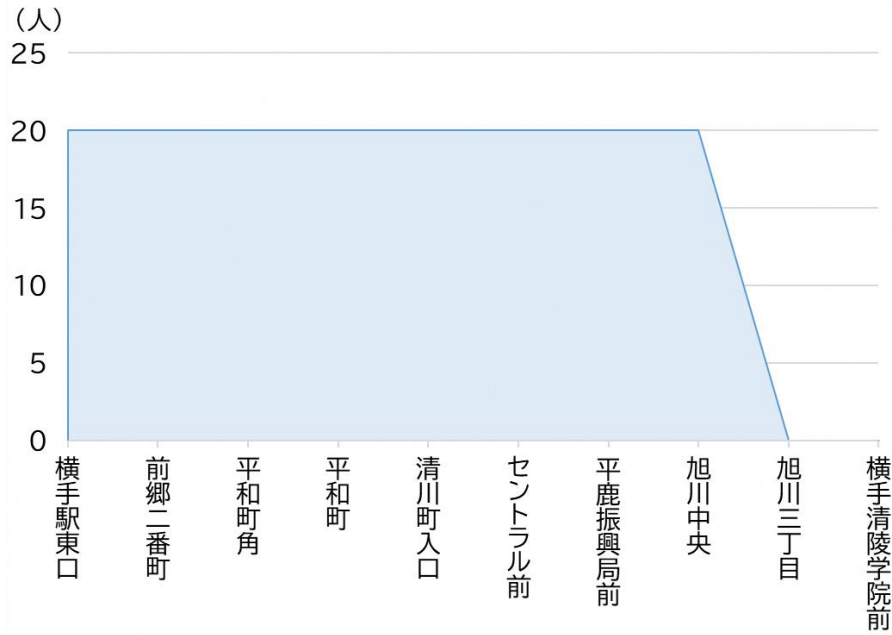
【横手駅東口⇒横手バスターミナル】



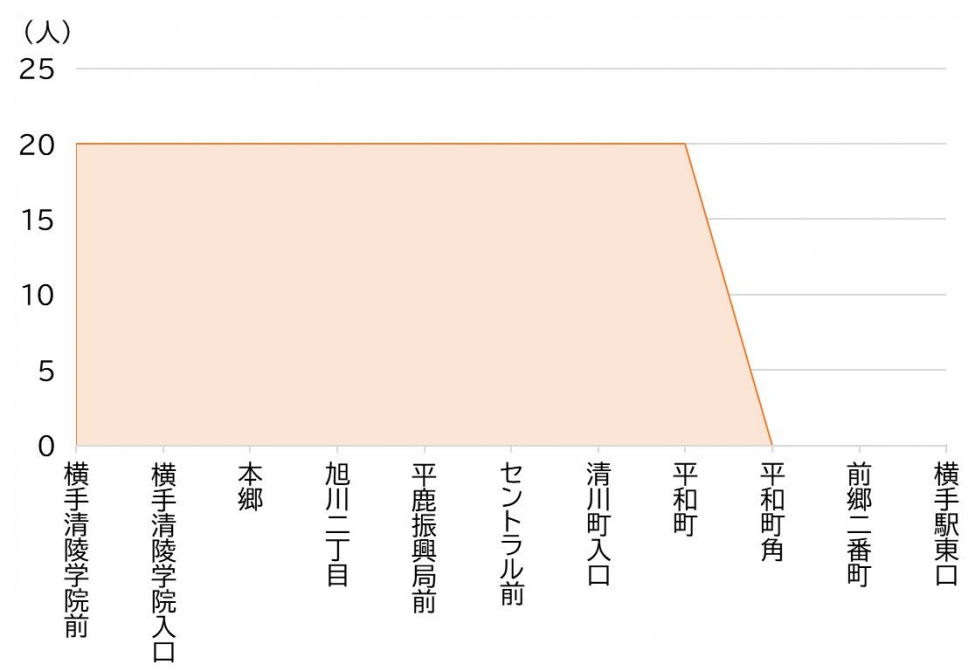
路線名:横手清陵学院線

横手清陵学院前行きの利用状況は、横手駅東口から旭川中央までの利用が多い。横手駅行きは、横手清陵学院前から平和町までの利用が多い。

【横手駅→横手清陵学院行き】



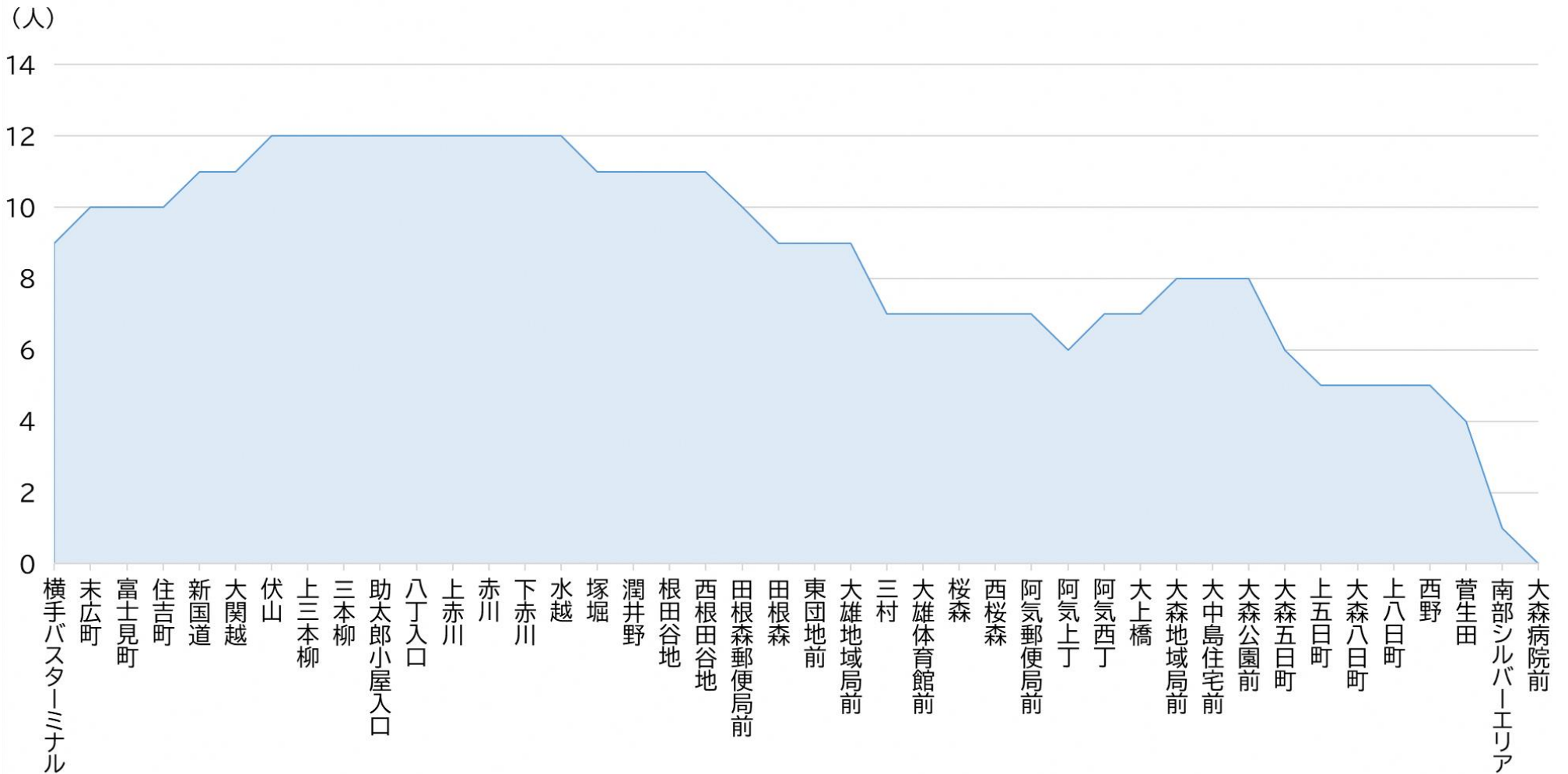
【横手清陵学院→横手駅】



路線名:大森線

大森線大森方面行きの利用状況は、住吉町周辺から西根田谷地周辺までの利用が多い。

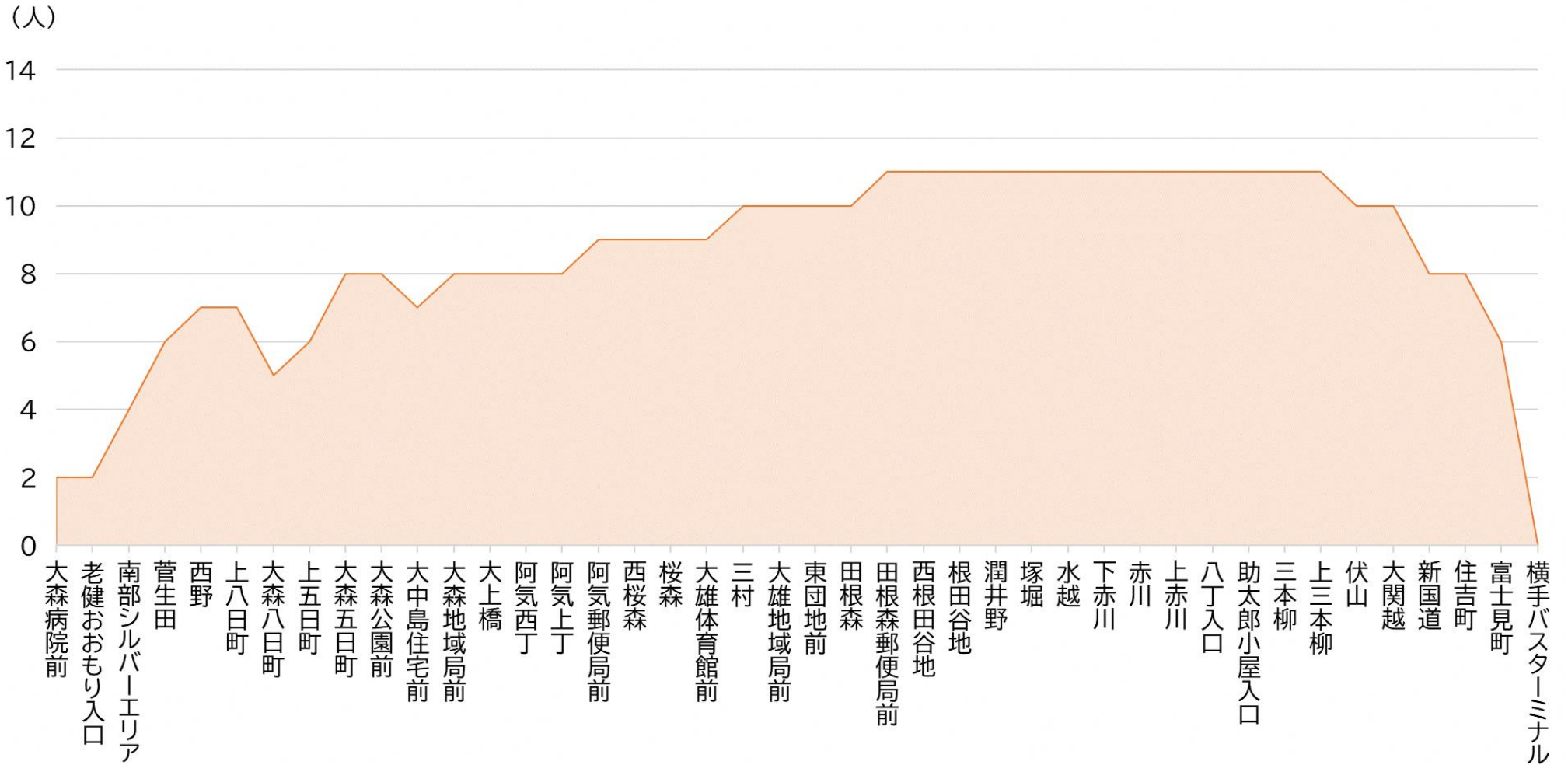
【横手バスターミナル⇒大森方面行き】



路線名:大森線

大森線横手バスターミナル行きの利用状況は、大森八日町周辺から住吉町周辺までの利用が多い。

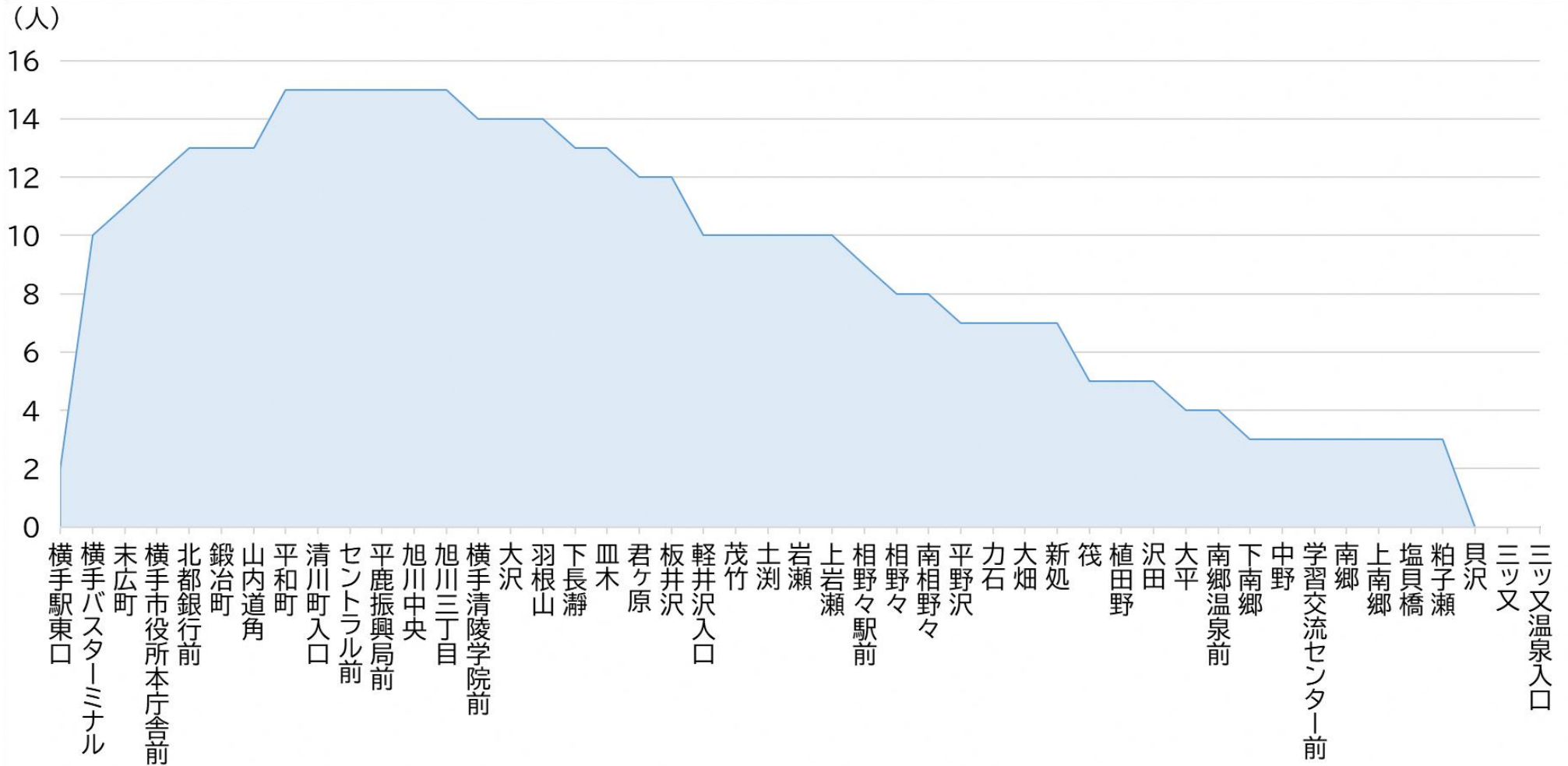
【大森方面⇒横手バスターミナル行き】



路線名:山内線

山内線三ツ又温泉行きの利用状況は、山内道角周辺から下長瀬周辺までの利用が多い。

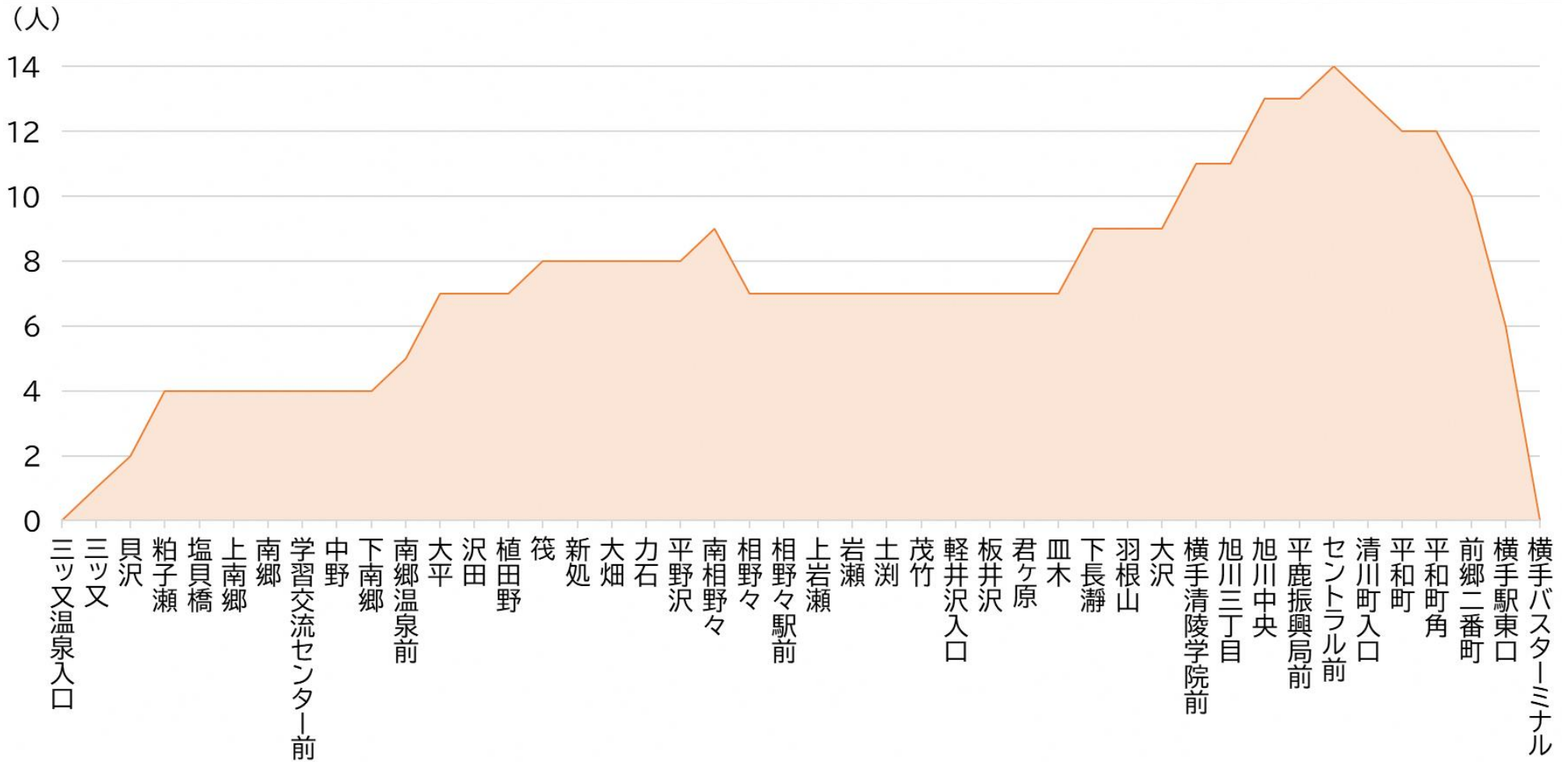
【横手駅東口⇒三ツ又温泉入口行き】



路線名:山内線

山内線横手駅東口行きの利用状況は、大沢周辺から平和町角周辺までの利用が多い。

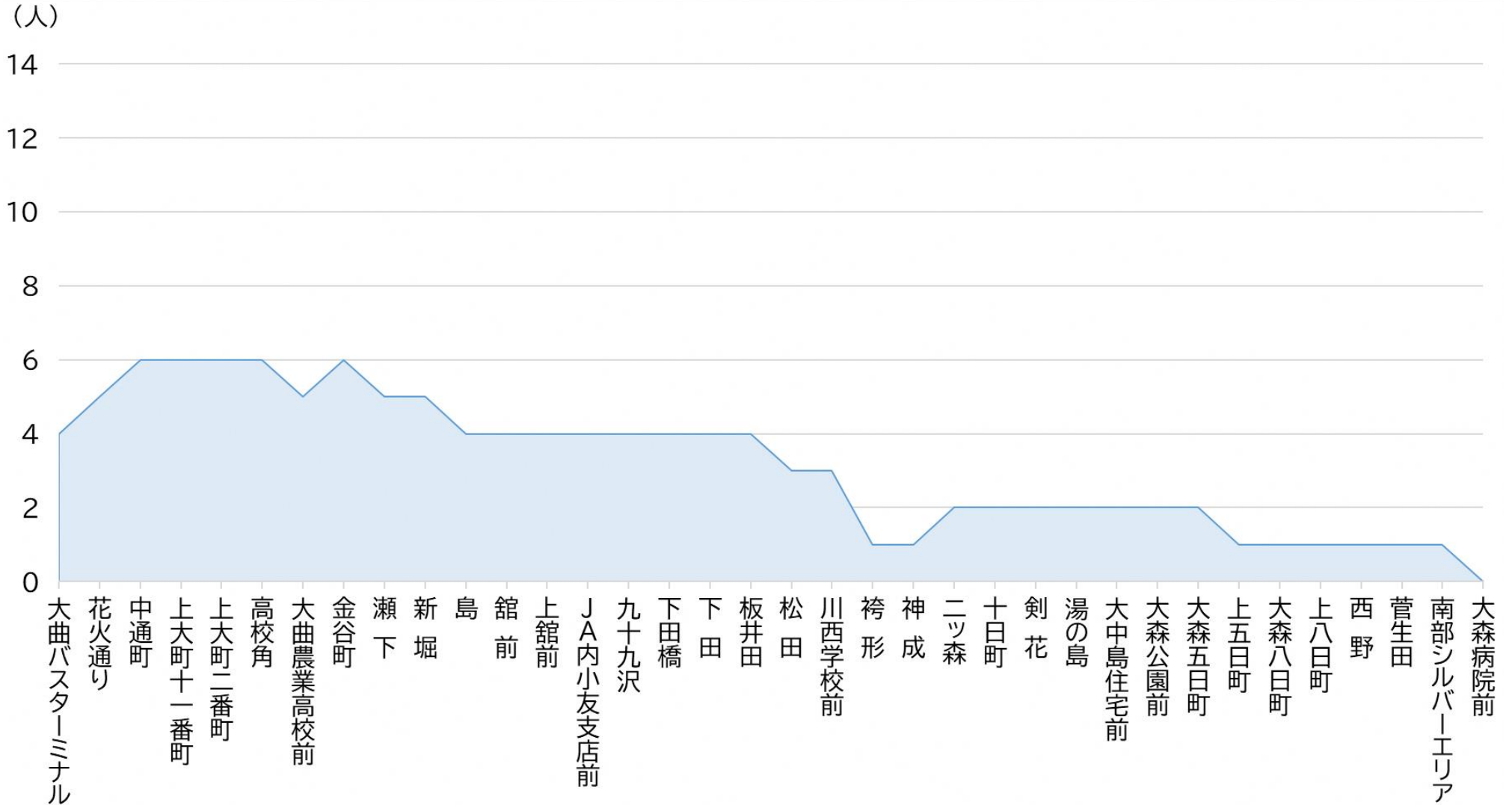
【三ツ又温泉入口⇒横手駅東口行き】



路線名:川西線

川西線大森方面行きの利用状況は、大曲バスターミナル周辺から瀬下周辺までの利用が多い。

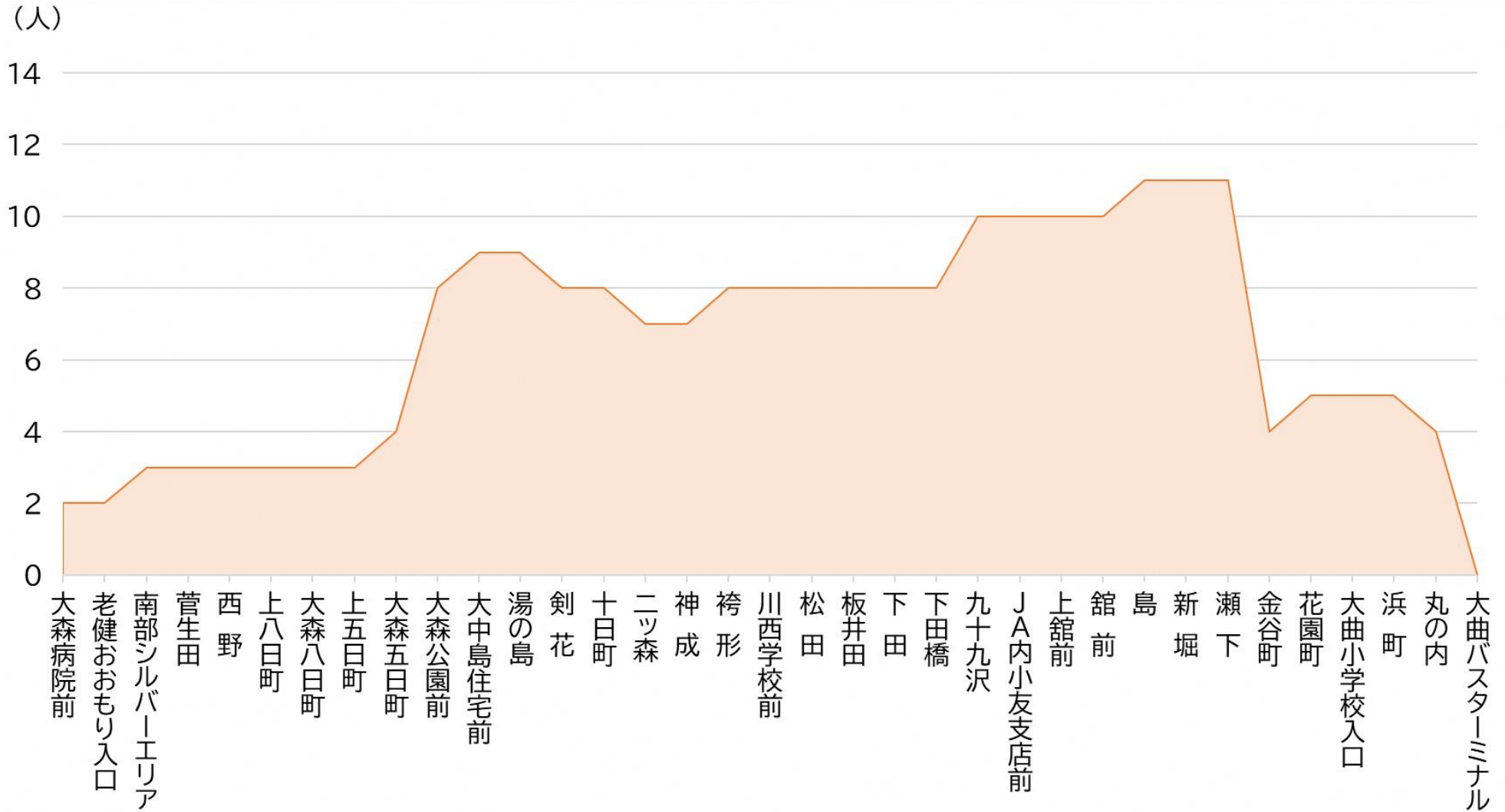
【大曲バスターミナル⇒大森方面行き】



路線名:川西線

川西線大曲バスターミナル行きの利用状況は、下田橋周辺から金谷町周辺までの利用が多い。

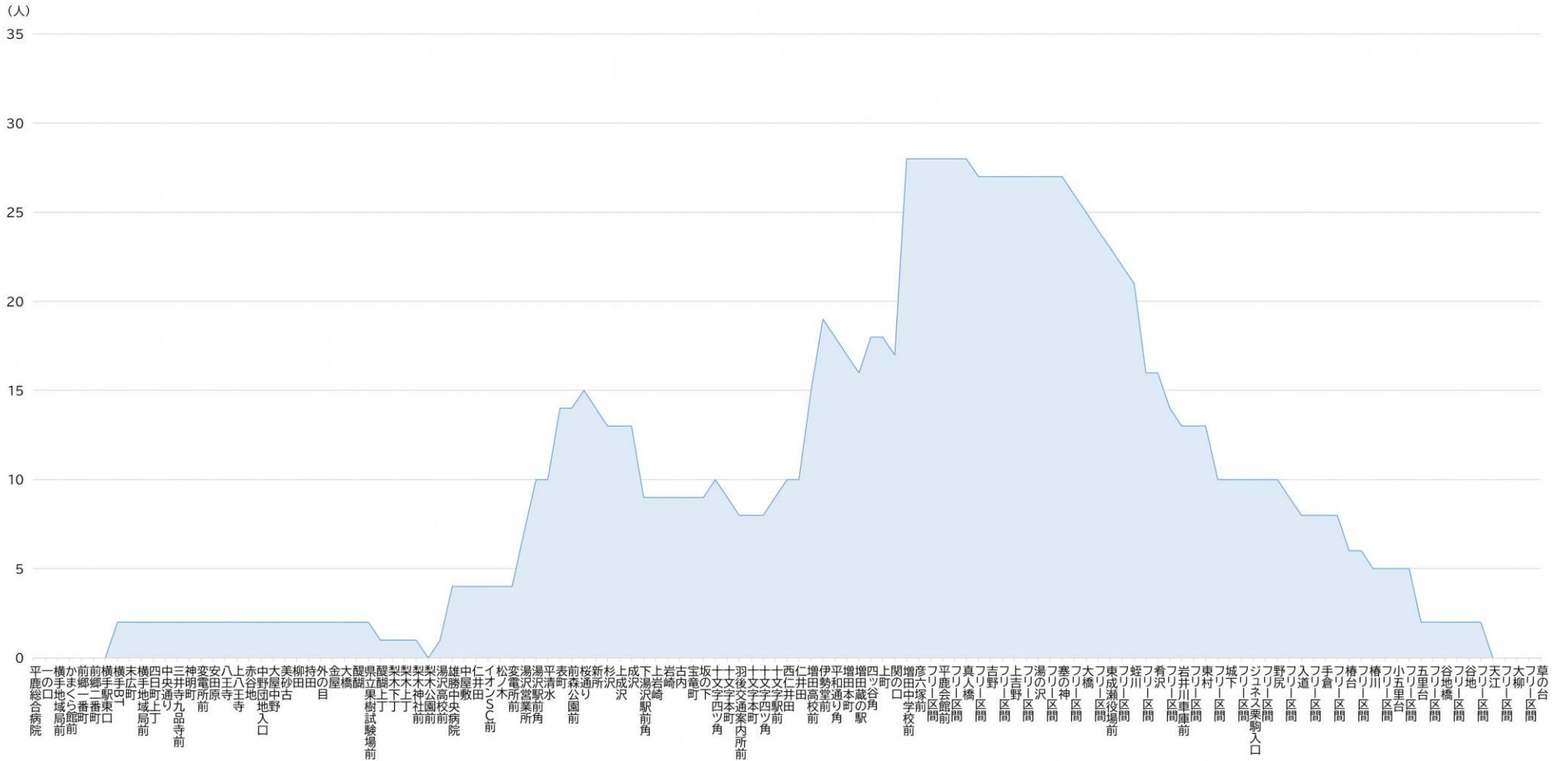
【大森方面⇒大曲バスターミナル行き】



路線名:岩井川線

岩井川線東成瀬方面行きの利用状況は、増田中学校前周辺から肴沢フリー区間周辺までの利用が多い。

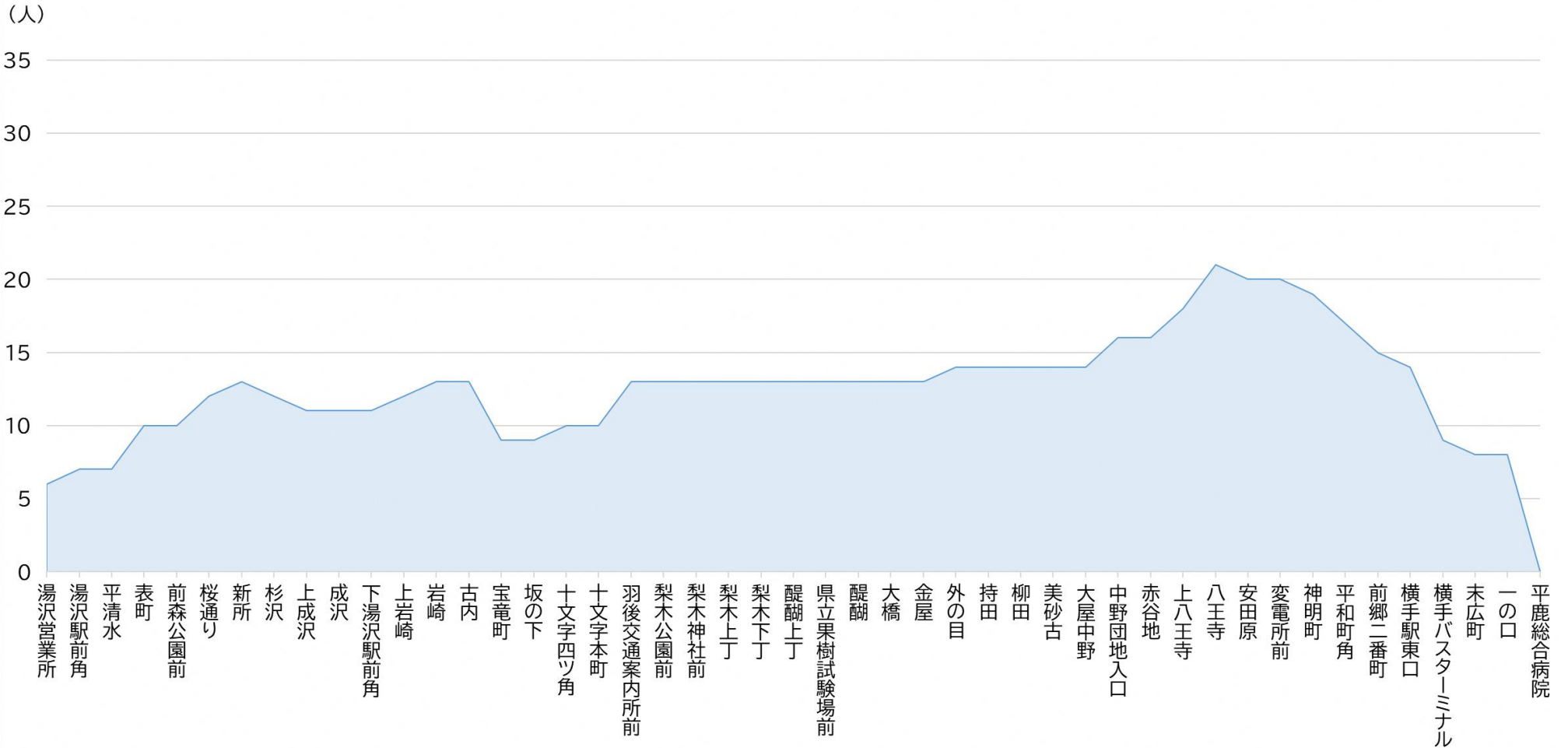
【横手市→東成瀬方面行き】



路線名:横手湯沢線

横手湯沢線横手市行きの利用状況は、赤谷地周辺から平和町角周辺までの利用が多い。

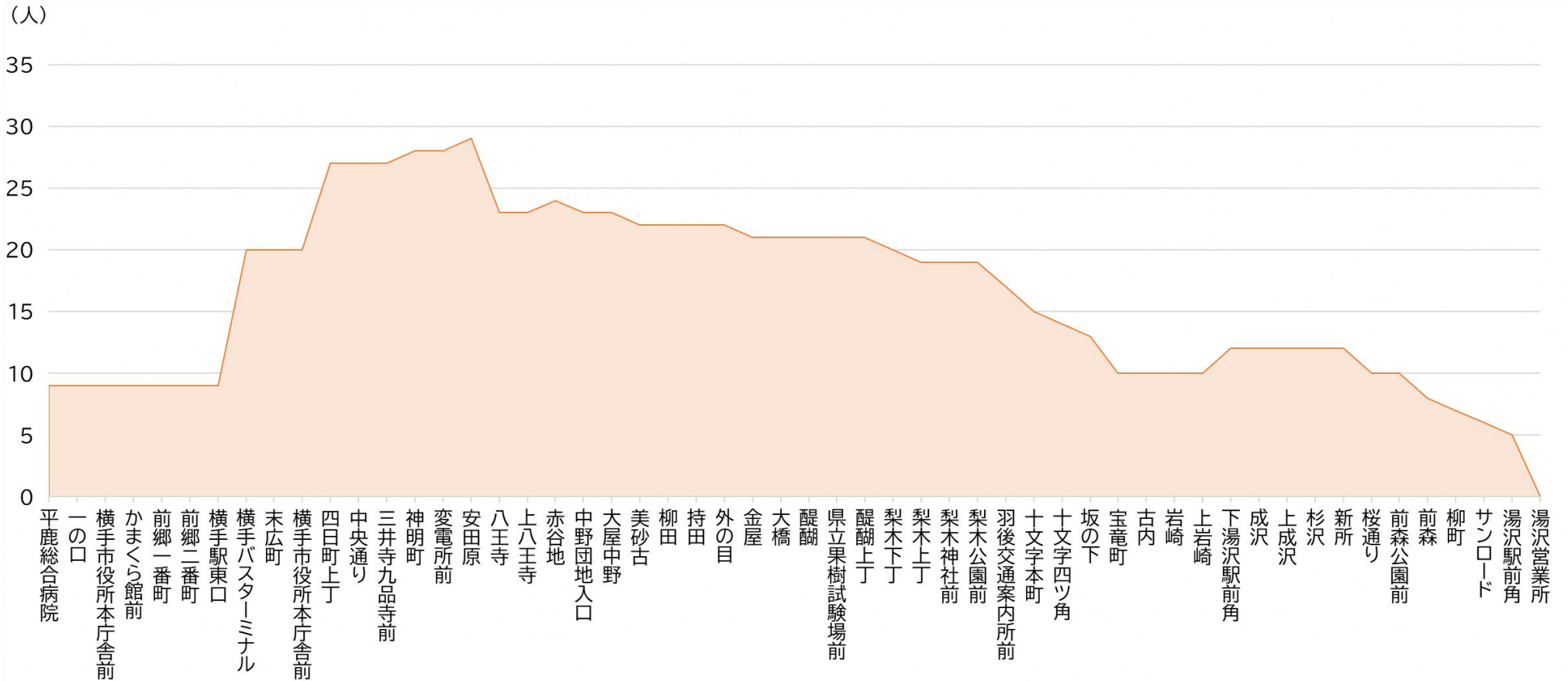
【湯沢方面→横手市行き】



路線名:横手湯沢線

横手湯沢線湯沢方面行きの利用状況は、横手駅東口周辺から八王寺周辺が特に多い。また、八王寺周辺から梨木公園前周辺までの利用も比較的多くなっている。

【横手市⇒湯沢方面行き】



問7. 横手市内の駅で乗車した方にお聞きします。

乗車した駅まで自動車（送迎含む）やバイク・原付で来られた方（問5に②・③・④とお答えされた方）にお聞きします。

- (1) 今後、それらの交通手段が使えなくなったとしたら、どのように駅まで行きますか。
(1つに○印)

①路線バスを利用する
②デマンド交通やタクシーを利用する
③徒歩で行く（自宅から鉄道駅までの距離：約_____km）
④自転車で行く（自宅から鉄道駅までの距離：約_____km）
⑤利用できる路線バス等の公共交通機関が整備されればそれを利用する ⇒問7（2）へ
⑥出かけるのをあきらめる
⑦その他（_____）

- (2) 問7の(1)に⑤とお答えされた方にお聞きします。どのように公共交通機関が整備されれば利用しますか。

運行時間帯	行き（ 時 分 ）頃に駅に着く 帰り（ 時 分 ）頃に駅から出る※分は10分単位まで
運賃	片道（ ）円くらいまで
停留所までの距離	自宅から（ ）mくらいまで

問8. 鉄道の運行内容について、新たな要望がありますか。

①ある ②ない

↳ どのような要望でしょうか。（該当するものすべてに○印）

①運行本数の増便	} ⇒利用したい時刻（時間帯）： 行き（_____） 帰り（_____）
②運行時間帯の拡大	
③「自宅から駅まで」や「駅からの目的地まで」の、他の公共交通機関への乗り継ぎのしやすさの向上	
④駅周辺への駐車場等の整備	
⑤その他（_____）	

問9. 直近（本日までの1か月以内程度）に新幹線を利用した方にお伺いします。

利用した新幹線駅と新幹線駅までの交通手段を教えてください。

利用した新幹線駅：（_____）駅
新幹線駅までの交通手段：（_____）

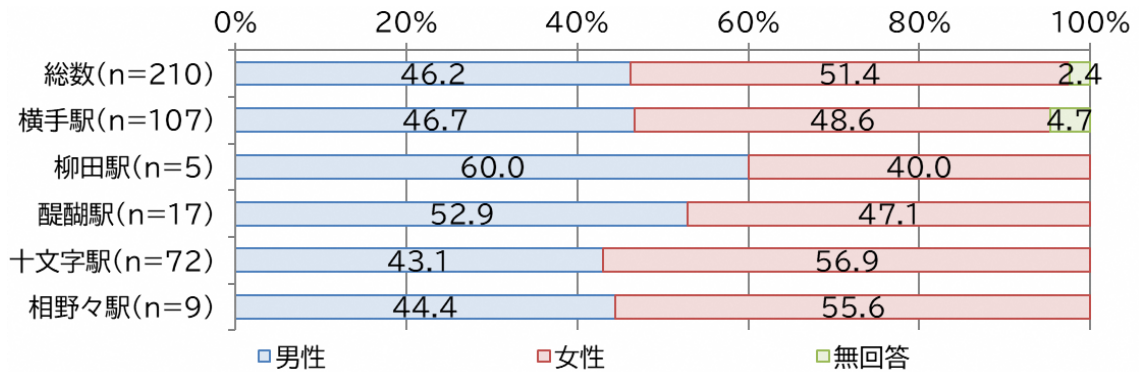
最後に横手市の公共交通に関するご意見・ご要望がありましたらご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

1-2 調査結果

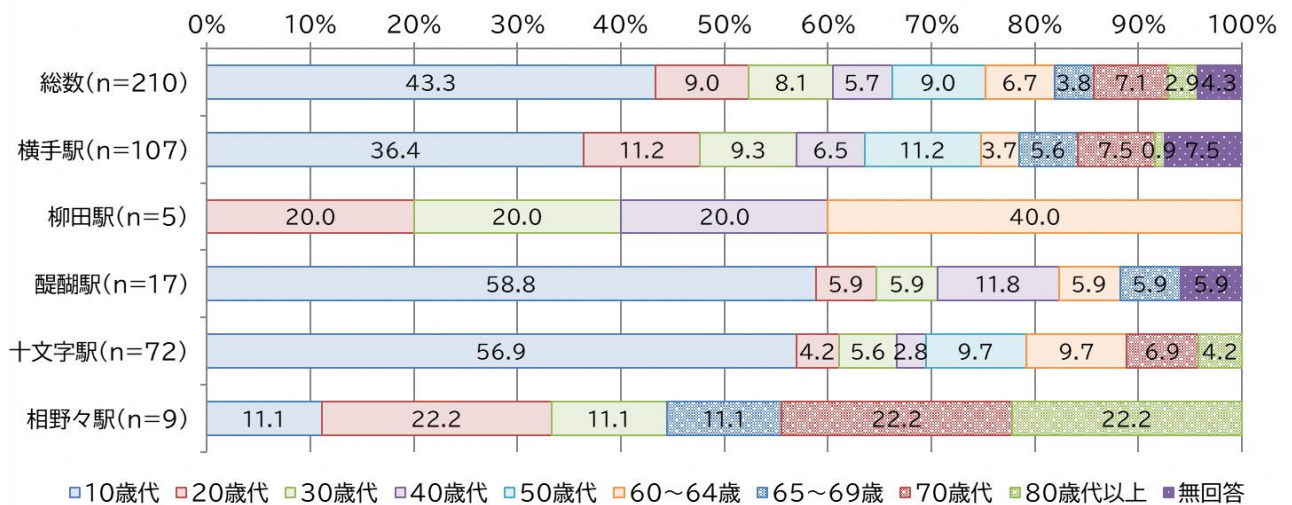
問1-1 性別

男女比はほぼ同率であると言える。路線バスの利用者は女性が多かったため、鉄道と路線バスの利用者層に差異が見られる。



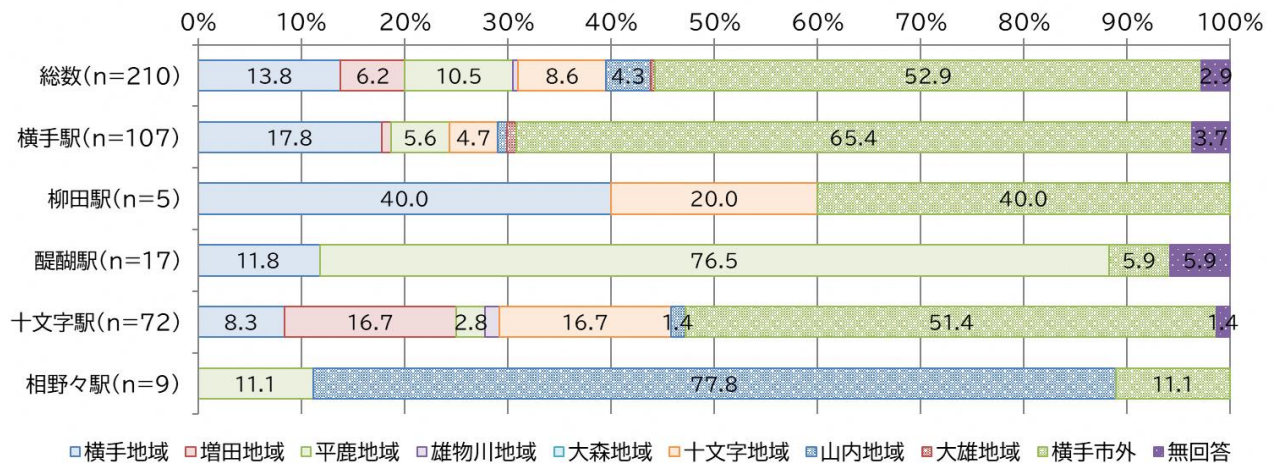
問1-2 年代

全体では、10歳代の利用が43.3%と最も多くなっているが、駅別では、柳田駅と相野々駅は比較的幅広い年齢層の利用が見られる。



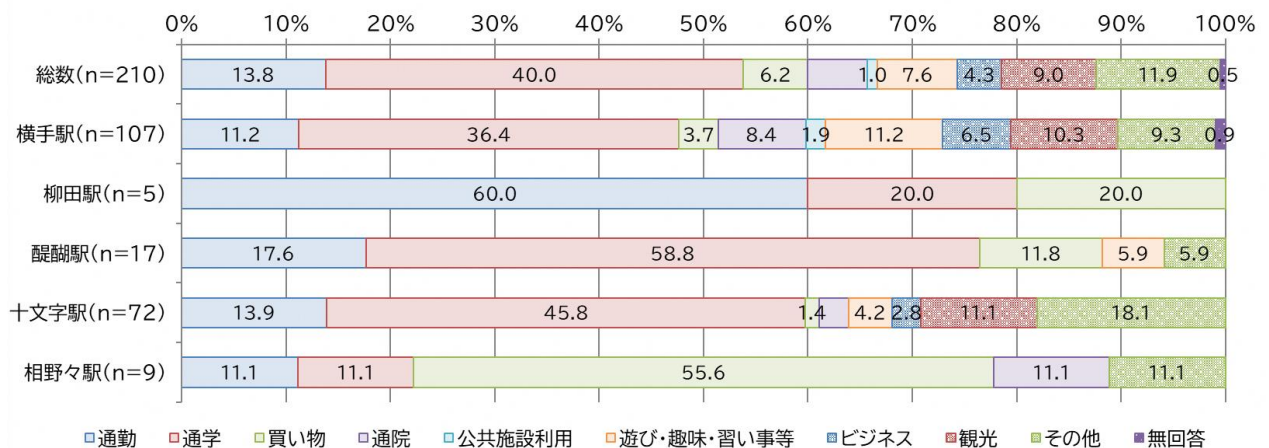
問 1-3 居住地域

居住地域は、「横手市外」が多くなっており、特に横手駅と十文字駅は横手市外に居住する利用者の割合が多くなっている。横手駅や十文字駅は、高校生の通学利用があることから、湯沢市や大仙市等の近隣自治体の利用者が多いと推測できる。



問2 利用目的

利用目的は、全体では通学が 40%と最も多くなっており、駅別では醍醐駅が特に通学利用が多くなっている。一方で、柳田駅は通勤、相野々駅は買い物目的の利用が最も多くなっている。



問3 鉄道の利用区間(OD形式で整理)

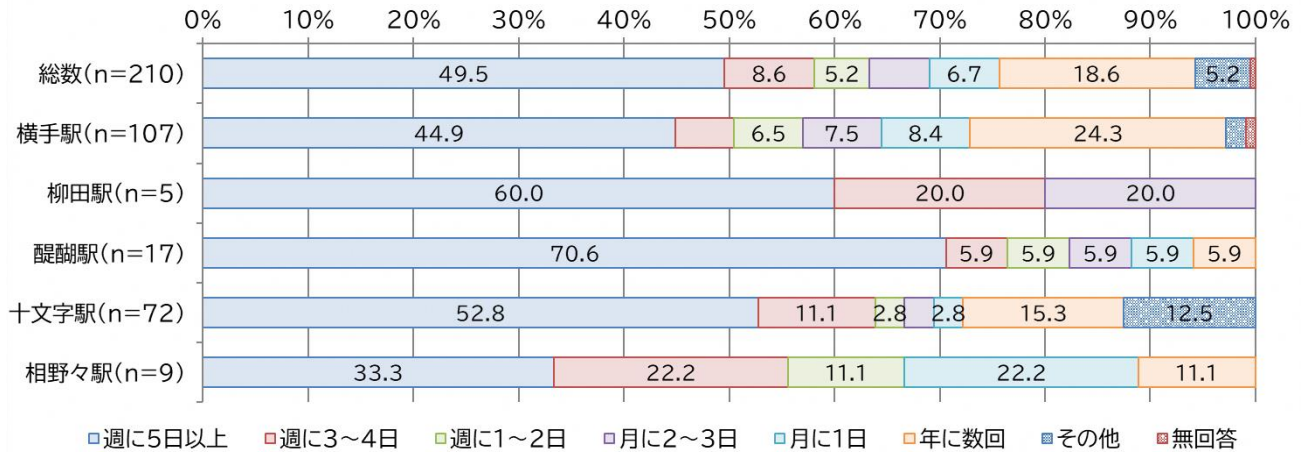
鉄道の利用区間は、十文字駅から横手駅(20人)が最も多く、次いで横手駅から秋田駅(18人)、横手駅から湯沢駅(16人)となっている。

OD集計		降車															
		横手駅	柳田駅	醍醐駅	十文字駅	相野々駅	下湯沢駅	湯沢駅	上湯沢駅	横堀駅	院内駅	新庄駅	後三年駅	飯詰駅	大曲駅	神宮寺駅	刈和野駅
乗車	横手駅		0	3	14	1	0	16	0	2	1	1	5	1	8	3	0
	柳田駅	0		0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	醍醐駅	9	0		0	0	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	十文字駅	20	1	1		0	0	10	2	0	0	3	0	2	3	0	0
	相野々駅	6	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	下湯沢駅	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	湯沢駅	4	0	1	10	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0
	上湯沢駅	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0
	横堀駅	0	0	0	1	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0
	院内駅	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0
	新庄駅	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0
	後三年駅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0
	飯詰駅	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0
	大曲駅	5	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0
	神宮寺駅	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
	刈和野駅	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	秋田駅	1	1	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	黒沢駅	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ほっとゆだ駅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	北上駅	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	羽後長野駅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	鎌見内駅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	仙台駅	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他(秋田県内)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他(山形県内)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他(福島県内)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他(青森県内)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他(関東圏)	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他(宮城県内)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		調査実施場所					湯沢市内					新庄市		美郷町・大仙市			

OD集計		降車												
		秋田駅	黒沢駅	ほっとゆだ駅	北上駅	羽後長野駅	鎌見内駅	仙台駅	その他(秋田県内)	その他(山形県内)	その他(福島県内)	その他(青森県内)	その他(関東圏)	その他(宮城県内)
乗車	横手駅	18	0	1	6	2	1	3	1	0	0	1	4	1
	柳田駅	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	醍醐駅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	十文字駅	4	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0
	相野々駅	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	下湯沢駅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	湯沢駅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	上湯沢駅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	横堀駅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	院内駅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	新庄駅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	後三年駅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	飯詰駅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	大曲駅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	神宮寺駅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	刈和野駅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	秋田駅													
	黒沢駅													
	ほっとゆだ駅													
	北上駅													
	羽後長野駅													
	鎌見内駅													
	仙台駅													
	その他(秋田県内)													
	その他(山形県内)													
	その他(福島県内)													
その他(青森県内)							1	0	0	0	0	0	0	
その他(関東圏)							0	0	0	0	0	0	0	
その他(宮城県内)							0	0	0	0	0	0	0	
		93 その他												

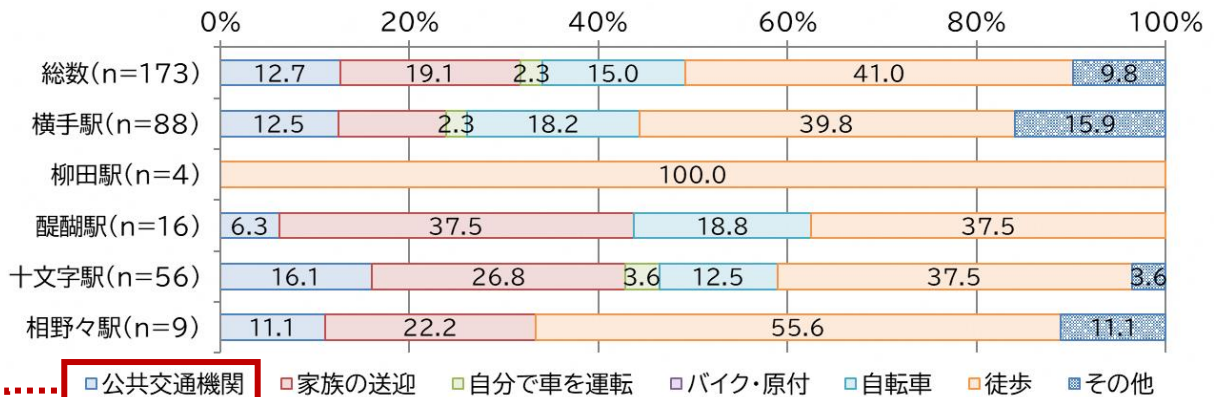
問4 利用頻度

利用頻度は、「週に5日以上」が49.5%と最も多くなっており、次いで「年に数回」が18.6%となっていることから、固定的(日常的)な高頻度利用者と非固定的(年に何度か)な利用者層が分かれている状況にある。



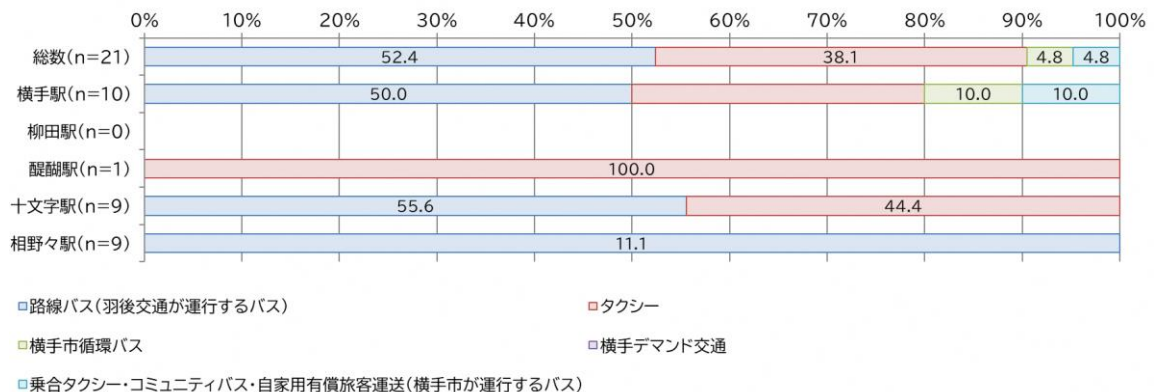
問5-1 乗車駅までの交通手段

乗車駅までの交通手段は、「徒歩」が41%と最も多くなっており、次いで「家族の送迎」が19.1%と多くなっている。駅別では、柳田駅は「徒歩」が100%、相野々駅は徒歩が「55.6%」となっていることから、駅周辺に居住している市民の利用が多いと推測できる。



問5-2 乗車駅までの公共交通機関のうち、地域公共交通の詳細

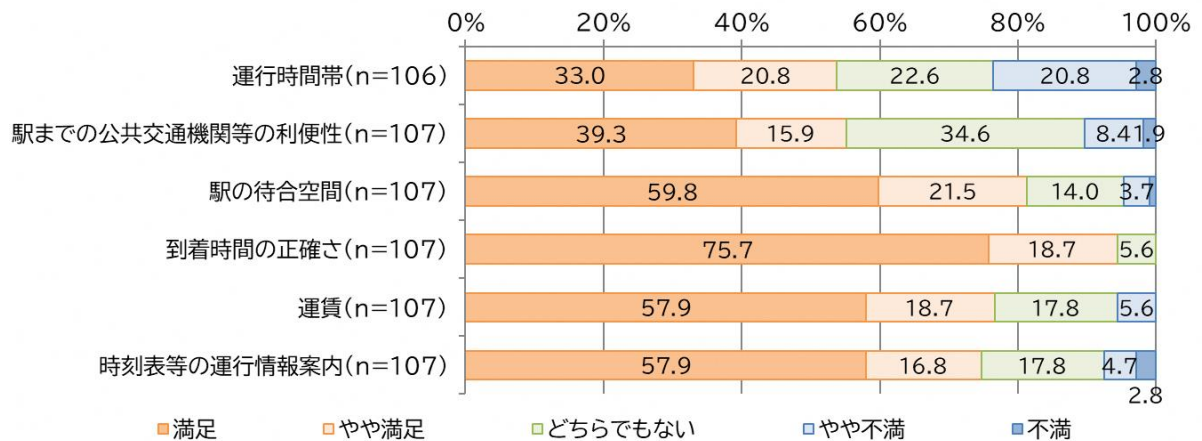
公共交通機関では、路線バスが最も多く、次いでタクシーが多くなっている。



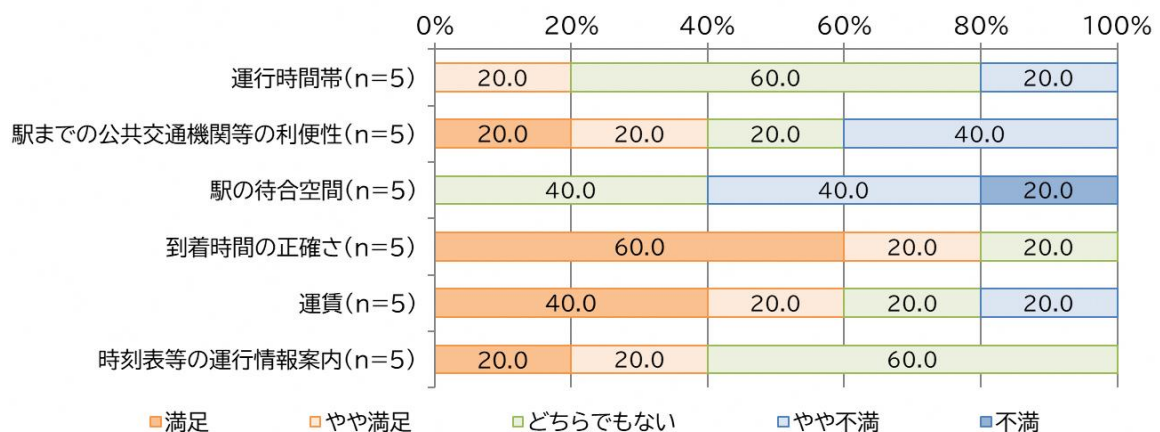
問6 鉄道の満足度(横手駅の利用者)

鉄道の各項目の満足度は、どの項目も満足度が高い状況にあるが、駅によって運行時間帯や待合空間に対する不満がみられる。

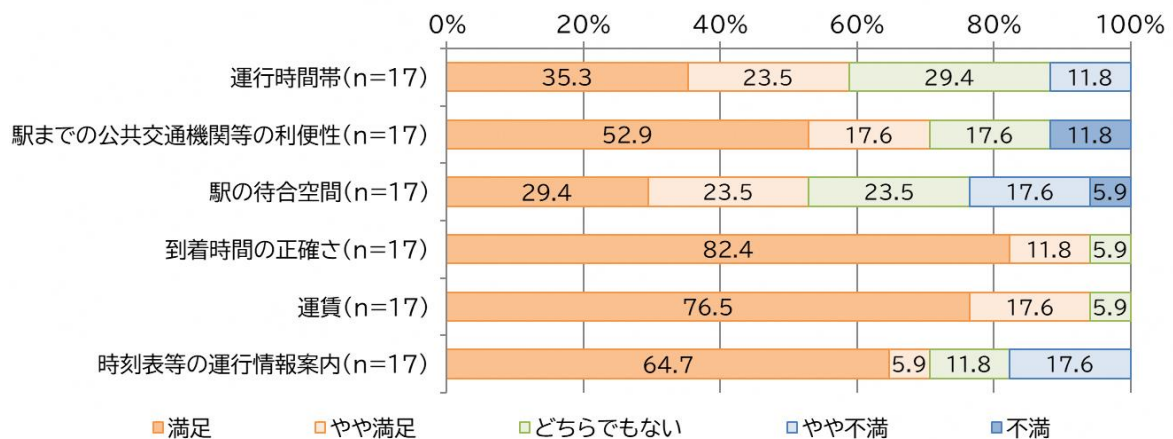
《横手駅の利用者》



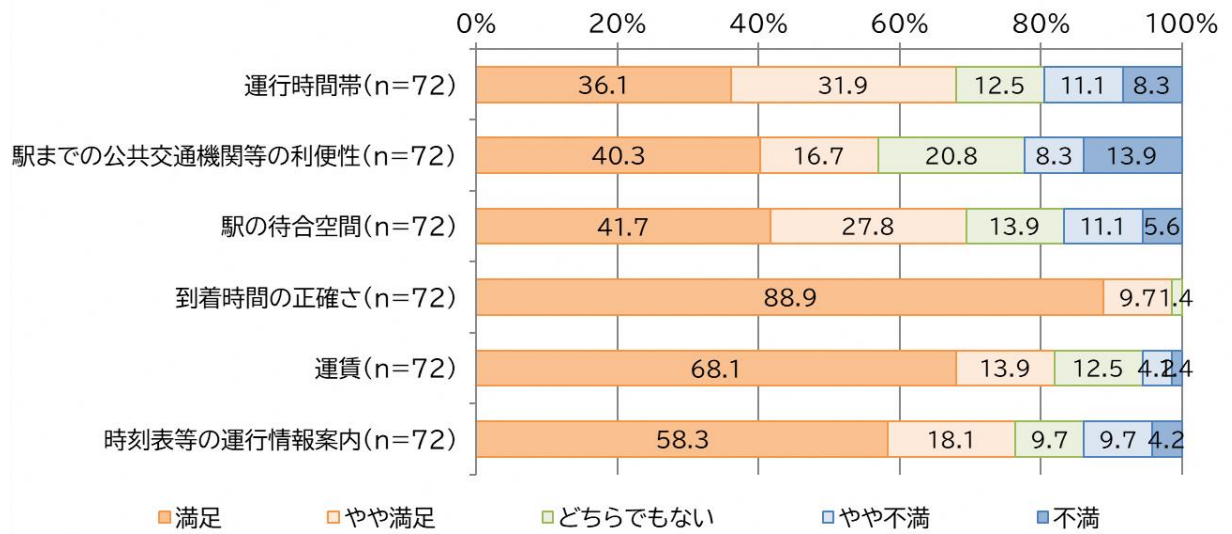
《柳田駅の利用者》



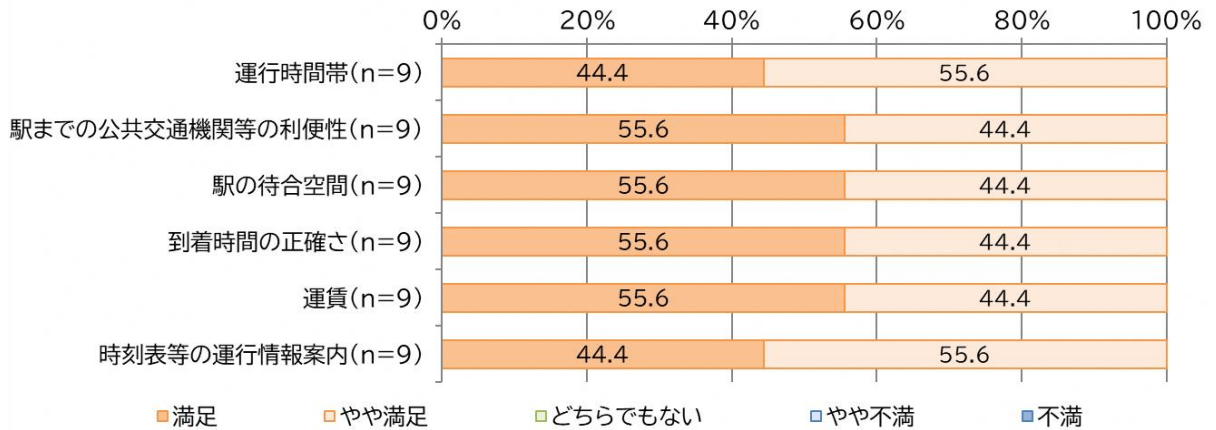
《醍醐駅の利用者》



《十文字駅の利用者》

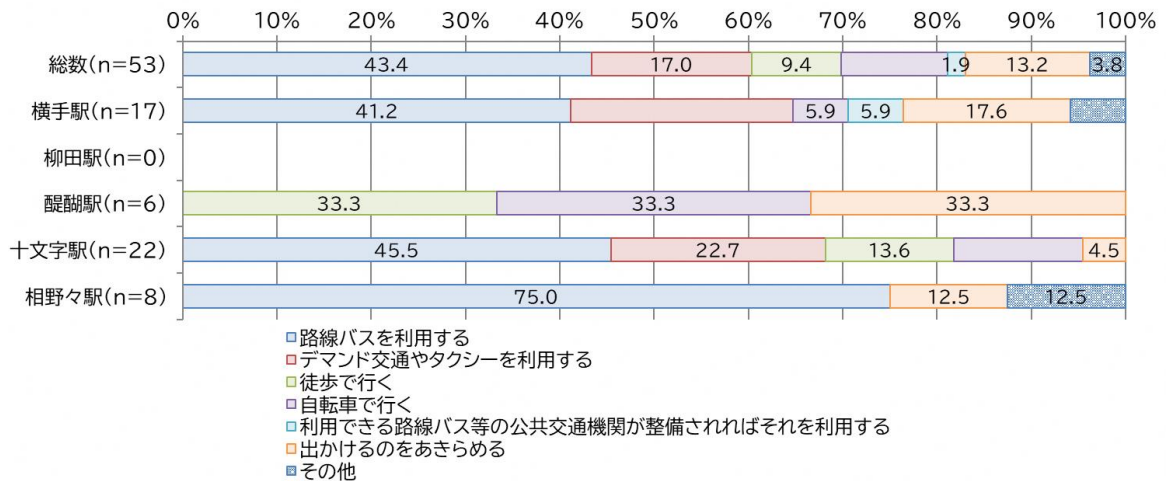


《相野々駅の利用者》



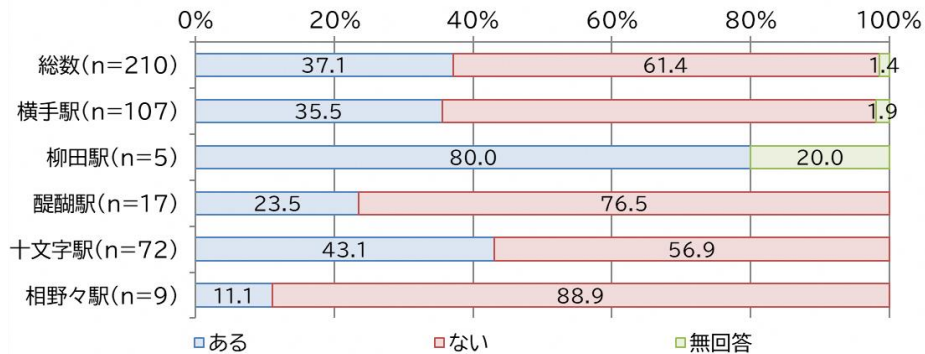
問7 自動車(送迎含む)やバイク・原付が使えなくなった場合の代替手段

代替手段として、路線バスが 43.4%と最も多くなっているが、駅別では醍醐駅のみ路線バスの回答がない状況にある。



問8-1 運行内容への新たな要望

鉄道の運行内容についての要望は、37.1%が「ある」と回答している。



問8-2 具体的な要望

具体的な要望は、運行本数の増便が多くなっており、「その他」については下記に記載している。



- 運行本数の増便
- 運行時間帯の拡大
- 「自宅から駅まで」や「駅からの目的地まで」の、他の公共交通機関への乗り継ぎのしやすさの向上
- 駅周辺への駐車場等の整備
- その他

調査駅	行き	帰り
横手駅	8:30	12:00 くらい
	17~18:00	22:00
	6:30	17:30
	16~17:00	17~18:00
	7:10	14:00
	6:00	20:00
	20~21 時台	16~17:00
	7:00	16:30
	20 時台	19:30
		20~21 時台
		21:00
		20 時台
	19:00	

調査駅	行き	帰り
十文字駅	6:00	9:00
	10:00	14:00
	10:00	16:00
	7:00	19:00
	11~13:00	15:50~16:00
	10:00 くらい	13:00
	7:00	13:00
	7:00	11~13:00
	15:00, 18:00	13:00
	8:00, 10:00	14:00
	12 時台	18:00
	12 時台	18:20
	17~18:00	
醍醐駅	10:00	21:00

《「その他」の具体的な要望》

駅名	具体的な要望内容
横手駅	suica を使えるようにしてほしい。
	12 時台、秋田→横手の時間がもう少し遅いと良い。
	新幹線から横手へ来るのに丁度良い便が無い。
	新庄行きが少ない。
	鉄道 IC カードが使えると良い。
	新幹線と繋ぐ本数が少ない。
	悪天候時、冬場、運休なり振替ます etc のアナウンスを少し早くしてほしい。
	冬場の遅延の差、下り優先なのか、上り優先なのか。
	新幹線、電車利用時に無料で置ける無料の P が欲しい。
新幹線との繋がが悪い。待ち時間が長い。	
醍醐駅	駅に時計を設置して欲しい。
柳田駅	トイレの設置(2件)
	suica の利用ができれば良い

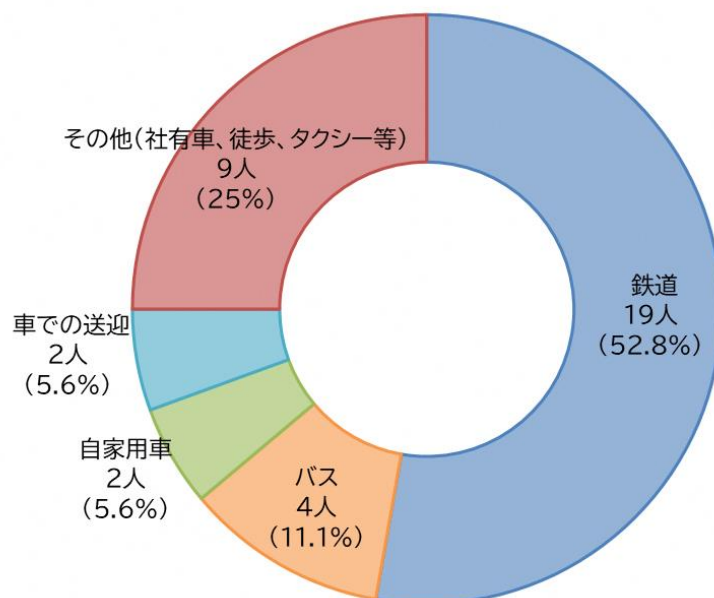
問9-1 直近1か月で利用した新幹線駅

直近1か月で利用した新幹線駅は、秋田新幹線が停車する大曲駅や秋田駅の利用が多いが、仙台駅・盛岡駅や新庄駅など、秋田新幹線以外の新幹線が停車する駅の利用もみられる。

駅名	利用した新幹線駅	利用者数
横手駅	大曲駅	9
	秋田駅	4
	仙台駅	3
	盛岡駅	2
	東京駅	2
十文字駅	大曲駅	7
	新庄駅	2
	横浜駅	2
	秋田駅	1
	盛岡駅	1
	東京駅	1
相野々駅	新花巻駅	1

問9-2 直近1か月で利用した新幹線駅までの交通手段

直近1か月で利用した新幹線駅までの交通手段は、鉄道が52.8%と最も多くなっている。



問10 自由意見(原文のまま記載)

オンデマンドバスの導入、コンパクトシティの推進
横手駅～相野々駅を増便して欲しい。
利用者が減少しても駅や交通機関を無くさないでほしい。
駅からタクシーやバスの運行があれば良い。
待合室の空調設備があれば良い。
バスも鉄道も土日でも1時間に1本運行して欲しい。
待ち合い空間の設備を改善して欲しい。
昼時にもう少し、2本とか30分に1本とかあると良い。
都心に比べると地方はやはり便数が少ない、仕方がないのかもしれないが、1本遅れると予定していた便に乗れず、到着時間が遅くなるのが少し辛い。
駅に時計があると助かる。
横手駅の駅員でとても対応が悪い人がいて嫌だった。
北上線の本数は増やすことはない。もう6億も使っているから無駄。
皆さん親切。
30分おきに運行本数があったら助かります。
大曲から横手、湯沢への乗り継ぎ便数が少なく、丁度いいのが無い。1時間後とかざらにあって、それが凄く不快。
通勤時間帯に本数が多いと良い。少なくて混んでいるイメージがある。
本数はしょうがないかなと思うが、昼帯の時間が少しずれてくれると良い。
以前は新幹線へ北上線でこちらに来るのに丁度良い乗り継ぎ便があったが無くなってしまい大曲経由するのとかわからない、時間が掛かる様になってしまった。新幹線→在来線の乗り継ぎのうまいのが無い。
通勤時間帯を除いての本数、昼時が少ない、もう少しあると良い。
横手駅に時計が無いので不便である。
院内駅の増便をお願いします。
タクシーやバス等が利用しづらい、わかりにくい(横手駅)
運行本数があまりにも少なくてせめて1時間に1本あれば良い方だけど。
横手から湯沢に帰る時、1時台はあるけど14時台がなくて待たないといけない。
今日はたまたま知人に送ってもらえたけど、家族がいらないからバスとか沢山あってくれたら助かる。
横手から由利本荘まで本当は距離があまりないはずなのに時間がかかりすぎている気がする。
車の免許を返納したので公共交通がもっと増えてほしい。
新庄方面のつなぎ、乗り継ぎが不便、便数が少ない。

バスに関しては少し本数が少ないかなと思った。行きたい所があったのだがその方面へのちょうどいいバスがなく、今回は使わなかった。
北上線が少なくなって、新幹線での繋がが悪くなった。下手すると数時間の空きができる。
北上線の本数が少ない、仕方ないのかもしれないが新幹線との繋がは悪いかも。
本数が少ないと思う。ワンコインで乗れるバスがあれば良い(他から来た人への情報収集)
電車やバスの運転本数をもっと増やしてほしい。
田沢湖線に乗るためのもの。
バスの運行本数を持った増やしたい。
全体的に増やしてほしい。
新幹線との繋がとなると本数が少なくて不便。
悪天候時、冬場、運休なり振替ます etc のアナウンスを少し早くしてほしい。大変な中やってくださっているのは解るが、ずっと待たされた挙句運休なり振替ますのアナウンスはちょっと遅い。特に朝帯は先が読めないなら読めないって言ってくれた方が代替手段を考えられるから有難い。
土日のバスの利用が不便である。
北上から横手に来るのに 3 時間に 1 本しかないって東京民からすると驚きです。
本数がなさすぎ。昔は蕎麦屋があった気がするけど無くなって寂しい(横手駅に)
特に冬場、下りが使えないのか(新幹線あるのでわかる)上りが優先なのかわからないときがある。もう少しリアルタイムの情報がもらえると良い。通勤時の朝に急に止められたりするのは非常に困る。乗らずに横手なりで待っていた方が良かったりすることがあった。もう少しわかりやすい、使いやすいアプリなりがあると良い。リアルタイムの情報が欲しい。特に冬。Line があるとは言われたが……。大変なのは解るがもう少し早い、リアルタイムの情報発信、共有を心がけてほしい。
新幹線などを使って数日行く場合に車を置いて置ける無料の P があると良い。時刻表など年寄に見やすい大きいものなどがあると良い。ネットで調べられない、小さい時のものが見づらい者に見やすいものを用意して欲しい。横手はまだ丁寧な方だとは思いますが、秋田駅とかは本当にわからない。
新幹線との繋がの便、待ち時間が長かったりする。駅にカフェとかがあると良い。時間を潰す場所がある。
以前、駅の待合室に時計があったが、今はないのが不便。
全体的にもっと増やしてほしい。
便数を増やしてほしい。
待合室をもっと快適にして欲しい(クーラーなど希望)
駅に時計が無いので不便。
バス時間をもう少し増やしてほしい(最低 1 時間に 1 本くらいは欲しい)

初めて来たのでよくわからない。
バスの本数が少ない(観光客にとっては移動しづらい)全体的に交通アクセスが悪いような気がする。
自動改札にして欲しい。待合室が暑い、改善希望。
冬場の道路の除雪を良くしてほしい(道路状況の改善)
・待合室にTVなどあれば良い。・前あった時計が無くなっている、戻してほしい。・改札からホームまで80mくらいあり遠い、改善希望。・エスカレーターやエレベーターなど設置希望。
各駅で同時に時計故障で外されているのはなぜ?元に戻してほしい。
・下りの十文字行きの電車で開くドアが少ないので、混雑することがある、改善希望。・待合室をもっと涼しく快適にして欲しい。
・待合室の快適さを良くしてほしい。・各交通機関時間帯合わないのが多い(電車、バス)
電車の朝の利用時間の幅を狭めてほしい。
待合室が暑い(もっと快適にして欲しい)
お昼ぐらの時間帯の本数を増やしてほしい。
朝新幹線で来て、大曲から乗り継ぎ時間が(待ち時間)長いように感じた。もっとスムーズに行けたらよい。
便数をもっとあれば利用しやすい。
水害で秋田→大曲間が不通となり、同料金で大曲まで乗車した。その後在来線で十文字まで帰宅。十文字駅の駅舎内の不満は、待合室にクーラーとテレビが無い。もう暑くて大変だ。掛け時計が無いので時間の確認がとても不便。横手駅にも時計が無いのはどうしたものかと思う。
天井や床にクモの巣がいっぱいあって嫌だ。掃除して欲しい。
秋田市在住。時々帰省するときに利用する。
駅が明るいので遅い時間迎えを待っていても怖くない。
十文字駅内、冬は暖かいが夏は暑い。
トイレが狭い。自然環境を体験したくて観光に来た。十文字駅からノルディックで歩いて東成瀬村まで行く。帰りはバスを利用する。
バスから電車への乗り継ぎのとき、時間帯が少しずれていたりして不便。
2週間くらいの看護実習のため利用。秋田駅までは家族の送迎。十文字駅で迎えの車を待っている。十文字駅の感想はエアコンがなく、窓が開いていても暑い。綺麗な椅子が沢山あって、待ち時間に使用している。とても良い。
十文字駅はとても静かな駅。秋田駅までは自転車を利用。
秋田駅までは自転車を利用。
suica が使えれば良いと思った。アナウンスが無いので来るタイミングを間違えそうになった。飯詰駅に着いたらすぐ移動できるように電話を掛けて予約していた。

<p>横浜までの乗車券を購入しようとしたら、suica もクレジットカードも使えず、1 万円以上かかったので慌てた。いつからそうなったのかを窓口に聞いた。以前と違う事が多く、知らなかった。この次帰省するときは調べたりして前準備が必要だと思った。</p>
<p>大体の駅が綺麗。町の雰囲気は穏やかで人も優しい。</p>
<p>7, 8 年ぶりの帰省で昔の事も忘れ、今の事も良く知らない。一人で移動する大変さを今回は感じた。自力でやるが多すぎた(チケット購入の時やバス乗車時、駅からの接続方法など)</p>
<p>suica が使えないのはとっても不便。東京から 1 週間の観光旅行で来た。蔵に行ってきたがバスとの接続が上手くいってなくて残念。車の人は良いが、電車で観光している私たちにとってはとても不便。普段 suica を使っていると料金を気にすることが無い。高いのか安いのかよくわかっていない。</p>
<p>いつも移動には殆どバスを使っている。3 ヶ月に 1 回の通院で駅を利用。この後 16 持頃のバスに乗って帰宅する。3 時間以上待つ。時間は気にしていないのでクロスワードの本を持って来て待ち時間を過ごしている。冬はストーブがあるので暖かい。</p>
<p>一昨日テレビで増田美術館でアヴァをやっているのを知って今日明日仕事が休みなので行こうと思って来た。観光できたが、案内が少なすぎる。こんなものかなあと思えば大きな不満はないが、窓口の方の対応や資料が欲しいと思った。静かな環境に合ってはいるが、電車の発車案内があっても良いのでは。</p>
<p>年に 1 回、増田町の夫の実家へ帰省している。秋田市へ戻り 1 週間～10 日の予定で色んなところに出かけている。電車の中に自販機があれば良い。車両のつなぎ目が危なく感じ、通る時足元には気を付けている。</p>
<p>去年までは年 1 回帰省していたが、父親が倒れてから月 1 回のペースで来ている(父親は弟の家に現在住んでいる)高校まで湯沢で暮らしていたが、当時と比べると電車の本数がとても減った。いつもは新幹線で降車した大曲まで迎えに来てもらっているが、今回は誰も来られなくて電車を利用。乗り継ぎの仕方や料金精算も正しいのか半分よくわからずここまで来た。ここからバスで移動する)</p>
<p>新幹線で利用した大曲駅や十文字駅の駅員さんたちはみなさん親切。</p>
<p>待合室、夏場が暑い。</p>
<p>駅から学校までは歩いて夏場は 20 分、冬場は 30 分かかる。夏は暑くて駅の中では汗だく。電車の中は涼しくて快適。</p>
<p>十文字駅について家族が迎えに来てくれるので、バスに乗ることがあまりない。冬でも問題なく電車を利用できている。</p>
<p>十文字発 11:45 を逃すと 13:30 しかないので 12 時台があれば良い。</p>
<p>suica が使えない所が不便。観光案内の看板もあり、特に不安なく歩くことができた。</p>
<p>出発する時間調整のため待合室をよく利用する。時計もテレビもなくなって不自由になった。バスで 15 分位のところに職場有り。</p>

乗り合わせが悪く新幹線に乗るため新庄で 2 時間待ったことがある。年々駅が整備され綺麗になっていくが、高齢者の方達や旅行者で大きなバッグを持った方達のためにも階段利用ではなく、線路を渡る方法は無いものかと思ってしまう。

家の人にいつも送迎してもらっているので不便は感じていない。

冬は雪による遅延が時々あるが、学校への影響はない。

バスへの乗り継ぎが良くない。夏の暑い時期や冬の寒い時期は特に嫌になる。

タクシーが 1 台もないので、公衆電話を使って呼ぼうとしたら 10 円がすぐ出てきて使えない。故障しているのではないか(たまたま 1 台来て無事に来て帰っていった)

4. 横手デマンド交通利用者アンケート調査

1-1 調査の概要

調査対象	横手デマンド交通利用者
調査期間	令和5年8月7日～16日
調査方法	運転手から利用者へアンケート調査票を配布し、郵送による回収
回収数	94票

使用した調査票（見本）

デマンド交通に関する利用者アンケート調査票

このたびは、横手デマンド交通をご利用いただきありがとうございます。デマンド交通の利用実態を把握するためにアンケート調査を実施しています。ご協力をお願い致します。この調査は無記名で行いますので、回答者が特定されることは一切ありません。

ご協力いただける方は、本調査票にご回答の上、同封しております返信用封筒に入れて、ポストへ投函していただきますようお願い申し上げます。

〈問い合わせ先〉
横手市地域公共交通活性化協議会(横手市 総務企画部 経営企画課内)
TEL:0182-35-2164(直通)

問1 あなたご自身についてお答えください。(1つに○印)

性別	①男性	②女性			
年齢	①10歳代	②20歳代	③30歳代	④40歳代	⑤50歳代
	⑥60～64歳	⑦65～69歳	⑧70歳代	⑨80歳代以上	
居住地域	①横手地域	②増田地域	③平鹿地域	④雄物川地域	⑤大森地域
	⑥十文字地域	⑦山内地域	⑧大雄地域	⑨横手市外 → 具体的な市区町村名:()	

問2 デマンド交通を利用する頻度を教えてください。(1つに○印)

①週に5日以上	②週に3～4日	③週に1～2日	④月に2～3日
⑤月に1日	⑥年に数回	⑦その他()	

問3 デマンド交通の各項目の満足度について、教えてください。(1つに○印)

項目	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満
①利用可能時間帯	5	4	3	2	1
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 「やや不満」「不満」を選んだ方は、その理由をお書きください。 </div>					
②利用方法・予約方法	5	4	3	2	1
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 「やや不満」「不満」を選んだ方は、その理由をお書きください。 </div>					
③利用料金(運賃)	5	4	3	2	1
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 「やや不満」「不満」を選んだ方は、その理由をお書きください。 </div>					

⇒裏面へ設問は続きます。

④中心部バスゾーンの乗り継ぎ場所	5	4	3	2	1
			「やや不満」「不満」を選んだ方は、その理由をお書きください。		
⑤他公共交通機関との乗り継ぎ利便性	5	4	3	2	1
			「やや不満」「不満」を選んだ方は、その理由をお書きください。		

この設問以降は、デマンド交通を利用した日(本調査票を受け取った日)のことについて、お伺いします。

問4 デマンド交通を利用した日の、利用目的について教えてください。(1つに○印、
⑧を選択した場合、具体的な目的を記入してください。)

①通勤	②通学	③買い物	④通院	⑤公共施設利用	
⑥遊び・趣味・習い事等	⑦観光	⑧その他()			

問5 デマンド交通を利用した日の自宅から目的地(行き)、目的地から自宅まで(帰り)の利用時間帯について教えてください。「行き」と「帰り」どちらかでデマンド交通を利用していない場合は、その際に利用した交通手段を選択してください。(それぞれ1つに○印)

行き	①7時台 ②8時台 ③9時台 ④10時台 ⑤11時台 ⑥12時台 ⑦13時台 ⑧14時台 ⑨15時台 ⑩16時台 ⑪17時台 ⑫18時台 ⑬「行き」ではデマンド交通を利用していない
	<p>行きて利用した交通手段を下記の中から、選んでください。</p> <p>1. 鉄道 2. 路線バス(羽後交通) 3. 横手市循環バス 4. 乗合タクシー・コミュニティバス・自家用有償旅客運送 5. タクシー 6. 家族の送迎 7. 自分で車を運転 8. 徒歩 9. その他()</p>
帰り	①7時台 ②8時台 ③9時台 ④10時台 ⑤11時台 ⑥12時台 ⑦13時台 ⑧14時台 ⑨15時台 ⑩16時台 ⑪17時台 ⑫18時台 ⑬「帰り」ではデマンド交通を利用していない
	<p>帰りで利用した交通手段を下記の中から、選んでください。</p> <p>1. 鉄道 2. 路線バス(羽後交通) 3. 横手市循環バス 4. 乗合タクシー・コミュニティバス・自家用有償旅客運送 5. タクシー 6. 家族の送迎 7. 自分で車を運転 8. 徒歩 9. その他()</p>

最後に、横手デマンド交通に関するご意見・ご要望がありましたら記入をお願いします。

ご協力ありがとうございました。

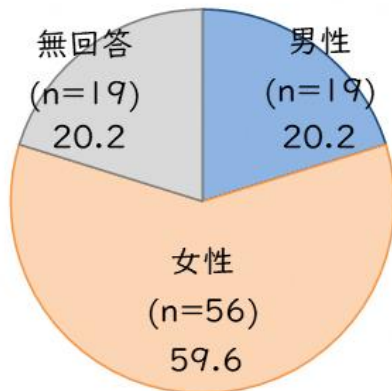
ご記入が終わりましたら、返信用封筒に入れ8月16日(水)までにご返送ください。

(切手は不要です)

1-2 調査結果

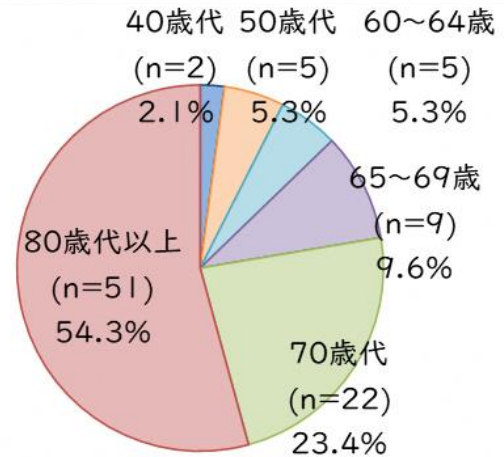
問1-1 性別

性別は、59.6%と女性の利用が多くなっている。



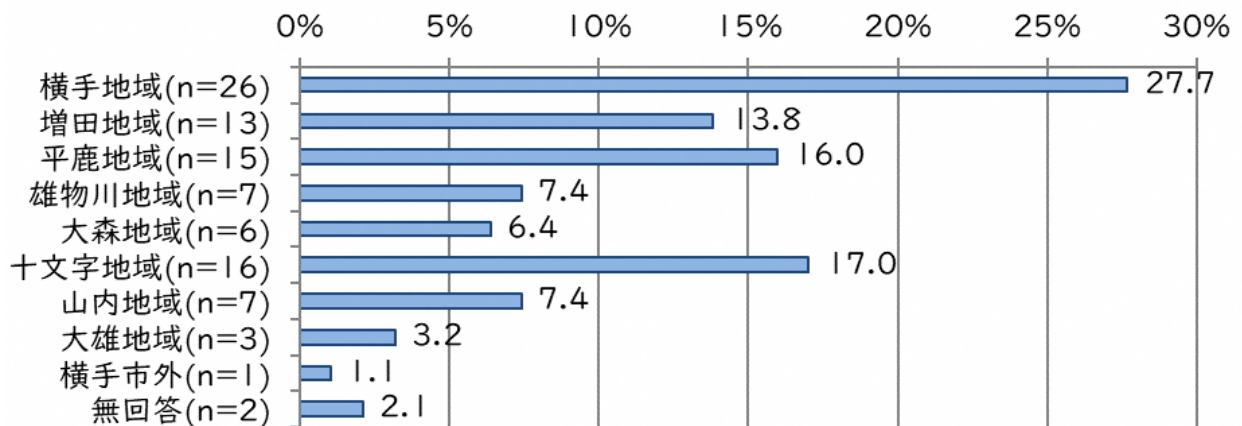
問1-2 年代

年代は、80歳代以上が54.3%と最も多くなっており、次いで70歳代が23.4%と多くなっている。



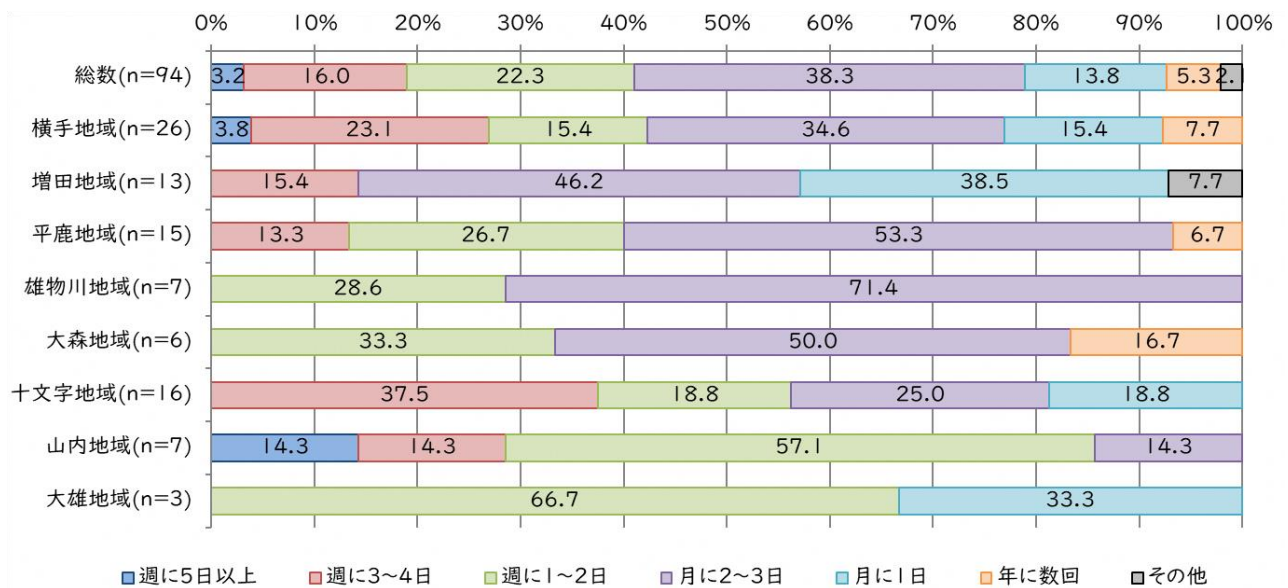
問1-3 居住地域

利用者の居住地域は、横手地域が最も多くなっている。



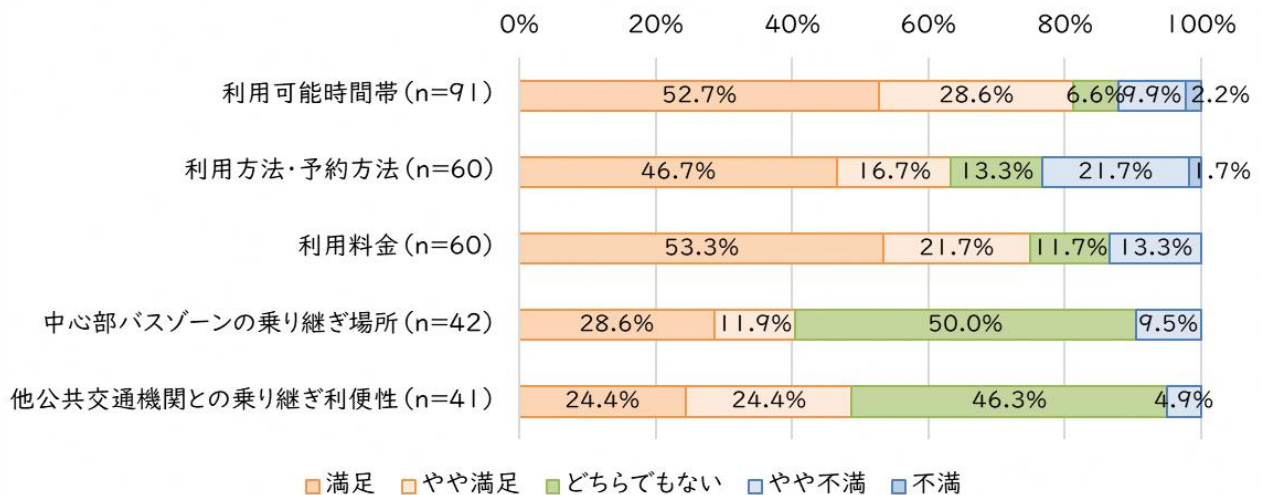
問2 利用頻度

利用頻度は、「月に2～3回」が38.3%と最も多くなっており、次いで「週に1～2日」が22.3%と多くなっている。山内地域では、「週に5日以上」という高頻度利用層も多くみられる。



問3-1 各項目の満足度

横手デマンド交通の各項目の満足度は、「利用可能時間帯」の満足度が高くなっており、「中心部バスゾーンの乗り継ぎ場所」の満足度が低い傾向にある。



問3-2 各項目の「やや不満」「不満」の理由

【利用可能時間帯】

年代	居住地区	理由(原文)
80歳代以上	増田地域	病院へ行く前日は電話をかけてよいが、診察がいつおわるかわからないので帰りが使いづらい。
80歳代以上	十文字地域	朝早いほうが良い
65～69歳	横手地域	切替が必要の意味が分からない。
70歳代	十文字地域	20時くらいまで使いたい。
50歳代	横手地域	夕方 6:00 頃 tel したらもう利用できないと言われ…早すぎる！
80歳代以上	横手地域	午後 5 時 50 分までの受付は病院への出入りの場合不便。受付を 7 時(夕)までで良い
80歳代以上	横手地域	主に通院の時、利用させていただいております。大変有難く思っております。行く時は1h 前に予約できますが、帰りの終わる時間がわからなく、前もって予約することができません。なので、タクシーを利用せざるをえません。
80歳代以上	横手地域、増田地域、十文字地域	車の台数が足りないとのことでなかなか自分の頼む時間の思う様にならない事。
65～69歳	山内地域	夜に付き合い、残業等の時に使えない。
80歳代以上	平鹿地域	旧横手へ入るとタクシー代が通常になるところです。バスを利用するにしても都合よく乗れる場所、時間がよくわからない。

【利用方法・予約方法】

年代	居住地域	理由(原文)
80歳代以上	増田地域	予約方法
80歳代以上	増田地域	予約一時間前を改善できないか。
70歳代	増田地域	利用したい時間が他の方と重なってしまうと時間ずらして欲しいと言われる。
70歳代	十文字地域	現在一時間前に予約となっているが、30分前くらいにしてほしい。
70歳代	横手地域	予約時間で一時間前は長すぎる。病院からの帰りなど。
80歳代以上	横手地域	電話
50歳代	横手地域	1時間前の予約は何故？コンビニ等にも寄れず不便。
80歳代以上	横手地域	上記と同じ
80歳代以上	横手地域、増田地域、十文字地域	私毎週月・木交流センターに通っています。1週間前から頼んでも思う様にいかないです。1か月毎週出るのですが月はじめ一回の予約出来ん事です。
70歳代	横手地域	通院時、終わる時間が定まっていないため予約しにくいです。
80歳代以上	横手地域	自宅から目的地までの間に5~10分位寄り道(買物等)を認めてもらいたい。予約も30分前位までにしてもらいたい。
80歳代以上	雄物川地域	予約方法1時間が遅れるから。
65~69歳	山内地域	電話予約で一時間前とあるが、すぐOKならばすぐに使えるとありがたい。
50歳代	横手地域	生年月日まで言うのは嫌。住所、名前、telでいいのでは？重苦しい感じで気軽に利用できない。
80歳代以上	横手地域	telで予約しております。
80歳代以上	平鹿地域	1時間ではなく、30分前位にしていただきたい。
80歳代以上	平鹿地域	電話してから1時間後というのではなく、随時早めに来てくださると有難い。

【利用料金】

年代	居住地域	理由(原文)
80歳代以上	増田地域	お年寄りにもう少し援助してほしい。
80歳代以上	増田地域	旧市内で距離が近い所でも料金が高くなる
80歳代以上		1回 2500~3000円
80歳代以上	横手地域	病院通院は回数が多く料金が重くなり、病院通院のみ割引できないでしょうか。
80歳代以上	横手地域、増田地域、十文字地域	私は知人で他にお医者さんに通っています。渡部医院では1月に2回下田医院に本人は3か月に1回(2か月分薬は頼んでいます)デマンド代金で大変です。もう少しだけお安くなればありがたいです。
80歳代以上	平鹿地域	利用頻度が高いのもう少し安くしてもらいたい。
80歳代以上	横手地域	一人乗車より二人乗車のほうが安いですが、一人単価×人数の料金にしてもらいたい。車を持っていない老人はたいてい一人で乗るので、利便性をよくしてもらいたい。
80歳代以上	雄物川地域	会社によって運賃が違う場合あり。
50歳代	横手地域	高い。もっと安ければいい。
80歳代以上	平鹿地域	家からスーパーへの買い物往復すると、¥1200かかります。せめて¥1000までに。

【中心部バスゾーンの乗り継ぎ場所】

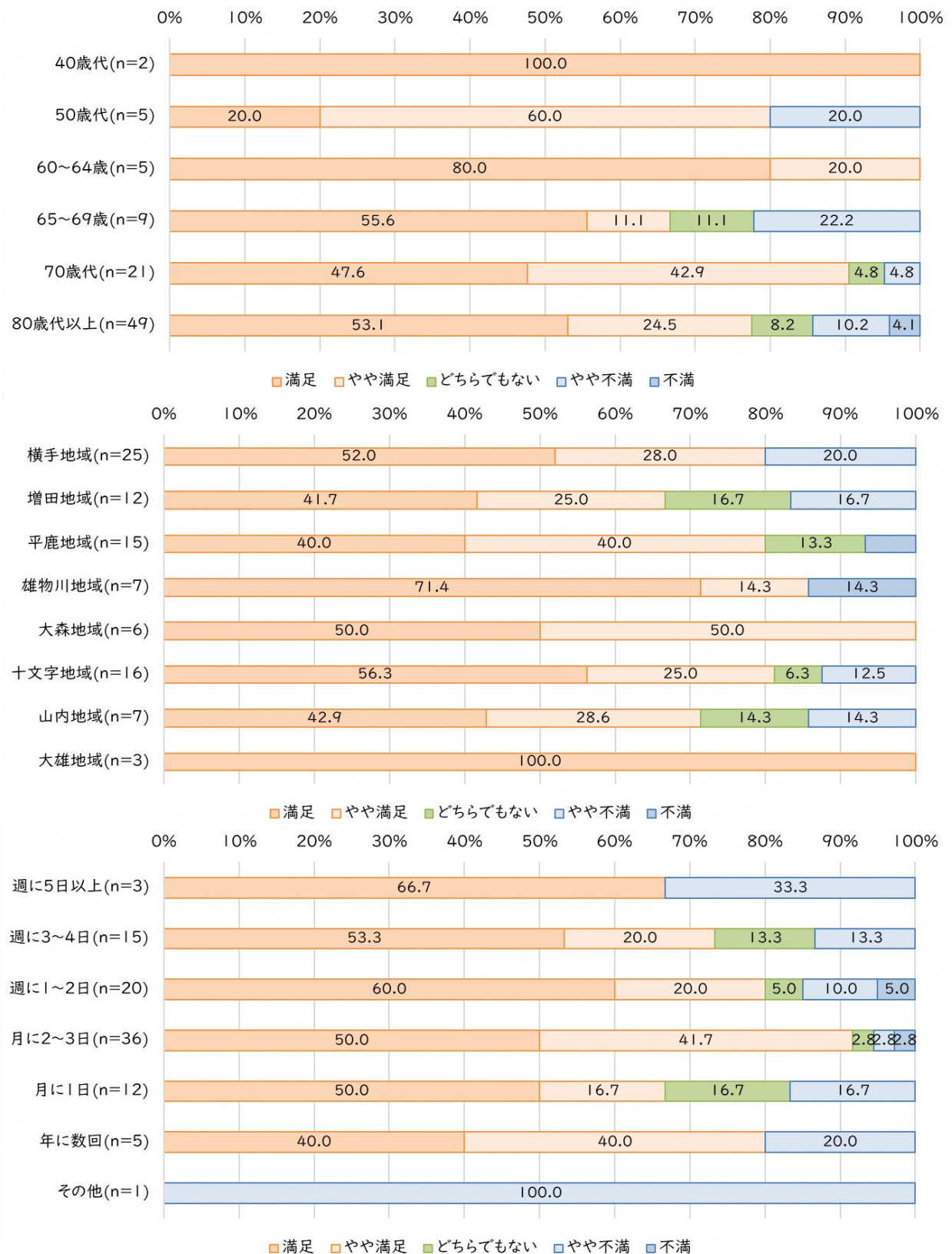
年代	居住地域	理由(原文)
40歳代	横手地域	自宅からバスの停留所までが遠い。徒歩 15 分程の所にあるが体調不良のため少しの徒歩もきびしくバスの利用に至らない。
80歳代以上	平鹿地域	乗り継ぎしないでそのまま行きます。
70歳代	横手地域	乗り継ぎを解消してほしい。
80歳代以上	横手地域	市民会館下での下車、横手病院の手前50m~100mでの下車
70歳代	横手地域	本数少ない。寺谷西~県立美術館・足が欲しい。また、連絡不十分。
80歳代以上	横手地域	バス路線ない。

【他公共交通機関との乗り継ぎ利便性】

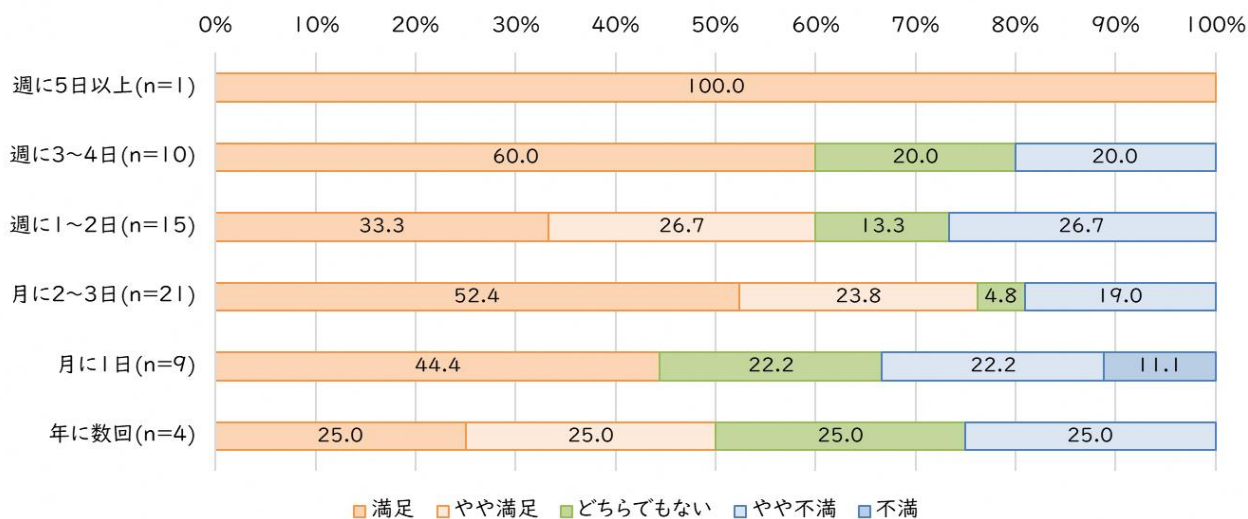
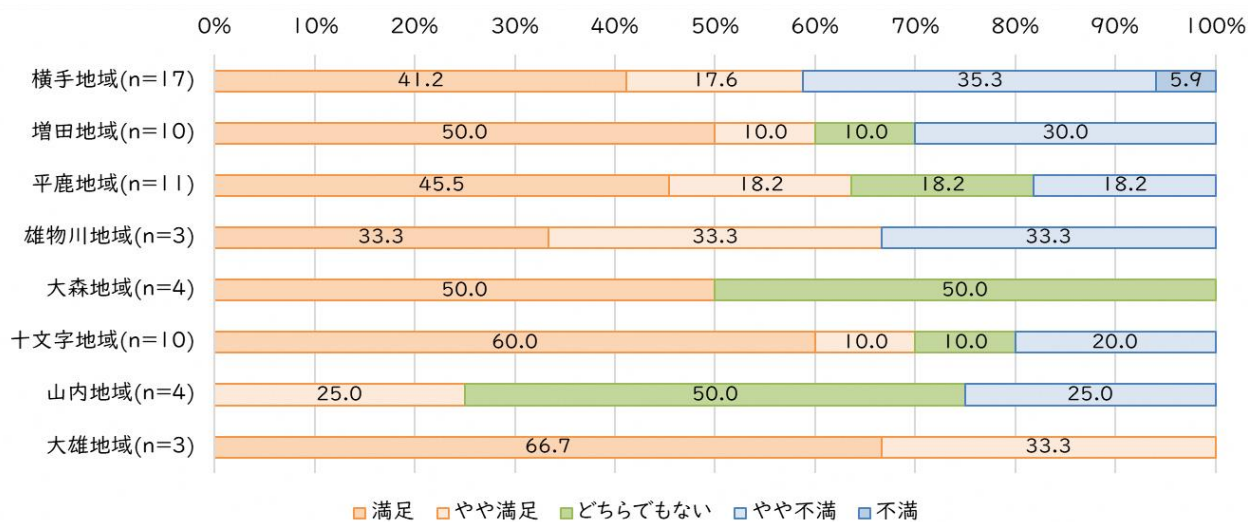
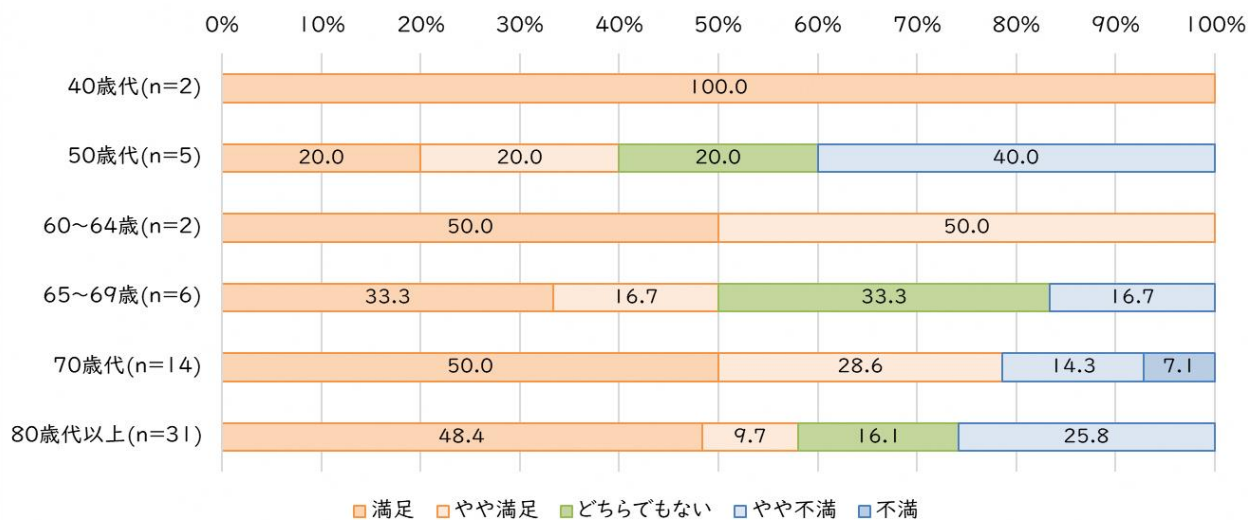
年代	居住地域	理由(原文)
70歳代	横手地域	時間的にもかなり不便である。
80歳以上	平鹿地域	利用したことがないのでわからない。

問3(補足資料) 各項目の満足度<<年代・地域・利用頻度別の各項目の満足度>>

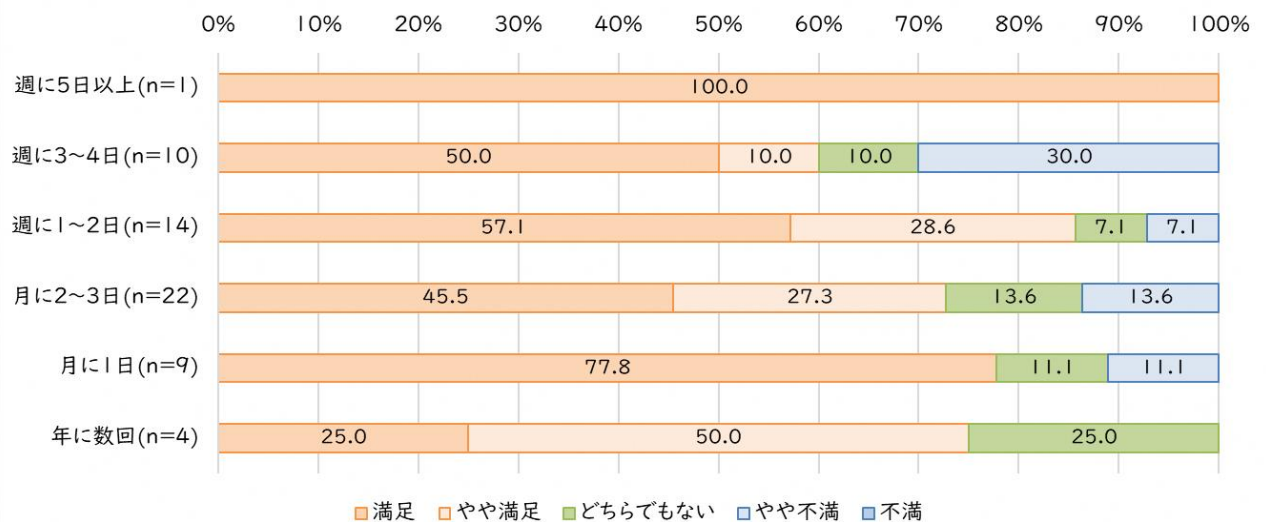
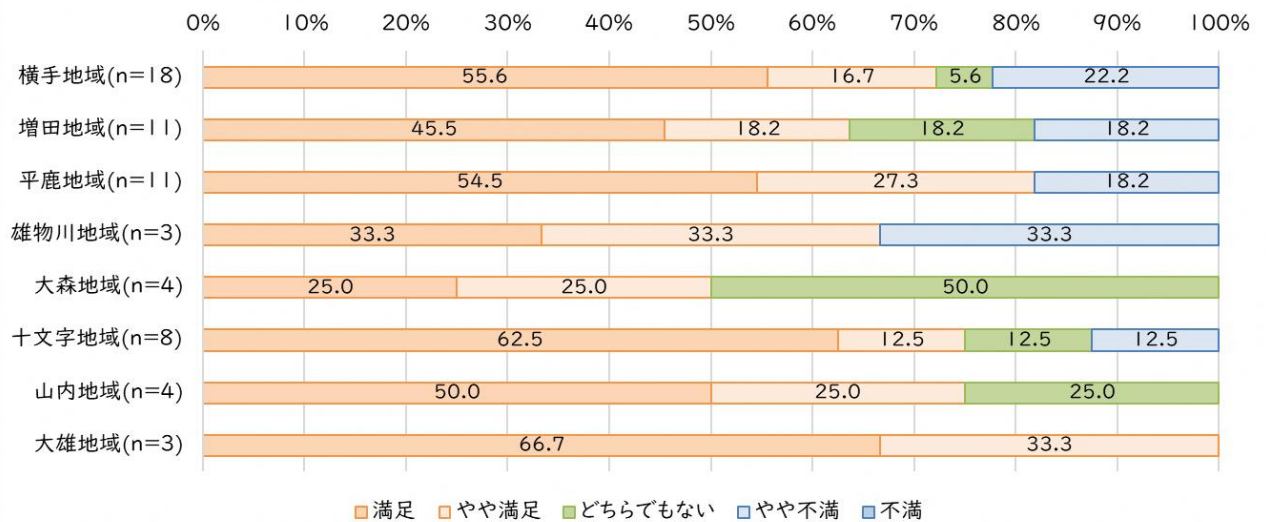
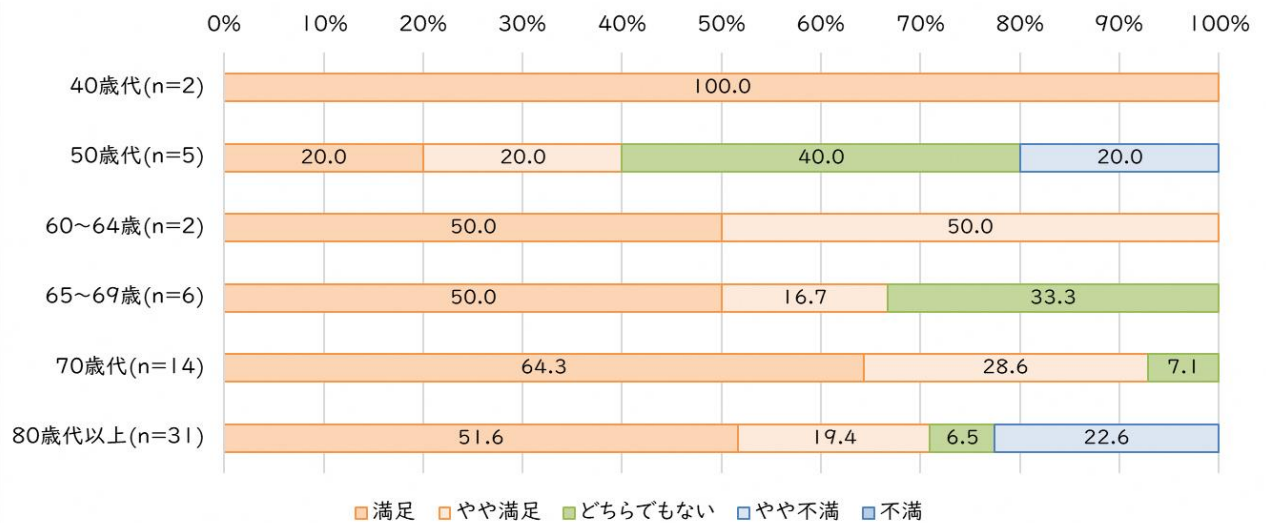
【利用可能時間帯】



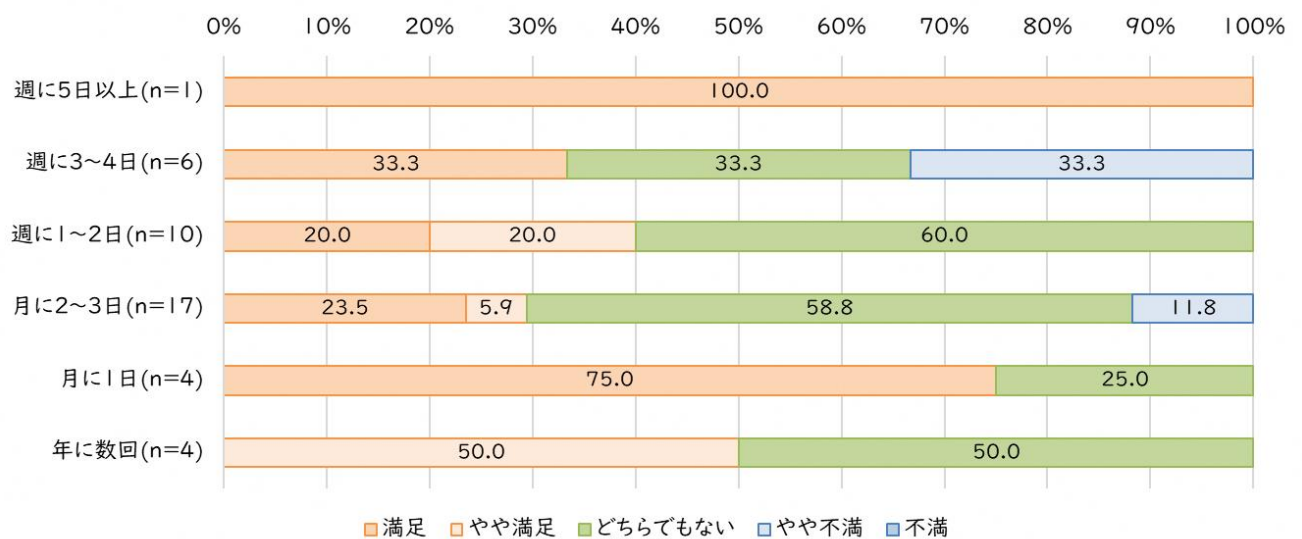
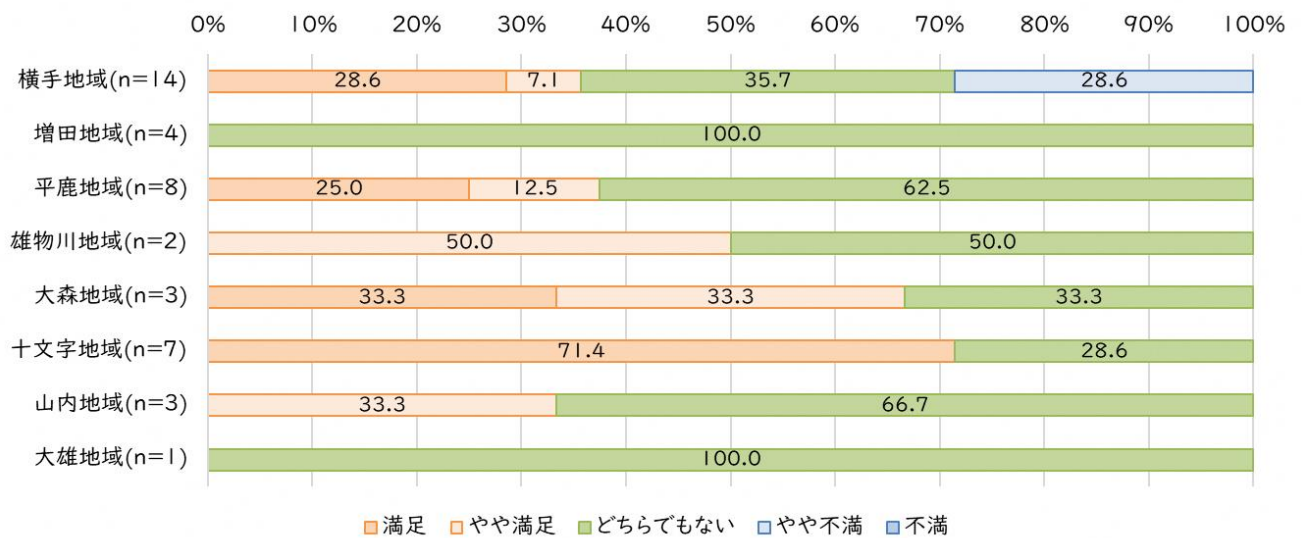
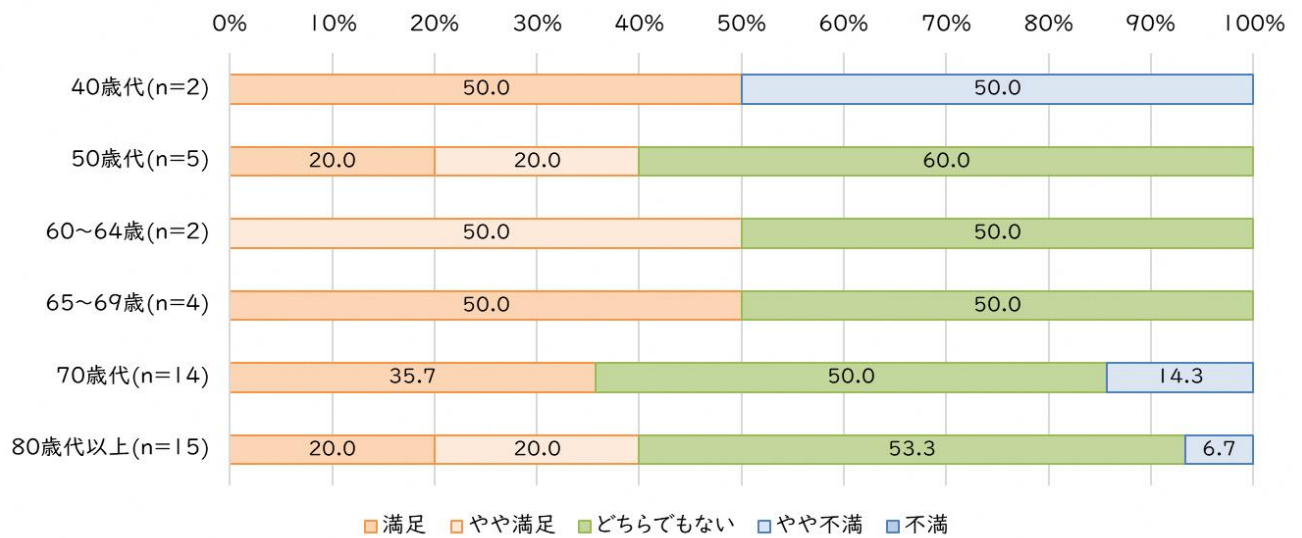
【利用方法・予約方法】



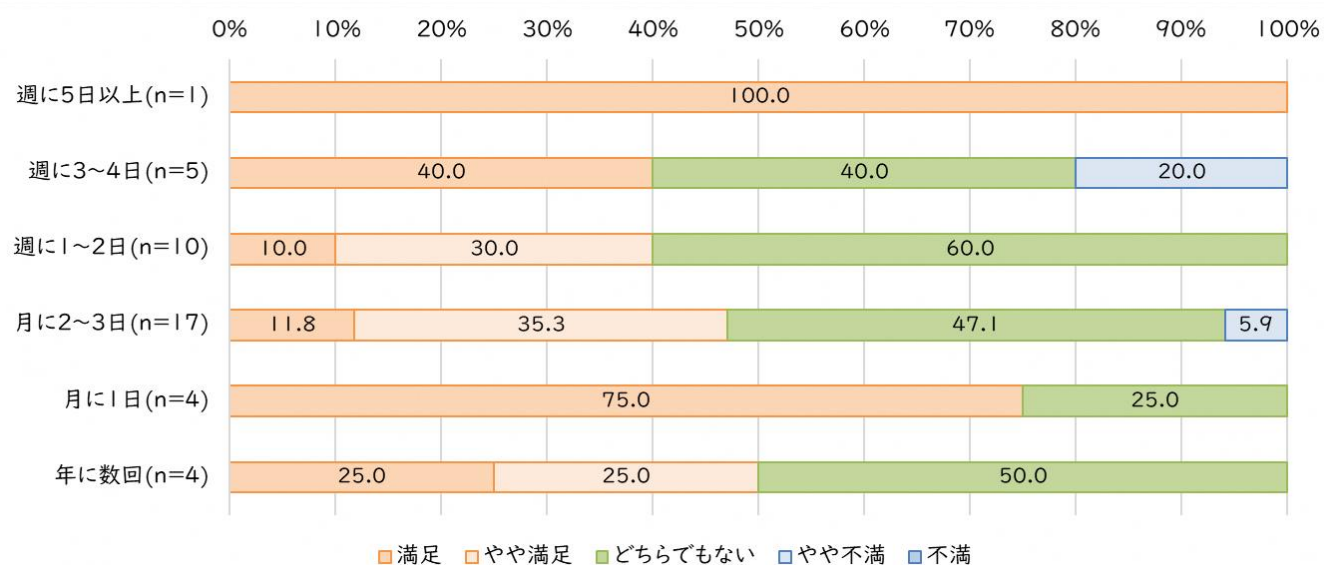
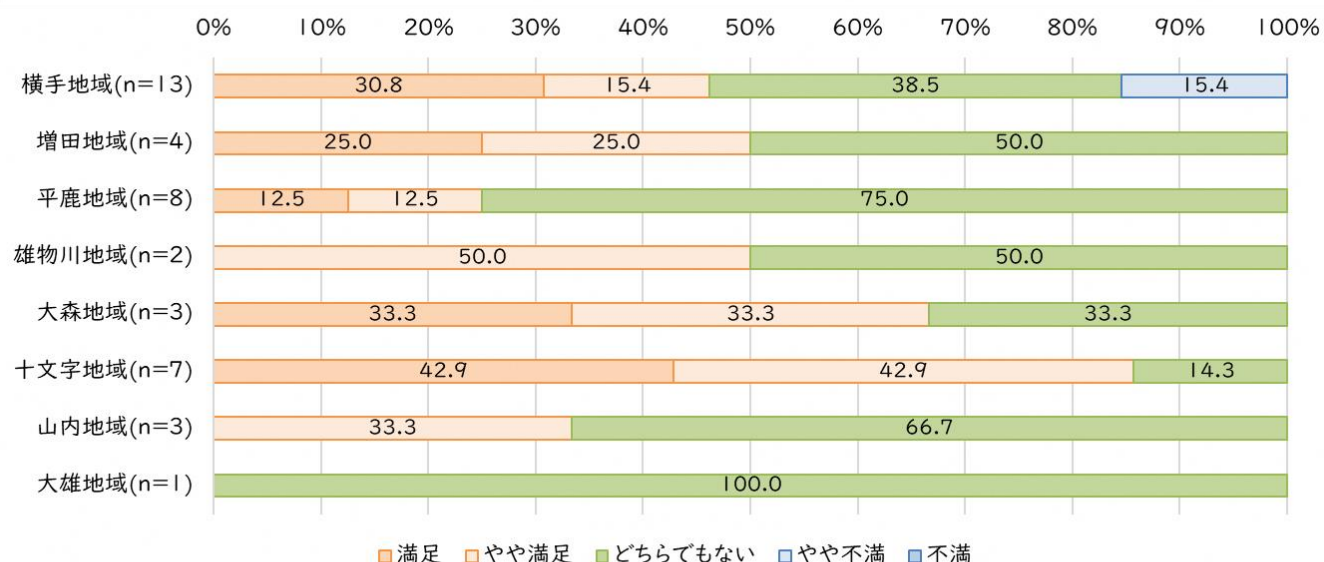
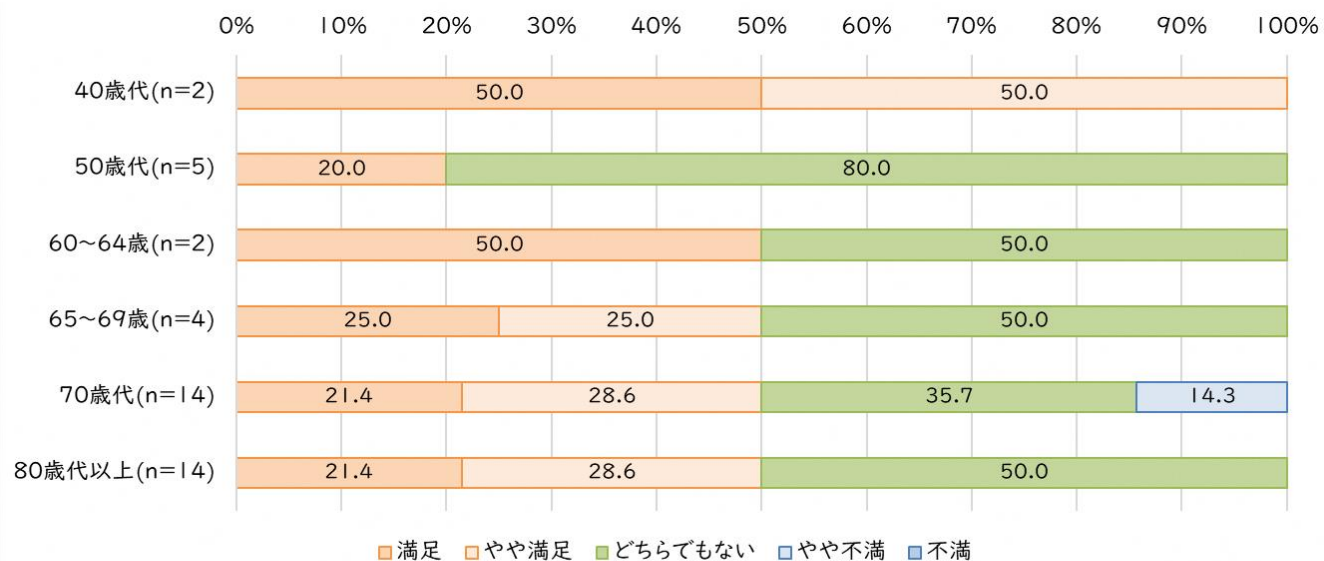
【利用料金】



【中心部バスゾーンの乗り継ぎ場所】

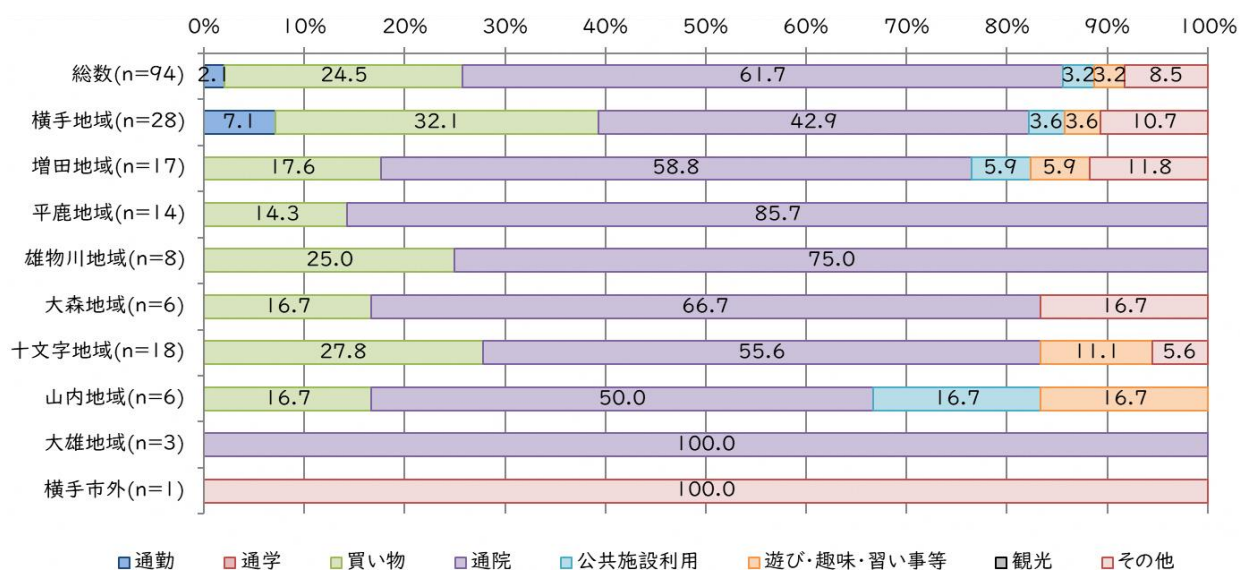


【他公共交通機関との乗り継ぎ利便性】



問4 利用目的

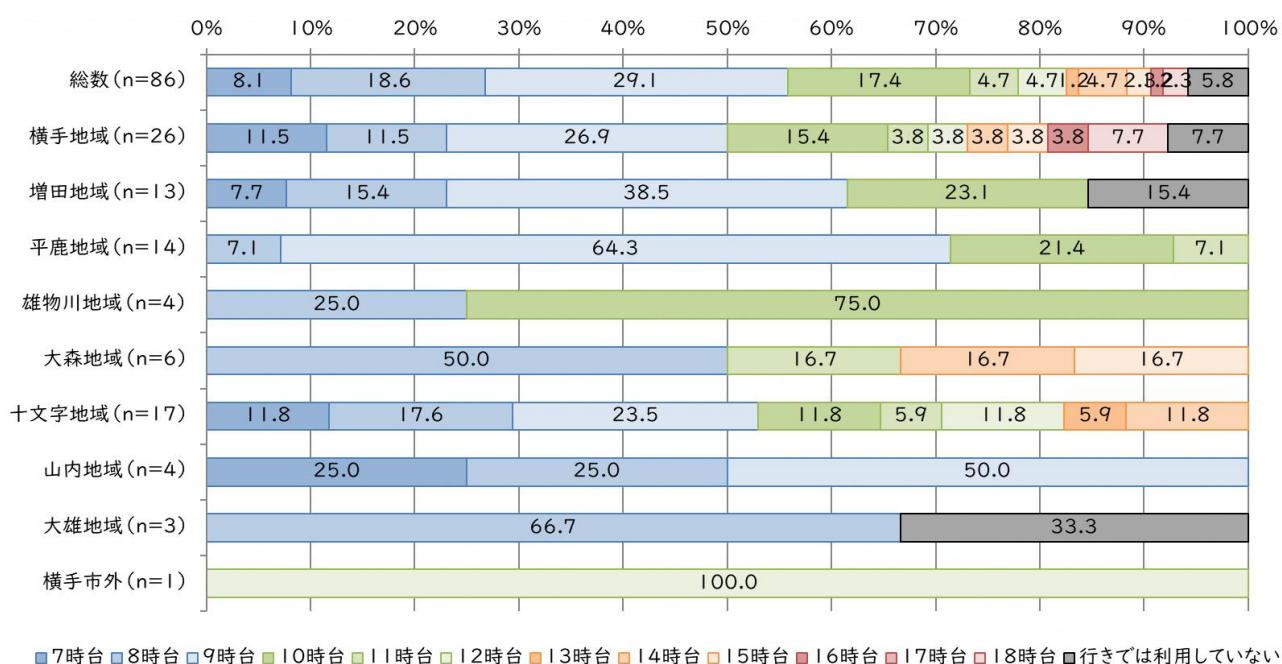
利用目的は、「通院」が61.7%と最も多くなっており、次いで「買い物」が24.5%と多くなっている。



問5 利用時間帯(行き)

利用時間帯(行き)は、概ね7時台から10時台と午前中の利用が多くなっているが、大森地域や十文字地域では、13時台~14時台の利用も見られる。

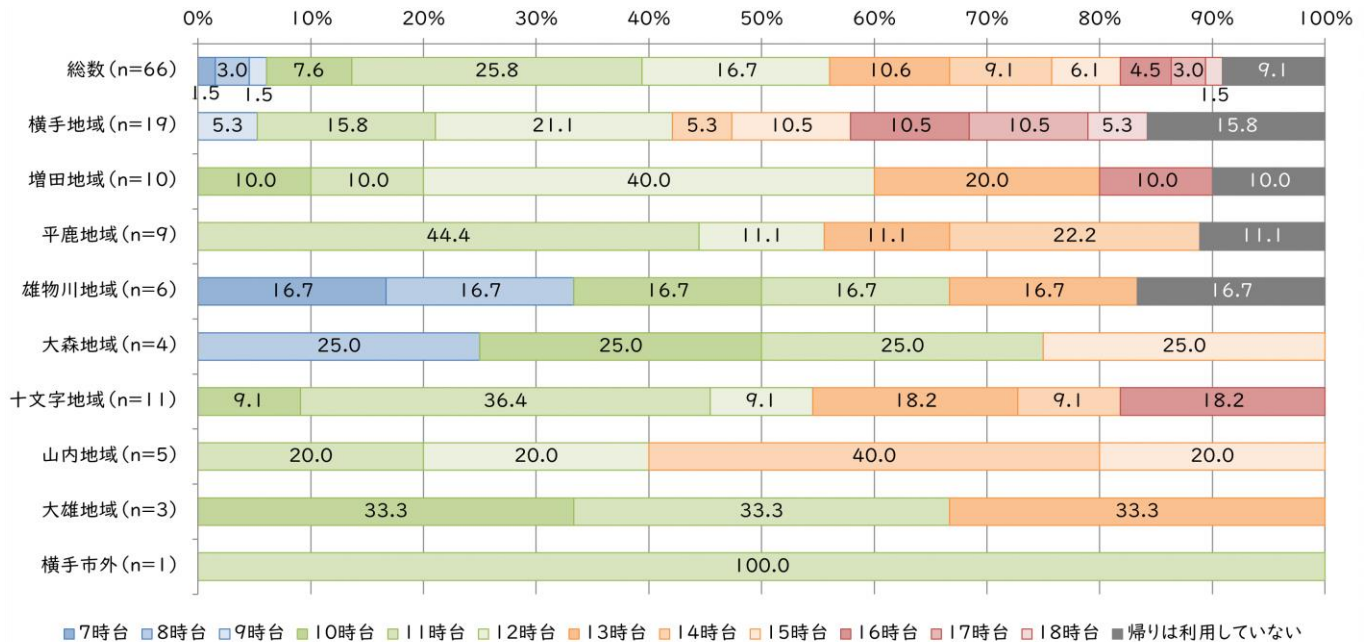
横手地域、増田地域、大雄地域では、行きでは横手デマンド交通を利用せずに、他の交通手段を利用している。



問5 利用時間帯(帰り)

利用時間帯(帰り)は、10時台~14時台に集中している。

横手地域、増田地域、平鹿地域、雄物川地域では、帰りに横手デマンド交通を利用せずに、他の交通手段を利用している。



5. 廃止代替乗合タクシー利用者アンケート調査

1-1 調査の概要

調査対象	廃止代替乗合タクシー（大森線、睦合線、湯沢沼館線）利用者
調査期間	令和5年8月14日～23日
調査方法	運転手から利用者へアンケート調査票を配布し、郵送による回収
回収数	27票

使用した調査票（見本）

乗合タクシーに関する利用者アンケート調査票

このたびは、乗合タクシーをご利用いただきありがとうございます。乗合タクシーの利用実態を把握するためにアンケート調査を実施しています。ご協力をお願い致します。この調査は無記名で行いますので、回答者が特定されることは一切ありません。

ご協力いただける方は、本調査票にご回答の上、同封しております返信用封筒に入れて、ポストへ投函していただきますようお願い申し上げます。

(問い合わせ先)
横手市地域公共交通活性化協議会(横手市 総務企画部 経営企画課内)
TEL:0182-35-2164(直通)

問1 あなたご自身についてお答えください。(1つに○印)

性別	①男性	②女性			
年齢	①10歳代	②20歳代	③30歳代	④40歳代	⑤50歳代
	⑥60～64歳	⑦65～69歳	⑧70歳代	⑨80歳代以上	
居住地域	①横手地域	②増田地域	③平鹿地域	④雄物川地域	⑤大森地域
	⑥十文字地域	⑦山内地域	⑧大雄地域	⑨横手市外 →具体的な市区町村名:()	

問2 本日(本アンケート調査票を受け取った日)に利用した路線名を教えてください。(1つに○印)

①乗合タクシー 湯沢沼館線 ②乗合タクシー 睦合線 ③乗合タクシー 大森線

問3 本日(本アンケート調査票を受け取った日)利用した際の、乗車停留所と降車停留所を教えてください。※大森線を利用された方は、乗車地区・降車地区を教えてください。(下記の()に具体的な名称をご記入ください。)

【乗車停留所(大森線利用の方は地区名を記入)】→()
【降車停留所(大森線利用の方は地区名を記入)】→()

問4 乗合タクシーを利用する頻度を教えてください。(1つに○印)

①週に5日以上 ②週に3～4日 ③週に1～2日 ④月に2～3日
⑤月に1日 ⑥年に数回 ⑦その他()

問5 乗合タクシーの各項目の満足度について、教えてください。(1つに○印)

項目	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満
①利用可能日(運行曜日)	5	4	3	2	1
②運行時間帯	5	4	3	2	1
③利用料金(運賃)	5	4	3	2	1
④運行ルート	5	4	3	2	1
⑤他公共交通機関との乗り継ぎ利便性	5	4	3	2	1

⇒裏面へ設問は続きます。

この設問以降は、乗合タクシーを利用した日(本調査票を受け取った日)のことについて、お伺いします。

問6 乗合タクシーを利用した日の利用目的について教えてください。

(1つに○印、⑧を選択した場合、具体的な目的を記入してください。)

①通勤	②通学	③買い物	④通院	⑤公共施設利用
⑥遊び・趣味・習い事等	⑦観光	⑧その他()		

問7 乗合タクシーを利用した日の、自宅等から目的地(行き)と目的地から自宅等(帰り)の利用時間帯について教えてください。「行き」と「帰り」どちらかで乗合タクシーを利用していない場合は、その際に利用した交通手段を選択してください。(それぞれ1つに○印)

行き	①7時台 ②8時台 ③9時台 ④10時台 ⑤11時台 ⑥12時台 ⑦13時台 ⑧14時台 ⑨15時台 ⑩16時台 ⑪17時台 ⑫18時台 ⑬「行き」では乗合タクシーを利用していない
	⇒「行き」で利用した交通手段を下記の中から、選んでください。 1. 鉄道 2. 路線バス(羽後交通) 3. 横手デマンド交通 4. コミュニティバス・自家用有償旅客運送 5. タクシー 6. 家族の送迎 7. 自分で車を運転 8. 徒歩 9. その他()
帰り	①7時台 ②8時台 ③9時台 ④10時台 ⑤11時台 ⑥12時台 ⑦13時台 ⑧14時台 ⑨15時台 ⑩16時台 ⑪17時台 ⑫18時台 ⑬「帰り」では乗合タクシーを利用していない
	⇒「帰り」で利用した交通手段を下記の中から、選んでください。 1. 鉄道 2. 路線バス(羽後交通) 3. 横手デマンド交通 4. コミュニティバス・自家用有償旅客運送 5. タクシー 6. 家族の送迎 7. 自分で車を運転 8. 徒歩 9. その他()

最後に、乗合タクシーに関するご意見・ご要望がありましたら記入をお願いします。

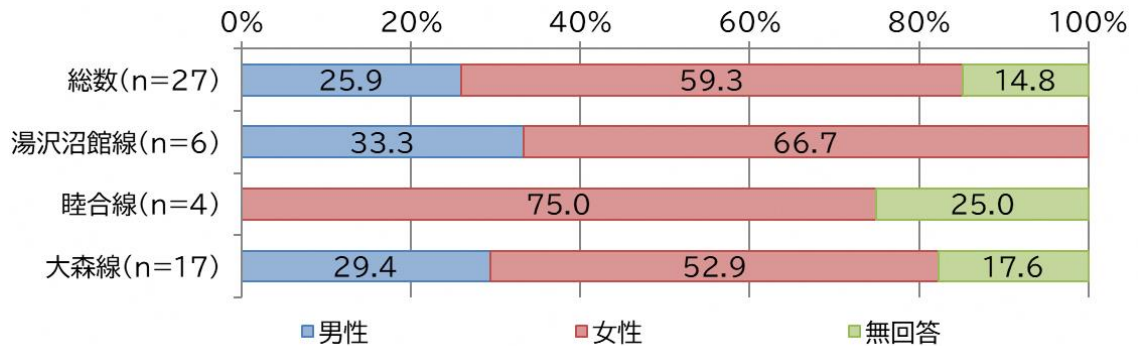
ご協力ありがとうございました。

ご記入が終わりましたら、返信用封筒に入れ8月23日(水)までにご返送ください。(切手は不要です)

1-2 調査結果

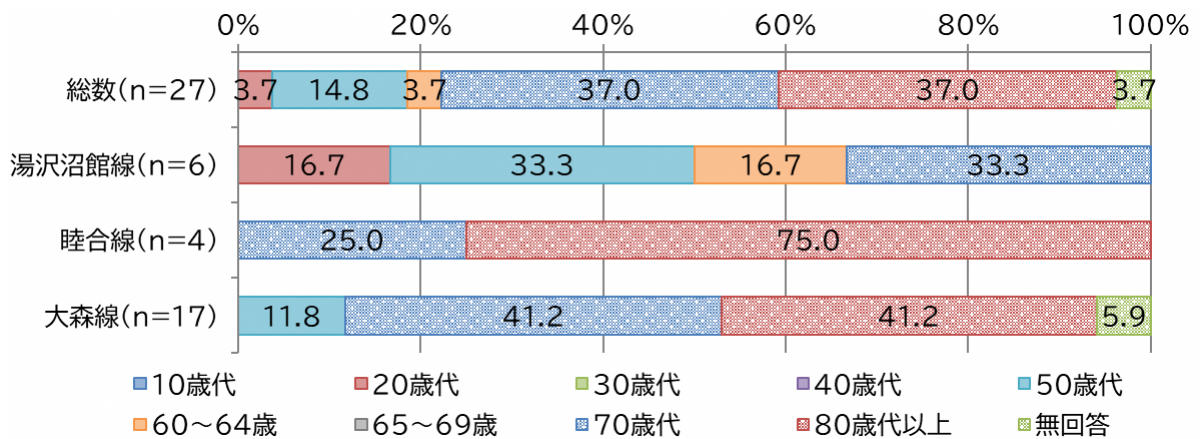
問1-1 性別

性別は、女性の方が男性よりも多くなっている。



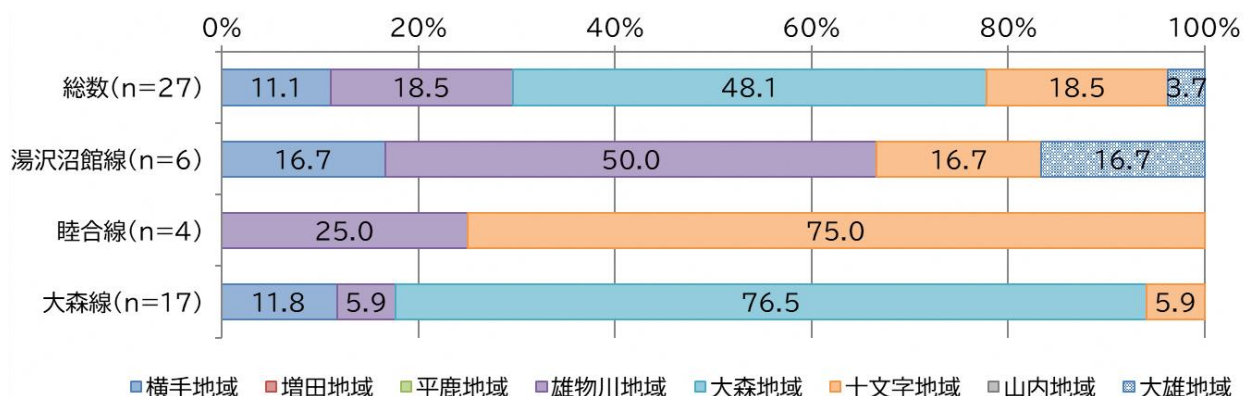
問1-2 年齢

年齢は、「70歳代」と「80歳代」が最も多くなっているが、路線別では湯沢沼館線で「50歳代」の利用も多くなっている。



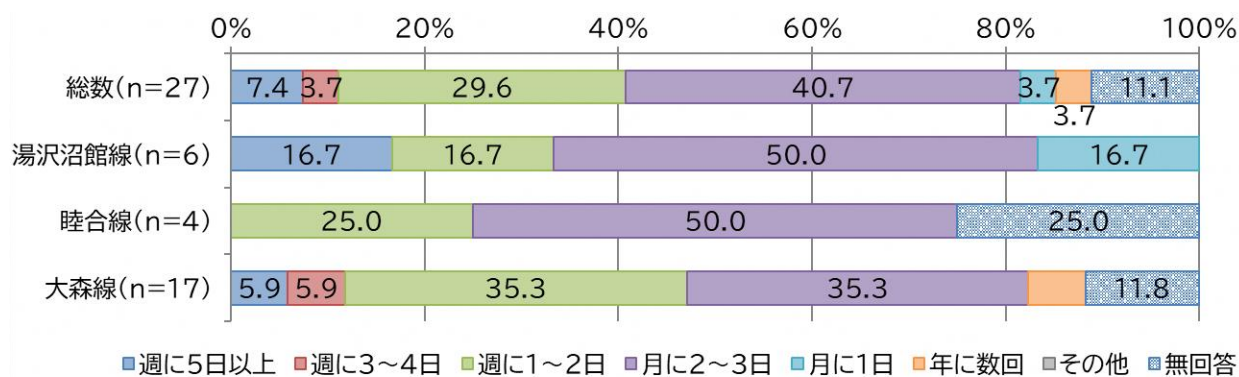
問1-3 居住地域

居住地域は、各路線が運行している地域が多くなっているが、湯沢沼館線や大森線で、「横手地域」と回答している人もみられることから、運行している地域以外の利用者も存在している。



問2 利用頻度

利用頻度は、「月に2～3回」が最も多くなっており、路線別では、大森線で「週に1～2日」という回答も多くなっている。

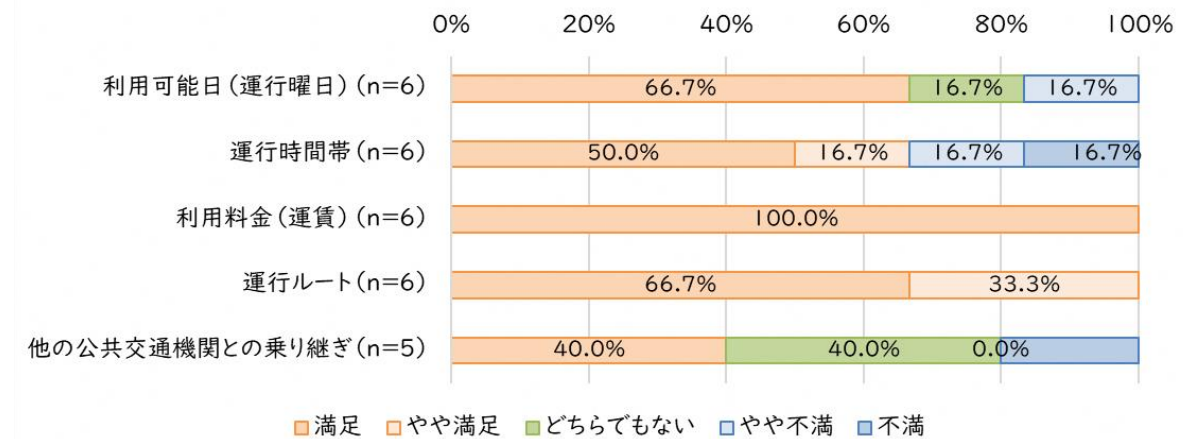


問3 各項目の満足度

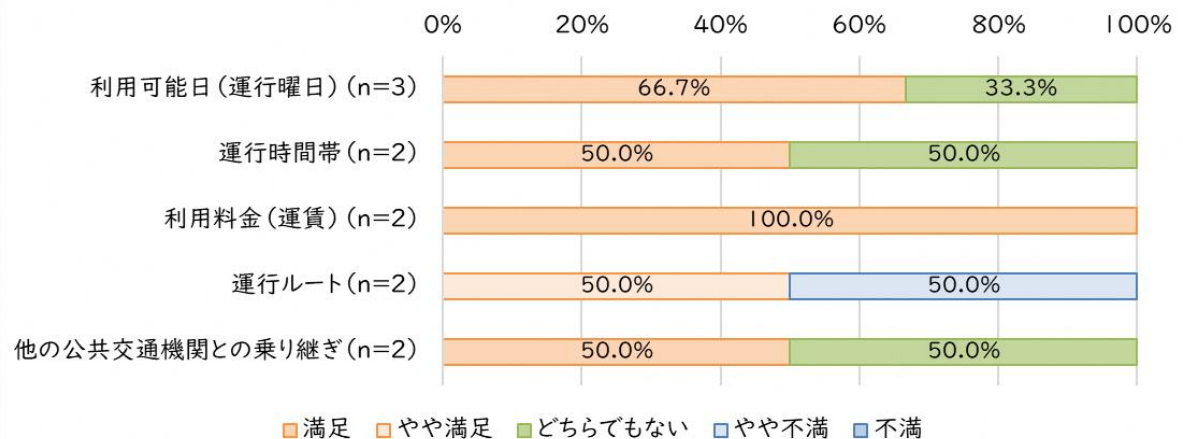
各項目の満足度は、全ての項目、全ての路線において、「満足」「やや満足」という回答が多くなっており、利用者のニーズに合致した運行となっている。

一方で、比較的「やや不満」「不満」の割合が高かった項目は、湯沢沼館線の「運行時間帯」、睦合線の「運行ルート」となっている。

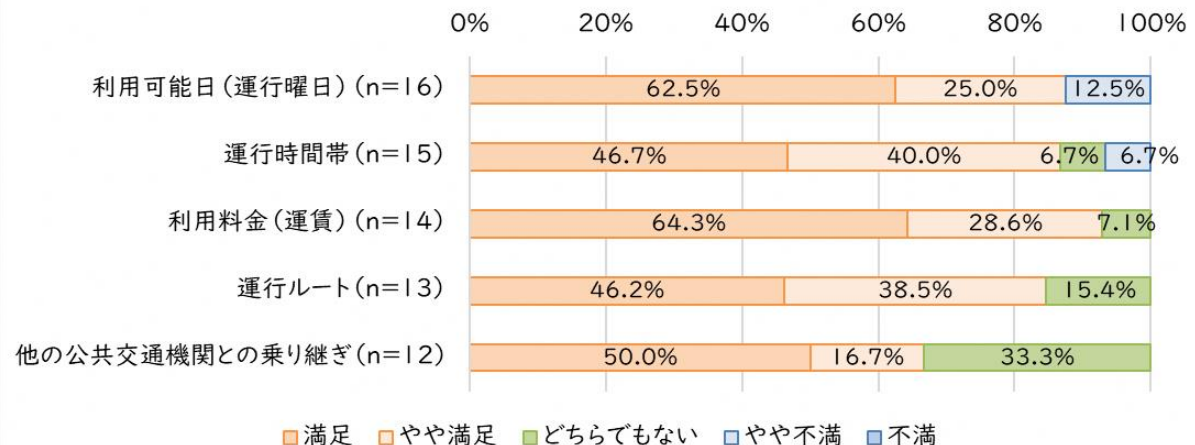
《湯沢沼館線》



《睦合線》

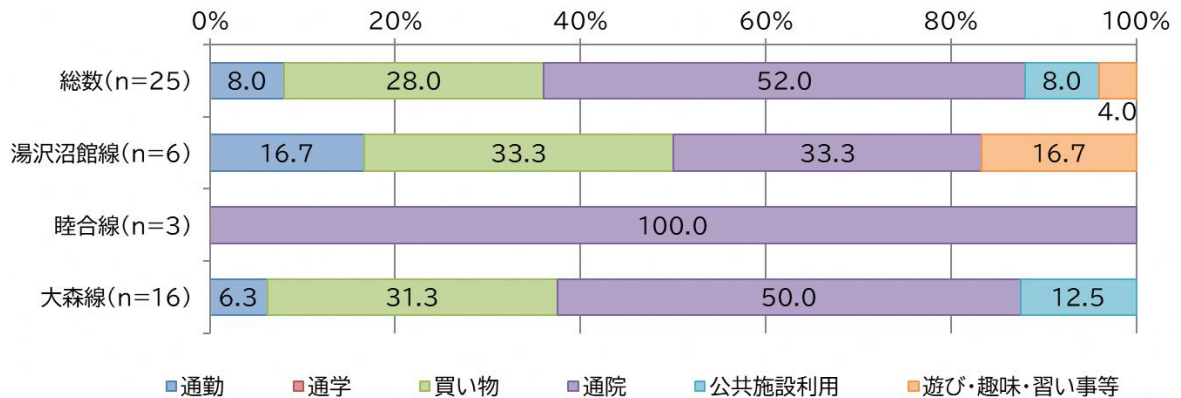


《大森線》



問4 利用目的

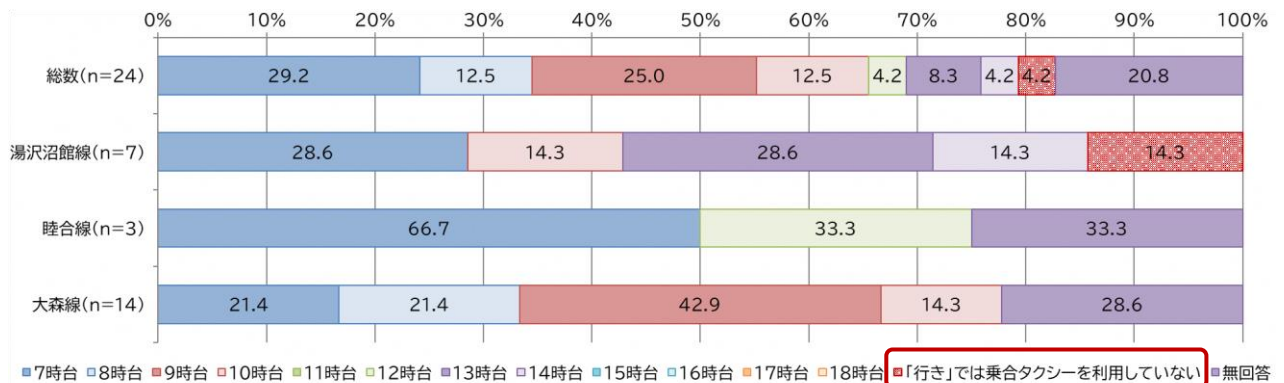
利用目的は、「通院」が最も多くなっており、路線別では湯沢沼館線で「買い物」という回答も多くなっている。



問5 利用時間帯(行き)

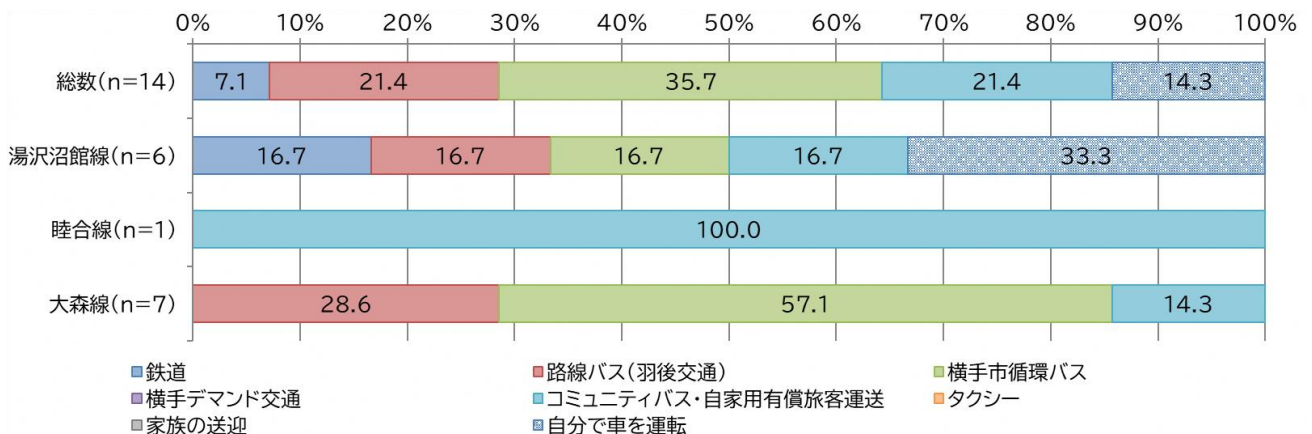
利用時間帯(行き)は、午前中の幅広い時間(7時台~10時台)に集中している。

湯沢沼館線では、13時台の利用も多くなっている。



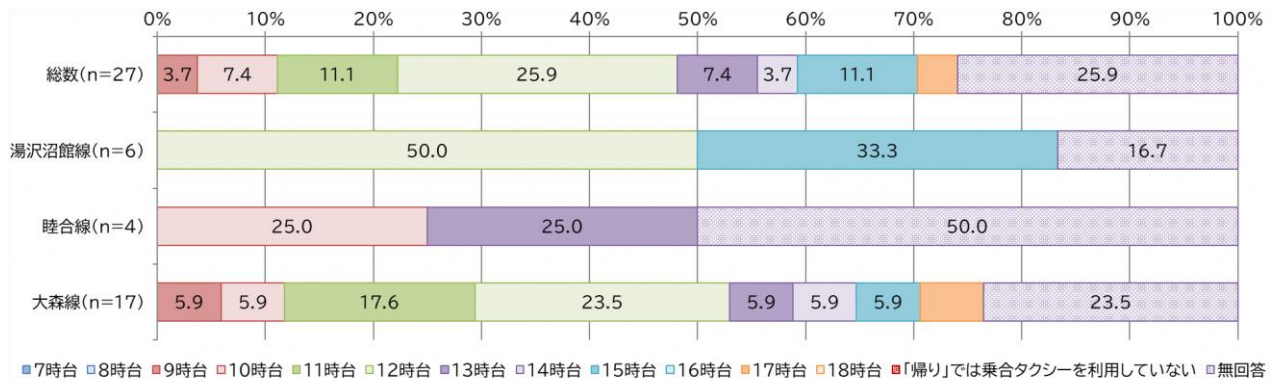
利用時間帯(行き)で乗合タクシーを利用していない人の交通手段

利用時間帯(行き)で、乗合タクシーを利用していない人は、「横手市循環バス」やその他の「コミュニティバス・自家用有償運送」を利用している。



問5 利用時間帯(帰り)

利用時間帯(帰り)は、利用時間帯(行き)よりも分散する傾向にあるが、概ね11時台~12時台に多い傾向にある。



6. コミュニティバス利用者アンケート調査

1-1 調査の概要

調査対象	コミュニティバス（平鹿、山内）利用者
調査期間	令和5年8月21日～30日
調査方法	運転手から利用者へアンケート調査票を配布し、郵送による回収
回収数	14票

使用した調査票（見本）

コミュニティバスに関する利用者アンケート調査票

このたびは、コミュニティバスをご利用いただきありがとうございます。コミュニティバスの利用実態を把握するためにアンケート調査を実施しています。ご協力をお願い致します。この調査は無記名で行いますので、回答者が特定されることは一切ありません。

ご協力いただける方は、本調査票にご回答の上、同封しております返信用封筒に入れて、ポストへ投函していただきますようお願い申し上げます。

〈問い合わせ先〉

横手市地域公共交通活性化協議会(横手市 総務企画部 経営企画課内)
TEL:0182-35-2164(直通)

問1 あなたご自身についてお答えください。(1つに○印)

性別	①男性	②女性			
年齢	①10歳代	②20歳代	③30歳代	④40歳代	⑤50歳代
	⑥60～64歳	⑦65～69歳	⑧70歳代	⑨80歳代以上	
居住地域	①横手地域	②増田地域	③平鹿地域	④雄物川地域	
	⑤大森地域	⑥十文字地域	⑦山内地域	⑧大雄地域	
	⑨横手市外 ⇒具体的な市区町村名:()				

問2 本日(本アンケート調査票を受け取った日)に利用した路線名を教えてください。(1つに○印)

- | | |
|------------------|------------------|
| ①山内コミュニティバス | ②平鹿ふれあいバス(蛭野石成線) |
| ③平鹿ふれあいバス(吉田馬鞍線) | |

問3 問2で選択したコミュニティバスを利用した便を教えてください。「行き(自宅等から目的地等)」と「帰り(目的地等から自宅等)」どちらかでコミュニティバスを利用していない場合は、その際に利用した交通手段を選択してください。(「行き」と「帰り」のそれぞれ1つに○印)

行き	①1便目	②2便目(山内コミュニティバスは対象外)
	③「行き」ではコミュニティバスを利用していない	
	行きで利用した交通手段を下記の中から、選んでください。	
	1. 鉄道	2. 路線バス(羽後交通)
	3. 横手デマンド交通	4. 乗合タクシー・自家用有償旅客運送
	5. タクシー	6. 家族の送迎
	7. 自分で車を運転	8. 徒歩
	9. その他()	
帰り	①1便目	②2便目(山内コミュニティバスは対象外)
	③「帰り」ではコミュニティバスを利用していない	
	帰りで利用した交通手段を下記の中から、選んでください。	
	1. 鉄道	2. 路線バス(羽後交通)
	3. 横手デマンド交通	4. 乗合タクシー・自家用有償旅客運送
	5. タクシー	6. 家族の送迎
	7. 自分で車を運転	8. 徒歩
	9. その他()	

⇒裏面へ設問は続きます。

問4 本日(本アンケート調査票を受け取った日)利用した際の、乗車バス停と降車バス停を教えてください。(下記の()に具体的な名称をご記入ください。)

【乗車バス停】⇒()
 【降車バス停】⇒()

問5 コミュニティバスを利用する頻度を教えてください。(1つに○印)

①週に3日以上 ②週に1~2日 ③月に2~3日 ④月に1日
 ⑤年に数回 ⑥その他()

問6 コミュニティバスの各項目の満足度について、教えてください。(1つに○印)

項目	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満
①運行時刻	5	4	3	2	1

「やや不満」「不満」を選んだ方は、その理由をお書きください。

項目	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満
②利用方法・予約方法	5	4	3	2	1

「やや不満」「不満」を選んだ方は、その理由をお書きください。

③利用料金(運賃)	5	4	3	2	1
-----------	---	---	---	---	---

「やや不満」「不満」を選んだ方は、その理由をお書きください。

④他公共交通機関との乗り継ぎ利便性	5	4	3	2	1
-------------------	---	---	---	---	---

「やや不満」「不満」を選んだ方は、その理由をお書きください。

問7 コミュニティバスを利用した日の、利用目的について教えてください。

(1つに○印、⑧を選択した場合、具体的な目的を記入してください。)

①通勤 ②通学 ③買い物 ④通院 ⑤公共施設利用
 ⑥遊び・趣味・習い事等 ⑦観光 ⑧その他()

ご協力ありがとうございました。

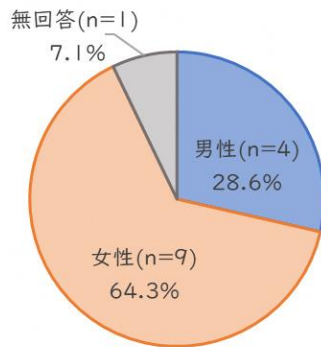
ご記入が終わりましたら、返信用封筒に入れ8月30日(水)までにご返送ください。

(切手は不要です)

1-2 調査結果

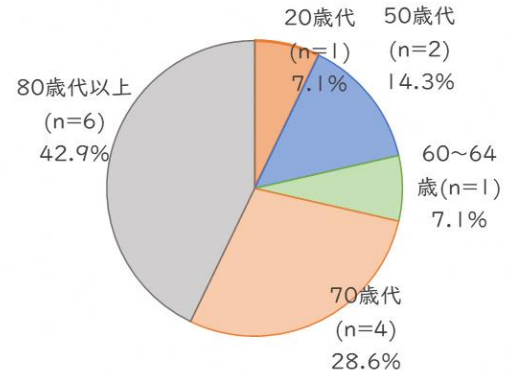
問1-1 性別

性別は、64.3%と女性の利用が多くなっている。



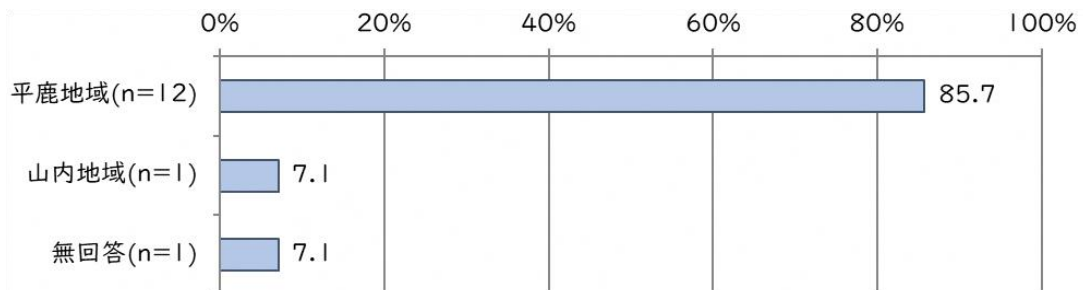
問1-2 年代

年代は、80歳代以上が42.9%と最も多くなっており、次いで70歳代が28.6%と多くなっている。20歳代の利用も見られる。



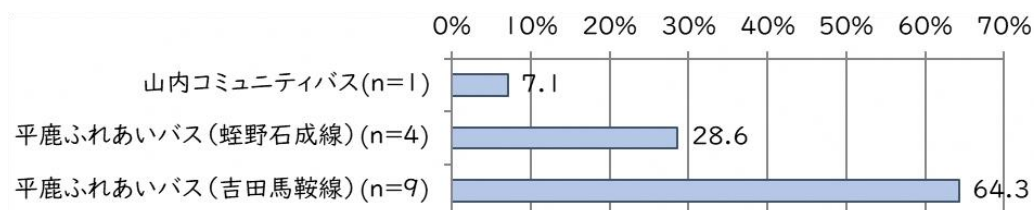
問1-3 居住地域

居住地域は、コミュニティバスが運行している地域住民の利用となっており、その他の地域の利用はみられない。



問2 利用した路線

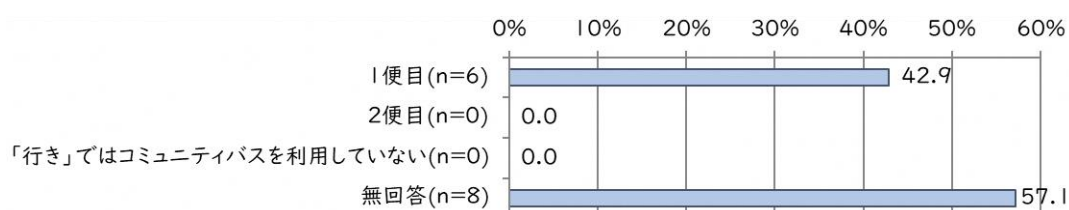
利用した路線は、平鹿ふれあいバス(吉田馬鞍線)が多くなっている。



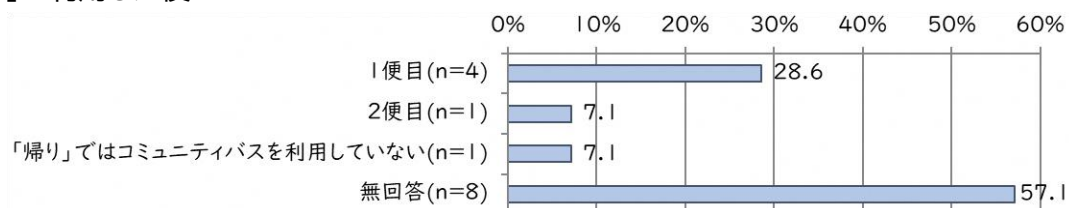
問3 「行き」と「帰り」で利用した便

「行き」で利用した便は、「1便目」のみとなっており、「帰り」で利用した便も同様に、「1便目」が多くなっている。

《「行き」で利用した便》



《「帰り」で利用した便》



問4 乗車バス停と降車バス停

乗車したバス停と降車したバス停の組み合わせは以下の通りである。

《山内コミュニティバス》

乗車バス停	降車バス停
やまばと	やまばと

《平鹿ふれあいバス(蛭野石成線)》

乗車バス停	降車バス停
砂子田	砂子田
御倉前	未回答
高野	浅舞町バス停
砂子田	砂子田

《平鹿ふれあいバス(吉田馬鞍線)》

乗車バス停	降車バス停
五十田	平鹿庁舎
五十田	ゆっふる
五十田	五十田
下藤根	下藤根

乗車バス停	降車バス停
十五野	ゆっふる
下藤根	下藤根
蟹沢	朴田
寺村	朝市前

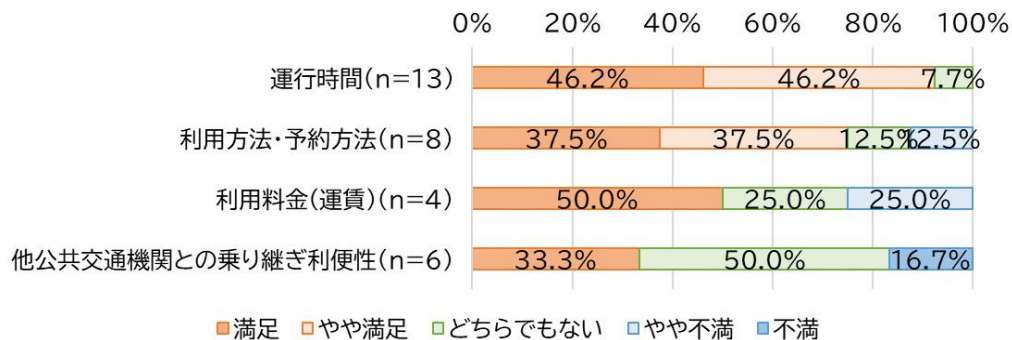
問5 利用頻度

利用頻度は、「週に1～2日」が64.3%と最も多くなっており、固定的な利用がみられる。



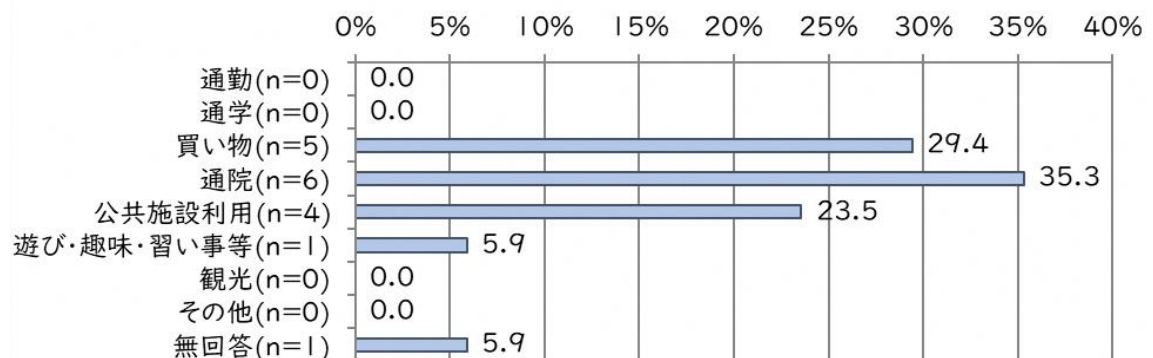
問6 各項目の満足度

各項目の満足度は、概ね満足度が高い状況にあるが、「他の公共交通機関との乗り継ぎ」は、他の項目よりも満足度が低い状況にある。



問7 利用目的

利用目的は、「通院」や「買い物」が多くなっており、利用頻度と重ねると、日常的な固定利用が見込まれる。



①2便目(上畑線:8時20分高橋整形外科前発、柏木・大森病院線:10時15分大森病院前発)
 ②4便目(上畑線:10時35分高橋整形外科前発、柏木・大森病院線:13時15分大森病院前発)
 ③6便目(上畑線:13時50分高橋整形外科前発)
 ④8便目(上畑線:16時05分高橋整形外科前発)
 ⑤「帰り」では自家用有償旅客運送を利用していない

↓

帰り
 帰りで利用した交通手段を下記の中から、選んでください。

1. 鉄道	2. 路線バス(羽後交通)	3. 横手デマンド交通
4. 乗合タクシー・コミュニティバス	5. タクシー	
6. 家族の送迎	7. 自分で車を運転	8. 徒歩
9. その他()		

問4 本日(本アンケート調査票を受け取った日)利用した際の、乗車停留所と降車停留所を教えてください。フリー乗降区間をご利用の方は、最寄りの停留所名をご記入ください。(下記の()に具体的な名称をご記入ください。)

【乗車停留所】⇒()

【降車停留所】⇒()

問5 自家用有償旅客運送を利用する頻度を教えてください。(1つに○印)

①週に2日以上 ②週に1日程度 ③月に2~3日程度 ④月に1日程度
 ⑤年に数回程度 ⑥その他()

問6 自家用有償旅客運送の各項目の満足度について、教えてください。(1つに○印)

項目	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満
①運行時刻	5	4	3	2	1

「やや不満」「不満」を選んだ方は、その理由をお書きください。

②フリー乗降できる区間	5	4	3	2	1
-------------	---	---	---	---	---

「やや不満」「不満」を選んだ方は、その理由をお書きください。

【フリー乗降区間とは・・・】
 停留所以外の場所でも自由に乗り降りできる区間です。

項目	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満
③利用料金（運賃）	5	4	3	2	1

「やや不満」「不満」を選んだ方は、その理由をお書きください。

④他公共交通機関との 乗り継ぎ利便性	5	4	3	2	1
-----------------------	---	---	---	---	---

「やや不満」「不満」を選んだ方は、その理由をお書きください。

問7 自家用有償旅客運送を利用した日の、利用目的について教えてください。

（1つに○印、⑧を選択した場合、具体的な目的を記入してください。）

①通勤	②通学	③買い物	④通院	⑤公共施設利用
⑥遊び・趣味・習い事等	⑦観光	⑧その他()		

最後に、自家用有償旅客運送や横手市の公共交通に関するご意見・ご要望があれば、下記にご記入ください。

設問は以上になります。ご協力ありがとうございました。

ご記入が終わりましたら、返信用封筒に入れ8月30日（水）までにご返送ください。

（切手は不要です）

1-2 調査結果（回答数が少なかったことから、回答ごとに記載）

【上畑線】

1. <80歳代以上> <女性> <増田地域> <9時30分発、10時35分発>
<上火石田～マルシメ七日町店前>

目的	買い物、通院	
上畑線以外の利用		
頻度	月に2～3日程度	
満足度	運行時刻	満足:
	フリー乗降区間	満足:
	利用料金	満足:
	他の交通機関との乗り継ぎ	どちらでもない:
意見		

2. <80歳代以上> <男性> <増田地域> <7時15分発、10時35分発>
<上畑～増田蔵の駅前>

目的	買い物、通院	
上畑線以外の利用		
頻度	月に2～3日程度	
満足度	運行時刻	満足:
	フリー乗降区間	満足:
	利用料金	満足:
	他の交通機関との乗り継ぎ	やや満足:
意見		

3. <80歳代以上> <女性> <増田地域> <9時30分発、13時50分発>
<滝ノ下～増田ほたる前>

目的	買い物、床屋	
上畑線以外の利用		
頻度	月に2～3日程度	
満足度	運行時刻	満足:
	フリー乗降区間	満足:
	利用料金	満足:
	他の交通機関との乗り継ぎ	やや満足:
意見		

4. <80 歳代以上> <女性> <増田地域> <9 時 30 分発、13 時 50 分発>
 <滝ノ下～増田ほたる前>

目的	買い物、床屋	
上畑線以外の利用		
頻度	月に 1 日程度	
満足度	運行時刻	満足:
	フリー乗降区間	満足:
	利用料金	満足:
	他の交通機関との 乗り継ぎ	やや満足:
意見		

5. <80 歳代以上> <男性> <増田地域> <9 時 30 分発、10 時 35 分発>
 <上畑～増田蔵の駅前>

目的	通院	
上畑線以外の利用		
頻度	月に 2～3 日程度	
満足度	運行時刻	満足:
	フリー乗降区間	満足:
	利用料金	満足:
	他の交通機関との 乗り継ぎ	やや満足:
意見		

6. <80 歳代以上> <女性> <増田地域> <7 時 15 分発、10 時 35 分発>
 <滝ノ下～高橋整形外科前>

目的	通院	
上畑線以外の利用		
頻度	月に 2～3 日程度	
満足度	運行時刻	満足:
	フリー乗降区間	満足:
	利用料金	満足:
	他の交通機関との 乗り継ぎ	やや満足:
意見		

7. <80 歳代以上> <男性> <増田地域> <7 時 15 分発> <上畑～高橋医院前>

目的	通院	
上畑線以外の利用	家族の送迎	
頻度	月に 2～3 日程度	
満足度	運行時刻	満足:
	フリー乗降区間	満足:
	利用料金	満足:
	他の交通機関との乗り継ぎ	どちらでもない:
意見		

8. <65 歳～69 歳> <女性> <増田地域> <7 時 15 分発> <上畑～高橋医院前>

目的	通院	
上畑線以外の利用	家族の送迎	
頻度	月に 2～3 日程度	
満足度	運行時刻	満足:
	フリー乗降区間	満足:
	利用料金	満足:
	他の交通機関との乗り継ぎ	どちらでもない:
意見		

9. <80 歳代以上> <男性> <増田地域> <9 時 30 分発、13 時 50 分発>
<上畑～増田ほたる前>

目的	買い物、公共施設利用	
上畑線以外の利用		
頻度	月に 2～3 日程度	
満足度	運行時刻	満足:
	フリー乗降区間	満足:
	利用料金	満足:
	他の交通機関との乗り継ぎ	やや満足:
意見		

10. <65～69 歳> <男性> <増田地域> <9 時 30 分発、13 時 50 分発>
 <上中村～スーパーモールラッキー前>

目的	買い物、通院	
上畑線以外の利用		
頻度	週に 1 日程度	
満足度	運行時刻	満足:
	フリー乗降区間	満足:
	利用料金	満足:
	他の交通機関との 乗り継ぎ	どちらでもない:
意見		

11. <65～69 歳> <女性> <増田地域> <9 時 30 分発>
 <川口～スーパーモールラッキー前>

目的	買い物	
上畑線以外の利用	家族の送迎	
頻度	週に 1 日程度	
満足度	運行時刻	満足:
	フリー乗降区間	満足:
	利用料金	満足:
	他の交通機関との 乗り継ぎ	どちらでもない:
意見		

12. <65～69 歳> <男性> <増田地域> <9 時 30 分発>
 <上中村～スーパーモールラッキー前>

目的	買い物	
上畑線以外の利用	家族の送迎	
頻度	週に 1 日程度	
満足度	運行時刻	満足:
	フリー乗降区間	満足:
	利用料金	満足:
	他の交通機関との 乗り継ぎ	どちらでもない:
意見		

【柏木・大森病院線】

1. <70 歳代> <女性> <大森地域>

<9時福地コミュニティセンター発:13 時15分大森病院前発>

<大森地域局～大森地域局>

目的	通院	
頻度	月に 1 日程度	
満足度	運行時刻	満足:
	フリー乗降区間	
	利用料金	満足:
	他の交通機関との乗り継ぎ	満足:
意見	月 8 回の通院で利用していますが、すごく助かっています。これからは例えば郵便局などに行く時も利用したいと考えています。	

2. <70 歳代> <女性> <大森地域>

<利用便不明> <利用区間不明>

目的		
頻度		
満足度	運行時刻	
	フリー乗降区間	
	利用料金	
	他の交通機関との乗り継ぎ	
意見		

3. <70 歳代> <女性> <雄物川地域>

<12時福地コミュニティセンター発:> <沼館～沼館>

目的		
頻度		
満足度	運行時刻	どちらでもない
	フリー乗降区間	
	利用料金	
	他の交通機関との乗り継ぎ	
意見		

3. <70 歳代> <女性> <雄物川地域>

<12時福地コミュニティセンター発> <館合公民館前～館合公民館前>

目的	通院	
頻度	月に 2～3 日	
満足度	運行時刻	満足:
	フリー乗降区間	満足:
	利用料金	満足:
	他の交通機関との乗り継ぎ	どちらでもない:
意見	ほとんどトラストへの買い物です。食料品がほとんどです。スーパーからの乗り降りがとても便利です。特に雨降りや雪降りです。沼館郵便局と雄物川町の農協の前での乗り降りお願いしたいです。	

5. <70 歳代> <女性> <雄物川地域>

<12時福地コミュニティセンター発> <館合公民館前～館合公民館前>

目的	通院	
頻度	その他(2 か月に 1 回)	
満足度	運行時刻	やや不満:不満など言うのも僭越です。帰りのバスまで3時間ほど待っております。長時間ですので困ることもあります。
	フリー乗降区間	満足:
	利用料金	満足:
	他の交通機関との乗り継ぎ	
意見	自分で運転できる時間も長いことではありませんので、できるだけ利用しようとしています。考え直して自分で行くことも考えております。(冬は難儀です。)行政にはありがとうございます!	

8. 高速バス利用者アンケート調査

1-1 調査の概要

調査対象	高速バス（湯沢秋田線）利用者
調査期間	令和5年8月11日～9月10日
調査方法	高速バス湯沢秋田線（羽後交通運行便のみ）のバス車内に、Web 回答フォームにつながる二次元コード付きのチラシを設置。
回収数	10 票

使用した調査票（見本）

※高速バス利用者アンケート調査、全て web 回答だったため、使用した調査票（見本）は、web 回答フォームを作成するために作成した調査票を掲載。

【高速バス（湯沢秋田線）利用者アンケート調査項目】

このたびは、高速バス（湯沢秋田線）をご利用いただきありがとうございます。高速バス（湯沢秋田線）の利用実態を把握するためにアンケート調査を実施しています。ご協力をお願い致します。この調査は無記名で行いますので、回答者が特定されることは一切ありません。

（問い合わせ先）
 横手市地域公共交通活性化協議会（横手市 総務企画部 経営企画課内）
 TEL:0182-35-2164（直通）

問1. あなたご自身についてお答えください。（1つに○印）

性 別	①男性	②女性		
年 齢	①6～9 歳	②10～18 歳	③19～39 歳	④40～59 歳
	⑤60～64 歳	⑥65～69 歳	⑦70～74 歳	⑧75 歳以上
お住まい	①横手市内		②横手市外	

①横手地域	②増田地域	③平鹿地域
④雄物川地域	⑤大森地域	⑥十文字地域
⑦山内地域	⑧大雄地域	

①湯沢市	②東成瀬村	③羽後町
④大仙市	⑤仙北市	⑥秋田市
⑦その他	⇒具体的な市区町村名：（ ）	

問2. 高速バスを利用した目的をお答えください。（1つに○印）

①通勤	②通学	③買い物	④通院	⑤公共施設利用
⑥趣味・娯楽	⑦観光	⑧その他（ ）		

問3-1. 乗車したバス停をお答えください。

①湯沢営業所	②湯沢駅前角	③表町	④岩崎
⑤道の駅十文字	⑥横手インター入口	⑦横手駅西口	⑧横手北インター
⑨角間川バスストップ	⑩南外バスストップ	⑪イオン御所野店前	⑫仁井田中丁
⑬大野口	⑭茨島	⑮長崎屋バスターミナル	
⑯山王三丁目	⑰山王十字路	⑱川反入口	⑲秋田駅西口
⑳県庁市役所前	㉑八橋市民広場・裁判所前		

問3-2. 降車する予定のバス停をお答えください。

①湯沢営業所	②湯沢駅前角	③表町	④岩崎
⑤道の駅十文字	⑥横手インター入口	⑦横手駅西口	⑧横手北インター
⑨角間川バスストップ	⑩南外バスストップ	⑪イオン御所野店前	⑫仁井田中丁
⑬大野口	⑭茨島	⑮長崎屋バスターミナル	
⑯山王三丁目	⑰山王十字路	⑱川反入口	⑲秋田駅西口
⑳県庁市役所前	㉑八橋市民広場・裁判所前		

問4. 高速バスを利用される頻度をお答えください。（1つに○印）

①週に1～2日	②月に2～3日	③月に1日	④2～3か月に1日
⑤半年に1日	⑥年に数回	⑦その他（ ）	

問5-1. 自宅や宿泊地等から乗車したバス停まで、どのような交通手段で来ましたか。
(1つに○印)

- ①鉄道 ②路線バス ③タクシー ④デマンド交通
⑤自分で車を運転 ⑥家族等の車での送迎 ⑦バイク・原付 ⑧自転車
⑨徒歩 ⑩その他()

問5-1-1. バス停まで自動車(送迎含む)やバイク・原付で行かれた方(問5-1に⑤・⑥・⑦とお答えされた方)にお聞きします。
今後、それらの交通手段が使えなくなったとしたら、どのようにバス停まで行きますか。(1つに○印)

①～④、⑧～⑩は
問5-2へ

- ①路線バスを利用する
②デマンド交通やタクシーを利用する
③徒歩で行く (自宅からバス停までの距離: 約 km)
④自転車で行く (自宅からバス停までの距離: 約 km)
⑤利用できる路線バス等の公共交通機関が整備されればそれを利用する
⑥出かけるのをあきらめる
⑦その他()

▶問5-2. 降車するバス停から自宅や目的地まで、どのような交通手段で向かう予定ですか。
(1つに○印)

- ①鉄道 ②路線バス ③タクシー ④デマンド交通
⑤自分で車を運転 ⑥家族等の車での送迎 ⑦バイク・原付 ⑧自転車
⑨徒歩 ⑩その他()

問5-2-1. 目的地まで自動車(送迎含む)やバイク・原付で行かれた方(問5-2に⑤・⑥・⑦とお答えされた方)にお聞きします。
今後、それらの交通手段が使えなくなったとしたら、どのように目的地まで行きますか。(1つに○印)

①～④、⑧～⑩は
問6へ

⑤～⑦は
問5-2-1へ

- ①路線バスを利用する
②デマンド交通やタクシーを利用する
③徒歩で行く (バス停から目的地までの距離: 約 km)
④自転車で行く (バス停から目的地までの距離: 約 km)
⑤利用できる路線バス等の公共交通機関が整備されればそれを利用する
⑥出かけるのをあきらめる
⑦その他()

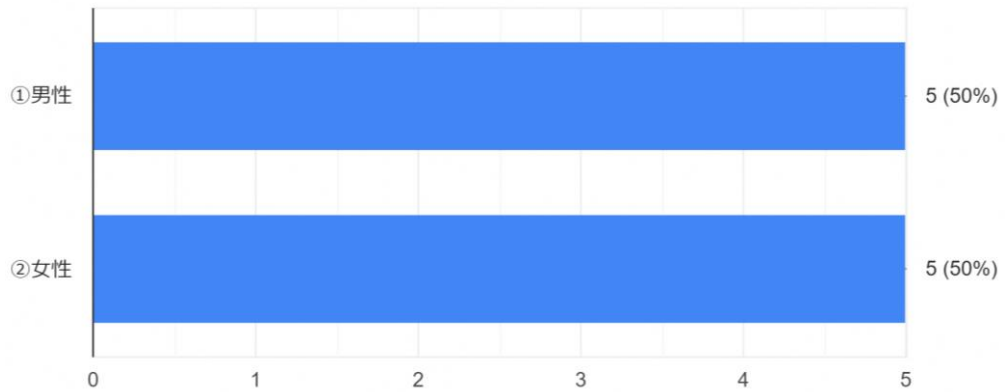
▶問6. 高速バスに関する次の項目について、あなたの満足度を5段階評価でお答えください。

項 目	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満足	不満足
① 運行本数について	5	4	3	2	1
② 運行時間帯について	5	4	3	2	1
③ 行き先(乗降可能なバス停)について	5	4	3	2	1
④ 運賃について	5	4	3	2	1
⑤ 時刻表・路線図等の運行情報案内について	5	4	3	2	1
⑥ 運行時刻の定時性(正確さ)について	5	4	3	2	1

1-2 調査結果

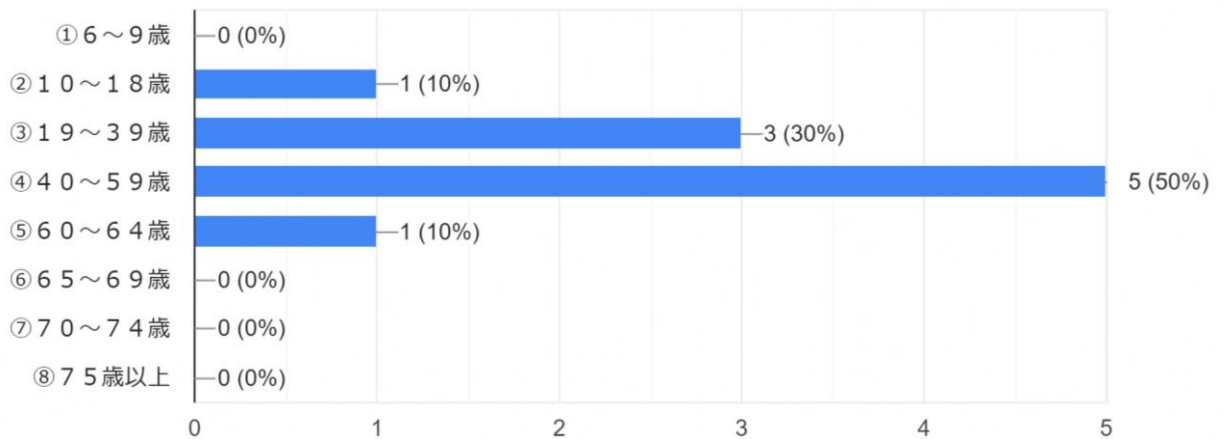
問1-1 性別

利用者の性別は、男女とも同じ割合となっている。



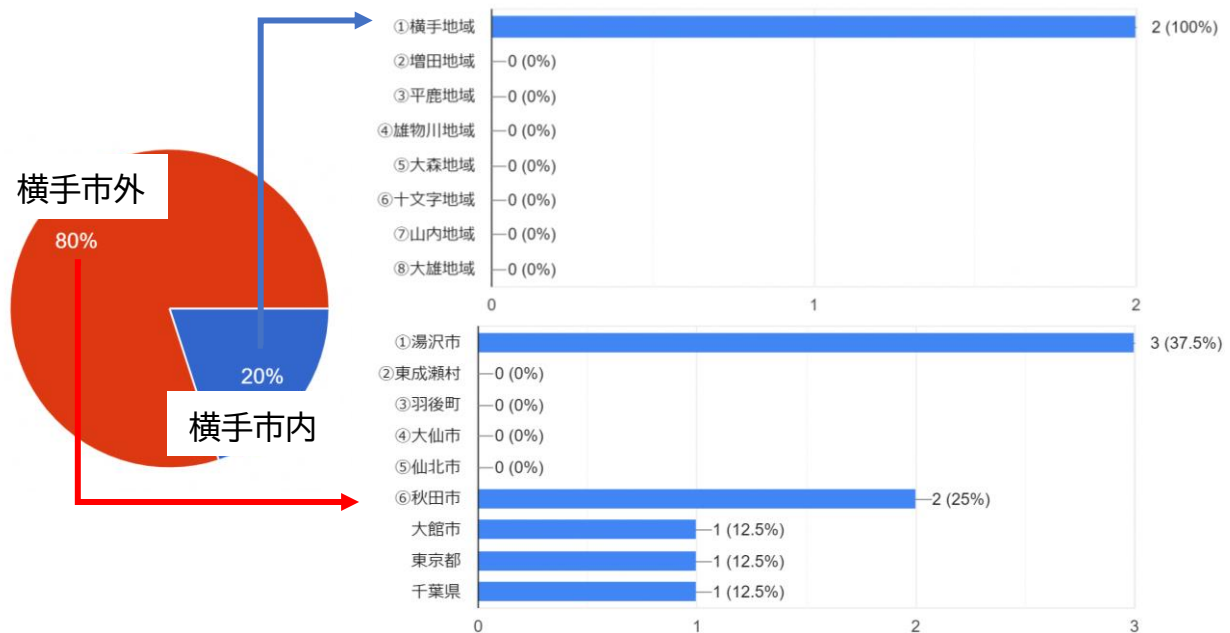
問1-2 年齢

年齢は、「40～59歳」が50%と最も多くなっている。



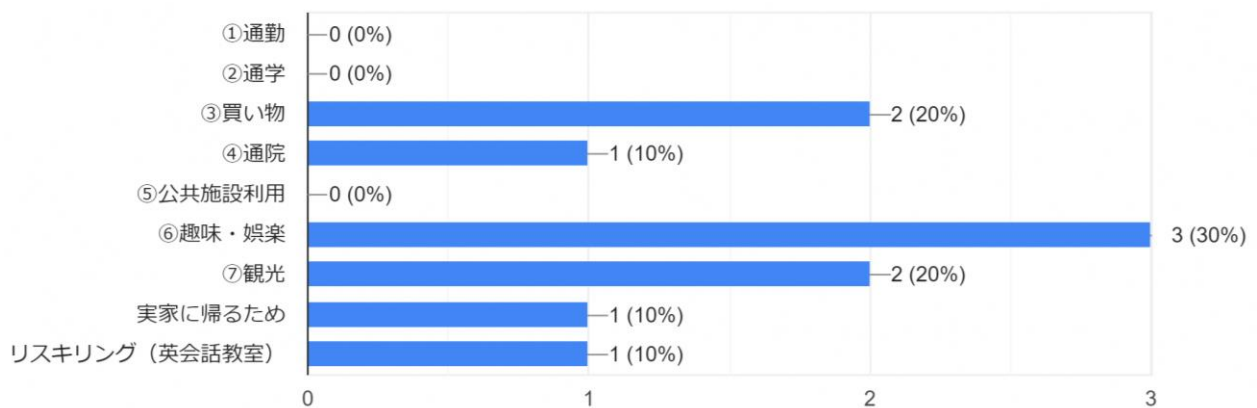
問 1-3 居住地

居住地は、横手市外が80%となっており、具体的には「湯沢市」、「秋田市」が多い。



問2 利用目的

利用目的は、「趣味・娯楽」が 30%と最も多くなっており、次いで「買い物」、「観光」が 20%と多くなっている。運行曜日が土日祝日であることから、「通勤」や「通学」の利用は見られなかったと推測できる。



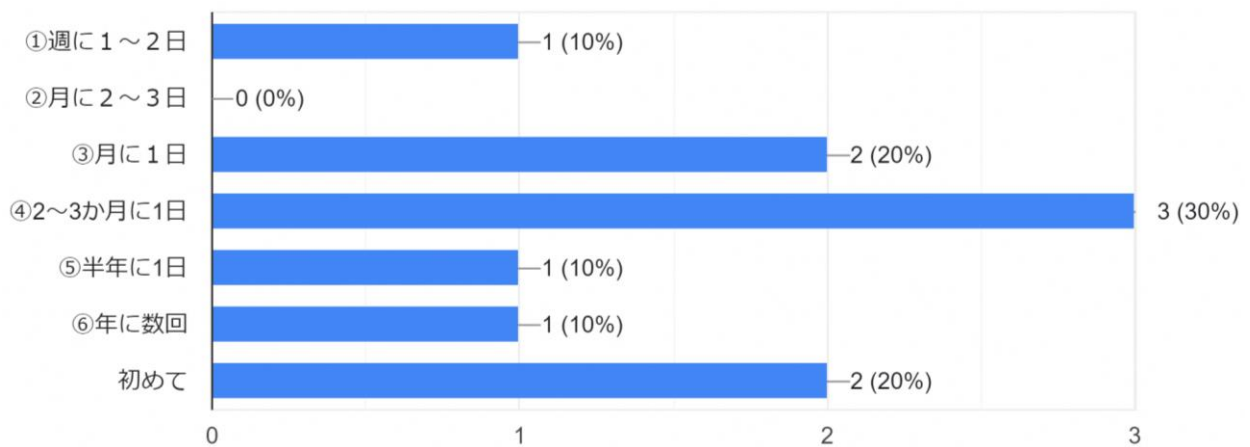
問3-1/問3-2 OD結果(乗車バス停と降車バス停)

乗車区間は、秋田駅西口から横手駅西口間が2人と多くなっている。

		降車						
バス停名		①湯沢営業所	②湯沢駅前角	⑤道の駅十文字	⑦横手駅西口	⑪イオン御所野店前	⑭茨島	⑲秋田駅西口
乗車	①湯沢営業所	—	1	0	0	1	0	0
	⑤道の駅十文字	0	0	0	0	0	1	0
	⑦横手駅西口	0	0	0	—	0	0	2
	⑭茨島	0	0	0	1	0	—	0
	⑲秋田駅西口	0	1	1	2	0	0	—

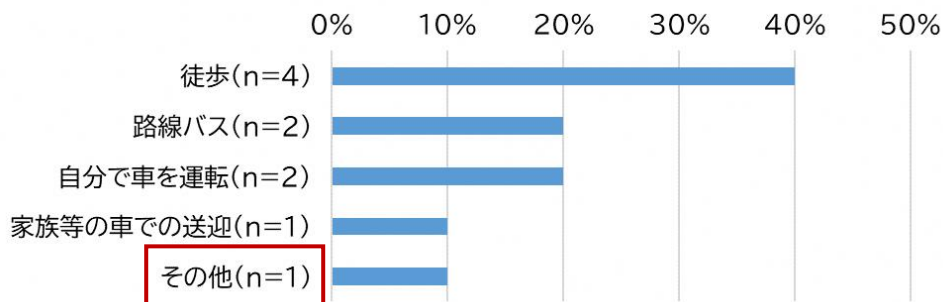
問4 利用頻度

利用頻度は、「2～3か月に1日」が30%と最も多くなっており、次いで「初めて」、「月に1日」が20%と多くなっている。



問5-1-1 乗車したバス停までの交通手段

バス停までの交通手段は、「徒歩」が最も多くなっている。



→ 大館駅から能代駅まで電車、能代から秋田まで秋北バスの高速バス

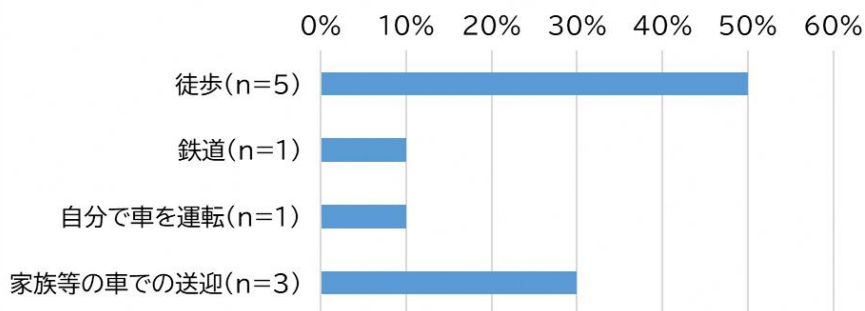
問5-1-2 今後、「自分で車を運転」や「家族等の車での送迎」が使えなくなった場合

今後、車の運転等ができなくなった場合、出かけることを諦めるか、長距離を歩くことを選択する人がいる。

出かけるのをあきらめる
徒歩で 5km 行く
徒歩で約 2km 行く

問5-2-1 降車するバス停からの交通手段(予定)

降車するバス停からの交通手段は、「徒歩」が最も多くなっている。



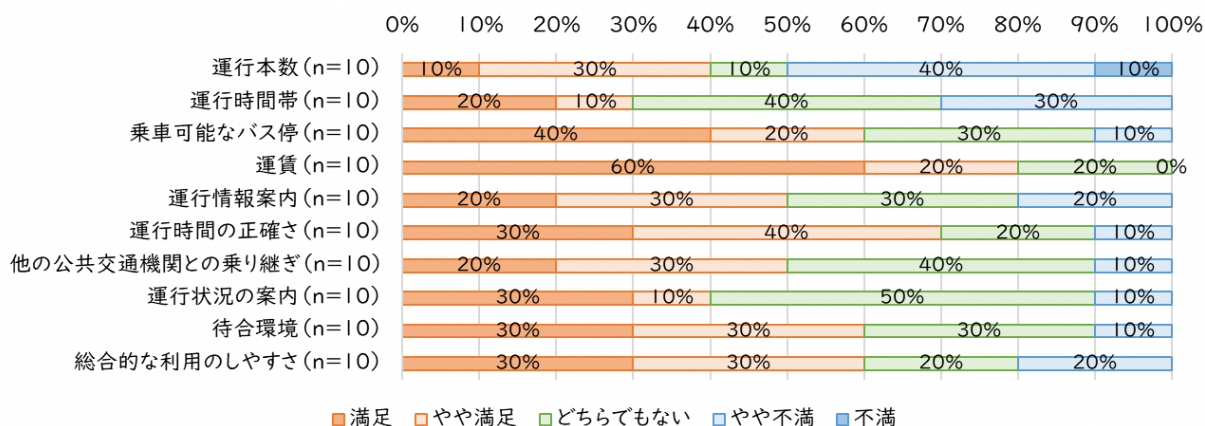
問5-2-2 今後、「自分で車を運転」や「家族等の車での送迎」が使えなくなった場合

今後、車の運転等ができなくなった場合、公共交通機関の利用、出かけることを諦める、あるいは長距離を歩くことを選択する人がいる。

利用できる路線バス等の公共交通機関が整備されればそれを利用する
出かけるのをあきらめる
路線バスを利用する
徒歩で約 2km 行く

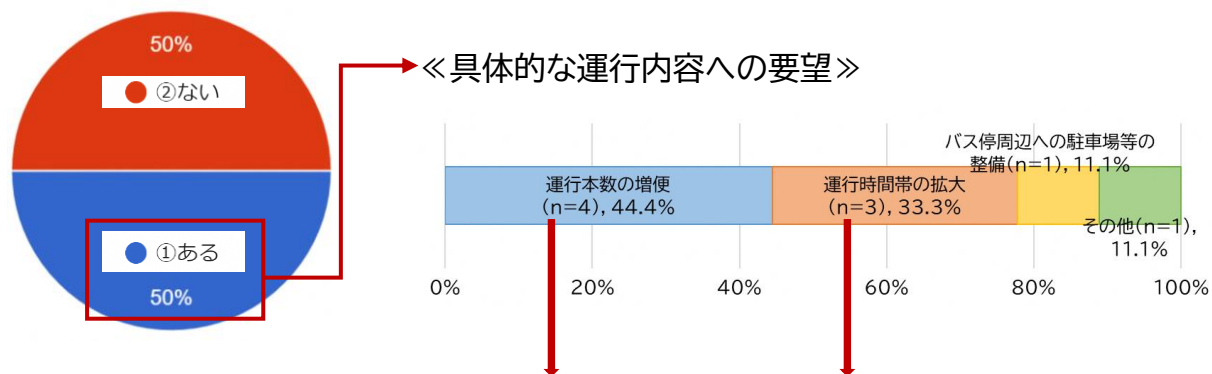
問6 各項目の満足度

各項目の満足度は、「運賃」や「運行時間の正確さ」の満足度が高くなっているが、「運行本数」や「運行時間帯」の満足度が低くなっている。



問7 高速バスの運行内容への要望

高速バスの運行内容への要望は、満足度の低い「運行本数」と「運行時間帯」に集中している。具体的な要望では、15 時頃の運行を望む声が多い。



秋田発が8時台、13時台。

秋田駅発 3 時 45 分のバスがあれば良い

秋田市からの帰りの時間帯で午後 3 時台があると良い。18 時しかない秋田市で時間を潰すにも限界がある。

秋田発横手湯沢行きについて、15 時頃の便を復活させてほしい。

横手駅西口発の最終便が5時から7時位の間にあるとありがたい。

行き 9 時台 帰り 15 時台

秋田発横手湯沢行きについて、15 時頃の便を復活させてほしい。

問8 自由記述(原文)

電車が無い時間にバスが走っていてとても助かりました

高速バスのバス停に関しては、利用者が少ないバス停は廃止し、これまで以上に高速道路を利用する区間を増やす事で移動時間を短縮し、利便性を向上させて欲しい。

9. 地域別意見交換会

1-1 調査の概要

実施地域・実施日	西部（雄物川・大森・大雄地域）：8月29日（火曜日） 南部（増田・平鹿・十文字地域）：8月30日（水曜日） 山内地域：9月7日（木曜日） 横手地域：9月8日（金曜日） いずれも午後7時～8時30分に実施
実施会場	西部（雄物川・大森・大雄地域）：横手市役所大森地域局2階 第3会議室 南部（増田・平鹿・十文字地域）：十文字地区交流センター 交流ホール3 山内地域：山内地区交流センター ホールA 横手地域：横手市交流センターY2 ぷらざ 研修室3
参加者数	西部（雄物川・大森・大雄地域） ：28名（うち雄物川地域15名、大森地域8名、大雄地域5名） 南部（増田・平鹿・十文字地域） ：16名（うち増田地域8名、平鹿地域3名、十文字地域5名） 山内地域：14名 横手地域：14名

1-2 意見交換会の記録

西部地区(雄物川・大森・大雄地域)

〇A班(ファシリテーター:LB 鈴木)

STEP1 地域を運行する公共交通の良い点・悪い点

良い点	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の地域には公共交通のルートには無い。 ・自分の地域では路線バス、タクシーがすぐあるので困ってはいない。 ・安い。 ・乗り合いタクシーは家の前で乗り降り出来るので良いと思う。(山間部は特に必要) ・学生の通学時間に運行してくれている。 ・坂部⇄大森病院に関しては、乗合タクシー又は病院タクシーによる送迎があり、助かっている。 ・廃止されている路線が多い中で、大森線を残してもらっているのはありがたい。私達が車の運転出来なくなった時も是非運行を続けてもらいたい。
悪い点	<ul style="list-style-type: none"> ・用事のある時間に乗ることが出来ない。 ・自分の自由な時間で動けない。 ・待ち時間が長い。 ・自分で利用した事がないので良くわかりません。 ・現在の運行回数ではバスを当てにしなくなる。 ・路線バスの時間帯を少し考えてもらいたい。 ・高齢者が増えてくる時代なのでその対応を優先してもらいたい。

- ・乗っている人が少ないのに大型が走っている。
- ・現在運行している羽後交通バスを小型化(10人乗り程度)にして運行回数を増やすことで利用者増につなげられるのでは。
- ・その場所に出るまでが大変である
- ・(シャトルバス)坂部⇄菅生田ルートは現在ない。(温泉廃止の為)
- ・路線が決まっているのでそこから離れている。
- ・他の人と一緒になりたくない。

STEP2 その悪い点を解決するための方法(アイデア出し)

- ・路線までのシャトル車両を運行してほしい。
- ・西部3地区で地区毎にデマンド方式で車両を増やし、人を雇って運行。
- ・大雄地区は平面的に集落が散在しているため、大森線の路線バスまで出る手段がない。集落毎、個人車でバス停まで乗せてもらえるようなシステムがあれば便利。
- ・買い物、通院支援を求めている人が多いので、個人で対応出来ないか。
- ・依頼者の車を使用して通院、買い物支援が出来ないか。
- ・公共交通に行政として負担している物を民間にも出来ないのか。
- ・乗り合いタクシーの範囲(羽後交通バスや市が運行する路線以外の場所)を広げる。
- ・スクールバスを一般の人も利用できるようにする。

STEP3 その方法の中で地域や自分で取り組みそうなこと

- ・病院の通院者の為には病院専用の送迎バスを増やした方が良い。
- ・地域毎に共助組合を立ち上げれば良いのでは？
- ・行政としてもっと真剣に取り組んでほしい。
- ・地域にこの交通内容等のパンフレットによるアピールをする。
- ・行政の力も必要であるが、地域毎に世話人担当者を置き、買い物代行や病院付き添い等、高齢者援助を身近に(難しいシステムでなく)出来るような社会が必要…力になれそう。
- ・共助による運行(個人対応)が出来るようにしてほしい。
- ・共助支援が出来る仕組みを行政で検討してほしい。
- ・逆に移動販売車を増加する。(山間部まで)

○B班(ファシリテーター:LB 中崎)

STEP1 地域を運行する公共交通の良い点・悪い点

良い点	<ul style="list-style-type: none"> ・デマンド交通は利用しやすいが(高い)。 ・2便運行していることは良い。福地⇄大森 ・シャトルバスは家の前から乗ることが出来るので良い。 ・大沢地区からの利用度の高い路線、大沢⇄横手(主に病院)に羽後交通直通がある。
悪い点	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数に見合ったバスの型か？ ・市内循環バスを駅前→警察→ジャスコも。 ・横手市運行路線の実態が不明(柏木・大森病院線) ・大森病院朝行き 9:30、帰り 13:30 帰りの時刻が遅い。12:30 頃。 ・利用者目線ではなく、運行者の都合によるダイヤ組みになっているのでは。 ・雄物川地区コミセン、ツルハ、JA、マックスバリュ、地域局を通してほしい。 ・雄物川町から平鹿病院や横手病院に通院する場合、デマンドと循環バスの乗りつぎとなる。高齢者にとって負担が大きい。 ・湯沢沼館線、運行時間が悪い。(利用者の目的に沿っているか?) ・デマンド交通や市が運行する内容が市民周知不足である。 ・大沢から大森(病院)へ直通便がない。 ・藤巻地区を通っているか？ ・運行時間が決まっているので利用しにくい。 ・大森シャトルバス(八沢木⇄猿田ルート)利用する場合でも 2km と遠い。デマンド交通しか利用ができない。 ・日常の買い物、トラストへ。主に車の利用。高齢者は不便。

STEP2 その悪い点を解決するための方法(アイデア出し)

<ul style="list-style-type: none"> ・本日配布の資料を市民配布し、周知を図る。 ・利用希望者の要望をまとめて、解決策を探ってはどうか？ ・公共交通は利用者が減少傾向にあるので縮小してデマンドを充実させた方が良い。 ・公共交通しか利用の手立てがありません。(山間部のため) ・利用度の高い施設をリストアップし、その個所個所を線で結び、時間を設定し利用しやすいようにする。 ・意向調査。免許返納者、(独居)高齢者、実際の利用者等。 ・大雄地区で藤巻を通っているが、薄井から中学校に。 ・大森病院に到着く時間が 9:30 なので帰り 12:00~12:30 のバスがあれば良いのではないか。 ・利用対象者から直接意見を聞く。 ・利用目的に沿った路線、ダイヤの編成。(買い物、病院、金融機関 etc.)
--

STEP3 その方法の中で地域や自分で取り組みそうなこと

<ul style="list-style-type: none"> ・雄物川地区、路線を変更する。(別途右記写真参照のこと) ・利用者が少ないが、各地域の老人クラブや部落会への広報活動があっても良い。 ・試しに一回使ってみる。 	
---	--

○C 班(ファシリテーター:LB 小久保)

STEP1 地域を運行する公共交通の良い点・悪い点

良い点	<ul style="list-style-type: none">・デマンドタクシーは障がい者の方に喜ばれている。・様々な移動手段がある。・循環バス料金は安い。・乗り合い運賃はこのままで良いと思う。・障がい者のチケット 今¥700+デマンドタクシーが良いみたい。・お年寄りから特に不満は出ていない。・地域内移動には現時点問題なし。・乗り合いの1時間に1本は良いと思う。
悪い点	<p>《サービス水準》</p> <ul style="list-style-type: none">・運行時間を夜の9時までにしてもらいたい。・本数が少ない。・高齢者が利用しやすいか(足が悪い人とか)・時刻割が少ない。 <p>《街中への移動》</p> <ul style="list-style-type: none">・デマンドタクシー旧横手市内がタクシーになる。・横手市街地に行くのが不便。運賃と乗り継ぎ。・乗り換えしないと目的地まで行けない。・今以上に運賃が上がることに不安を感じる。・免許返納しても回数券の支援内容が低い。 <p>《行き先》</p> <ul style="list-style-type: none">・行きたい場所にバス停がない。マックスバリュ等・病院、買い物に利用できる手段は、ありそうだ。

STEP2 その悪い点を解決するための方法(アイデア出し)

<ul style="list-style-type: none">・デマンド料金1人の場合 例 2000円時、1000円と半額がわかりやすい。・共通運賃(乗車券)・通勤などに企業に公共交通を利用するよう働きかけること！！・デマンド利用料金。利用していないのもっとわかりやすく。・バスルートの見直し。(羽後交通)。・バスの行先。大沢⇔トラスト・広くPRする。(わかりやすく説明する)・羽後交通に理解を深めてもらう。(乗る人の事を考える)

STEP3 その方法の中で地域や自分で取り組みそうなこと

<ul style="list-style-type: none">・できるだけ複数で乗るようにしよう！・バスに乗ることでバスを維持できる。・夜間のシャトルバスがあれば利用する。・今後は利用している人の意見を聞いてほしい。・アンケート調査に基づきルートを検討する。(地域で検討)

OD 班(ファシリテーター:LB 木下)

STEP1 地域を運行する公共交通の良い点・悪い点

良い点	<ul style="list-style-type: none">・乗り合いタクシーなので料金が安くて助かっている。・料金が安い。・羽後交通が通っていない地域を補完するようにしていることは車を利用できない方には良い。・一人暮らし、高齢者の足としては便利である。・公共交通があるということは高齢化が進んでいるので将来を思うと公共交通の充実を望む。 5年後、10年後のことを考えると必要だと思う。・利用者は主に病院と買い物。・冬場は学生たちが利用するので助かっている部分がある。
悪い点	<ul style="list-style-type: none">・旧町村単位での利用を乗り合い形式にすればどうかな？・高校の選択に通学方法を考えなければならない。・認知度が低い。・デマンド、シャトルバス等認知度が低い。・地域公共交通のメリットをもっと PR すべきである。(各地域に入って説明することも必要)・制度がわかりにくい。(デマンド・乗合等多い)・羽後交通の大型バスが走っているが、相当ムダに感じている。・交通量が少ないにもかかわらず、速度が遅い。・運行時間、ルート・デマンドだと目的地まで行けないことがある。・運行本数が少ない。・この機能がいつまで継続できるか不安である。

STEP2 その悪い点を解決するための方法(アイデア出し)

<ul style="list-style-type: none">・最低でも 30 分に 1 本の運行を願う。・西部地域にターミナル地点を作る。・小さな拠点を設ける。・各地域にスモールターミナルを作り、バス路線とつなぐ。・羽後交通のバス路線を横手市の公共交通に組み入れてしまったらどうか？・料金はターミナルまで ¥200・中、高の通学費を補助。(市が負担)・スクールバスの活用の仕方を考える。・非利用者が一度は実体験してみても。(将来の利用者になる目線で。イベント時にでも。)・紙での情報発信は限界。→一定期間無料にするとか・現在公共交通を利用している方にアンケートを取り、改善点を把握して解決方法を考える。・車両も小さめで良い。・他市、県の事案を参考にする。(できるだけ人口規模が同じ地域)

STEP3 その方法の中で地域や自分で取り組みそうなこと

<ul style="list-style-type: none">・共助組織を地域毎に立ち上げ、市の助成を厚く出来れば。※国からの助成は？・行政側の支援(費用等)・各地域事情を踏まえる。
--

OC 班

地域名: () 班: () 担当者: ()

STEP①: 地域を運行する公共交通の良い点・悪い点

<良い点>

- デパートから徒歩10分以内
- 乗降が楽
- 乗降の待ち時間短縮
- 乗降の待ち時間短縮
- 乗降の待ち時間短縮
- 乗降の待ち時間短縮

<悪い点>

- 乗降の待ち時間長
- 乗降の待ち時間長
- 乗降の待ち時間長
- 乗降の待ち時間長
- 乗降の待ち時間長
- 乗降の待ち時間長

STEP②: 悪い点を解決するための方法

- 乗降の待ち時間短縮
- 乗降の待ち時間短縮
- 乗降の待ち時間短縮
- 乗降の待ち時間短縮
- 乗降の待ち時間短縮
- 乗降の待ち時間短縮

STEP③: その方法の中で地域や自分で取り組みそうなこと

- 乗降の待ち時間短縮
- 乗降の待ち時間短縮
- 乗降の待ち時間短縮
- 乗降の待ち時間短縮
- 乗降の待ち時間短縮
- 乗降の待ち時間短縮

OD 班

地域名: (大森・楠・大) 班: () 担当者: ()

STEP①: 地域を運行する公共交通の良い点・悪い点

<良い点>

- 乗降が楽
- 乗降が楽
- 乗降が楽
- 乗降が楽
- 乗降が楽
- 乗降が楽

<悪い点>

- 乗降の待ち時間長
- 乗降の待ち時間長
- 乗降の待ち時間長
- 乗降の待ち時間長
- 乗降の待ち時間長
- 乗降の待ち時間長

STEP②: 悪い点を解決するための方法

- 乗降の待ち時間短縮
- 乗降の待ち時間短縮
- 乗降の待ち時間短縮
- 乗降の待ち時間短縮
- 乗降の待ち時間短縮
- 乗降の待ち時間短縮

STEP③: その方法の中で地域や自分で取り組みそうなこと

- 乗降の待ち時間短縮
- 乗降の待ち時間短縮
- 乗降の待ち時間短縮
- 乗降の待ち時間短縮
- 乗降の待ち時間短縮
- 乗降の待ち時間短縮

STEP1 地域を運行する公共交通の良い点・悪い点

良い点	<ul style="list-style-type: none">・免許返納したら利用したい。・横手市とは言え増田の奥なので公共交通があってよい。・家の近くまで来てくれるので助かる。・料金が安くできる・時刻表が各家々に出ているから乗車する人の確認で済む。・定時に目的地に移動できる。・買い物した重い物等、玄関まで運んでやれる。(高齢の人)・乗車、降車場所も利用する人たちの要望が入っている。・羽後交通も厳しい経営の中、よく頑張っている。・上畑地区のバスがある。・ラッキーの買い物バスがある。
悪い点	<ul style="list-style-type: none">・運転手も高齢化している。・地域のバスなので利用できる人が限られてしまう。・各集落までは来てくれない。・路線から遠い場所に住んでいる人不便。・高校に行くのに路線がない。・デマンド定期があれば良い。・融通がきかない(路線から離れている所等)・事務的処理は会長に重責になっているのでは！・住民要望があっても裏付けとなる予算確保ができず、現実的と言えない。・平鹿ふれあいバス、目的地まで行くのにルートの関係で遠回りになってしまう。・107号線、空バスが多く走っている。

STEP2 その悪い点を解決するための方法(アイデア出し)

<ul style="list-style-type: none">・各地区交流センターとの連携が不可欠(相談相手)・公共とは言え運行上の規則はしっかり守る。(ドライバー、利用者とも)・決まりが厳しい。市としての特例はないのか？・時刻表は出ているが、冬期は多少の遅れは発生すること事前連絡(文書で)・利用者ニーズの把握。(買い物、病院、他)目的に応じた運行。・小中学校の通学バスの活用は？町づくりに。・大型車ではなく、中小型車で便や小範囲で運行できないか。・自主運営バスによりいろんな事を体験する。(買い物医者以外)・公用車の利用が出来ればよいと思う。・駅にコンビニなどあればどうか。

STEP3 その方法の中で地域や自分で取り組みそうなこと

- ・狙半内共助運営体での「三平カー」自らドライバーであるため各々へ話できる。
- ・有償ボランティア的な白タク運送がベスト。(団体、NPO etc.)
- ・各地区の交流センター事業に参加することでお互いに連携することができる。
- ・事務的な処理を地区交流センターで対処できるのではないか。

OB 班(ファシリテーター:LB 小久保)

STEP1 地域を運行する公共交通の良い点・悪い点

良い点	<ul style="list-style-type: none">・車が便利。・スーパー(ラッキー)送迎バス、多様な目的で利用できる。・利用していない。
悪い点	<ul style="list-style-type: none">・わからない。・県北と南の格差・日中の手段がない。(ダイヤが少ない)・十文字駅、階段× バリアフリー！・バス路線がない。高齢者世帯が困る。・家族の送迎の負担。・高校統合でバスがなくなる可能性がある。・病院での待ち時間。

STEP2 その悪い点を解決するための方法(アイデア出し)

<ul style="list-style-type: none">・路線の再編。フルーツラインを利用。平鹿病院←横手病院←ゆっふる←増田体育館・病院専用のバスの運行。・送迎バスに支援する。・奥羽本線の最終に十文字で病院→タクシー・駅の改良(エレベーター)
--

STEP3 その方法の中で地域や自分で取り組みそうなこと

<ul style="list-style-type: none">・検討する機会を作る。・地域毎に細かく意見を聞くこと。・地域で差がある。地域毎で考える。・利用者に聞くこと。

OC 班(ファシリテーター:LB 木下)

STEP1 地域を運行する公共交通の良い点・悪い点

良い点	<ul style="list-style-type: none">・デマンドがあること自体は良い。・優しく言葉をかけてくれる。・共助の運送があるので助かっている。(平日。狙半内)
悪い点	<ul style="list-style-type: none">・デマンドへの理解が少ない。・デマンド重なると来てくれない。・事業者と市側の調整の状況が見えない。(大きい車が人を乗せずに走っている。)《運行頻度(内容をグルーピング)》・ふれあいバスを利用して買い物して行っている者がいるので、もう少し動かしてほしい。・公共交通の運行頻度が少ない。・バス(羽後交通)1時間に1本もない時がある。土・日・祭日が本来買い物したいのにもっと減らされている。《高齢者の送迎(内容をグルーピング)》・年配者が不便と感じているが、今は送り迎えで難儀している人たち多い。《バス停まで遠い(内容をグルーピング)》・バス停まで出るのが大変。

STEP2 その悪い点を解決するための方法(アイデア出し)

<ul style="list-style-type: none">・買い物、病院通い(バス)専門の運転手を採用すべき。・市役所の人がまず使ってみて、地域の人を知る。実態を知る。・ボランティア(運送)をやる人へインセンティブ。(税金安くする等)《バス路線の見直し(内容をグルーピング)》・循環バス運行・バス路線(車両、利用者数)の見直しをする。

STEP3 その方法の中で地域や自分で取り組みそうなこと

<ul style="list-style-type: none">《コミュニティ・共助(内容をグルーピング)》・積極的に動ける人(地域の中で)を増やす。・若い人がまず考える。(将来のことを)・若い人も入れて議論する場をつくる。・地域でボランティアしている人への評価。(空気づくり)《情報発信(内容をグルーピング)》・地域で頑張っている人の情報発信。

地域名： (南部) 班： () 担当者： ()

STEP①：地域を運行する公共交通の良い点・悪い点

<良い点>

<悪い点>

STEP②：悪い点を解決するための方法

STEP③：その方法の中で地域や自分で取り組めそうなこと

山内地域

〇A班(ファシリテーター:LB 鈴木)

STEP1 地域を運行する公共交通の良い点・悪い点

良い点	<ul style="list-style-type: none">・バスと鉄道がある。 ・デマンドは良い。・バス、乗車の際にアプリで QR コードを読み込むとポイントが貯まる(アイスと交換)。・支払方法が現金だけではなく、電子マネーも使える。・新幹線利用(北上線)・バス、JR が存在していることがまず、いいことである。
悪い点	<ul style="list-style-type: none">・バスについては三又路線はあるが、武道、大松川方面はコミュニティバスとなっている。・バスも鉄道も乗る人が少ない。・バスがあっても本数が少ない。・バスの本数が少なく、朝早く横手に出かけるとお昼の帰りのバスが12時で乗り遅れると16時まででないこと。・病院に行くにもスーパーへ行くにも乗り換えが必要。・デマンド交通の場合、市内の入口で降りなければならない。待合場所もない。・バスは大人数が利用することが見込まれる時に本数が少なく乗れずに次を待つ必要がある(高校生)。・時刻表や運賃を調べたいときにスムーズに調べられない(専用ページあるのか?)。・電子マネーをチャージする場所や機会が限られる・・・かも。・本数少ない:行きたいところへのアクセスが便利ではない。運賃、時刻が大まかにしか情報がなく、分かりにくい。

STEP2 その悪い点を解決するための方法(アイデア出し)

<ul style="list-style-type: none">・使いたい時間帯のニーズに合った運行ダイヤを調べる。・病院やスーパーへの直行便を作ってほしい(往復便)。・月イチでも乗車して利用機会を増やす。・物資輸送の足替わりとして利用する。・利用者が多い時間帯に本数を増やし、少ない時間帯を減らす。・JR:北上線と北上駅での新幹線接続のタイミングを使いやすくする。・観光客に向けたサービスを考える。・デマンドで医者、スーパーまで行けるようにする。・SL:観光客向け、お座敷列車

STEP3 その方法の中で地域や自分で取り組みそうなこと

<ul style="list-style-type: none">・料金にポイントを付けて利用促進を促す。・北上線にイベント列車を走らせる。・自家用車の代わりに公共交通を使うことでメリットになる期間ごとの企画(旅プランなど)。・多数集客できるイベントをおこす。・乗り鉄、撮り鉄→電車だけではなく、バスでも面白さは作れないか。・公共交通の新しい利用法。荷物を相乗りさせる。・企画:子供の利用をワンコインに。同乗する大人の単価を上げる。・修学旅行を北上線を利用した企画にして欲しい。・商い列車

OB 班(ファシリテーター:LB 小久保)

STEP1 地域を運行する公共交通の良い点・悪い点

良い点	<ul style="list-style-type: none">・利用者が少ないが運行してもらうので良い。・デマンドは自宅前まで来るので助かる。・フリー乗降・鉄道の車内のコミュニケーションがあった。・複数の公共交通が地域をカバーしている。・高校生も乗っている(土日休みなので乗らない)。
悪い点	<ul style="list-style-type: none">・バス停まで自宅から遠い。・土日のダイヤがない(バス)>・デマンドは1時間前の予約だと受診の帰りは都合よくいかないことが多い。・近所の送迎が負担。・バスの運行本数が少なくなった。・路線バスの利便性が良くない。・デマンド交通のエリアの限界。・列車の利用者はほとんどいない。・羽後交通バスは土日祝日、1本もないのは不便。・通勤通学で利用していない。スクールバスに転換している(鉄道)。・複数の店に行くのが無理に思える。

STEP2 その悪い点を解決するための方法(アイデア出し)

<ul style="list-style-type: none">・需要の整理が必要。・公共交通の現状を教えてほしい。

STEP3 その方法の中で地域や自分で取り組みそうなこと

<ul style="list-style-type: none">・バスに乗る機会を作る。・乗車体験会・地域の共助で自家用有償運送を考える。・公共交通利用のメリット(歩数=健康)を示す。・地域で考える。・地域貢献できる世代に働きかける(60~70代)。
--

OC 班(ファシリテーター:LB 木下)

STEP1 地域を運行する公共交通の良い点・悪い点

良い点	<ul style="list-style-type: none">・JR 北上線あり。・バス路線あり。・コミュニティバス・デマンド
悪い点	<ul style="list-style-type: none">・コミバスの運行路線の増は？2路線では少なくないか！・北上線の本数少ない。バスも少ない。北上から新幹線の接続を。・北上線の存続は可能か？沿線地区の住民の心構えは？・免許返納した後、子や孫にらせてもらっても都合があるので不便な時がある。・スクールバスの有効利用を考える必要があるのでは？・デマンドは予約制で使いにくい。また、他利用者との協調性が難。・使い勝手悪い(自分で電話するのも億劫)。・デマンドは時間の制約があり、夜間の利用はできない。・JRは便数が少ない。停車駅が少なくなった(5便?)。・バスも便数が少ない(6便)。・公共交通は各社の利害があり、調整が難しそう。

STEP2 その悪い点を解決するための方法(アイデア出し)

<ul style="list-style-type: none">・山内地域が大きいため特別ルールが欲しい。・それぞれの利害があるので、「地域全体」で良い方法を検討する。・過疎地は白タク行為をできるように。・北上線を残すためにどんなことをすれば利用者が増えるか考える。・僻地特例法を新設し、民間住民活用の交通の仕組みを作るべき。

STEP3 その方法の中で地域や自分で取り組みそうなこと

<ul style="list-style-type: none">・狙半内のように地域で移動を支える仕組み。

○A 班(ファシリテーター:LB 鈴木)

STEP1 地域を運行する公共交通の良い点・悪い点

良い点	<ul style="list-style-type: none"> ・タクシー等と比較してコスト、利用料金が安い。 ・循環バス:スーパーの駐車場、店舗前まで乗り入れているのでサービス度が高い。 ・循環バスとデマンドをつなぐ時刻が合えば、複数(うまくいけば)利用者で便利。 ・タクシーとオンデマンドの融合ができれば利便性アップの可能性大。 <p>※以下は【良い点・悪い点】の中間部分に貼り付け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数を連絡することによって便利→高齢者は難しいか？ ・ニーズに合った時刻表になっているか不明(調査は？)
悪い点	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が少ないと廃線になる。 ・時間に縛られる。 ・デマンドのエリア外なのでそこで乗り継いでまで利用しようと思わない。 ・地域によって利便性に差がある。 ・特に北上線は運休が多い。 ・北上乗り換えで新幹線を使うため北上線を利用するが、ちょっとした風や雨や雪で運休になるのであてにできない。

STEP2 その悪い点を解決するための方法(アイデア出し)

<ul style="list-style-type: none"> ・降車の多いバス停行きの便を作る(店、病院)。 ・デマンドバスに自転車も載せて利便性アゲアゲ。 ・接続(連絡)パターンの例示(各地区で頑張ること?)。 ・バス型式(種類)を変えて走らせてみる(ラッピングもあり)。 ・駅と主要観光を結ぶ停留所のPR。 ・土日祝日増便計画? ・観光客も街歩きで乗れるような路線や経路の工夫があればもっと乗車する人が増えると思う。 ・観光客に乗ってもらう。 ・バスに乗るのが楽しくなる仕組み。 ・たまにイベントバスが走る。 ・地区交流センターの事業として利用者のために乗り合いタクシー事業を起こしデマンドにアクセスする。
--

STEP3 その方法の中で地域や自分で取り組みそうなこと

<ul style="list-style-type: none"> ・車メーカー、行政、自主運営組織による運行 ・子供たちに「循環バスの体験をしよう！」みたいな事業をセンターで考える(考える)。 ・マップを観光や文化振興と共有する(スマホで見れるように)。 ・歌声バス(イベントバス) ・ガイド付きバス ・利用者のニーズ調査(時間、場所) ・バスの経路を一つでなく増やしてきめ細かく周る。空白域をなくす(南方面、北方面など)。 ・デマンド、循環バスの利便性をPR(料金、複数乗車)。 ・エネルギーを抑えたり、スモールタウンを進めるためには公共交通の充実が必要なので、もっと予算を。 ・JRと自転車で歴史名所や観光資源を結ぶ。JR駅の自転車⇔歴史名所自転車 ・地域住民が運転する自家用有償運送。
--

OB 班(ファシリテーター:LB 小久保)

STEP1 地域を運行する公共交通の良い点・悪い点

良い点	・全域でデマンドをやっている。
悪い点	・必要な時にバスがない。 ・デマンドの乗降場所が限定される。 ・運賃が高くなるため、メリットが少ない(市街地?) ・八王寺はバスがない。イオンに乗り継ぎになる。 ・通院する人は、デマンドは利用しにくい。 ・公共交通としての役割を担っていない!

STEP2 その悪い点を解決するための方法(アイデア出し)

<ul style="list-style-type: none">・運賃の安いタクシーがあればよい。・スクールバスの利用。・循環バスを延伸してほしい(八王寺地区)。・乗降場所を限定しない(デマンド)。・既存公共交通に頼らない。・循環バスのルート見直し。・状況が変わっているのでキチンと考える。・きめ細かくわかりやすい中心部のバスルート。
--

STEP3 その方法の中で地域や自分で取り組みそうなこと

<ul style="list-style-type: none">・自家用の有償運送を共助の仕組みでやる。・ライドシェアの取り組み。・既存の送迎バスの活用。・交流センターで実施。市の補助金を入れる。・実証実験をやってみる。・カーシェアリングの活用。
--

OC 班(ファシリテーター:LB 木下)

STEP1 地域を運行する公共交通の良い点・悪い点

良い点	<ul style="list-style-type: none">・国道沿線なので定期的にバス交通で移動できる。・市内に循環バスの運行は魅力である。・市循環バスが走行していること。・デマンド交通があること。・循環バス利用者が少しずつ増加している。・交通弱者(高齢者)に対しては地域の助け合いが残っている。「世話焼き」、「助け合い」となり、近所の付き合い(買い物に乗せていく)。・横手駅があること。奥羽本線、北上線。
悪い点	<ul style="list-style-type: none">・〈学生〉歩く、自転車通学しない→自家用車による送迎→バス・JRを利用する必要性がなくなる→路線バスの廃止、JRの減便→使いにくい(不便)・「乗ってもらおう」意識改革を(理想と現実のギャップ)。・バスの定期券割引もない。・デマンド交通の中心部ゾーンがあることで病院や駅や商店街へ行きにくい。・路線バスがどんどん廃止されていくこと。・デマンドタクシーは複数で利用、事前予約が必要である。・人口減少が拍車をかける→路線バスの廃止・JR の減便→使いにくい(不便)・利用者を主とした運行をするべき・利用時間及び本数が少ない・もっと住民に周知を・タクシー会社が従来はあったが、現在は市外からタクシーを利用して前より料金も割高になっている

STEP2 その悪い点を解決するための方法(アイデア出し)

<ul style="list-style-type: none">・国のガイドラインなどを変える(車両買うのに補助、バス)。・利用者数にあわせた車両の大きさにする(バス)。・1週間に1回はバス無料→乗る機会をまず作る。・白バス、白タク行為を(地元のタクシー会社はいるが)特区など指定する。・高校への通学に使う公共交通づくり(特に利便性が悪いところ)。
--

STEP3 その方法の中で地域や自分で取り組みそうなこと

<ul style="list-style-type: none">・狙半内のような公共交通の共助組織を作る。・地域側がまず声を上げる。・各地域で何を困っているか議論していく(町内会単位で)。・地区交流センター単位で問題意識を共有。地域で解決していく手法(行政はお金とルールを考える)。・バス、JRの利用の中心となる高校生(横手市内に通う)。・定期券7割引にする(使ってもらおう自然な理由を作る)。
--

〇A班

地域名：(横手) 班：(A) 担当者：()

STEP①：地域を運行する公共交通の良い点・悪い点

<良い点>

- 予約が簡単
- 乗車券が便利
- 乗車券が便利
- 乗車券が便利

<悪い点>

- 乗車券が便利
- 乗車券が便利
- 乗車券が便利
- 乗車券が便利

STEP②：悪い点を解決するための方法

- 乗車券が便利
- 乗車券が便利
- 乗車券が便利
- 乗車券が便利

STEP③：その方法の中で地域や自分で取り組みそうなこと

- 乗車券が便利
- 乗車券が便利
- 乗車券が便利
- 乗車券が便利

〇B班

地域名：(横手) 班：(B) 担当者：()

STEP①：地域を運行する公共交通の良い点・悪い点

<良い点>

- 乗車券が便利

<悪い点>

- 乗車券が便利
- 乗車券が便利
- 乗車券が便利
- 乗車券が便利

STEP②：悪い点を解決するための方法

- 乗車券が便利
- 乗車券が便利
- 乗車券が便利
- 乗車券が便利

STEP③：その方法の中で地域や自分で取り組みそうなこと

- 乗車券が便利
- 乗車券が便利
- 乗車券が便利
- 乗車券が便利

地域名：(様手) 班：(C) 担当者：()

STEP①：地域を運行する公共交通の良い点・悪い点

<良い点>

- 市循環バスが運行している
- デマンドバスが運行している
- 循環バスが運行している
- バスが運行している
- バスが運行している
- バスが運行している

STEP②：悪い点を解決するための方法

- バスが運行している
- バスが運行している
- バスが運行している
- バスが運行している
- バスが運行している
- バスが運行している

<悪い点>

- バスが運行している
- バスが運行している
- バスが運行している
- バスが運行している
- バスが運行している
- バスが運行している

STEP③：その方法の中で地域や自分で取り組めそうなこと

- バスが運行している
- バスが運行している
- バスが運行している
- バスが運行している
- バスが運行している
- バスが運行している

10. 事業所アンケート調査

1-1 調査の概要

調査対象	91 事業所
調査期間	12月4日～12月20日
調査方法	郵送による配布回収
回収数	64件（回収率：70.3%）

使用した調査票（見本）

「横手市地域公共交通」に関する事業所アンケート調査のお願い

日頃より横手市の市政運営にご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、鉄道・路線バス・タクシーなどの公共交通を、今後も継続的に運行し、皆様に利用していただくため、本市の実情にあわせ、将来にわたり持続可能な公共交通システムの構築を目指すべく「横手市地域公共交通計画」を策定することとなりました。

つきましては、企業・事業所の従業員様の通勤状況等をお聞かせいただき、公共交通施策の基礎資料とするため、アンケート調査を実施いたします。

今回の調査では、必ずしも企業・事業所としての正式な回答としてお答えいただく必要はございません。また、本社等が市外にある場合は、貴事業所単位でご回答できる範囲、もしくはご回答者様のご意見でも構いませんので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

アンケートの集計・分析については、「ランドブレイン株式会社」に委託しておりますので、御理解をお願いいたします。なお、調査結果は、本アンケート調査以外には、一切使用しません。

お忙しいところ恐縮に存じますが、趣旨を御理解いただき、調査に御協力いただきますようお願い申し上げます。

令和5年11月 横手市地域公共交通活性化協議会

<本アンケート調査に関する問い合わせ先>

○横手市地域公共交通活性化協議会事務局（横手市 総務企画部 経営企画課内）

電話番号：0182-35-2164

○委託業者：ランドブレイン株式会社 秋田事務所

秋田県秋田市山王 5-11-9 電話番号：018-895-8022

問1 貴事業所及び回答者様について、教えてください。（枠内にご記入ください。）

① 事業所名	
② 所属部署	
③ 担当者名	
④ TEL	
⑤ E-mail	

問6 従業員専用駐車場の有無について、教えてください。(1つに○印)

1. 従業員専用駐車場あり ⇒問7を回答後、問8へお進みください
2. 従業員専用駐車場無し ⇒問7を回答せずに、問8へお進みください

問7 問6で「1. 従業員専用駐車場あり」とお答えした方にお伺いします。
従業員専用駐車場の内容について、教えてください。

- ①利用料金について (1. 有料 2. 無料)
⇒「有料」の場合 (月額 _____ 円程度)
②駐車可能台数について 約 (_____) 台

問8 従業員の通勤費補助や従業員専用駐車場について、負担が大きい、或いは事業を圧迫している原因だと感じたことはありますか。(1つに○印)

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

問9 今後、従業員の自家用車通勤を抑制したいと思いますか。(1つに○印)

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

問10 問9の理由を教えてください。(自由記述)

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

問11 今後、地域公共交通の利用促進や地域公共交通と連携した事業の展開など、連携した取り組みの可能性はありますか。

(1つに○印、下記の事例を参考にしてください。)

1. 可能性はあると思う
2. 可能性はあまりないと思う
3. 業種的に難しいと思う

【参考】地域公共交通と他業種との取り組みの事例

《公共交通の利用促進》

取組内容・効果

■バス事業者との連携

- ・バス事業者と連携し、路線調整の協議・検討を行った。社員増なども影響し、平成28年、平成29年において増便。
- ・時刻表、路線情報等を事業者より提供を受け、パンフレット等を通じて周知。

■環境保全効果

・約151tのCO2削減※(事業所規模2,067名)

※交通環境地球保全推進事業事務局(内閣府)「CO2削減削減計画シート」に基づき算出。事業所の従業員数増加の影響を修正している。

■エコ通勤対象エリア設定

- ・エコ通勤対象エリア(バス停から700m以内※平成22年時点)内に居住しているものについては、公共交通機関を利用することを原則としている。
- ・平成24年には、エリアを拡大し(700m→1000m)、更なる公共交通機関の利用を促進。

《貨客混載》

自社の工場間の運搬に、地域公共交通を使用して、経費削減する仕組み

貨客混載のイメージ



《商業施設のバス情報の設置》

商業施設内に地域公共交通の情報提供環境を設置し、来客数を増加した事例



《最後に企業・事業所として、地域公共交通に関するご意見がありましたら記入をお願いします》

.....

.....

.....

.....

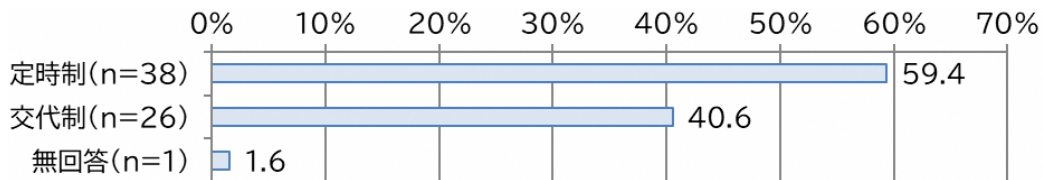
お忙しい中、ご協力いただきありがとうございました。

1-2 調査結果

問1 事業所名及び回答者氏名(個人情報保護のため未掲載)

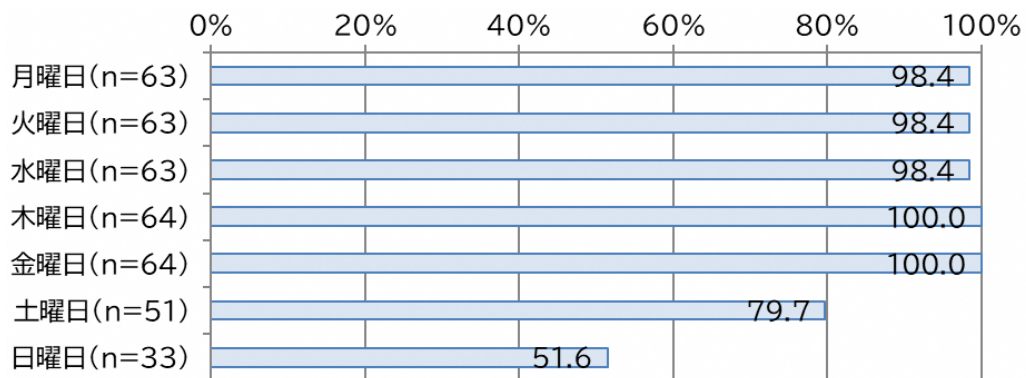
問2-1 勤務状況(勤務体制)

各事業所の勤務体制は、定時制が59.4%で最も多くなっている。



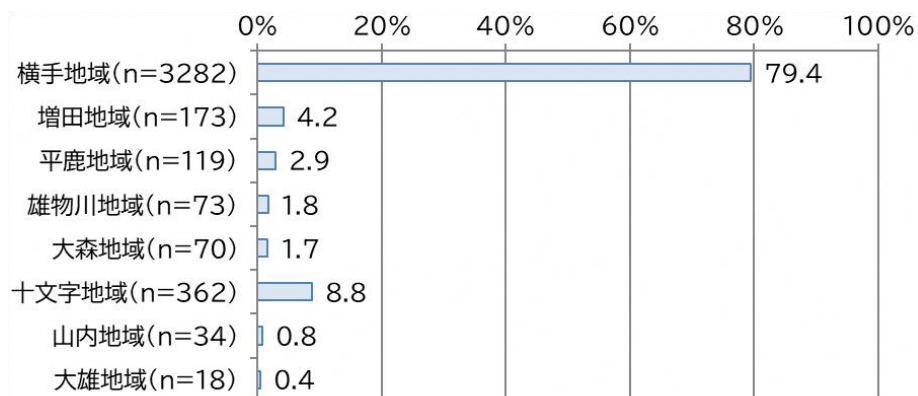
問2-2 勤務状況(事業所稼働日)

勤務状況(事業所稼働日)は、ほぼ全ての事業所で平日の稼働が多くなっており、木曜日と金曜日は100%となっている。一方で、土曜日に稼働している事業所も79.7%ある。



問2-3 勤務状況(従業員数)

本アンケート調査に回答していただいた事業所全体の従業員数の割合を地域別で示している。



問3 従業員の通勤範囲

「問2-3:勤務状況(従業員数)」の中で、地域ごとの通勤者の割合を示しており、横手地域・増田地域・十文字地域は「その他(市外等)」が、平鹿地域・雄物川地域・大森地域・山内地域はその地域内が、大雄地域は「横手地域」からの通勤が多い状況にある。

「その他(市外等)」が最も多い横手地域・増田地域・十文字地域は、近隣市町村とのつながりが強く、地域内からの通勤が多い平鹿地域・雄物川地域・大森地域・山内地域は、地域間を跨ぐ通勤が少ない状況にあるといえる。

		通勤先								
		横手地域	増田地域	平鹿地域	雄物川地域	大森地域	十文字地域	山内地域	大雄地域	その他(市外等)
所在地	横手地域(サンプル事業所数:27)	26.7%	1.3%	3.0%	2.0%	1.1%	2.8%	1.2%	1.5%	60.4%
	増田地域(サンプル事業所数:6)	13.3%	21.4%	6.9%	2.9%	0.0%	17.9%	1.7%	0.0%	35.8%
	平鹿地域(サンプル事業所数:8)	17.6%	3.4%	30.3%	9.2%	0.8%	8.4%	0.8%	5.9%	23.5%
	雄物川地域(サンプル事業所数:7)	19.2%	1.4%	20.5%	37.0%	1.4%	6.8%	0.0%	5.5%	8.2%
	大森地域(サンプル事業所数:4)	1.4%	0.0%	4.3%	27.1%	47.1%	2.9%	0.0%	11.4%	5.7%
	十文字地域(サンプル事業所数:7)	9.7%	13.3%	4.7%	3.0%	0.0%	30.7%	0.6%	0.8%	37.3%
	山内地域(サンプル事業所数:3)	32.4%	2.9%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	47.1%	0.0%	11.8%
	大雄地域(サンプル事業所数:1)	50.0%	0.0%	5.6%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%	11.1%

※所在地ごとに、どの地域からの通勤が多いかを示しており、

最も多い地域は 、2番目に多い地域は 、3番目に多い地域は で塗分けられている。

問4 通勤に対する補助(支給)制度について

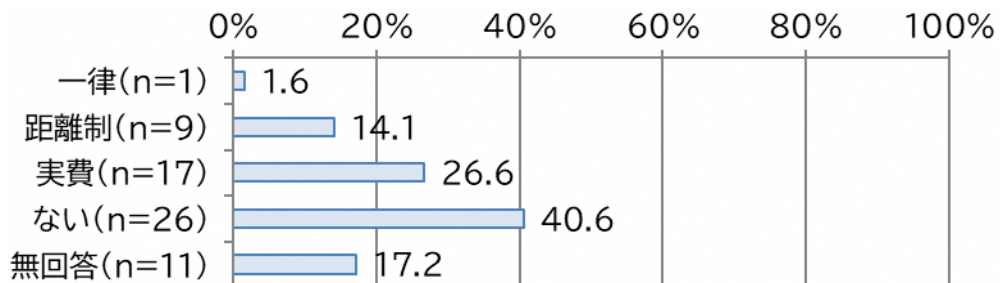
通勤に対する補助(支給)制度は、自動車通勤に対しては「距離制」、電車・バス通勤、自転車通勤、徒歩通勤に対しては「ない」という回答が最も多くなっている。

特に、電車・バス通勤に対する補助がない事業所が40.6%となっていることから、自動車通勤が一般的であり、通勤時の交通手段として公共交通利用が考慮されていない状況がうかがえる。

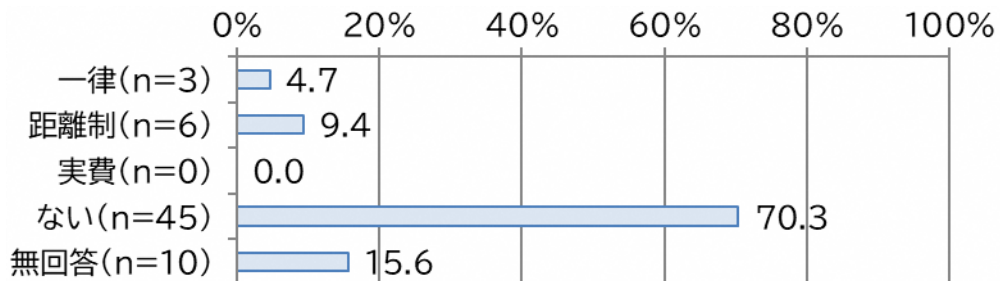
《自動車通勤に対する補助》



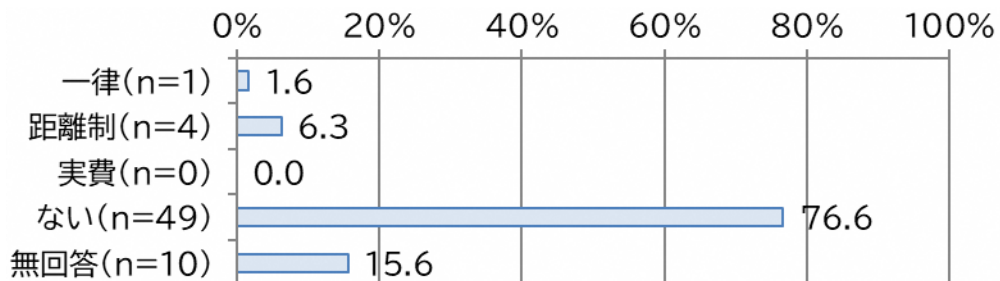
《電車・バス通勤に対する補助》



《自転車通勤に対する補助》

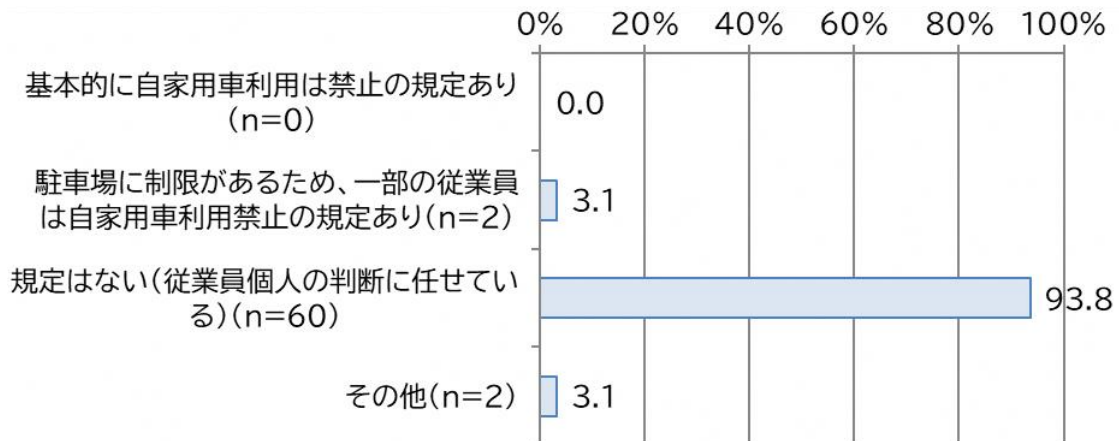


《徒歩通勤に対する補助》



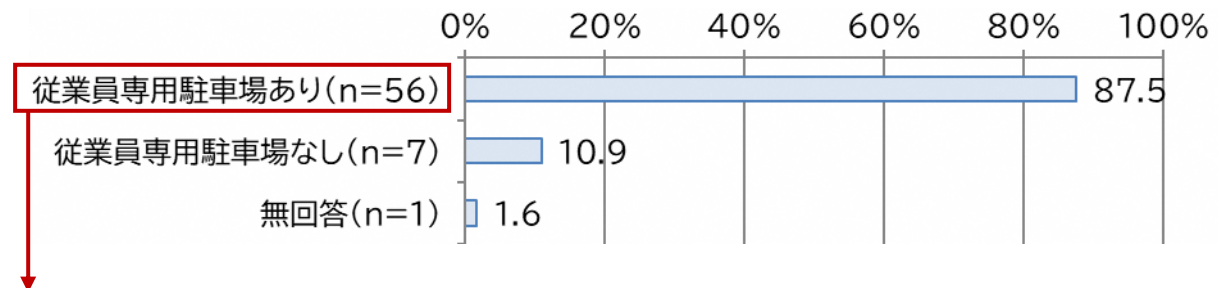
問5 通勤時の移動手段に関する規定

通勤手段に関する規定は、「規定はない(従業員個人の判断に任せている)」が93.8%と最も多くなっており、ほぼ全ての事業所において、規定はない状況にある。



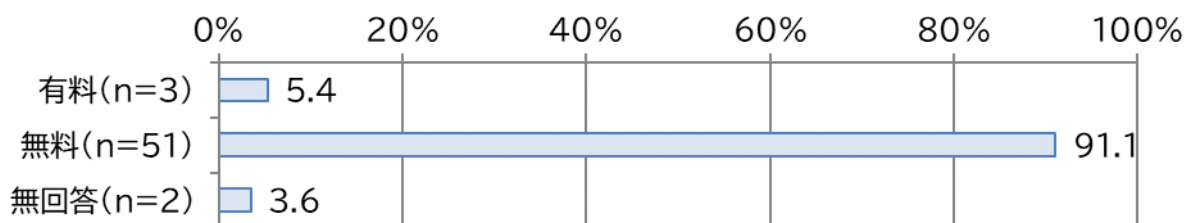
問6 従業員専用駐車場の有無

従業員専用駐車場の有無は、「従業員専用駐車場あり」が87.5%と最も多くなっており、ほぼ全ての事業所で、従業員用の駐車場を備えている。



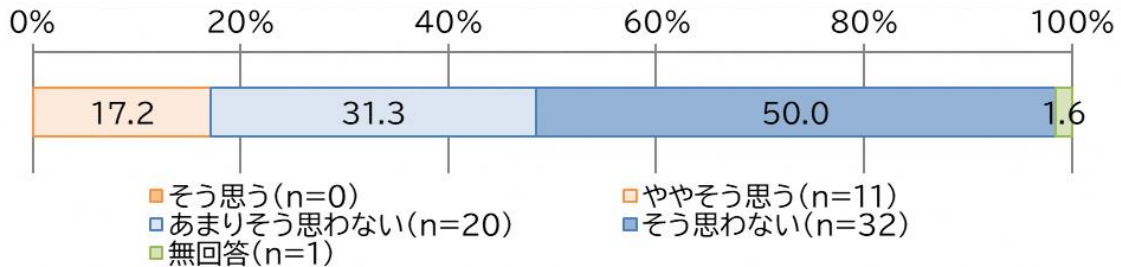
問7 駐車場の利用料金

「従業員専用駐車場あり」と回答した56事業所のうち、駐車場利用料金については、「無料」という回答が多くなっている。



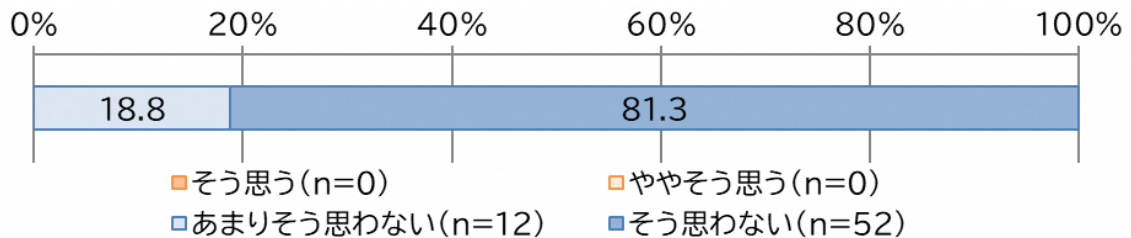
問8 通勤費補助や従業員専用駐車場の負担が大きい、或いは事業を圧迫している原因だと感じているかについて

通勤費や駐車場を準備することによる負担(事業を圧迫している等)については、「そう思う」が0%となっており、「ややそう思う」が17.2%、「あまりそう思わない」が31.3%、「そう思わない」が50%となっていることから、通勤費補助や駐車場を準備することは事業(経営)を圧迫している要因とはなっていない状況にある。



問9 自家用車通勤を抑制したいかどうかについて

自家用車通勤を抑制したいかどうかについては、「そう思う」「ややそう思う」が0%となっており、自家用車通勤を抑制したいと思わない傾向にある。



問10 問9「自家用車通勤を抑制したいかどうかについて」の理由(原文を掲載)

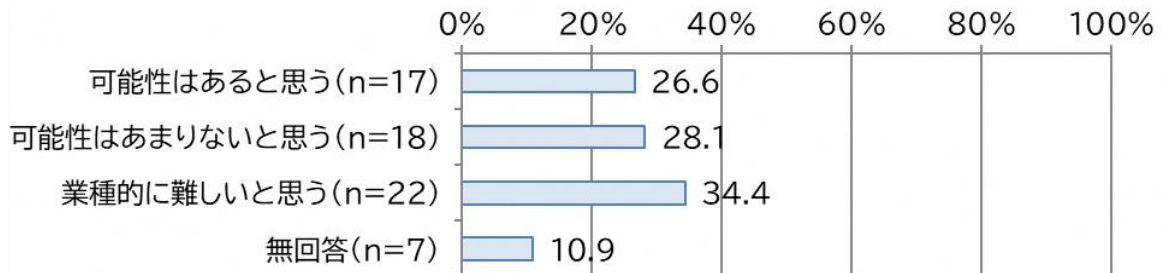
会社所在地域	理由(原文)
横手地域	会社の場所を考えると、公共交通利用は現実的ではない
横手地域	営業時間が長く公共交通機関では対応不可のため
平鹿地域	公共交通機関利用に際する自由度が少なく不便であるため
雄物川地域	公共交通を利用するには不便なところに会社があるので自家用車で通勤してもらえないと思います。
横手地域	通勤手段として必要であるため
雄物川地域	通勤手段がない
横手地域	救急外来の対応等診療時間外での勤務や病棟の深夜帯勤務などがある職場のため、必要経費と認識しています。
平鹿地域	この地域は自家用車がないと、日常生活も仕事も不便である。問9の質問の意図が分からない。
増田地域	駅やバス路線から離れており、立地的に不便なため
十文字地域	駐車場は広く、何台でも置ける
横手地域	事業の性格上、鉄道を主体とする通勤体制が構築されており、自家用車通勤は必要最小限かつ例外的な位置づけであるため。職場が駅周辺に配置されていることか

	ら、鉄道による通勤を考慮して住まいを決める社員が多いと言えます。寮や社宅も駅から徒歩圏内にあります。
横手地域	自動車を利用しての通勤が一番だという人がほとんどなので、抑制の必要はないと考えています。ガソリン価格の高騰が大きく経営に影響するので安定的な供給ができるようにしていただきたい。
横手地域	自家用車以外の交通手段では事務所まで厳しい
横手地域	通勤時の時間帯が早かったり、遅かったりするため
大雄地域	・公共交通が不十分であり、勤務地に通勤するためには自家用車の使用が必須であります。 ・自家用車は生活上必要なものですが、所有、維持、管理には公共交通が充実している首都圏とは大きな負担増となります。市行政の自家用車所有に対する何らかの補助を期待いたします。特に子育て世代の生活負担は非常に大きい昨今の情勢に対応ください。
横手地域	横手の中心部に事務所があり、県南地域(湯沢、大仙)からの勤務者に働いてもらうとなると、自家用車通勤は必須だと考えている。また、子育て世代や親の介護といった仕事以外の部分でも自家用車通勤できることで呼び出しの際など迅速に対応できると思う。今後も引き続き働いてもらうためにも交通費支給など補助も含めて自家用車の使用制限を設けるべきではないと思います。
山内地域	敷地が広く、対応は難しくないため
横手地域	この横手市では自家用車通勤を抑制したら働く方はいなくなると思う。
横手地域	自動車での通勤ができなければ従業員が集まらないため
大森地域	公共交通機関は時間が合わず、不便なため
横手地域	公共交通機関を利用した場合、本数が少なく、時間に制限が出てきてしまう。勤務時間に合わない・・・などの事案が発生すると思われる。そのため、自家用車の抑制はできないと考えている。
横手地域	近距離通勤者(片道2キロ以内)の従業員については自家用車での通勤は禁止しており、自家用車通勤者においては公共交通を利用する場合、不便なため。
横手地域	昼夜時間を問わずに通勤できる。天候不順による運休などに左右されないなどの利点があり、駐車スペースも十分に確保されているため、抑制する理由はない。特に通勤時間が早朝または深夜になる可能性を考えれば自家用車通勤が最も都合がよい。
平鹿地域	他に通勤手段がないからです。
横手地域	代替の交通手段がない。
横手地域	自家用車以外の方法がないと思われるので抑制は無理。会社近くに駅もないし、バスも走っていないので交通手段としては車以外にないです。
雄物川地域	通勤手段の確保が必要なため、そうは思わない。
増田地域	シフト制であり、交通手段が車以外難しい。
横手地域	勤務が日中のみではなく、深夜の帰宅になるため。また早朝の勤務もある。
十文字地域	公共交通機関が少なすぎるため

問11 地域公共交通との連携した取り組みの可能性

地域公共交通との連携した取り組みについては、「業種的に難しいと思う」が 34.4%で最も多くなっており、次いで「可能性はあまりないと思う」が28.1%となっている。

一方で、「可能性はあると思う」が 26.6%となっていることから、連携した取り組みを検討していく上では、業種等を考慮した上で進めていく必要がある。



問12(自由回答) 地域公共交通に対する意見(原文を掲載)

会社所在地域	自由回答(原文)
横手地域	大型バスなどは空席が目立っており、時間帯、地域別で小型車両で積極的に活用すれば効率的だと思う。
横手地域	鉄道、路線バス、タクシーとも事業性や効率性を確保しなければ存続は難しく、それぞれが連携して需要に見合った持続可能なサービスのあり方を議論していくことが不可避です。貴市の新しい公共交通計画を契機として建設的な議論を期待します。
大雄地域	無人巡回型、循環バスの導入で人口減少、少子高齢化、限界集落、郡部の商業支店廃止等の課題解決を期待します。
横手地域	個人的にですが、公共交通は免許返納したときには大いに活用したいものですので、バスやタクシーは日中の買い物などに便利に使えるようスーパーなどと連携して送迎や配送などをしてもらえたらいいなと思います。
横手地域	従業員の利用においては特にありませんが、県外からの来場者(お客様)からは公共交通の便が少ないとたびたびご意見をいただきます。
横手地域	デマンド交通の運行区域のエリア外の撤廃。デマンド料金をタクシー料の半額など、メーターの金額で幅がないように明確になるようであればいいと思う。